

## 基本計画書

基本計画書										
事項	記入欄						備考			
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更									
フリガナ設置者	ガッコウホウジン ム コ ガワ ガク イン 学校法人 武庫川学院									
フリガナ大学の名称	ム コ ガワジョシダガク 武庫川女子大学 (Mukogawa Women's University)									
大学本部の位置	兵庫県西宮市池開町6番46号									
大学の目的	武庫川学院立学の精神に基づき、女子に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、高い知性と善美な情操と高雅な徳性を兼ね備えた有為な日本女性を育成して、平和的世界文化の向上に貢献することを目的とする。									
新設学部等の目的	武庫川女子大学では現在、18歳人口の減少を見据えた経営改革に重点的に取り組む一方、社会からの要請と期待に応え続けられるよう教育研究の高度化に邁進しつつ、大学運営の安定化を図っていく努力を続けている。 その一環として令和5年4月に心理・社会福祉学部、社会情報学部及び健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科を設置する。各学部の基礎となる既存学部学科のこれまでの高い志願倍率や就職率などを踏まえ、学部学科増設によるさらなる入学志願者増に応え、かつ社会が求める専門を生かした有能な人材をこれまで以上に輩出していくため大学全体の収容定員を変更する。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		
	文学部 [School of Letters] 日本語日文学科 [Department of Japanese Language and Literature]	4	150	3年次 25	650	学士 (日本語日文学)  【Bachelor of Arts in Japanese Language and Literature】	昭和33年4月 第1年次	兵庫県西宮市池開町 6番46号		
	英語グローバル学科 [Department of English and Global Studies]	4	200	3年次 25	850	学士 (英語文化学)  【Bachelor of Arts in English】	昭和33年4月 第1年次	同上		※令和4年5月名称変更届出予定
	心理・社会福祉学科 [Department of Psychology and Social Welfare]	4	0 (160)	3年次0 (17)	0 (674)	学士 (心理学) 又は (社会福祉学)  【Bachelor of Arts in Psychology】 or 【Bachelor of Arts in Social Welfare】	令和5年4月 第1年次	同上		
	教育学部 [School of Education] 教育学科 [Department of Education]	4	240	3年次 25	1,010	学士 (教育学)  【Bachelor of Education】	平成31年4月 第1年次	同上		
	心理・社会福祉学部 [School of Psychology and Social Welfare] 心理学科 [Department of Psychology]	4	150 (0)	—	600 (0)	学士 (心理学)  【Bachelor of Psychology】	令和5年4月 第1年次	同上		※令和4年4月設置届出予定
	社会福祉学科 [Department of Social Welfare]	4	70 (0)	—	280 (0)	学士 (社会福祉学)  【Bachelor of Social Welfare】	令和5年4月 第1年次	同上		※令和4年4月設置届出予定

新設学部等の概要	健康・スポーツ科学部 [School of Health and Sports Sciences] 健康・スポーツ科学科 [Department of Health and Sports Sciences]	4	180	3年次 20	760	学士 (健康・スポーツ科学) 【Bachelor of Health and Sports Sciences】	平成23年4月 第1年次	兵庫県西宮市池開町 6番46号	
	スポーツマネジメント学科 [Department of Sport Management]	4	100 (0)	—	400 (0)	学士 (スポーツマネジメント学) 【Bachelor of Sport Management】	令和5年4月 第1年次	同上	※令和4年4月設置届出予定
	生活環境学部 [School of Human Environmental Sciences] 生活環境学科 [Department of Human Environmental Sciences]	4	165	3年次 20	700	学士 (生活環境学) 【Bachelor of Science in Human Environmental Sciences】	平成6年4月 第1年次	同上	
	情報メディア学科 [Department of Informatics and Mediology]	4	0 (150)	—	0 (600)	学士 (情報メディア学) 【Bachelor of Science in Informatics and Mediology】	令和5年4月 第1年次	同上	
	社会情報学部 [School of Social Informatics] 社会情報学科 [Department of Social Informatics]	4	180 (0)	—	720 (0)	学士 (社会情報学) 【Bachelor of Social Informatics】	令和5年4月 第1年次	同上	※令和4年4月設置届出予定
	食物栄養科学部 [School of Food Sciences and Nutrition] 食物栄養学科 [Department of Food Sciences and Nutrition]	4	200	3年次 10	820	学士 (食物栄養学) 【Bachelor of Food Sciences and Nutrition】	令和2年4月 第1年次	同上	
	食創造科学科 [Department of Innovative Food Sciences]	4	80	3年次 5	330	学士 (食創造科学) 【Bachelor of Innovative Food Sciences】	令和2年4月 第1年次	同上	
	建築学部 [School of Architecture] 建築学科 [Department of Architecture]	4	45	—	180	学士 (建築学) 【Bachelor of Architecture】	令和2年4月 第1年次	兵庫県西宮市戸崎町1 番13号	
	景観建築学科 [Department of Landscape Architecture]	4	40	—	160	学士 (景観建築学) 【Bachelor of Landscape Architecture】	令和2年4月 第1年次	同上	
	音楽学部 [School of Music] 演奏学科 [Department of Performing Arts]	4	30	—	120	学士 (音楽) 【Bachelor of Music】	平成21年4月 第1年次	兵庫県西宮市池開町 6番46号	
	応用音楽学科 [Department of Applied Music]	4	20	—	80	学士 (応用音楽) 【Bachelor of Art in Academic Study of Music】	平成21年4月 第1年次	同上	

新設学部等の概要	薬学部 [School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences] 薬学科 [Department of Pharmacy]	6	210	—	1,260	学士 (薬学) 【Bachelor of Science in Pharmacy】	平成18年4月 第1年次	兵庫県西宮市甲子園九番町11番68号		
	健康生命薬科学科 [Department of Health and Bio-Pharmaceutical Sciences]	4	40	—	160	学士 (薬科学) 【Bachelor of Science in Pharmaceutical Sciences】	平成18年4月 第1年次	同上		
	看護学部 [School of Nursing] 看護学科 [Department of Nursing]	4	80	—	320	学士 (看護学) 【Bachelor of Nursing】	平成27年4月 第1年次	兵庫県西宮市池開町6番46号		
	経営学部 [School of Business Administration] 経営学科 [Department of Business Administration]	4	200	—	800	学士 (経営学) 【Bachelor of Business Administration】	令和2年4月 第1年次	同上		
	計		2,380 (2,190)	130 (147)	10,200 (9,474)					
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	<p>心理・社会福祉学部          心理学科 (150) (令和4年4月届出予定)          社会福祉学科 (70) (令和4年4月届出予定)          社会情報学部          社会情報学科 (180) (令和4年4月届出予定)          健康・スポーツ科学部          スポーツマネジメント学科 (100) (令和4年4月届出予定)</p> <p>生活環境学部          情報メディア学科 (廃止) (△150)          文学部          心理・社会福祉学科 (廃止) (△160)          (3年次編入学定員) (△17)          ※令和5年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は令和7年4月学生募集停止)</p> <p>武庫川女子大学短期大学部          心理・人間関係学科 (廃止) (△100)          健康・スポーツ学科 (廃止) (△80)          ※令和5年4月学生募集停止</p> <p>令和5年4月名称変更予定          文学部          英語文化学科→英語グローバル学科</p>									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位				
教員組織の概要	学部等の名称			専任教員等					兼任教員等	
				教授	准教授	講師	助教	計		助手
	新設	文学部 日本語日本文学科			人	人	人	人	人	人
		英語グローバル学科			10 (10)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)
	分	教育学部 教育学科			8 (8)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)
心理・社会福祉学部 心理学科			17 (17)	10 (10)	3 (3)	0 (0)	30 (30)	1 (1)	140 (140)	
社会福祉学科			6 (4)	5 (5)	4 (2)	2 (0)	17 (11)	0 (0)	104 (76)	
			6 (4)	3 (3)	2 (2)	1 (1)	12 (10)	0 (0)	102 (81)	

※令和4年5月名称変更届出予定

教 員 組 の 概 要	新	健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科	12 (10)	5 (3)	3 (3)	0 (0)	20 (16)	2 (2)	103 (103)	
		スポーツマネジメント学科	6 (5)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	10 (9)	0 (0)	110 (78)	
	設	生活環境学部 生活環境学科	8 (8)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	4 (4)	129 (113)	
		社会情報学部 社会情報学科	11 (8)	7 (5)	1 (0)	1 (0)	20 (13)	0 (0)	88 (70)	
	組	食物栄養科学部 食物栄養学科	10 (10)	11 (11)	1 (1)	1 (1)	23 (23)	6 (6)	90 (90)	
		食創造科学科	8 (8)	3 (3)	1 (1)	2 (2)	14 (14)	7 (7)	74 (74)	
	分	建築学部 建築学科	7 (7)	6 (6)	1 (1)	1 (1)	15 (15)	2 (2)	109 (109)	
		景観建築学科	7 (7)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	105 (105)	
	設	音楽学部 演奏学科	7 (7)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	90 (90)	
		応用音楽学科	3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	83 (83)	
	組	薬学部 薬学科	21 (21)	6 (6)	9 (9)	5 (5)	41 (41)	17 (17)	104 (104)	
		健康生命薬科学科	7 (7)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	12 (12)	4 (4)	83 (83)	
	分	看護学部 看護学科	13 (13)	3 (3)	5 (5)	19 (19)	40 (40)	0 (0)	80 (80)	
		経営学部 経営学科	9 (9)	2 (2)	3 (3)	2 (2)	16 (16)	0 (0)	83 (83)	
	計		176 (166)	94 (90)	36 (33)	37 (34)	343 (323)	43 (43)	— (—)	
	既 設 の 概 要	既	共通教育部	3 (3)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	68 (68)
			教育研究所	4 (4)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	2 (2)	0 (0)
		設	発達臨床心理学研究所	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
			言語文化研究所	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
		の	生活美学研究所	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
情報教育研究センター			0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	
概		バイオサイエンス研究所	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
		国際健康開発研究所	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
要		トルコ文化研究センター	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	
		健康運動科学研究所	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	
分		栄養科学研究所	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	
		学校教育センター	6 (6)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	8 (8)	0 (0)	1 (1)	
計		附属総合ミュージアム	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
		P C Rセンター	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	
計		14 (14)	3 (3)	2 (2)	6 (6)	25 (25)	9 (9)	— (—)		
合 計		190 (180)	97 (93)	38 (35)	43 (40)	368 (348)	52 (52)	— (—)		



教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		160 (160)	88 (88)	248 (248)					
	技 術 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)					
	図 書 館 専 門 職 員		2 (2)	0 (0)	2 (2)					
	そ の 他 の 職 員		0 (0)	2 (2)	2 (2)					
	計		162 (162)	90 (90)	252 (252)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	武庫川女子大学短期大学部（必要面積10,400㎡）と共用（収容定員：1,040人※令和5年度収容定員変更後の定員）  借用面積：1,129.19㎡ 借用期間：平成30年12月1日から令和30年11月30日まで				
	校 舎 敷 地	68,039.60 ㎡	78,529.75 ㎡	0 ㎡	146,569.35 ㎡					
	運 動 場 用 地	0 ㎡	90,463.09 ㎡	0 ㎡	90,463.09 ㎡					
	小 計	68,039.60 ㎡	168,992.84 ㎡	0 ㎡	237,032.44 ㎡					
	そ の 他	400.00 ㎡	10,640.27 ㎡	0 ㎡	11,040.27 ㎡					
	合 計	68,439.60 ㎡	179,633.11 ㎡	0 ㎡	248,072.71 ㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	武庫川女子大学短期大学部（必要面積7,450㎡）と共用（収容定員：1,040人※令和5年度収容定員変更後の定員）				
		71,942.11 ㎡ (71,942.11㎡)	119,664.40 ㎡ (119,664.40㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	191,606.51 ㎡ (191,606.51㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	158 室	205 室	461 室	8 室 (補助職員 1人)	4 室 (補助職員 2人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数						
		大学全体		368 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	大学全体	700,104 [163,545] (700,104 [163,545] )	9,552 [1,956] (9,552 [1,956] )	8,832 [7,281] (8,832 [7,281] )	11,241 (11,241)	10,590 (10,590)	37 (37)			
	計	700,104 [163,545] (700,104 [163,545] )	9,552 [1,956] (9,552 [1,956] )	8,832 [7,281] (8,832 [7,281] )	11,241 (11,241)	10,590 (10,590)	37 (37)			
図書館	面積		閲覧席数		収 納 可 能 冊 数					
	12,450.21 ㎡		1,740		868,000					
体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要							
	17,308.50 ㎡		総合スタジアム陸上トラック、ソフトボールグラウンド、テニスコート							
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体  図書費には、電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
		教員1人当り研究費等		364千円	364千円	364千円	364千円	— 千円	— 千円	
		共同研究費等		91,000千円	91,000千円	91,000千円	91,000千円	— 千円	— 千円	
		図書購入費	54,000千円	54,000千円	54,000千円	54,000千円	54,000千円	— 千円	— 千円	
		設備購入費	330,000千円	330,000千円	330,000千円	330,000千円	330,000千円	— 千円	— 千円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
文学部 日本語日本文学科		1,095千円	1,135千円	1,135千円	1,135千円	— 千円	— 千円			
文学部 英語グローバル学科		1,095千円	1,175千円	1,175千円	1,175千円	— 千円	— 千円			
心理・社会福祉学部		1,225千円	1,265千円	1,265千円	1,265千円	— 千円	— 千円			
教育学部		1,225千円	1,275千円	1,275千円	1,275千円	— 千円	— 千円			
健康・スポーツ科学部		1,251千円	1,331千円	1,305千円	1,305千円	— 千円	— 千円			

経費の見積り及び維持方法の概要	学生1人当り納付金	生活環境学部	1,245千円	1,285千円	1,285千円	1,285千円	—千円	—千円
		社会情報学部	1,170千円	1,310千円	1,310千円	1,310千円	—千円	—千円
		食物栄養科学部	1,295千円	1,435千円	1,435千円	1,435千円	—千円	—千円
		建築学部	1,500千円	1,640千円	1,640千円	1,640千円	—千円	—千円
		音楽学部 演奏学科	1,700千円	1,770千円	1,770千円	1,770千円	—千円	—千円
		音楽学部 応用音楽学科	1,720千円	1,770千円	1,770千円	1,770千円	—千円	—千円
		薬学部 薬学科	1,864千円	2,022千円	2,022千円	2,022千円	2,022千円	2,022千円
		薬学部 健康生命薬科学科	1,500千円	1,700千円	1,700千円	1,700千円	—千円	—千円
		看護学部	1,675千円	1,695千円	1,695千円	1,695千円	—千円	—千円
		経営学部	1,000千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	—千円	—千円
		学生納付金以外の維持方法の概要				私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等		
大学の名称		武庫川女子大学大学院						
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
文学研究科								
日本語日本文学専攻 (修士課程)	2	12	—	24	修士 (文学)	0.37	昭和46年度	兵庫県西宮市池開 町6番46号
日本語日本文学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (文学)	0.22	平成3年度	同上
英語英米文学専攻 (修士課程)	2	12	—	24	修士 (文学)	0.08	昭和46年度	同上
英語英米文学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (文学)	0.44	平成12年度	同上
教育学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士 (教育学)	0.24	平成17年度	同上
臨床心理学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (臨床心理学)	0.57	平成11年度	同上
臨床教育学研究科								
臨床教育学専攻 (修士課程)	2	16	—	32	修士 (臨床教育学)	0.77	平成6年度	同上
臨床教育学専攻 (博士後期課程)	3	6	—	18	博士 (臨床教育学)	0.38	平成9年度	同上
健康・スポーツ科学研究科								
健康・スポーツ科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (健康科学) 又は(スポーツ科学)	0.22	平成23年度	同上
生活環境学研究科								
食物栄養学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (食物栄養学)	—	昭和41年度	同上
食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (食物栄養学)	—	平成2年度	同上
生活環境学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士 (生活環境学) 又は(情報科学)	0.08	平成12年度	同上
生活環境学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (生活環境学) 又は(情報科学)	0.16	平成12年度	同上
既設大学等の状況	※令和4年度より学生募集停止							
	※令和4年度より学生募集停止							

既設大学等の状況	食物栄養科学研究科														
	食物栄養学専攻 (修士課程)	2	8	—	8	修士 (食物栄養学)	—	令和4年度	兵庫県西宮市池開町6番46号						
	食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士 (食物栄養学)	—	令和4年度	同上						
	食創造科学専攻 (修士課程)	2	4	—	4	修士 (食創造科学)	—	令和4年度	同上						
	食創造科学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士 (食創造科学)	—	令和4年度	同上						
	建築学研究科														
	建築学専攻 (修士課程)	2	22	—	44	修士 (建築学)	0.99	令和2年度	兵庫県西宮市戸崎町1番13号						
	建築学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (建築学)	0.25	令和2年度	同上						
	景観建築学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士 (景観建築学)	2.33	令和2年度	同上						
	景観建築学専攻 (博士後期課程)	3	1	—	3	博士 (景観建築学)	0	令和2年度	同上						
	薬学研究科														
	薬学専攻 (博士課程)	4	2	—	8	博士 (薬学)又は (臨床薬学)	0.12	平成24年度	兵庫県西宮市甲子園九番町11番68号						
	薬科学専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (薬科学)	0.24	平成22年度	同上						
	薬科学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (薬科学)又は (応用薬科学)	1.16	平成24年度	同上						
	看護学研究科														
	看護学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (看護学)	0.84	平成27年度	兵庫県西宮市池開町6番46号						
	看護学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	13	博士 (看護学)	2.04	平成29年度	同上		※令和3年度入 学定員増(2人)				
	大 学 の 名 称 武庫川女子大学														
		学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地					
			年	人	年次 人	人		倍							
	文学部						0.97								
	日本語日文学科	4	150	3年次25	650	学士 (日本語日文学)	0.97	昭和33年度	兵庫県西宮市池開町6番46号						
	英語文化学科	4	200	3年次25	850	学士 (英語文化学)	0.96	昭和33年度	同上						
	教育学科	4	—	—	—	学士 (教育学)	—	昭和38年度	同上					※令和元年度より 学生募集停止	
	心理・社会福祉学科	4	160	3年次17	674	学士 (心理学)又は (社会福祉学)	0.98	平成12年度	同上						
	教育学部						0.94								
	教育学科	4	240	3年次25	1,010	学士 (教育学)	0.94	令和元年度	同上						
	健康・スポーツ科学部						0.99								
	健康・スポーツ科学科	4	180	3年次20	760	学士 (健康・スポーツ科学)	0.99	平成23年度	同上						
	生活環境学部						0.98								
	生活環境学科	4	165	3年次20	700	学士 (生活環境学)	1.00	平成6年度	同上						
	食物栄養学科	4	—	—	—	学士 (食物栄養学)	—	平成6年度	同上					※令和2年度より 学生募集停止	

既設大学の状況	情報メディア学科	4	150	—	600	学士 (情報メディア学)	0.99	平成6年度	兵庫県西宮市池開町6番46号	※令和2年度より学生募集停止
	建築学科	4	—	—	—	学士 (建築学)	—	平成18年度	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	
	食物栄養科学部						0.85			
	食物栄養学科	4	200	3年次10	610	学士 (食物栄養学)	0.89	令和2年度	兵庫県西宮市池開町6番46号	
	食創造科学科	4	80	3年次5	245	学士 (食創造科学)	0.77	令和2年度	同上	
	建築学部						1.06			
	建築学科	4	45	—	135	学士 (建築学)	1.17	令和2年度	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	
	景観建築学科	4	40	—	120	学士 (景観建築学)	0.93	令和2年度	同上	
	音楽学部						0.82			
	演奏学科	4	30	—	120	学士 (音楽)	0.63	平成21年度	兵庫県西宮市池開町6番46号	
	応用音楽学科	4	20	—	80	学士 (応用音楽)	1.10	平成21年度	同上	
	薬学部(6年制)						0.89			
	薬学科	6	210	—	1,260	学士 (薬学)	0.89	平成18年度	兵庫県西宮市甲子園九番町11番68号	
	薬学部(4年制)						0.83			
	健康生命薬科学科	4	40	—	160	学士 (薬科学)	0.83	平成18年度	同上	
	看護学部						1.00			
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.00	平成27年度	兵庫県西宮市池開町6番46号		
経営学部						1.07				
経営学科	4	200	—	600	学士 (経営学)	1.07	令和2年度	同上		
大学の名称 武庫川女子大学短期大学部										
学部等の名称										
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
日本語文化学科	2	100	—	200	短期大学士 (日本語文化学)	0.84	昭和26年度	兵庫県西宮市池開町6番46号		
英語キャリア・コミュニケーション学科	2	100	—	200	短期大学士 (英語コミュニケーション学)	0.67	昭和25年度	同上		
幼児教育学科	2	150	—	300	短期大学士 (幼児教育学)	0.56	昭和26年度	同上		
心理・人間関係学科	2	100	—	200	短期大学士 (心理・人間関係学)	0.75	昭和62年度	同上		
健康・スポーツ学科	2	80	—	160	短期大学士 (健康・スポーツ学)	0.59	昭和30年度	同上		
食生活学科	2	80	—	160	短期大学士 (食生活学)	0.62	昭和26年度	同上		
生活造形学科	2	90	—	180	短期大学士 (生活造形学)	0.85	昭和25年度	同上		
附属施設の概要		名称 : 武庫川女子大学薬用植物園 所在地 : 兵庫県西宮市甲子園九番町11番68号 設置年月 : 昭和37年4月(現施設は、昭和62年11月) 規模等 : 温室・寒地性植物栽培室 162.68㎡ 薬草園 400.00㎡								

学校法人武庫川学院 設置認可等に関わる組織の移行表

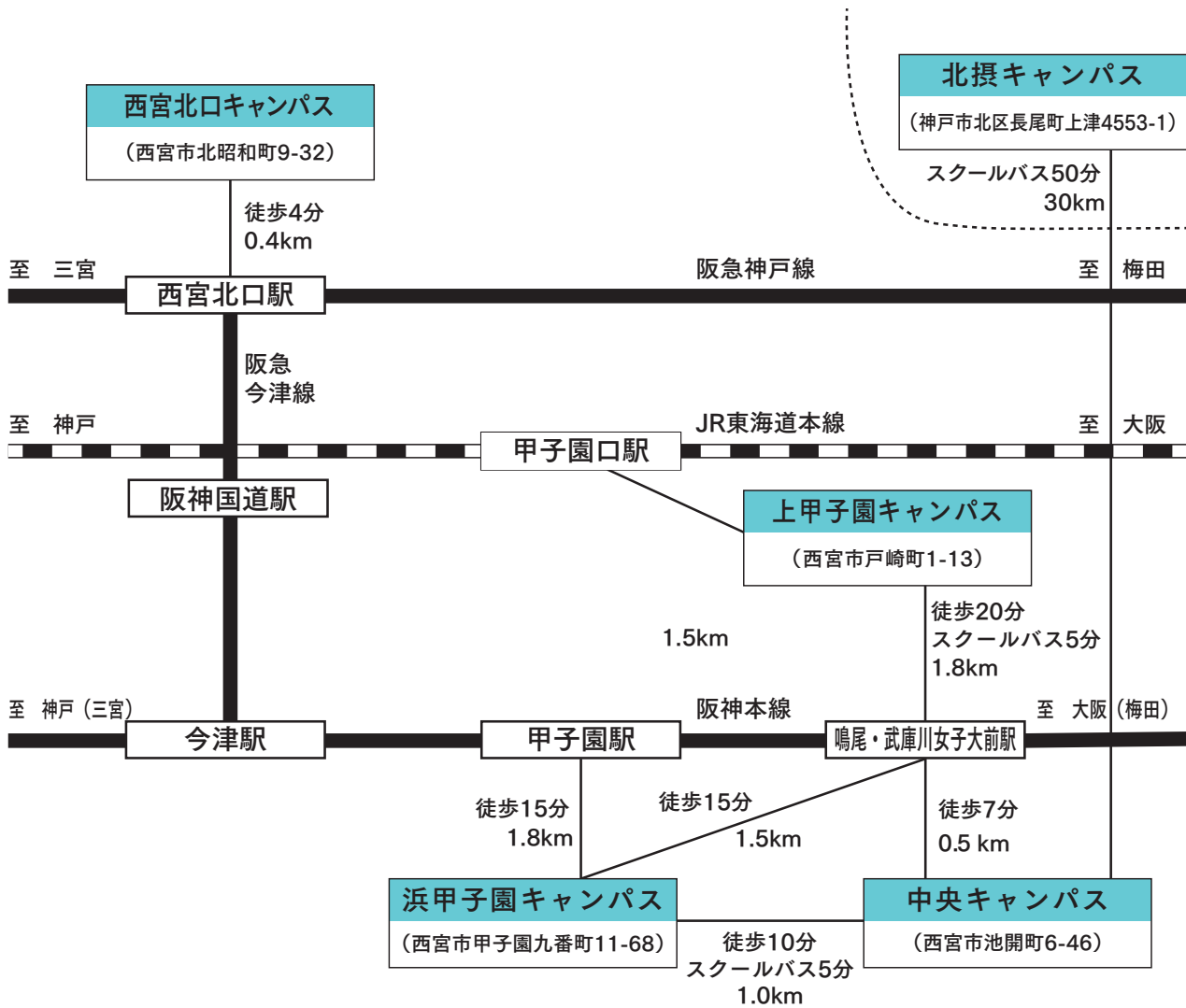
令和4年度				令和5年度				変更の事由
入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	収容定員		
<b>武庫川女子大学</b>				<b>武庫川女子大学</b>				名称変更(予定) 令和5年4月学生募集停止 3年次編入学定員は令和7年4月学生募集停止  学部の設置(届出)   学部の設置(届出)   学部の設置(届出)  令和5年4月学生募集停止 学部の設置(届出)
文学部				文学部				
日本語日本文学科	150	3年次 25	650	日本語日本文学科	150	3年次 25	650	
英語文化学科	200	3年次 25	850	<u>英語グローバル学科</u>	200	3年次 25	850	
心理・社会福祉学科	160	3年次 17	674	0	—	0		
教育学部				教育学部				
教育学科	240	3年次 25	1,010	教育学科	240	3年次 25	1,010	
健康・スポーツ科学部				健康・スポーツ科学部				
健康・スポーツ科学科	180	3年次 20	760	健康・スポーツ科学科	180	3年次 20	760	
生活環境学部				生活環境学部				
生活環境学科	165	3年次 20	700	生活環境学科	165	3年次 20	700	
情報メディア学科	150	—	600	0	—	0		
食物栄養科学部				食物栄養科学部				
食物栄養学科	200	3年次 10	820	食物栄養学科	200	3年次 10	820	
食創造科学科	80	3年次 5	330	食創造科学科	80	3年次 5	330	
建築学部				建築学部				
建築学科	45	—	180	建築学科	45	—	180	
景観建築学科	40	—	160	景観建築学科	40	—	160	
音楽学部				音楽学部				
演奏学科	30	—	120	演奏学科	30	—	120	
応用音楽学科	20	—	80	応用音楽学科	20	—	80	
薬学部				薬学部				
薬学科(6年制)	210	—	1,260	薬学科(6年制)	210	—	1,260	
健康生命薬科学科	40	—	160	健康生命薬科学科	40	—	160	
看護学部				看護学部				
看護学科	80	—	320	看護学科	80	—	320	
経営学部				経営学部				
経営学科	200	—	800	経営学科	200	—	800	
計	2,190	147	9,474	計	<u>2,380</u>	<u>3年次 130</u>	<u>10,200</u>	
<b>武庫川女子大学大学院</b>				<b>武庫川女子大学大学院</b>				
文学研究科				文学研究科				
日本語日本文学専攻(M)	12	—	24	日本語日本文学専攻(M)	12	—	24	
日本語日本文学専攻(D)	3	—	9	日本語日本文学専攻(D)	3	—	9	
英語英米文学専攻(M)	12	—	24	英語英米文学専攻(M)	12	—	24	
英語英米文学専攻(D)	3	—	9	英語英米文学専攻(D)	3	—	9	
教育学専攻(M)	6	—	12	教育学専攻(M)	6	—	12	
臨床心理学専攻(M)	20	—	40	臨床心理学専攻(M)	20	—	40	
臨床教育学研究科				臨床教育学研究科				
臨床教育学専攻(M)	16	—	32	臨床教育学専攻(M)	16	—	32	
臨床教育学専攻(D)	6	—	18	臨床教育学専攻(D)	6	—	18	
健康・スポーツ科学研究科				健康・スポーツ科学研究科				
健康・スポーツ科学専攻(M)	20	—	40	健康・スポーツ科学専攻(M)	20	—	40	
生活環境学研究科				生活環境学研究科				
生活環境学専攻(M)	6	—	12	生活環境学専攻(M)	6	—	12	
生活環境学専攻(D)	2	—	6	生活環境学専攻(D)	2	—	6	
食物栄養科学研究科				食物栄養科学研究科				
食物栄養学専攻(M)	8	—	16	食物栄養学専攻(M)	8	—	16	
食物栄養学専攻(D)	2	—	6	食物栄養学専攻(D)	2	—	6	
食創造科学専攻(M)	4	—	8	食創造科学専攻(M)	4	—	8	
食創造科学専攻(D)	2	—	6	食創造科学専攻(D)	2	—	6	
建築学研究科				建築学研究科				
建築学専攻(M)	22	—	44	建築学専攻(M)	22	—	44	
建築学専攻(D)	2	—	6	建築学専攻(D)	2	—	6	
景観建築学専攻(M)	6	—	12	景観建築学専攻(M)	6	—	12	
景観建築学専攻(D)	1	—	3	景観建築学専攻(D)	1	—	3	
薬学研究科				薬学研究科				
薬学専攻(4年制D)	2	—	8	薬学専攻(4年制D)	2	—	8	
薬科学専攻(M)	30	—	60	薬科学専攻(M)	30	—	60	
薬科学専攻(D)	2	—	6	薬科学専攻(D)	2	—	6	
看護学研究科				看護学研究科				
看護学専攻(M)	15	—	30	看護学専攻(M)	15	—	30	
看護学専攻(D)	5	—	15	看護学専攻(D)	5	—	15	
計	207	—	446	計	207	—	446	
<b>武庫川女子大学短期大学部</b>				<b>武庫川女子大学短期大学部</b>				
日本語文化学科	100	—	200	日本語文化学科	100	—	200	
英語キャリア・コミュニケーション学科	100	—	200	英語キャリア・コミュニケーション学科	100	—	200	
幼児教育学科	150	—	300	幼児教育学科	150	—	300	
心理・人間関係学科	100	—	200	0	—	0		
健康・スポーツ学科	80	—	160	0	—	0		
食生活学科	80	—	160	食生活学科	80	—	160	
生活造形学科	90	—	180	生活造形学科	90	—	180	
計	700	—	1,400	計	<u>520</u>	—	<u>1,040</u>	

# (1) 都道府県（兵庫県）内における位置関係の図面



## (2) 最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面 武庫川女子大学キャンパス関係図

(注：本図は、校地面積不算入施設用地を除く。)



### (3) 校舎、運動場等の配置図

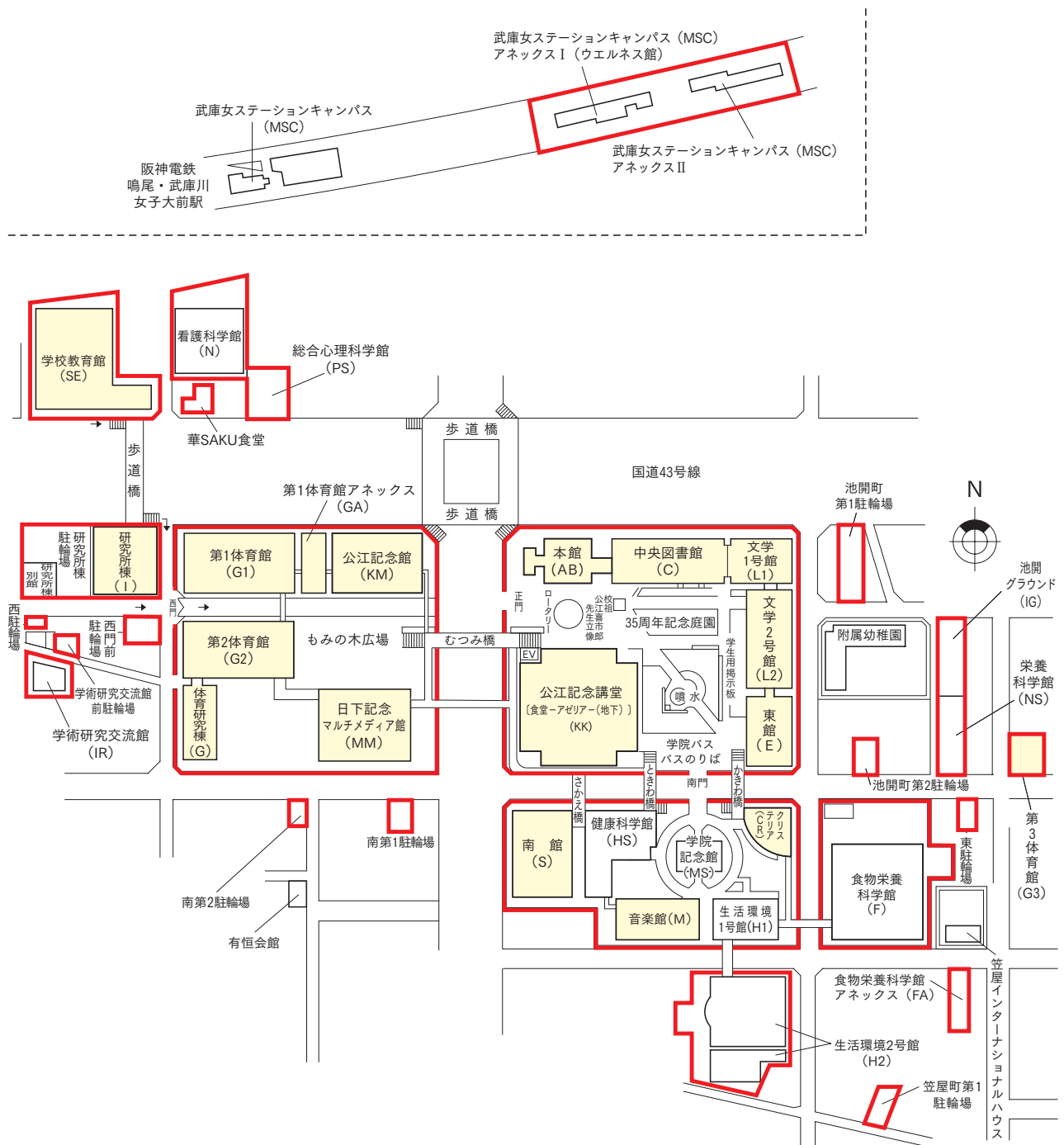
## 中央キャンパス

(西宮市池開町他)

	校地面積	校舎面積
専用	2,316.11m <sup>2</sup>	20,490.22m <sup>2</sup>
共用*	113,987.05m <sup>2</sup>	109,280.38m <sup>2</sup>
	(うち借用1,129.19m <sup>2</sup> )	
合計	116,303.16m <sup>2</sup>	129,770.60m <sup>2</sup>

※武庫川女子大学短期大学部との共用

- 校地面積算入部分
- 他学部等と共用する校舎





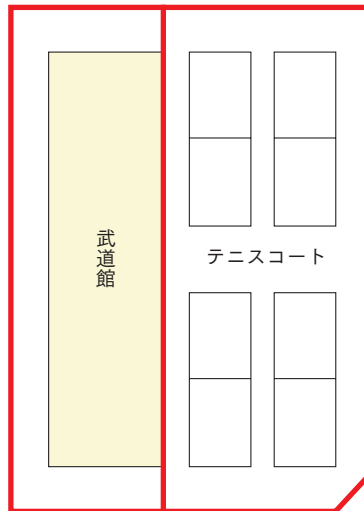


# (中央キャンパス) 上田テニスコート

(西宮市上田西町)

大学・短大共用

 校地面積算入部分  
 他学部等と共用する校舎

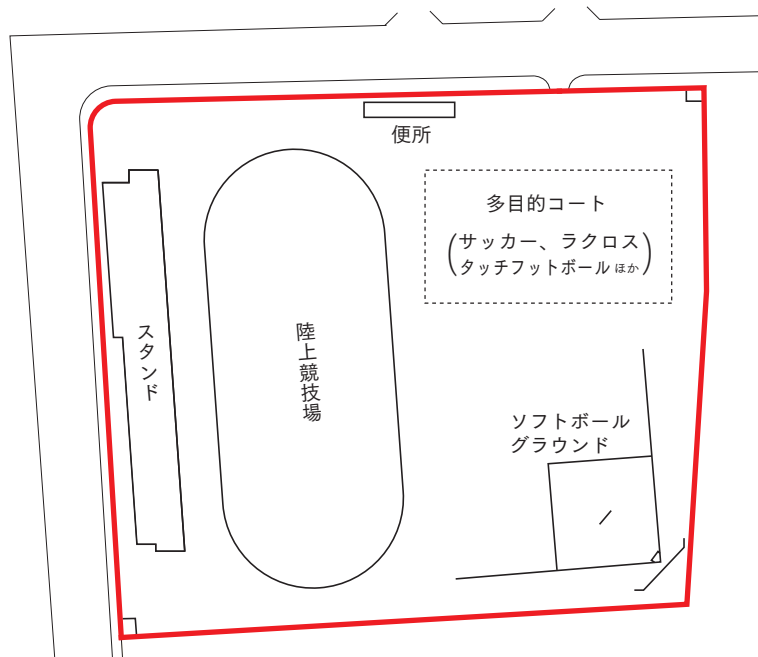


〈中央キャンパスから徒歩5分〉

# (中央キャンパス) 総合スタジアム

(西宮市鳴尾浜)

大学・短大共用



〈中央キャンパスからスクールバス10分〉

# 浜甲子園キャンパス

(西宮市甲子園九番町、枝川町)

	校地面積	校舎面積
専用	30,108.75m <sup>2</sup>	34,063.30m <sup>2</sup>
共用 <sup>※</sup>	11,130.02m <sup>2</sup>	730.59m <sup>2</sup>
合計	41,238.77m <sup>2</sup>	34,793.89m <sup>2</sup>

※武庫川女子大学短期大学部と共用

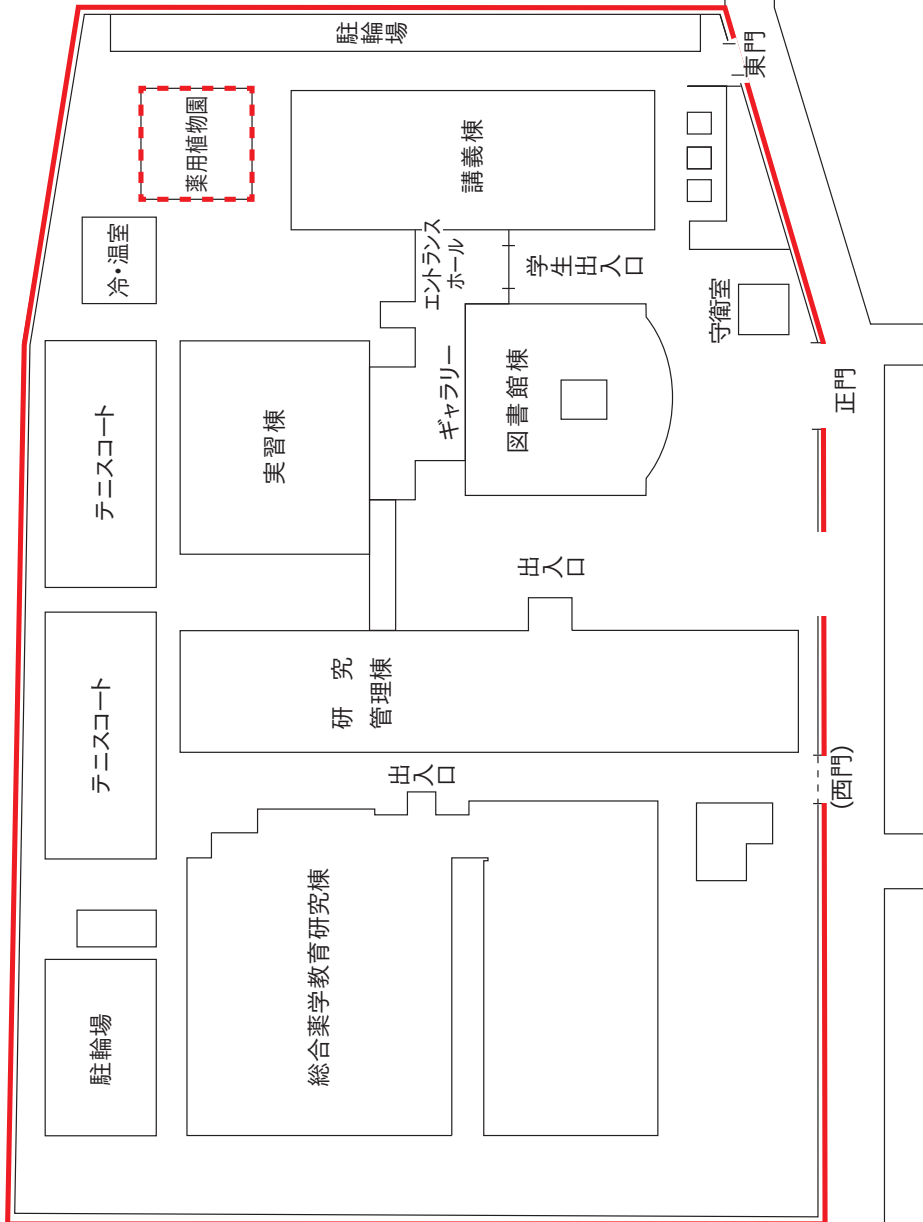


校地面積算入部分

薬学部別館

↑ (次頁参照)

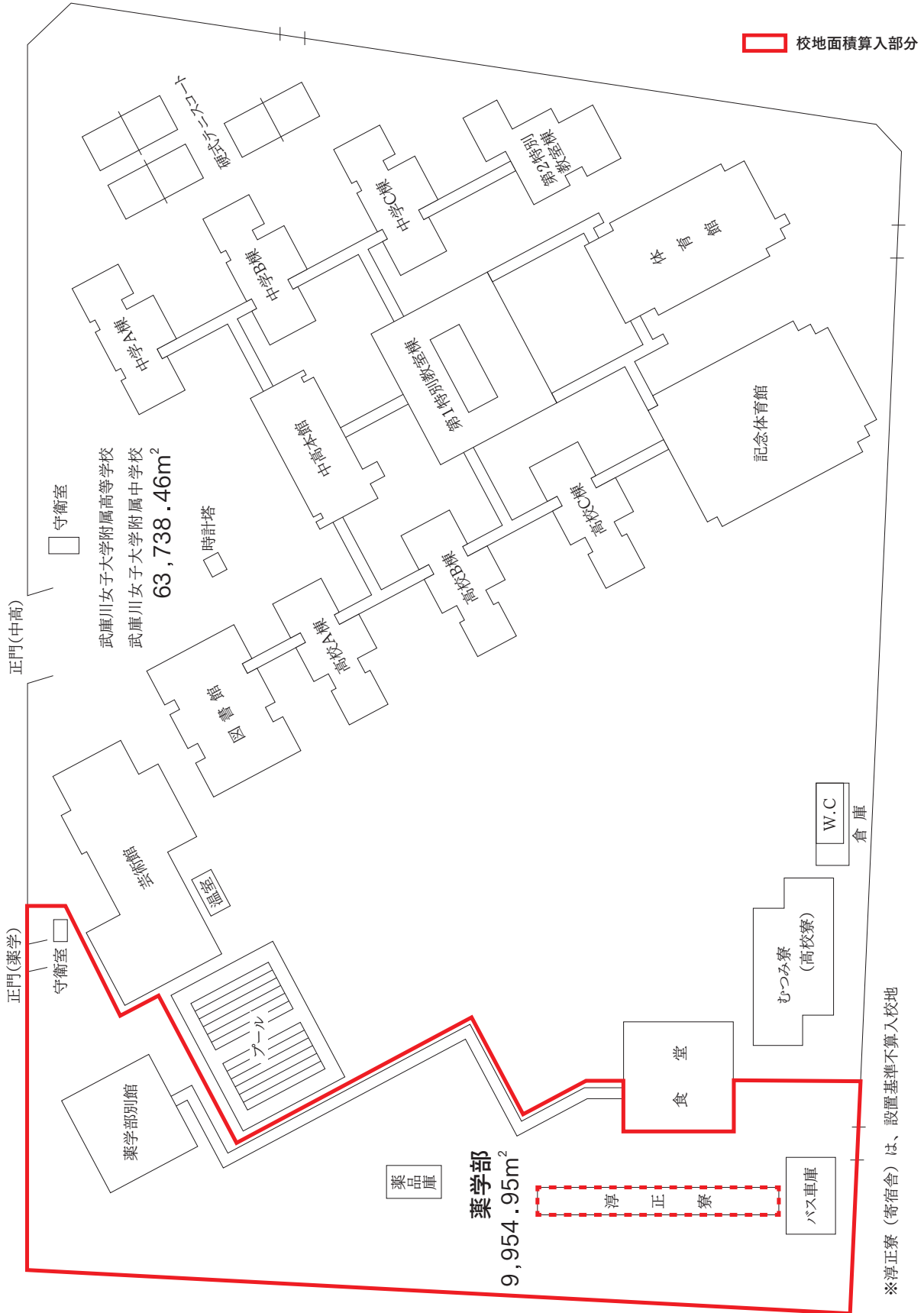
## 薬学部



※薬用植物園は、設置基準不算入校地

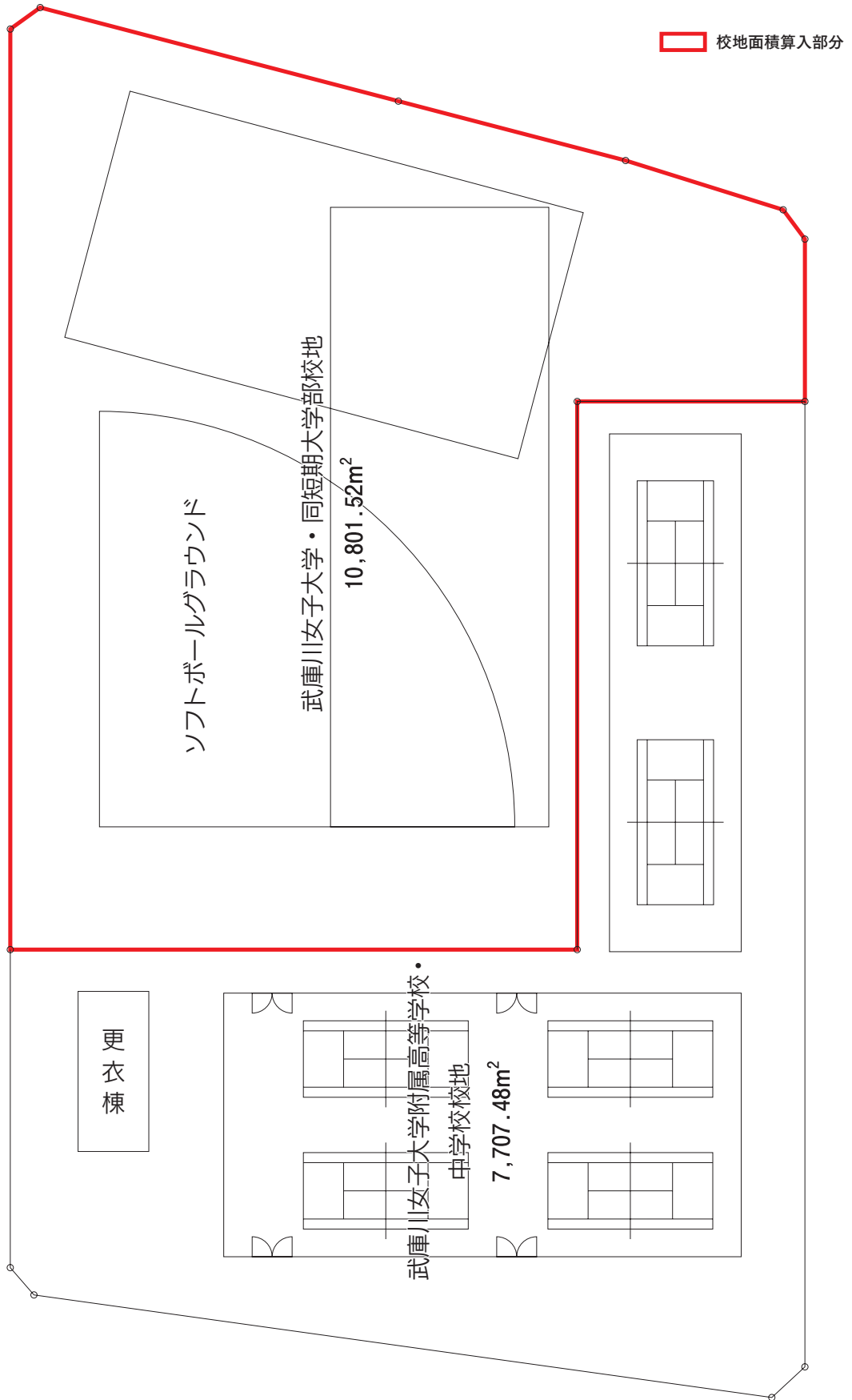
# (浜甲子園キャンパス)

(西宮市枝川町)



# (浜甲子園キャンパス) 浜甲子園グラウンド

(西宮市枝川町)



校地面積算入部分

# 上甲子園キャンパス

(西宮市戸崎町)

校地面積 校舎面積  
専用 35,614.74m<sup>2</sup> 17,388.59m<sup>2</sup>

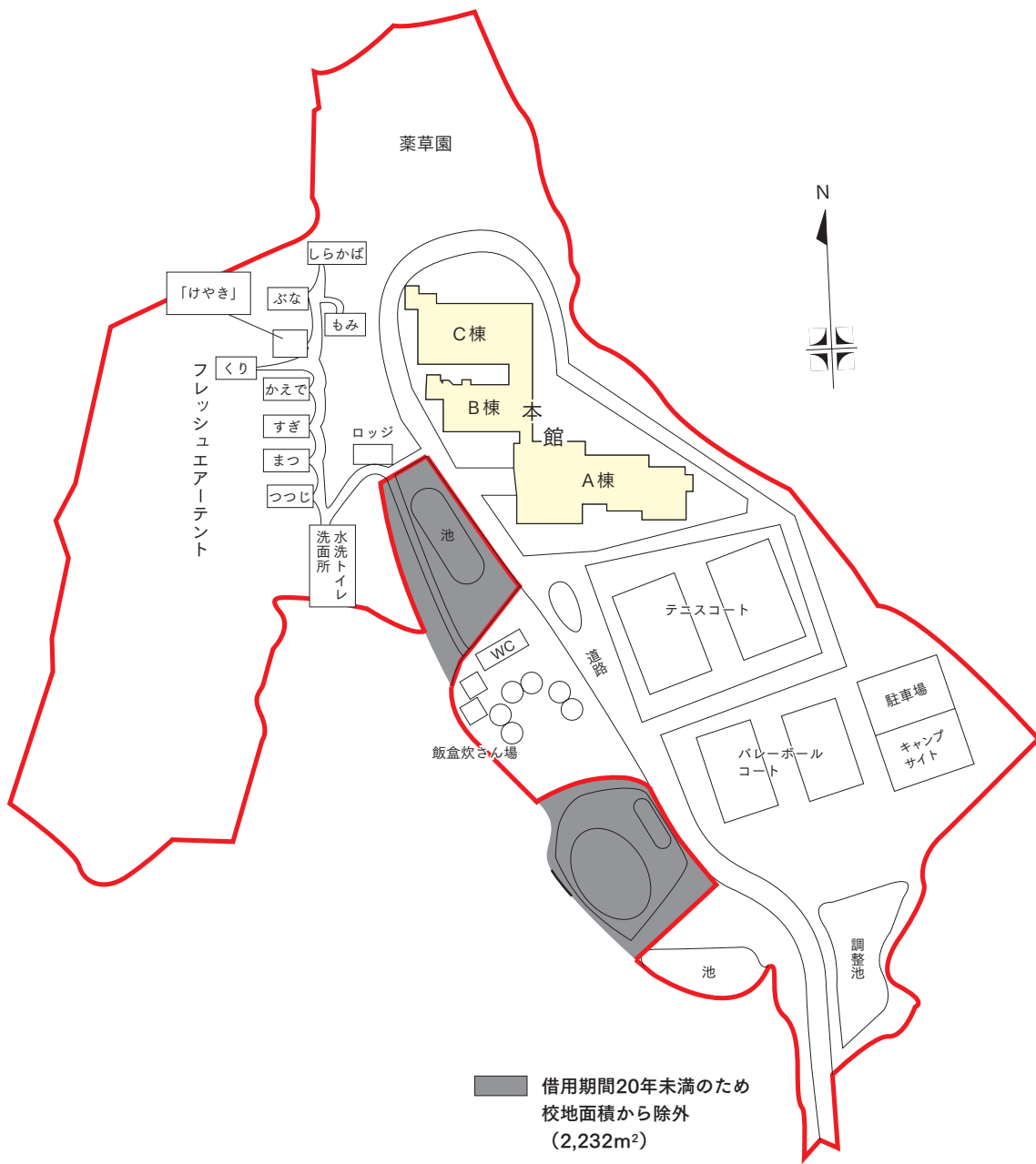


# 北摂キャンパス

(神戸市北区長尾町)

校地面積 校舎面積  
 共用\* 40,220.00m<sup>2</sup> 4,313.18m<sup>2</sup>  
 ※武庫川女子大学短期大学部と共用

校地面積算入部分  
 他学部等と共用する校舎

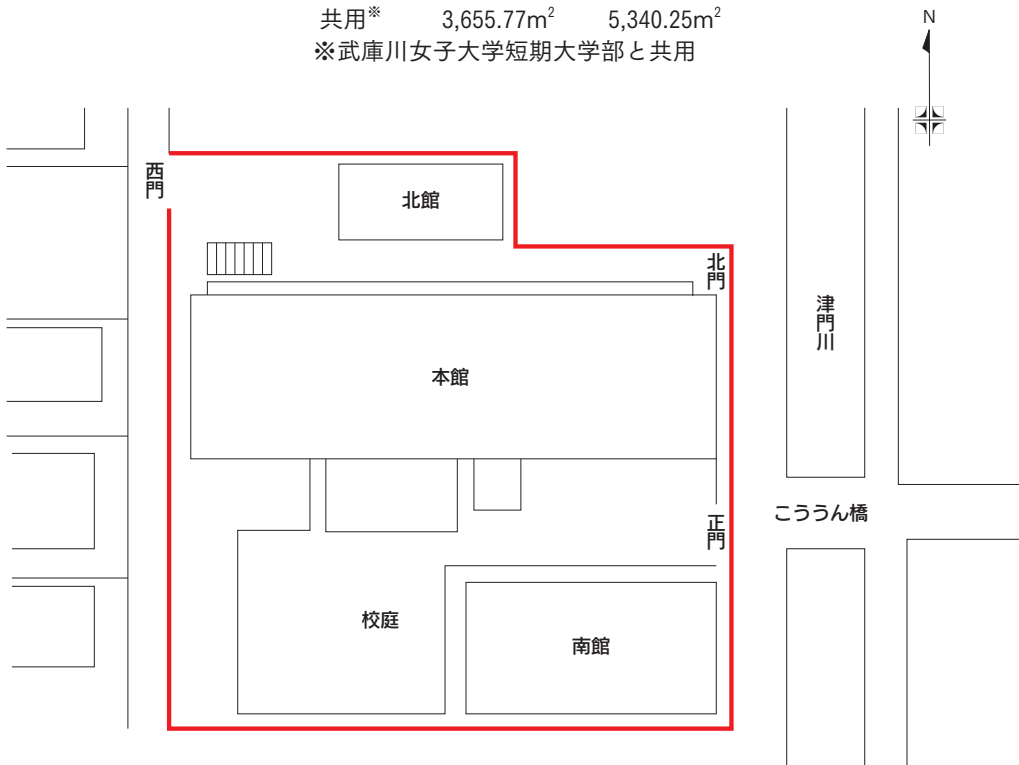


 校地面積算入部分

## 西宮北口キャンパス

(西宮市北昭和町)

校地面積 校舎面積  
共用\* 3,655.77m<sup>2</sup> 5,340.25m<sup>2</sup>  
\*武庫川女子大学短期大学部と共用



#### (4) 校舎平面図

記載省略



令和5年4月1日 改正

# 学 則 (案)

武庫川女子大学

## 第1章 総則

(目的)

第1条 本学は、武庫川学院立学の精神に基づき、女子に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、高い知性と善美な情操と高雅な徳性を兼ね具えた有為な日本女性を育成して、平和的世界文化の向上に貢献することを目的とする。

(名称)

第2条 本学は、武庫川女子大学と称する。

(所在地)

第3条 本学は、兵庫県西宮市池開町6番46号に設置する。

(自己点検及び評価)

第4条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、第1条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、教育研究の改善に努める。

2 前項の点検及び評価の実施に関して必要な事項は、別に定める。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第4条の2 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るため、本学における研修及び研究を組織的に実施するものとする。

2 前項の教育内容等の改善のための組織的な研修等の実施に関して必要な事項は、別に定める。

## 第2章 学部・学科・収容定員・目的及び修業年限

(学部・学科及び収容定員)

第5条 本学に置く学部・学科及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
文 学 部	日 本 語 日 本 文 学 科	150	3年次 25	650
	英 語 文 化 学 科	200	3年次 25	850
教 育 学 部	教 育 学 科	240	3年次 25	1,010
心 理 ・ 社会福祉学部	心 理 学 科	150	—	600
	社 会 福 祉 学 科	70	—	280
健康・スポーツ 科学部	健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学 科	180	3年次 20	760
	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト 学 科	100	—	400
生活環境学部	生 活 環 境 学 科	165	3年次 20	700
社会情報学部	社 会 情 報 学 科	180	—	720
食物栄養科学部	食 物 栄 養 学 科	200	3年次 10	820
	食 創 造 科 学 科	80	3年次 5	330
建 築 学 部	建 築 学 科	45	—	180
	景 観 建 築 学 科	40	—	160
音 楽 学 部	演 奏 学 科	30	—	120
	応 用 音 楽 学 科	20	—	80
薬 学 部	薬 学 科	210	—	1,260
	健 康 生 命 薬 科 学 科	40	—	160
看 護 学 部	看 護 学 科	80	—	320
経 営 学 部	経 営 学 科	200	—	800

(目的)

第5条の2 各学部・学科の目的は次のとおりとする。

2 文学部は、人間の本質と文化的所産を人文諸科学の観点と方法により探究し、探究の過程と成果に基づき、時代と社会の要請に応じうる有為な女性を育成することを目的とする。

(1) 日本語日本文学科は、日本語日本文学の教育研究を通じて、健全な社会の構築と発展に寄与することのできる、有為な女性を養成することを目的とする。

(2) 英語文化学科は、英語英米文化文学の教育研究を通して、言語や文化、文学を深く理解し、自文化のみならず異文化の優れた理解者として、実践的に英語を使って国際社会で活躍できる有為な女性を養成することを目的とする。

3 教育学部教育学科は、立学の精神と教育推進宣言に則り、平和で民主的な社会の形成者として、幅広い教養と豊かな人間性を備えるとともに、時代と社会の要請に応えつつ高度化していく教育・保育を担える有為な女性の育成を目的とする。

この目的を実現するために、教育学・保育学の優れた知見を広く学び、その応用と研究により学びを深めることを通じて、国内・国外の様々な教育・保育の場において必要とされる優れた実践的指導力、高い意欲及び創造性を養う。

4 心理・社会福祉学部は、幅広い教養と豊かな人間性を備えるとともに、来るべき人間中心社会の担い手として、「誰一人取り残さない (leave no one behind) 世界」の実現に向けて、社会が抱えるさまざまな課題の解決や新たな価値創造のために、心理学や社会福祉学の知識とスキルを積極的に活用して「持続可能な社会」の実現に向けて、自ら考え行動する力、他者と共に生きる社会の共同的な価値を創造する力、社会の多様性や異質性を理解し社会的な課題に立ち向かうことができる力を備えた人材の育成を目的とする。

(1) 心理学科は、自身の理想を探求・追求し、社会の一員としての自覚を持ち、人びとの幸福に貢献することを目指して、心理学の諸領域における専門的知識と方法論を習得するとともに、個人・社会的問題および学術的課題を主体的に発見し、その解決過程を他者と協働しながら実践的に学ぶことによって、課題発見力と実践力を身につけ、多様な課題に想像力と柔軟性をもって取り組むことができる人材を養成することを目的とする。

(2) 社会福祉学科は、一人ひとりの個性とその人らしく生きる権利を尊重し、支援を必要としている人たちと共に自らも、さらには地域や社会もエンパワメントしていけるよう、グローバルな社会の一員としてさまざまな領域で活躍することを目指し、人間中心社会の理念を理解し、持続可能な包摂的社会の実現に向け地域市民として、また福祉専門職として、他者と共に生きる社会における共同的な価値の創造を希求し、社会の多様性、異質性に謙虚に向き合い、社会的な課題の解決に向けて実践することができる人材を養成することを目的とする。

5 健康・スポーツ科学部は、幅広い専門知識並びに豊かな人間性と倫理観を養い、学校や企業、地域社会で活躍できる優れた健康・スポーツの実践者・指導者・管理者となる有為な女性を育成することを目的とする。

(1) 健康・スポーツ科学科は、科学的知識に裏づけられた体育・スポーツの研究とその実践を通

- して、心身の健康並びに体力の保持増進について指導者的役割を担う、幅広い分野の健康・スポーツに関わる指導者、保健体育に関わる教育者を養成することを目的とする。
- (2) スポーツマネジメント学科は、健康スポーツ科学の優れた知見と実践を広く学び、多角的な視点からスポーツマネジメントやビジネスに対する理解を深め、多様な社会的課題の解決やダイバーシティの推進に資するマネジメント力と創造性を有する女性を育成することを目的とする。
- 6 生活環境学部生活環境学科は、衣服、インテリア、住居、建築から、街・都市空間、地球環境までを連続した生活環境としてとらえ、さらにこれに関わる歴史や生活文化的視点も取り入れながら、理系と文系の考え方を融合させた幅広い視野に立って、新しい時代に対応できる人間性豊かな、専門性と創造的能力を持った有為な女性を育成することを目的とする。
- 7 社会情報学部社会情報学科は、情報化社会を超えるデータ駆動の新しい世界に向けて、社会科学と情報科学を両翼とし、これをデータサイエンスで結合する実践的教育研究体系によって、コンピュータネットワークがもたらす仮想空間においても、人間性をいかに発揮できる知恵と技術をそなえた人材を育成することを目的とする。
- 8 食物栄養科学部は、栄養士・管理栄養士の基礎資格の基礎から応用までの科目を修得させ、実践力と応用力を有する人材育成を実施する。さらに食物栄養学科では、あらゆる人々に対して食による予防・医療栄養を遂行できる指導力のある人材、また食創造科学科では国内外の食産業界で第六次産業をグローバルな発想力で企画運営できる人材の育成を目的とする。
- (1) 食物栄養学科は、食物栄養の分野にとどまらず、公衆衛生学、臨床医学、栄養学、栄養教育、臨床栄養学、公衆栄養学分野等の専門的な知識と技術を広く学び、その応用と研究により学びを深めることを通じて、管理栄養士として必要とされる実践的指導力、高い意欲と創造性を身につけることを目的とする。
- (2) 食創造科学科は、初年次よりキャリア意識を育みながら、栄養士関連科目を修得して専門性を高め3年次後期には全員に食産業企業へのインターンシップ参加を義務づける。在学中の就業体験を通じて、実践的な知識を深め、人間形成・キャリア形成を図り、次世代の食産業を牽引する女性人材の輩出を目的とする。
- 9 建築学部は、「真」「善」「美」の修得と同時に、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を培うことを目的とする。
- (1) 建築学科は、「真」「善」「美」の修得と同時に、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を、UNESCO-UIA 建築教育憲章に対応した世界基準の学びを通して培うことを目的とする。
- (2) 景観建築学科は、「真」「善」「美」の修得と同時に、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を、自然との共生や景観映像情報技術の幅広い学びを通して培うことを目的とする。
- 10 音楽学部は、理論と実践を通じて、音楽知識・技術及び東西文化の普遍的な美的価値観を追求

するとともに、音楽応用を探究し、文化・社会の発展に寄与する音楽家をはじめ、音楽の指導者、音楽応用の専門家を育成することを目的とする。

(1) 演奏学科は、音楽演奏を通して、豊かな人間性と幅広い教養、高い専門知識・技術を養い、演奏家、指導者として文化・社会の発展に寄与する有為な女性を養成することを目的とする。

(2) 応用音楽学科は、豊かな人間性と幅広い教養、音楽専門知識・技術に基づく音楽の応用によって、地域・社会の活性化及び人間の心身の健康の維持・安定に貢献できる有為な女性を養成することを目的とする。

11 薬学部は、幅広い教養と人間性豊かな専門知識を基盤として、医療と薬並びに健康に関する多様な分野で、医療人としての薬剤師をはじめ、薬の創製・管理、衛生薬学、薬事行政などの諸活動を通して、薬学に課せられた社会的使命を遂行し得る有為な女性を養成することを目的とする。

(1) 薬学科は、薬剤師として高度な臨床能力と実践力を有し、医療人としての使命感を持ち、病院・薬局などの医療機関をはじめ、薬の専門家としてあらゆる場面で活躍できる有為な女性を養成することを目的とする。

(2) 健康生命薬科学科は、健康科学、生命科学を重視した薬科学教育によって、研究機関、医薬品関連業界、環境衛生行政など、薬と健康に関連した多彩な分野で社会に貢献できる有為な女性を養成することを目的とする。

12 看護学部看護学科は、豊かな人間性に裏づけられた感性を生かし、様々な健康レベルの人々（患者）を生活者としてとらえ、豊かな人間性と高い倫理観、科学的根拠に裏づけられた行動力をもって、心身両面にわたってトータルケアのできる未来志向の看護実践者を育成することを目的とする。

13 経営学部経営学科は、本学院が掲げる立学の精神、教育目標、教育推進宣言に則り、平和で民主的な社会の形成者として、幅広い教養とグローバル化する社会への理解を有し、地域社会で生きる人々を尊重し、相互に助け合うことができる豊かな人間性を備えるとともに、経営全般に関する専門的知識と実践力を有し、どのような時代にあっても、世界のどこにいても、何歳であっても、たとえ逆境にいたとしても、自らの暮らしをその環境にあわせて構築し、そのために必要となる知識や技能を獲得し、協力してくれる人との良好な関係を築ける能力と意欲を持ち続け、国内外のビジネス社会で活躍できる人材を養成することで、“しなやかな女性キャリア”の実現に貢献することを目的とする。

(大学院及び専攻科)

第6条 本学に大学院及び専攻科を置く。

2 大学院の学則並びに専攻科に関する必要な事項は、別に定める。

(修業年限及び在学年限)

第7条 本学の修業年限は4年とする。ただし、薬学部薬学科については6年とする。

2 第16条の規定により編入学した者、再入学及び転入学した者の修業年限の取扱いについては、別に定める。

3 在学年限は、修業年限の2倍を超えることができない。

4 本条第3項のほか、薬学部薬学科においては、同一学年に在学することができる年数は2年を限度とする。

### 第3章 学年・学期及び休業日

(学年)

第8条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第9条 学年を次の3学期に分ける。

前学期 4月1日より8月31日まで

後学期 9月1日より1月31日まで

特別学期 2月1日より3月31日まで

(休業日)

第10条 休業日は次のとおりとする。

- (1) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (2) 創立記念日 2月25日
- (3) 日曜日
- (4) 夏季休業 8月5日より9月14日まで
- (5) 冬季休業 12月25日より翌年1月7日まで
- (6) 春季休業 3月20日より4月2日まで

2 学長は、必要がある場合、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 学長は、第1項に規定するもののほか、臨時の休業日を定めることができる。

### 第4章 入学・編入学・再入学・留学・転学部・転学科・退学・休学・復学及び除籍

(入学の時期)

第11条 入学期日は学年の始めとする。ただし、後学期の始めに入学させることができる。

(入学資格)

第12条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 大学入学資格検定規程により、文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
- (5) 高等学校卒業程度認定試験規則により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (6) 文部科学大臣が高等学校若しくは中等教育学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者



(7) 文部科学大臣の指定した者

(8) 大学において、相当の年齢に達し高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(入学の出願)

第13条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて提出しなければならない。提出の時期、方法、提出すべき書類等については別に定める。

(入学者の選抜)

第14条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選抜を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第15条 前条の選抜の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、所定の入学金を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

3 入学を許可された者は、所定の期日までに、入学誓書兼同意書・保証書・その他本学所定の書類を提出しなければならない。

4 前項の保証書の保証人は、独立の生計を営む満25歳以上の者で、確実に保証人の責務を履行し得るものでなければならない。若し、本学において不相当と認められたときは、保証人の変更を命ずることがある。

5 保証人が死亡又はその他の理由で、その責をつくし得ないときは、新たに保証人を選定して、直ちに届け出なければならない。

6 保証人が転居した場合は、直ちにその旨を届け出なければならない。

(編入学)

第16条 本学に、編入学を志願する者があるときは、編入学定員を定める学科等のほかは、欠員のある場合に限り、選抜の上、入学を許可することがある。

2 編入学の入学資格は、次の各号の一に該当するものとする。

(1) 短期大学を卒業した者

(2) 大学に2年以上在学し、本学が定める所定の単位を修得した者

(3) 高等専門学校を卒業した者

(4) 学校教育法第132条の規定により、大学に編入学することができる者

3 第1項の規定により、入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

4 編入学について必要な事項は、別に定める。

(再入学)

第16条の2 本学に、再入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

2 前項の規定により、入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

3 再入学について必要な事項は、別に定める。

(留学)

第16条の3 本学と交換留学協定又は派遣留学に関する協定を締結している外国の大学に留学を志願する者があるときは、選考の上、留学を許可する。

2 前項により留学した期間は、第7条に規定する修業年限及び在学年限に算入する。

3 留学に関する規定は、別に定める。

(転学部・転学科)

第17条 本学学生が、同一学部属する他の学科へ転学科を志願したときは、欠員のある場合に限り、選考の上、これを許可することがある。

2 本学学生が、他学部属する学科へ転学部を志願したときは、欠員のある場合に限り、選考の上、これを許可することがある。

3 転学部又は転学科した者の在学年数には、転学部又は転学科前の在学年数の全部又は一部を通算することができる。

(他大学等からの転学)

第18条 他大学等の学生が、正当な理由により、本学に転学を志願したときは、欠員のある場合に限り、選考の上、これを許可することがある。

2 前項の転学生については、第16条第3項の規定を準用する。

(他大学等への転学)

第19条 他大学等に転学を志望する者があるときは、やむを得ない事情のある場合にのみ許可することがある。

(退学)

第20条 退学しようとする者は、所定の用紙にその理由を記入し、保証人連署の上、願い出て、許可を受けなければならない。

2 第7条第4項の規定に基づき、在学することができない者は退学とする。

(休学)

第21条 疾病その他やむを得ない事情により、2か月以上修学することのできない者は、所定の用紙にその理由を記入し、保証人連署の上、願い出て、許可を受けなければならない。ただし、疾病の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

2 疾病のため、修学することが適当でないと認められる者については、休学を命ずることがある。

(休学の期間)

第22条 休学の期間は、1年を超えることができない。ただし、特別の理由がある場合は、引き続き更に1年まで延長することができる。

2 休学の期間は、通算して2年を超えることができない。

3 休学の期間は、第7条第3項及び第4項の在学年限に算入しない。

(復学)

第23条 休学期間中に、その理由が消滅した場合は、所定の用紙にその理由を記入し、保証人連署



の上、願い出て、復学することができる。ただし、疾病の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

(除籍)

第24条 次の各号の一に該当する者は除籍する。

- (1) 第7条第3項に規定する在学年限を超えた者
- (2) 第22条第2項に規定する休学の期間を超えて、なお修学できない者
- (3) 休学期間満了後正当な理由なくして、復学、休学の継続、退学のいずれかの願い出がない者
- (4) 学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (5) 長期間にわたり所在不明の者
- (6) 法に定める在留資格が得られない者
- (7) 死亡した者

第25条 入学・編入学・再入学・留学・転学部・転学科・退学・休学・復学及び除籍する者は、教授会の意見を聴いて、学長が定める。

## 第5章 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第26条 授業科目を分けて、共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目とする。

- 2 前項の授業科目のほか、本学独自の教育目標を達成するため、特別教育科目を置く。特別教育科目は、原則として特別学期に開講する。
- 3 共通教育科目の授業科目並びにその単位数は、別表第1のとおりとする。
- 4 基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数は、別表第2のとおりとする。
- 5 特別教育科目の授業科目並びにその授業時間数は、別表第3のとおりとする。

第27条 前条に規定するもののほか、教職、司書、司書教諭及び学芸員に関する専門教育科目を置く。

- 2 前項の各授業科目並びにその単位数は、別表第4から第7のとおりとする。

(教育職員免許状)

第27条の2 教育職員免許状授与の所要資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の単位を、別表第1、第2及び履修方法(別表第1、第2の備考)、並びに別表第4に従い修得しなければならない。

- 2 本学で開設する教育職員免許法施行規則第66条の6に定める「日本国憲法」、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「各教科の指導法」、「大学が独自に設定する科目」の授業科目並びにその単位数は、別表第4のとおりとする。ただし、教育学部教育学科においては別表第2のとおりとする。健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科における教育職員免許法施行規則第66条の6に定める「日本国憲法」は別表第4のとおり、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「各教科の指導法」、「大学が独自に設定する科目」は別表第2のとおりとする。
- 3 食物栄養科学部食物栄養学科の学生で栄養教諭一種免許状授与の所要資格を得ようとする者は、

第1項によるほか、栄養士法、同法施行規則及び管理栄養士学校指定規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

4 本学において当該所要資格を取得できる学部学科、教員免許状の種類及び免許教科又は領域を次のとおりとする。

学 部	学 科	免許状の種類	免許教科又は領域
文 学 部	日 本 語 日 本 文 学 科	中学校教諭一種免許状	国 語
		高等学校教諭一種免許状	国語・書道
	英 語 文 化 学 科	中学校教諭一種免許状	英 語
		高等学校教諭一種免許状	英 語
教 育 学 部	教 育 学 科	幼稚園教諭一種免許状	—
		小学校教諭一種免許状	—
		中学校教諭一種免許状	国語・英語
		特別支援学校教諭一種免許状	知的障害者 肢体不自由者 病弱者
健康・スポーツ 科 学 部	健康・スポーツ科学科	中学校教諭一種免許状	保 健 体 育
		高等学校教諭一種免許状	保 健 体 育
	スポーツマネジメント学科	中学校教諭一種免許状	保 健 体 育
		高等学校教諭一種免許状	保 健 体 育
生活環境学部	生 活 環 境 学 科	中学校教諭一種免許状	家 庭
		高等学校教諭一種免許状	家 庭
社会情報学部	社 会 情 報 学 科	高等学校教諭一種免許状	情 報
食物栄養科学部	食 物 栄 養 学 科	栄養教諭一種免許状	—
音 楽 学 部	演 奏 学 科	中学校教諭一種免許状	音 楽
	応 用 音 楽 学 科	高等学校教諭一種免許状	音 楽
薬 学 部	健 康 生 命 薬 科 学 科	中学校教諭一種免許状	理 科
		高等学校教諭一種免許状	理 科

(図書館司書、学校図書館司書教諭)

第27条の3 図書館司書課程履修可能な学科において図書館司書の資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、図書館法及び同法施行規則に定める単位を別表第5に従い修得しなければならない。

2 学校図書館司書教諭講習修了証書授与の資格要件取得可能な学科において学校図書館司書教諭講習修了証書授与の資格要件を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める小学校、中学校又は高等学校の教育職員免許状授与の所要資格を得るために必要な単位を修得するとともに、学校図書館司書教諭講習規程に定める単位を別表第6に従い修得しなければならない。

(博物館学芸員)

第27条の4 博物館学芸員課程履修可能な学科において博物館学芸員の資格を得ようとする者は、

第35条の規定によるほか、博物館法及び同法施行規則に定める単位を別表第7に従い修得しなければならない。

(保育士)

第27条の5 教育学部教育学科の学生で保育士証交付の資格要件を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、児童福祉法及び同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

- 2 教育学部教育学科の指定養成施設としての定員は100名である。
- 3 履修方法は別に定める。

(栄養士、管理栄養士)

第27条の6 食物栄養科学部食物栄養学科及び食創造科学科の学生で栄養士免許証交付の資格要件を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、栄養士法及び同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

- 2 食物栄養科学部食物栄養学科の学生で管理栄養士国家試験受験資格を得ようとする者は、前項の規定により栄養士免許証交付の資格要件を得るとともに、管理栄養士学校指定規則に定める所定の単位を修得しなければならない。
- 3 履修方法は別に定める。

(建築士)

第27条の7 生活環境学部生活環境学科及び建築学科、建築学部建築学科及び景観建築学科の学生で本学を卒業後2年以上の実務の経験を経て一級建築士国家試験受験資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、建築士法第14条第1号に基づき、国土交通大臣の指定する建築に関する科目の単位を修得しなければならない。

- 2 履修方法は別に定める。

(社会福祉士、精神保健福祉士)

第27条の8 心理・社会福祉学部社会福祉学科の学生で、社会福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、社会福祉士及び介護福祉士法並びに同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

- 2 心理・社会福祉学部社会福祉学科の学生で、精神保健福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、精神保健福祉士法に定める所定の単位を修得しなければならない。
- 3 心理・社会福祉学部社会福祉学科の定員は70名である。
- 4 心理・社会福祉学部社会福祉学科の、社会福祉士の指定養成施設としての定員は70名である。
- 5 心理・社会福祉学部社会福祉学科の、精神保健福祉士の指定養成施設としての定員は40名である。
- 6 履修方法は別に定める。

(看護師)

第27条の9 看護学部看護学科の学生で、看護師国家試験受験資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める所定の単位を修得しなければ

ならない。

## 2 履修方法は別に定める。

(単位の計算方法)

第28条 第26条第1項並びに第27条第1項に規定する各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、必要がある場合には、授業科目の内容に応じ、教育効果を考慮して、20時間又は30時間の授業をもって1単位とすることができる。
- (2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、必要がある場合には、授業科目の内容に応じ、授業時間外に必要な学修等を考慮して、15時間の授業をもって1単位とすることができる。
- (3) 実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。ただし、必要がある場合には、授業科目の内容及び授業の方法に応じ、教育効果を考慮して、30時間の授業をもって1単位とすることができる。音楽の個人指導による実技の授業については、特に授業時間外に必要な学修を考慮して、5時間又は10時間の授業をもって1単位とすることができる。なお、社会福祉士国家試験受験資格に係る「ソーシャルワーク実習Ⅰ、ソーシャルワーク実習Ⅱ」、精神保健福祉士国家試験受験資格に係る「ソーシャルワーク実習Ⅲ、ソーシャルワーク実習Ⅳ」、保育士資格に係る「保育実習、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲ」、及び公認心理師国家試験受験資格に係る「心理実習」として開設の授業科目のうち実習施設における授業時間数については、厚生労働省がそれぞれの指定基準に定める実習時間数に基づき、40時間又は45時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 1の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち2以上の方法により行なう場合については、その組み合わせに応じ、前3号に規定する基準により算定した時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

3 特別教育科目のうち、ボランティア活動及びインターンシップ活動による単位認定は30時間の活動をもって1単位とする。対象となる活動については、別に定める。

(多様なメディアを高度に利用した学修)

第28条の2 文部科学大臣が別に定めるところにより、前条に規定する講義、演習、実験、実習及び実技による授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

(1年間の授業期間)

第29条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(単位の授与)

第30条 特別教育科目を除く授業科目にあつては、その授業科目を履修し、その試験に合格した者には所定の単位を与える。ただし、第28条第2項の授業科目については、適切な方法により学修の成果を評価して所定の単位を与えることができる。

2 第28条第3項の基準に従って認定された者には所定の特別単位を与える。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第31条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学の協定した他の大学又は短期大学の授業科目を履修し修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が第16条の3の規定により外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第32条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 第1項に規定する学修に対する単位の認定等について必要な事項は、別に定める。

(入学前の既修得単位の認定)

第33条 本学の第1年次に入学した学生が、入学する前に大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。)において履修した授業科目について、修得した単位(科目等履修生により修得した単位を含む。)を、本学が教育上有益と認めるときは、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学の第1年次に入学した学生が、入学する前に行った前条第1項に規定する学修を本学が教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第31条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(成績の評価)

第34条 試験等成績の評価は、S、A、B、C、不合格、E、F、認をもって表わし、S、A、B、



C、認を合格とする。

2 この学則に定めるもののほか、成績の評価に関する必要な事項は、別に定める。

## 第6章 卒業及び学位の授与

(卒業の要件)

第35条 本学の卒業要件は、第7条に規定する修業年限以上在学し、別表第1、第2に掲げる授業科目の中から、同表に定める履修方法に従い、124単位以上を修得しなければならない。ただし、生活環境学部建築学科の学生は128単位以上を、薬学部薬学科の学生は190単位以上を、看護学部看護学科の学生は127単位以上を修得しなければならない。

2 前項に規定するもののほか、別表第4から第7に掲げる授業科目を履修し、単位を修得した場合、20単位を超えない範囲で、卒業に必要な単位数に含めることができる。

(卒業)

第36条 本学に第7条に規定する修業年限以上在学し、前条に規定する所定の単位数を修得した者については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

(学位の授与)

第37条 学長は、卒業を認定した者に対して、武庫川女子大学学位規程の定めるところにより、学士の学位を授与する。

第38条 削除

## 第7章 入学検定料・入学金・学費

(入学検定料等の金額)

第39条 本学の入学検定料・入学金及び学費は、別表第8のとおりとする。

(学費の納入期)

第40条 学費は次の2回に分けて納入しなければならない。

第1回 4月20日まで

第2回 10月11日まで

2 学長は、必要に応じて前項の期日を臨時に変更することができる。

(納入した入学検定料等)

第41条 納入した入学検定料及び入学金は、事情の如何にかかわらず返還しない。

2 納入した授業料・教育充実費及び学生研修費等の取扱いについては、別に定める。

(退学・停学・休学・復学の場合の学費)

第42条 退学・停学・休学・復学の場合の学費の納入方法については、別に定める。

2 休学中は、学費の納入は免除する。ただし、休学中は、休学在籍料を納入しなければならない。休学在籍料に関する必要な事項は、別に定める。

(留年・卒業延期の場合の学費)

第42条の2 留年・卒業延期の場合の学費に関する必要な事項は、別に定める。

## 第8章 教職員組織

### (教職員組織)

第43条 本学に学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手、副手、事務職員、技術職員、その他必要な職員を置く。

### (学長)

第44条 学長は本学の学務を掌理し、所属職員を統督する。

### (副学長)

第45条 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

2 学長に事故あるときは、その職務を代行する。

### (学部長)

第46条 本学に学部長を置く。

2 学部長は、当該学部の学務を掌理し、所属職員を統督する。

### (共通教育部長)

第46条の2 本学に共通教育部長を置く。

2 共通教育部長は、共通教育部の学務を掌理し、所属職員を統督する。

### (学科長)

第47条 本学に学科長を置く。

2 学科長は、当該学科の学務を掌理し、所属職員を統督する。

### (共通教育科長)

第47条の2 本学に共通教育科長を置く。

2 共通教育科長は、共通教育の学務を掌理し、所属職員を統督する。

### (幹事教授)

第48条 本学に幹事教授を置く。

2 幹事教授は、学科長を補佐する。

## 第9章 学部教授会、共通教育部教授会及び評議会

### (学部教授会)

第49条 本学に学部教授会（以下「教授会」という。）を置く。

### (共通教育部教授会)

第49条の2 本学に共通教育部教授会を置く。

### (教授会の構成)

第50条 教授会は、当該学部の専任教授をもって構成する。ただし、学部長が必要と認めたときは、当該学部の専任の准教授、講師及び助教を加えることができる。

2 教授会は、学部長が招集し、その議長となる。

### (共通教育部教授会の構成)

第50条の2 共通教育部教授会は、当該部の専任教授をもって構成する。ただし、共通教育部長が

必要と認めるときは、当該部の専任の准教授、講師及び助教を加えることができる。

2 共通教育部教授会は、共通教育部長が招集し、その議長となる。

(教授会の審議事項)

第51条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

(共通教育部教授会の審議事項)

第51条の2 共通教育部教授会は、学長が、共通教育に係る教育研究に関する重要な事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

2 共通教育部教授会は、学長及び共通教育部長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる共通教育に係る教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

(評議会)

第52条 本学に大学評議会（以下「評議会」という。）を置き、全学部を横断する事項について審議する。

(評議会の構成)

第53条 評議会は、開設する学部・学科を代表する者を含む学長の申請に基づき理事長が任命した次に掲げる評議員をもって構成する。

- (1) 学 長
- (2) 副 学 長
- (3) 各学部長
- (4) 共通教育部長
- (5) 各学科長
- (6) 教育研究所長
- (7) 附属図書館長
- (8) その他、学長が必要と認めたる者

2 評議会は、学長が招集し、その議長となる。

(評議会の審議事項)

第54条 評議会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学則に基づく規程の制定改廃に関する事項
- (2) 学務に関する全般的事項



- (3) 学生の入学及び卒業の基準に関する事項
  - (4) 教育課程の編成に関する全学的な方針の策定、検証、評価等に関する事項
  - (5) 教育、研究に関する全般的事項
  - (6) その他学長が評議会の意見を聴くことが必要と定める事項
- (その他)

第55条 本章に定めるもののほか、教授会、共通教育部教授会及び評議会に関し必要な事項は、別に定める。

## 第10章 科目等履修生・特別聴講生・研究生・研修員及び外国人留学生

(科目等履修生・特別聴講生)

第56条 本学において、特定の授業科目の履修を志望する者があるときは、本学の教育に支障がない限り、選考の上、科目等履修生として在籍を許可することがある。科目等履修生が受講した授業科目について試験を受け、これに合格した場合は、所定の単位を与える。

2 他の大学又は短期大学（外国の大学・短期大学を含む。）との協議に基づき、当該他の大学又は短期大学の学生が、本学の授業科目について履修を願い出たときは、選考の上、これを特別聴講生として履修を許可することができる。特別聴講生が受講した授業科目について試験を受け、これに合格した場合は、所定の単位を与える。

3 科目等履修生の履修料等は、別表第9のとおりとし、特別聴講生の聴講料等は、別に定める。

(研究生)

第57条 本学において、特に研究を志望する者があるときは、その願い出により、研究生として許可することがある。

2 研究生の研究料は、別表第10のとおりとする。

(研修員)

第58条 本学以外の機関に所属する者で、その所属機関の長の委託により、大学において特定事項について研修しようとするときは、願い出により、研修員として許可することがある。

2 研修員の研修料は、別に定める。

(外国人留学生)

第59条 外国人で、本学に入学を志願する者があるときは、選抜の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

(その他)

第60条 科目等履修生・特別聴講生・研究生・研修員及び外国人留学生の許可については、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

2 科目等履修生・特別聴講生・研究生及び外国人留学生の本学則の適用については、修学上必要な事項のほか第62条並びに第63条の規定を準用する。

3 この学則に定めるもののほか、科目等履修生・特別聴講生・研究生・研修員及び外国人留学生に関する必要な事項は、別に定める。

## 第61条 削除

### 第11章 賞罰

#### (表彰)

第62条 学生として全学生の模範となる善行のあった者は、教授会の意見を聴いて、学長が表彰する。

#### (懲戒)

第63条 本学の規則、命令に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした学生は、教授会の意見を聴いて、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学・停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する学生に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて出席常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 前2項により停学となった期間は、第7条に規定する修業年限に含めることはできない。

5 この学則に定めるもののほか、懲戒に関する必要な事項は、別に定める。

### 第12章 附属図書館

#### (附属図書館)

第64条 本学に附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する規定は、別に定める。

### 第13章 スポーツセンター

#### (スポーツセンター)

第65条 本学にスポーツセンターを置く。

2 スポーツセンターに関する規定は、別に定める。

### 第14章 研究所

#### (研究所)

第66条 本学に教育研究所、発達臨床心理学研究所、言語文化研究所、生活美学研究所、情報教育研究センター、バイオサイエンス研究所、国際健康開発研究所、トルコ文化研究センター、健康運動科学研究所、栄養科学研究所、学校教育センター、女性活躍総合研究所及び附属総合ミュージアムを置く。

2 研究所に関する規定は、別に定める。

## 第15章 公開講座

(オープン・カレッジ)

第67条 本学にオープン・カレッジを置く。

2 オープン・カレッジに関する規定は、別に定める。

## 第16章 学寮

(学寮)

第68条 本学に学寮を置く。

2 学寮に関する規定は、別に定める。

## 第17章 改廃

(改廃)

第69条 本学則の改廃は、評議会の意見を聴いて、理事会において決定する。

### 附 則

この学則は、昭和24年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和27年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和33年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和34年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和37年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和38年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和39年8月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和40年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和41年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和43年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、昭和44年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和49年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和62年1月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成3年9月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成3年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成11年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成14年7月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年1月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、平成21年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のおりとする。
- 3 第35条の規定にかかわらず、平成21年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、平成22年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のおりとする。
- 3 第27条の2の規定にかかわらず、平成22年度以前の入学生の教職に関する科目及び教科又は教職に関する科目の授業科目並びにその単位数（別表第4）については、なお従前のおりとする。
- 4 第35条の規定にかかわらず、平成22年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、平成23年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のおりとする。
- 3 第27条の4の規定にかかわらず、平成23年度以前の入学生の博物館学芸員の資格を得ることができる学科については、なお従前のおりとする。

- 4 第27条の8の規定にかかわらず、平成23年度以前の入学生の社会福祉士国家試験受験資格及び精神保健福祉士国家試験受験資格の指定養成施設としての定員については、なお従前のおりとする。
- 5 第35条の規定にかかわらず、平成23年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のおりとする。
- 6 第42条第2項の規定にかかわらず、平成23年度以前の入学生の休学中の学費の納入については、なお従前のおりとする。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、平成24年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のおりとする。
- 3 第35条の規定にかかわらず、平成24年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のおりとする。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、平成25年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のおりとする。
- 3 第35条の規定にかかわらず、平成25年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のおりとする。

#### 附 則

この学則は、平成26年9月1日から施行する。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 第7条第4項、第20条第2項及び第22条第3項の規定にかかわらず、平成26年度以前の入学生の在学年限、退学及び休学の期間については、なお従前のおりとする。
- 3 第26条第4項の規定にかかわらず、平成26年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のおりとする。
- 4 第27条の2第2項の規定にかかわらず、平成26年度以前の入学生の「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」の授業科目並びにその単位数（別表第4）については、なお従前のおりとする。
- 5 第35条の規定にかかわらず、平成26年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のおりとする。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、平成27年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のおりとする。

### 附 則

この学則は、平成28年11月1日から施行する。

### 附 則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、平成28年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のおりとする。
- 3 第27条の3第1項及び第2項の規定にかかわらず、平成28年度以前の入学生については、なお従前のおりとする。

### 附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、平成29年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のおりとする。
- 3 第27条の2の規定にかかわらず、平成29年度以前の入学生の中学校・高等学校教諭「教職に関する科目」の授業科目及びその単位数（別表第4）、並びに教育職員免許状授与の所要資格を取得できる学部学科、教員免許状の種類及び免許教科又は領域については、なお従前のおりとする。
- 4 第28条第1項第3号の規定にかかわらず、平成29年度以前の入学生については、なお従前のおりとする。
- 5 第35条の規定にかかわらず、平成29年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のおりとする。

### 附 則

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 第5条に規定する教育学部教育学科の収容定員は、平成31年度から令和3年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
		収容定員	収容定員	収容定員
教育学部 教育学科		240	480	745

- 3 文学部教育学科は、平成31年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 4 第5条に規定する健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科の収容定員は、平成31年度から令和3年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
		収容定員	収容定員	収容定員
健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科		665	700	730

- 5 第5条に規定する生活環境学部生活環境学科の収容定員は、平成31年度から令和3年度までの間、次のとおりとする。



学部・学科	年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
		収容定員	収容定員	収容定員
生活環境学部 生活環境学科		595	630	665

6 第26条第4項の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のおりとする。

7 第27条の2、第27条の5及び第27条の8の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学生については、なお従前のおりとする。

#### 附 則

1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。

2 第5条に規定する食物栄養科学部食物栄養学科及び食創造科学科の収容定員は、令和2年度から令和4年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		収容定員	収容定員	収容定員
食物栄養科学部 食物栄養学科		200	400	610
食物栄養科学部 食創造科学科		80	160	245

3 生活環境学部食物栄養学科は、令和2年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

4 第5条に規定する建築学部建築学科及び景観建築学科の収容定員は、令和2年度から令和4年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		収容定員	収容定員	収容定員
建築学部 建築学科		45	90	135
建築学部 景観建築学科		40	80	120

5 生活環境学部建築学科は、令和2年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

6 第5条に規定する経営学部経営学科の収容定員は、令和2年度から令和4年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		収容定員	収容定員	収容定員
経営学部 経営学科		200	400	600

7 第5条の2第6項、第7項及び第11項の規定にかかわらず、平成31年度以前の入学生については、なお従前のおりとする。

8 第26条第4項の規定にかかわらず、平成31年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお、従前のおりとする。

9 第27条の2第3項及び第4項の規定にかかわらず、平成31年度以前の入学生については、なお従前のおりとする。

- 10 第27条の6の規定にかかわらず、平成31年度以前の入学生については、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 第26条第4項の規定にかかわらず、令和2年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお従前のおりとする。
- 3 第27条の2（別表第4）の規定にかかわらず、令和2年度以前の入学生については、なお従前のおりとする。
- 4 第35条の規定にかかわらず、令和2年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 第5条に規定する心理・社会福祉学部心理学科及び社会福祉学科の収容定員は令和5年度から令和7年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		収容定員	収容定員	収容定員
心理・社会福祉学部心理学科		150	300	450
心理・社会福祉学部社会福祉学科		70	140	210

- 3 文学部心理・社会福祉学科は、令和5年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 4 第5条に規定する健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科の収容定員は令和5年度から令和7年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		収容定員	収容定員	収容定員
健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科		100	200	300

- 5 第5条に規定する社会情報学部社会情報学科の収容定員は令和5年度から令和7年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		収容定員	収容定員	収容定員
社会情報学部 社会情報学科		180	360	540

- 6 生活環境学部情報メディア学科は、令和5年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする
- 7 第5条の2第4項、第5項及び第7項の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生については、なお従前のおりとする。
- 8 第26条第4項の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数（別表第2）については、なお、従前のおりとする。

- 9 第27条の2第4項の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生については、なお従前のおりとする。
- 10 第27条の8の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生については、なお従前のおりとする。
- 11 第35条の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のおりとする。

## 別表第1

## 共通教育科目

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
基礎教養科目群 人文科学科目				現 代 社 会 と 憲 法		2	
神話・伝説の世界から		2		教養としての法律		2	
平安朝文学の世界		2		暮らしと法律		2	
鎌倉時代の文学への誘い		2		女性と子どものヘルスケア		2	
平安時代の文学への誘い		2		消費者生活論		2	
日常生活からの哲学入門		2		英語で学ぶやさしい経済学		2	
現代フランスの音楽事情		2		英語で学ぶお金の知識		2	
ミュージカル歌唱法		1		我々の暮らしと日本の産業		2	
音楽の科学		2		メディア技術と文字デザイン		2	
フランスの音楽と芸術文化		2		まちづくりと地方自治の役割		2	
先端芸術表現		1		基礎教養科目群 自然科学科目			
自己発見アート		1		文化を創造する数学		2	
未来造形		1		生命科学入門		2	
歌舞伎鑑賞入門		2		生活の中の物理学		2	
日本の文化Ⅰ		2		最先端物理学が描く宇宙		2	
日本の文化Ⅱ		2		微生物がつくる発酵食品の不思議		2	
遊びの人類学		2		薬の歴史と未来		2	
SNSから日本語を見る		2		薬とからだ		2	
基礎教養科目群 社会科学科目				医薬品概論		2	
現代世界の教育		2		基礎教養科目群 国際理解科目			
差別と暴力のない世界をめざして		2		韓国文化の理解		2	
メディアに映る女性		2		中国文化論		2	
生涯福祉論		2		国際協力入門		2	
社会福祉とボランティア		2		世界の中の日本人		2	
福祉レクリエーションの実際		2		基礎教養科目群 現代トピック科目			
子育てと家族関係		2		モラルジレンマから考える私		2	
子育てと母性の気づき		2		女性のためのマーケティング		2	
環境心理学入門		2		Current Affairs in Japan I		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
Current Affairs in Japan II		2		Speaking & Listening III		1	
ジェンダー科目群				P r e s e n t a t i o n		1	
セクシュアリティ入門		2		W r i t i n g I		1	
女性の身体とセクシュアリティ		2		W r i t i n g II		1	
メディアに見るジェンダー		2		English for Careers		1	
女性が輝く社会づくり		2		Reading & Discussion		1	
キャリアデザイン科目群				Global Communication I		1	
女性のためのライフプランニング		2		Global Communication II		1	
自己アピールトレーニング		2		Current Events I		1	
キャリアビジョンと人物評価		2		Current Events II		1	
言語・情報科目群 言語リテラシー科目				Reading & Critical Thinking		1	
英語コミュニケーションI		2		Career Workshop		1	
英語コミュニケーションII		2		ド イ ツ 語 I		2	
英語コミュニケーションIII		1		ド イ ツ 語 II		2	
英語コミュニケーションIV		1		フ ラ ン ス 語 I		2	
英語リーディングI		1		フ ラ ン ス 語 II		2	
英語リーディングII		1		フ ラ ン ス 語 I A		1	
英語ライティングI		1		フ ラ ン ス 語 I B		1	
英語ライティングII		1		中 国 語 I		2	
T O E I C 演 習 I		1		中 国 語 II		2	
T O E I C 演 習 II		1		イ タ リ ア 語 I A		1	
T O E I C 演 習 III		1		イ タ リ ア 語 I B		1	
T O E F L 演 習		1		ス ペ イ ン 語 I		2	
T O E I C (初級)		1		ハ ン グ ル I		2	
Basics for Presentation I		1		ハ ン グ ル II		2	
Basics for Presentation II		1		特 別 英 語 演 習 I		4	
Grammar for Communication		1		特 別 英 語 演 習 II		4	
Reading & Writing		1		特 別 中 国 語 演 習 I		2	
Speaking & Listening I		1		特 別 中 国 語 演 習 II		2	
Speaking & Listening II		1		特 別 ハ ン グ ル 演 習 I		4	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
特別ハンゲル演習Ⅱ		4		スポーツ実技（ゴルフ）		1	
日 本 語 初 級 A		3		スポーツ実技（バレーボール）		1	
日 本 語 初 級 B		3		スポーツ実技（バドミントン）		1	
日 本 語 初 級 C		3		スポーツ実技（ジャズダンス）		1	
日 本 語 初 級 D		3		スポーツ実技（エアロビクス）		1	
日 本 語 中 級 A		3		スポーツ実技（スリムエアロ）		1	
日 本 語 中 級 B		3		スポーツ実技（ダンスエアロ）		1	
日 本 語 中 級 C		3		ス ポ ー ツ 実 技（水泳）		1	
日 本 語 中 級 D		3		スポーツ実技（軽スポーツ）		1	
日 本 語・ 上 級 I		2		ス ポ ー ツ 実 技（ヨガ）		1	
日 本 語・ 上 級 II		2		スポーツ実技（サッカー）		1	
日 本 語・ 上 級 III		2		からだと気づきと姿勢法		1	
日 本 語・ 上 級 IV		2		スポーツ実技（スタイルジャズ）		1	
言語・情報科目群 情報リテラシー科目							
Access データベース基礎		2					
情報社会を生きる技術		2					
Web デ ザ イ ン 基 礎		2					
Web デ ザ イ ン 応 用		2					
Scratch によるプログラミング		2					
グラフィックデザイン基礎		2					
フォトレタッチ基礎		2					
データサイエンスの基礎と Excel		2					
データサイエンスの応用と Excel		2					
データリテラシー・AIの基礎	2						
健康・スポーツ科目群 健康・スポーツ科学科目							
ス ポ ー ツ と 栄 養		2					
生 涯 ス ポ ー ツ 論		2					
ス ポ ー ツ と 現 代 社 会		2					
健康・スポーツ科目群 スポーツ実技科目							
ス ポ ー ツ 実 技（テニス）		1					

## 別表第2

## 基礎教育科目及び専門教育科目

文学部 日本語日本文学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				日 本 語 学 特 講 I		2	
初 期 演 習 I	1			日 本 語 学 特 講 II		2	
初期演習Ⅱ(日本語日本文学)	1			社 会 言 語 学		2	
古 文 入 門	2			言 語 学 I		2	
漢 文 入 門	2			言 語 学 II		2	
日 本 語 表 現 入 門		2		日 本 語 教 育 学 入 門		2	
日 本 語 表 現 演 習 I	1			日 本 語 教 授 法		2	
日 本 語 表 現 演 習 II	1			日 本 語 教 材 研 究 I		2	
情 報 リ テ ラ シ ー I	2			日 本 語 教 材 研 究 II		2	
情 報 リ テ ラ シ ー II	2			日 本 語 教 授 法 実 習		1	
Oral Communication		2		日 本 語 教 育 史		2	
T O E I C 認 定 英 語 I		2		日 本 語 教 育 特 講		2	
T O E I C 認 定 英 語 II		2		言 語 発 達 論		2	
T O E I C 認 定 英 語 III		2		言 語 と 心 理		2	
T O E I C 認 定 英 語 IV		2		異文化間コミュニケーション		2	
<b>専門教育科目</b>				多 文 化 共 生 論		2	
日 本 語 学 概 論 I	2			日 本 語 教 育 イ ン タ ー ナ ー シ ッ プ		2	
日 本 語 学 概 論 II	2			日 本 古 典 文 学 概 論	2		
音 声 ・ 音 韻 論		2		日 本 近 代 文 学 概 論	2		
語 彙 ・ 意 味 論		2		日 本 古 典 文 学 史		2	
文 法 ・ 文 体 論		2		日 本 近 代 文 学 史		2	
文 字 ・ 表 記 論		2		上 代 文 学 講 読 I		2	
談 話 研 究		2		上 代 文 学 講 読 II		2	
日 本 語 学 文 献 講 読 I		2		中 古 文 学 講 読 I		2	
日 本 語 学 文 献 講 読 II		2		中 古 文 学 講 読 II		2	
日 本 語 史 I		2		中 世 文 学 講 読 I		2	
日 本 語 史 II		2		中 世 文 学 講 読 II		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
近世文学講読Ⅰ		2		日本の芸能		2	
近世文学講読Ⅱ		2		日本の伝統文化		2	
近代文学講読Ⅰ		2		日本の現代文化		2	
近代文学講読Ⅱ		2		知的財産論		2	
上代文学研究Ⅰ		2		書道Ⅰ		2	
上代文学研究Ⅱ		2		書道Ⅱ		2	
中古文学研究Ⅰ		2		書道Ⅲ		2	
中古文学研究Ⅱ		2		書道Ⅳ		2	
中世文学研究Ⅰ		2		書道史Ⅰ		2	
中世文学研究Ⅱ		2		書道史Ⅱ		2	
近世文学研究Ⅰ		2		書論・鑑賞学		2	
近世文学研究Ⅱ		2		身体表現法		2	
近代文学研究Ⅰ		2		プレゼンテーション技法		2	
近代文学研究Ⅱ		2		情報デザイン		2	
児童文学論		2		文芸創作		2	
現代文学論Ⅰ		2		コンピュータ概論		2	
現代文学論Ⅱ		2		言語データ処理		1	
日本文学特講Ⅰ		2		情報検索法		2	
日本文学特講Ⅱ		2		情報処理特論Ⅰ		2	
漢文学講読Ⅰ		2		情報処理特論Ⅱ		2	
漢文学講読Ⅱ		2		言語情報・文献管理特論Ⅰ		2	
東アジア思想文学Ⅰ		2		言語情報・文献管理特論Ⅱ		2	
東アジア思想文学Ⅱ		2		中国語概説		2	
国語教育実践研究Ⅰ		2		韓国語概説		2	
国語教育実践研究Ⅱ		2		英語で読む日本Ⅰ		2	
国語教育実践研究Ⅲ		2		英語で読む日本Ⅱ		2	
国語教育実践研究Ⅳ		2		海外文化体験演習		4	
阪神間の文化		2		演習Ⅰ	2		
文化交流史		2		演習Ⅱ	2		
美術史		2		卒業論文(卒業制作)	4		



文学部 英語文化学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				Basic Preparation for English Proficiency Tests FF (資格英語演習 FF)		1	
初 期 演 習 I	1			リーディング・ライティング IA	1		
初期演習Ⅱ (海外留学に向けて)	1			リーディング・ライティング IB	1		
情報リテラシー I	2			リーディング・ライティングⅡA	1		
情報リテラシー II		2		リーディング・ライティングⅡB	1		
リスニング I A	1			オーラルコミュニケーション IA	1		
リスニング I B	1			オーラルコミュニケーション IB	1		
リスニング II	1			オーラルコミュニケーションⅡA		1	
スピーキング I A	1			オーラルコミュニケーションⅡB		1	
スピーキング I B	1			<b>専門教育科目</b>			
スピーキング III	1			英語の発音 A	1		
リーディング I A	1			英語の発音 B	1		
リーディング I B	1			活用文法 A	2		
リーディング III	1			活用文法 B	2		
ライティング I A	1			英米文学入門		2	
ライティング I B	1			American Culture (アメリカの文化)		4	
ライティング III	1			American Society (アメリカの社会)		4	
TOEIC/TOEFL 演習 I	1			American Literature (アメリカの文学)		4	
TOEIC/TOEFL 演習 II	1			Business English Writing (ビジネス・イングリッシュ)		2	
TOEIC/TOEFL 演習 III		1		The Culture of the American Southwest (アメリカ南西部の文化)		4	
検定英語演習		1		Academic Writing (英文論文の書き方)		1	
資格認定英語 I		2		Public Speaking (パブリック・スピーキング)		2	
資格認定英語 II		2		University Preparation (ユニバーシティ・プレパレーション)		2	
資格認定英語 III		2		英米文学鑑賞		2	
資格認定英語 IV		2		英語学入門		2	
Speaking II F (スピーキング II F)		3		ビジネスコミュニケーション入門		2	
Reading II F (リーディング II F)		3		Business English FF (ビジネス・イングリッシュ FF)		2	
Writing II F (ライティング II F)		3		American Culture FF (アメリカ文化 FF)		4	
Reading and Writing FF (リーディング・ライティング FF)		2		Academic Writing FF (英語論文作成法 FF)		1	
Oral Communication FF (オーラルコミュニケーション FF)		2		Public Speaking FF (パブリック・スピーキング FF)		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
University Preparation FF (ユニバーシティ・プレパレーションFF)		2		児 童 英 語 教 育 B		2	
English and American Literature FF (英 米 文 学 FF)		2		卒 業 研 究 I A	2		
Introduction to English Linguistics FF (英 語 学 FF)		2		卒 業 研 究 I B	2		
Business Communication FF (ビジネスコミュニケーションFF)		2		卒 業 研 究 II	4		
G e r m a n F F (ド イ ツ 語 FF)		2		翻 訳 ワークショップ A		1	
F r e n c h F F (フ ラ ン ス 語 FF)		2		文 学 作 品 演 習 I A		1	
ド イ ツ 語 I		2	} ※必修6	文 学 作 品 演 習 II A		1	
ド イ ツ 語 II		2		イギリス文化と文学の流れA		2	
ド イ ツ 語 III		2		翻 訳 ワークショップ B		1	
ド イ ツ 語 IV A		1		文 学 作 品 演 習 I B		1	
ド イ ツ 語 IV B		1		文 学 作 品 演 習 II B		1	
ドイツ文化と文学A		2		イギリス文化と文学の流れB		2	
ドイツ文化と文学B		2	文 学 作 品 演 習 III A		1		
フ ラ ン ス 語 I		2	} ※必修6	アメリカ文化と文学の流れA		2	
フ ラ ン ス 語 II		2		英 語 児 童 文 学 A		2	
フ ラ ン ス 語 III		2		文 学 作 品 演 習 III B		1	
フ ラ ン ス 語 IV A		1		アメリカ文化と文学の流れB		2	
フ ラ ン ス 語 IV B		1		英 語 児 童 文 学 B		2	
フランス文化と文学A		2		現代コミュニケーション英語IA		1	
フランス文化と文学B		2	現代コミュニケーション英語IIA		1		
国際社会と英語情報		2	※「ドイツ語I・II・III」または「フランス語I・II・III」のいずれか6単位を必修	英 語 の 構 造 A		2	
ビジネス・ライティングA		2		英 語 の 歴 史 A		2	
ビジネス・ライティングB		2		現代コミュニケーション英語IB		1	
英語データベース活用法		1		現代コミュニケーション英語IIB		1	
インタラクティブ・ウェブ		1		英 語 の 構 造 B		2	
メディア英語A		2		英 語 の 歴 史 B		2	
メディア英語B		2		英 語 の 談 話 分 析 A		1	
最新の企業実務A		2		現代コミュニケーション英語IIIA		1	
最新の企業実務B		2		英 語 の 文 化 的 背 景 A		2	
児 童 英 語 教 育 A		2		英 語 の 談 話 分 析 B		1	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
現代コミュニケーション英語ⅢB		1					
英語の文化的背景 B		2					
ビジネス・イングリッシュⅠA		1					
ビジネスコミュニケーション演習		1					
ビジネス通訳基礎 A		1					
国際関係論 A		2					
ビジネス・イングリッシュⅠB		1					
ホスピタリティ英語		1					
ビジネス通訳基礎 B		1					
国際関係論 B		2					
ビジネス翻訳 A		1					
ビジネス・イングリッシュⅡA		1					
ツーリズム概論		2					
ビジネス翻訳 B		1					
ビジネス・イングリッシュⅡB		1					
グローバルビジネス論		2					
英米文化・文学演習 A		1					
英語学演習 A		1					
グローバル化と日本 A		1					
英米文化・文学演習 B		1					
英語学演習 B		1					
グローバル化と日本 B		1					
会議通訳 A		1					
国際関係論講義		2					
会議通訳 B		1					
グローバルビジネス研究		2					

教育学部 教育学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				発 達 心 理 学		2	
初 期 演 習 I	1			教 育 行 政 学	2		
初 期 演 習 II	1			特 別 支 援 教 育 総 論	2		
日 本 国 憲 法		2		国 際 教 育 論		2	
英 語 I	2			教 育 学 へ の 招 待	2		
英 語 II	2			器 楽 基 礎		1	
教 育 と I C T	2			子 ども 家 庭 福 祉		2	
体 育 I		1		理 科 内 容 論		1	
体 育 II		1		音 楽 科 内 容 論		1	
T O E I C 認 定 英 語 I		2		体 育 科 内 容 論		1	
T O E I C 認 定 英 語 II		2		外 国 語 科 内 容 論		1	
T O E I C 認 定 英 語 III		2		国 語 科 教 育 法		2	
T O E I C 認 定 英 語 IV		2		算 数 科 教 育 法		2	
外 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I		1		社 会 科 教 育 法		2	
外 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II		1		理 科 教 育 法		2	
<b>専門教育科目</b>				生 活 科 教 育 法		2	
2 年 次 演 習	1			音 楽 科 教 育 法		2	
教 育 演 習	2			図 画 工 作 科 教 育 法		2	
卒 業 研 究	2			家 庭 科 教 育 法		2	
国 語 科 内 容 論		1		体 育 科 教 育 法		2	
算 数 科 内 容 論		1		外 国 語 科 教 育 法		2	
社 会 科 内 容 論		1		教 育 課 程 論		2	
生 活 科 内 容 論		1		道 徳 教 育 の 理 論 と 実 践		2	
家 庭 科 内 容 論		1		教 育 方 法 の 理 論 と 実 践	2		
図 画 工 作 科 内 容 論		1		生 徒 指 導 ・ 進 路 指 導 の 理 論 と 実 践		2	
保 育 内 容 総 論		2		教 育 相 談 の 理 論 と 実 践	2		
教 職 入 門		2	} 必修 2	特 別 活 動 の 指 導 法		2	
保 育 者 論		2		総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 指 導 法		2	
教 育 原 理	2			学 校 教 育 参 加 実 習		1	
教 育 心 理 学 総 論	2			教 育 実 習 事 前 事 後 指 導 I (小 幼)		1	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
教育実習Ⅰ（小幼）		4		教室で使う英語表現		1	
教 職 実 践 演 習		2		教育プログラミング		2	
教 育 社 会 学		2		学 級 担 任 論		2	
教 育 史		2		教 科 指 導 演 習		1	
教 育 哲 学		2		教 職 総 合 実 践		1	
人権教育と福祉		2		教育実習事前事後指導Ⅱ(小)		1	
子ども理解と教育		2		教 育 実 習 Ⅱ（小）		2	
社会調査法Ⅰ		1		知的障害者の心理・生理・病理		2	
学校教材としての文学		1		肢体不自由者の心理・生理・病理		2	
児 童 文 学 論		2		病弱者の心理・生理・病理		2	
日本現代文学の探究		2		L D 等 教 育 総 論		2	
言 語 学 概 論		2		教育課程・保育計画論		2	
英 語 文 法 論 Ⅰ		2		子 ど も と 健 康		1	
異文化理解とコミュニケーション		2		子 ど も と 人 間 関 係		1	
英 語 文 学 入 門		2		子 ど も と 環 境		1	
英 語 児 童 文 学		2		子 ど も と 言 葉		1	
時事問題と英語表現		2		保 育 内 容 ・ 健 康		2	
国際教育フィールドワークⅠ		1		保 育 内 容 ・ 環 境		2	
国際教育フィールドワークⅡ		1		保 育 内 容 ・ 人 間 関 係		2	
海外教育参加実習指導		1		保 育 内 容 ・ 言 葉		2	
海外教育参加実習		1		保 育 内 容 ・ 表 現 Ⅰ		1	
世界の子どもたち		1		保 育 内 容 ・ 表 現 Ⅱ		1	
子 ど も と 数 学		1		子 ど も 理 解 と 幼 児 教 育		2	
理 科 教 育 実 践		1		教育実習事前事後指導Ⅱ(幼)		1	
音 楽 科 教 育 実 践		1		教 育 実 習 Ⅱ（幼）		2	
子 ど も と 音 楽 表 現		1		特 別 支 援 教 職 論		2	
子 ど も と 造 形 表 現		1		知 的 障 害 教 育		2	
調理と裁縫の生活スキル		1		障 害 児 指 導 法		2	
子 ど も と 身 体 表 現		1		肢 体 不 自 由 教 育		2	
体育・スポーツ演習		1		病 弱 教 育		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
知的障害教育総論		2		ライティング I A		1	
肢体不自由教育総論		2		ライティング I B		1	
病弱教育総論		2		中等英語科教育法 I		2	
視覚障害教育総論		2		中等英語科教育法 II		2	
聴覚障害教育総論		2		中等英語科教育法 III		2	
重複障害等教育総論		2		中等英語科教育法 IV		2	
特別支援学校教育実習事前事後指導		1		教育実習事前事後指導(中)		1	
特別支援学校教育実習		2		教育実習(中)		4	
日本語表現 I		2		日本古典文学の探究 I		2	
日本語表現 II		2		日本古典文学の探究 II		2	
日本語学概論 I		2		日本近代文学の探究		2	
日本語学概論 II		2		英語文法論 II		2	
日本語文法		2		英語文学の探究		2	
日本語の歴史		2		外国語コミュニケーション V		1	
日本古典文学概論		2		教育実習事前事後指導 I (幼小)		1	
日本近代文学概論		2		教育実習 I (幼小)		4	
日本古典文学史		2		保育・教職実践演習(幼)		2	
日本近代文学史		2		教職総合実践(幼)		1	
漢文入門		2		学級担任論(幼)		2	
漢文学		2		幼児教育実践演習		1	
中等国語科教育法 I		2		運動遊び演習		1	
中等国語科教育法 II		2		アンサンブルと弾き歌い		1	
中等国語科教育法 III		2		保育原理		2	
中等国語科教育法 IV		2		社会福祉		2	
英語学		2		子ども家庭支援論		2	
英語文学と日本		2		子ども家庭支援の心理学		2	
英語文学と世界		2		社会的養護 I		2	
異文化間教育 I		2		子どもの保健		2	
外国語コミュニケーション III		1		子どもの食と栄養		2	
外国語コミュニケーション IV		1		乳児保育 I		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
乳 児 保 育 Ⅱ		1		その他の卒業非算入科目			各授業科目は、小学校・幼稚園等でのボランティア活動30時間に対して1単位を認定する。この科目は、自由科目として扱い、修得した単位は、卒業要件の単位に含めない。
子どもの健康と安全		1		書 道 I		2	
障害児保育		2		書 道 II		2	
社会的養護Ⅱ		1		リーディングⅠA		1	
子育て支援		1		リーディングⅠB		1	
教育実習事前事後指導Ⅱ(小)		1		教育ボランティア活動2021A			
教育実習Ⅱ(小)		2		教育ボランティア活動2021B			
地域福祉論		2		教育ボランティア活動2022A			
施設経営論		2		教育ボランティア活動2022B			
家庭支援論演習		1		教育ボランティア活動2023A			
保育実習指導ⅠA		1		教育ボランティア活動2023B			
保育実習指導ⅠB		1		教育ボランティア活動2024A			
保育実習Ⅰ(保育所)		2		教育ボランティア活動2024B			
保育実習Ⅰ(施設)		2					
保育実習指導Ⅱ		1					
保育実習Ⅱ		2					
保育実習指導Ⅲ		1					
保育実習Ⅲ		2					
国際教育フィールドワークⅢ		1					
国際教育フィールドワークⅣ		1					
国際教育フィールドワークⅤ		1					
社会調査法Ⅱ		1					
共生社会論		2					
シティズンシップ教育		2					
グローバル社会論		2					
メディアリテラシーと教育		2					
異文化間教育Ⅱ		2					
環境教育論		2					
地域問題研究		2					
データリテラシーと教育		2					

心理・社会福祉学部 心理学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				福 祉 心 理 学		2	
人間と社会 (HEARTプログラムコア)	2			教育・学校心理学		2	
初 期 演 習 I	1			健康・医療心理学		2	
初期演習Ⅱ (心理学実験演習)	1			産業・組織心理学		2	
英 語 I	2			司法・犯罪心理学		2	
英 語 II	2			心理的アセスメント(概論)		2	
Oral Communication I		1		心理的アセスメント(実習)		2	
Oral Communication II		1		公認心理師の職責		2	
T O E I C 認定英語 I		2		関 係 行 政 論		2	
T O E I C 認定英語 II		2		心 理 演 習		2	
T O E I C 認定英語 III		2		心 理 実 習		1	
T O E I C 認定英語 IV		2		心 理 実 習 指 導		1	
<b>専門教育科目</b>				リ ス ク 心 理 学		2	
心 理 学 史		2		コミュニケーション論		2	
心 理 学 概 論	2			グループダイナミクス		2	
臨 床 心 理 学 概 論	2			プロジェクトマネジメントの実践		2	
知 覚 ・ 認 知 心 理 学		2		行 動 変 容 ・ ナ ッ ジ		2	
学 習 ・ 言 語 心 理 学		2		消 費 者 心 理 学		2	
感 情 ・ 人 格 心 理 学		2		社 会 実 践 実 習 I		1	
神 経 ・ 生 理 心 理 学		2		社 会 実 践 実 習 II		1	
社 会 ・ 集 団 ・ 家 族 心 理 学		2		マ ー ケ テ ィ ン グ 論		2	
発 達 心 理 学 I		2		認 知 心 理 学		2	
発 達 心 理 学 II		2		言 語 心 理 学		2	
人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 疾 病		2		感 性 心 理 学		2	
精 神 疾 患 と そ の 治 療		2		臨 床 社 会 心 理 学		2	
障 害 者 ・ 障 害 児 心 理 学		2		コ ミ ュ ニ テ ィ 心 理 学		2	
臨 床 人 格 心 理 学		2		経 済 心 理 学		2	
神 経 心 理 学		2		環 境 心 理 学		2	
心 理 学 的 支 援 法 I		2		メ デ ィ ア リ テ ラ シ ー		2	
心 理 学 的 支 援 法 II		2		心 理 学 研 究 法		2	



授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
臨床心理学研究法		2					
社会調査概論		2					
心理学日本語文献講読		2					
心理学英語文献講読		2					
心理学統計法		2					
応用心理学統計法		2					
心理学実験		2					
社会調査実習		2					
データ処理論Ⅰ		2					
データ処理論Ⅱ		2					
データ解析法		2					
質的データ解析法		2					
専門演習ⅠA	1						
専門演習ⅠB	1						
専門演習ⅡA	1						
専門演習ⅡB	1						
卒業研究	6						
多文化社会概論		2					
社会貢献とボランティア		2					
虐待とソーシャルワーク		2					
スーパービジョン論		2					
スクールソーシャルワーク		2					
多文化社会のコミュニケーション		2					
NGO・NPO 概 論		2					
ソーシャルビジネス概論		2					
フェアトレード概論		2					
共生の社会心理		2					
ジェンダーと開発		2					

心理・社会福祉学部 社会福祉学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				福祉サービスの組織と経営		2	
人間と社会 (HEARTプログラムコア)	2			更生保護制度		2	
初期演習 I	1			社会保障論 A		2	
初期演習 II (社会福祉)	1			社会保障論 B		2	
心理学概論	2			保健医療サービス		2	
ソーシャルワーク概論A	2			ソーシャルワーク論 I A		2	
ソーシャルワーク概論B	2			ソーシャルワーク論 I B		2	
人体の構造と機能及び疾病		2		ソーシャルワーク論 II A		2	
社 会 学		2		ソーシャルワーク論 II B		2	
多文化社会概論	2			ソーシャルワーク演習 I A		2	
社会貢献とボランティア		2		ソーシャルワーク演習 I B		2	
英 語 I	2			ソーシャルワーク演習 II A		2	
英 語 II	2			ソーシャルワーク演習 II B		2	
Oral Communication I		1		ソーシャルワーク演習 III		2	
Oral Communication II		1		ソーシャルワーク実習指導 I		1	
T O E I C 認定英語 I		2		ソーシャルワーク実習指導 II		1	
T O E I C 認定英語 II		2		ソーシャルワーク実習 I		1	
T O E I C 認定英語 III		2		ソーシャルワーク実習 II		5	
T O E I C 認定英語 IV		2		医療ソーシャルワーク		2	
<b>専門教育科目</b>				虐待とソーシャルワーク		2	
権利擁護と成年後見制度		2		スーパービジョン論		2	
児童・家庭福祉論		2		スクールソーシャルワーク		2	
障害者福祉論		2		社会福祉事業史		2	
高齢者福祉論		2		社会福祉特講		2	
地域福祉論 A		2		専門演習 I A	1		
地域福祉論 B		2		専門演習 I B	1		
社会調査法		2		専門演習 II A	1		
現代社会と福祉 A		2		専門演習 II B	1		
現代社会と福祉 B		2		卒業論文	6		
公的扶助論		2		精神保健 A		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
精 神 保 健 B		2		フイールド調査の基礎	2		
精神保健福祉の原理 A		2		フイールドワーク演習 I	1		
精神保健福祉の原理 B		2		フイールドワーク演習 II	1		
精神障害リハビリテーション論		2		フイールドワーク実習指導 I		1	
精神保健福祉制度論		2		フイールドワーク実習指導 II		1	
精神疾患とその治療 A		2		フイールドワーク実習指導 III		1	
精神疾患とその治療 B		2		フイールドワーク実習		1	
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) A		2		知覚・認知心理学		2	
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) B		2		学習・言語心理学		2	
ソーシャルワーク演習 (専門) A		2		感情・人格心理学		2	
ソーシャルワーク演習 (専門) B		2		神経・生理心理学		2	
ソーシャルワーク演習 (専門) C		2		社会・集団・家族心理学		2	
ソーシャルワーク実習指導 III		1		発達心理学 I		2	
ソーシャルワーク実習指導 IV		1		障害者・障害児心理学		2	
ソーシャルワーク実習 III		3		心理学的支援法 I		2	
ソーシャルワーク実習 IV		2		リスク心理学		2	
多文化社会実践論		2		コミュニケーション論		2	
多文化社会のコミュニケーション		2		グループダイナミクス		2	
多文化社会のソーシャルワーク I		2		消費者心理学		2	
多文化社会のソーシャルワーク II		2		マーケティング論		2	
NGO・NPO 概 論	2						
NGO・NPO マネジメント演習		1					
ソーシャルビジネス概論	2						
ソーシャルビジネス・マネジメント		2					
ソーシャルビジネス計画演習		1					
フェアトレード概論		2					
共生の社会心理		2					
コミュニティメディア論		2					
コミュニティ防災論		2					
ジェンダーと開発		2					

健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				バイオメカニクス		2	
初 期 演 習 I	1			学 校 保 健		2	
初期演習Ⅱ(健康・スポーツ)	1			公 衆 衛 生 学		2	
健康・スポーツ科学論	2			発 育 発 達 ・ 老 化 論		2	
スポーツの文化・歴史	2			ス ポ ー ツ 指 導 論		2	
スポーツビジネス論	2			ス ポ ー ツ 社 会 学		2	
情報リテラシー	2			スポーツ行政・法規		2	
基 礎 英 語 I	1			スポーツ経営管理学		2	
基 礎 英 語 II	1			体力の測定評価演習		2	
Oral Communication I	1			スポーツ心理学実験		1	
Oral Communication II	1			運 動 生 理 学 実 験		1	
T O E I C 認 定 英 語 I		2		バイオメカニクス実験		1	
T O E I C 認 定 英 語 II		2		専 門 英 語 A		1	} 必修2
T O E I C 認 定 英 語 III		2		専 門 英 語 B		1	
T O E I C 認 定 英 語 IV		2		専 門 英 語 C		1	
健 康 科 学 I		2		専 門 英 語 D		1	
<b>専門教育科目</b>				コ ー チ ン グ 論		2	
ス ポ ー ツ 心 理 学		2		健康・スポーツカウンセリング		2	
ス ポ ー ツ 栄 養 学		2		生 活 習 慣 病 論		2	
運 動 生 理 学		2		運 動 処 方		2	
ス ポ ー ツ 医 学		2		フ ィ ッ ト ネ ス 指 導 法		2	
ス ポ ー ツ 運 動 学		2		介 護 法 ・ 介 護 予 防 演 習		2	
体 育 原 理		2		運 動 療 法 演 習		2	
運動器の解剖と機能Ⅰ		2		健康行動科学・演習		2	
運動器の解剖と機能Ⅱ		2		健康・スポーツ実践実習		1	
スポーツ傷害の基礎知識Ⅰ		2		レクリエーション論		2	
スポーツトレーニングの科学Ⅰ		2		レクリエーション指導法演習		1	
アスレティックトレーニング論		2		レクリエーション指導法実習		1	
コンディショニング論		2		障がい者スポーツ論Ⅰ		2	
救 急 処 置 演 習	1			障がい者スポーツ論Ⅱ		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
障がい者スポーツ指導法		2		海外の健康・スポーツの研究		2	
スポーツマネジメント論		2		マリンスポーツ実習		1	} 必修1
スポーツビジネス最前線		2		キャンプ実習		1	
スイミング		1	} 必修1	スノースポーツ実習		1	
トラックアンドフィールド		1		健康・スポーツ科学の統計学演習		1	
体 操		1	} 必修1	2 年 次 演 習	1		
器 械 運 動		1		健康・スポーツ科学演習	2		
バレーボール		1	} 必修1	卒 業 研 究	4		
バスケットボール		1		教 職 入 門	2		
ハンドボール		1		教 育 原 理	2		
柔 道		1	} 必修1	人権教育の理論と方法	2		
剣 道		1		教 育 史	2		
ダンス I	1			教 育 心 理 学	2		
ダンス II		1		発 達 心 理 学	2		
ダンス III		1		教 育 行 政 学	2		
卓 球		1		教 育 課 程 総 論	2		
バドミントン		1		教育方法の理論と実践	2		
保健体育科指導法 I		2		道 徳 教 育 指 導 論	2		
保健体育科指導法 II		2		生徒指導・進路指導	2		
保健体育科指導法 III		2		教育相談の理論と方法	2		
保健体育科指導法 IV		2		教育実習事前事後指導(中高)	1		
保健体育科指導法(水泳)		1		教育実習 I (中高)	2		
保健体育科指導法(球技)		1		教育実習 II (中高)	2		
保健体育科指導法(ダンス)		1		特別支援学校参加実習	1		
保健体育科指導法(武道)		1		教職実践演習(中高)	2		
保健体育科指導法(体づくり運動)		1		特 別 支 援 教 育 論	2		
保健体育科指導法(器械運動)		1		総合的な学習の時間と特別活動	2		
保健体育科指導法(陸上競技)		1		教育実習事前指導(中高)	1		
エアロビックダンス		1		健 康 科 学 II	2		
アクアエクササイズ		1		スポーツ傷害の基礎知識II	2		
				コンディショニング指導論	2		

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
コンディショニング指導演習Ⅰ		2					
コンディショニング指導演習Ⅱ		2					
検査・測定評価実習Ⅰ		1					
保健の授業研究		2					
保健体育科教材演習Ⅰ		1					
保健体育科教材演習Ⅱ		1					
教科外体育論		2					
パフォーマンス向上論		2					
パフォーマンス向上演習		1					
ジュニアスポーツ指導論		2					
ジュニアスポーツ指導演習		1					
健康管理とスポーツ医学		2					
A T 実 践 実 習		2					
スポーツトレーニングの科学Ⅱ		2					
検査・測定評価実習Ⅱ		1					
アスレティックトレーニングⅠ		2					
アスレティックトレーニングⅡ		2					
アスレティックトレーニングⅢ		2					
スポーツの心理と栄養		2					
簿 記		2					
スポーツマーケティング論		2					
消費者行動論		2					
スポーツイベントの企画運営		2					
販 売 管 理 論		2					
実務技能対策論		2					
ファシリティマネジメント		2					
スポーツビジネス学内演習		1					
スポーツビジネス学外実習		1					
キャリアデザイン論		2					
地域活性化実践論		2					
プレプロフェッショナル教育		2					

健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				アカウンティングⅠ		2	
初 期 演 習 Ⅰ	1			アカウンティングⅡ		2	
初期演習Ⅱ(スポーツマネジメント)	1			実務技能対策論		2	
健康・スポーツ科学論	2			経 営 組 織 論		2	
スポーツの文化・歴史	2			ファイナンシャルマネジメント		2	
情報リテラシー	2			消 費 者 行 動 論		2	
基 礎 英 語 Ⅰ	1			販 売 管 理 論		2	
基 礎 英 語 Ⅱ	1			マーチャンダイジング		2	
Oral Communication Ⅰ	1			ヒューマンリソースマネジメント		2	
Oral Communication Ⅱ	1			スポーツマネジメント学内演習	2		
TOEIC 認定英語Ⅰ		2		スポーツマネジメント学外実習		1	
TOEIC 認定英語Ⅱ		2		専 門 英 語 A		1	
TOEIC 認定英語Ⅲ		2		専 門 英 語 B		1	
TOEIC 認定英語Ⅳ		2		海外のスポーツビジネス研究		2	
<b>専門教育科目</b>				ス ポ ー ツ 心 理 学		2	
スポーツビジネス最前線	2			ス ポ ー ツ 栄 養 学		2	
スポーツ産業と政策		2		運 動 生 理 学		2	
スポーツビジネス論	2			ス ポ ー ツ 医 学		2	
スポーツマネジメント論	2			ス ポ ー ツ 運 動 学		2	
スポーツマーケティング論	2			体 育 原 理		2	
スポーツガバナンス論		2		運動器の解剖と機能		2	
スポーツ情報・メディア論		2		スポーツトレーニングの科学		2	
スポーツイノベーション論		2		救 急 処 置 演 習	1		
ホスピタリティマネジメント論		2		バ イ オ メ カ ニ ク ス		2	
地域スポーツマネジメント論		2		学 校 保 健		2	
スポーツイベントの企画・運営		2		公 衆 衛 生 学		2	
スポーツ施設マネジメント論		2		発 育 発 達 ・ 老 化 論		2	
トップスポーツ経営論		2		ス ポ ー ツ 指 導 論		2	
スポーツ・ヘルスツーリズム論		2		ス ポ ー ツ 社 会 学		2	
ヘルスケアマネジメント論		2		ス ポ ー ツ 行 政 ・ 法 規		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
スポーツ経営管理学		2		バドミントン		1	
体力の測定評価演習		2		保健体育科指導法Ⅰ		2	
コーチング論		2		保健体育科指導法Ⅱ		2	
健康・スポーツカウンセリング		2		保健体育科指導法Ⅲ		2	
生活習慣病論		2		保健体育科指導法Ⅳ		2	
運動処方		2		保健体育科指導法(体づくり運動・器械運動)		1	
フィットネス指導法		2		保健体育科指導法(陸上競技・水泳)		1	
介護法・介護予防演習		2		保健体育科指導法(球技)		1	
運動療法演習		2		保健体育科指導法(武道・ダンス)		1	
健康行動科学・演習		2		エアロビックダンス		1	
健康・スポーツ実践実習		1		アクアエクササイズ		1	
レクリエーション論		2		マリンスポーツ実習		1	
レクリエーション指導法演習		1		キャンプ実習		1	
レクリエーション指導法実習		1		スノースポーツ実習		1	
障がい者スポーツ論Ⅰ		2		健康・スポーツ科学の統計学演習		1	
障がい者スポーツ論Ⅱ		2		卒業研究Ⅰ	2		
障がい者スポーツ指導法		2		卒業研究Ⅱ	4		
スイミング		1					
トラックアンドフィールド		1					
体操		1					
器械運動		1					
バレーボール		1					
バスケットボール		1					
ハンドボール		1					
柔道		1					
剣道		1					
ダンスⅠ	1						
ダンスⅡ		1					
ダンスⅢ		1					
卓球		1					



生活環境学部 生活環境学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				統 計 調 査 演 習		2	
初 期 演 習 I	1			阪 神 間 文 化 論		2	
初期演習Ⅱ（生活環境）	1			生 活 美 学		2	
情 報 リ テ ラ シ ー	2			生 活 文 化 演 習 I		2	
Oral Communication		2		生 活 文 化 演 習 II		2	
生 活 環 境 英 語		2		生 活 文 化 演 習 III		2	
T O E I C 認 定 英 語 I		2		界 面 科 学		2	
T O E I C 認 定 英 語 II		2		界 面 科 学 実 験		2	
T O E I C 認 定 英 語 III		2		織 維 学		2	
T O E I C 認 定 英 語 IV		2		織 維 科 学 実 験		2	
<b>専門教育科目</b>				織 維 製 品 材 料 学		2	
生 活 環 境 論		2		織 維 製 品 材 料 学 実 験		2	
基 礎 造 形 実 習		2		工 芸 染 色 実 習		2	
生 活 科 学		2		被 服 学 総 合 演 習 I		2	
ファッションビジネス論		2		被 服 学 総 合 演 習 II		2	
ア パ レ ル 構 成 学		2		衣 環 境 学		2	
住 居 学		2		衣 環 境 実 験		2	
建 築 概 論		2		染 色 加 工 学		2	
基 礎 ・ 設 計 製 図 演 習		2		染 色 加 工 学 実 験		2	
生 活 科 学 演 習		2		衣 料 分 析 法		2	
服 飾 デ ザ イン 論		2		衣 料 分 析 実 験		2	
アパレル構成学実習Ⅰ		2		品 質 管 理		2	
インテリアデザイン論		2		消 費 科 学		2	
グラフィックデザイン基礎実習		2		消 費 生 活 論		2	
環 境 共 生 概 論		2		アパレル設計生産論		2	
環 境 デ ザ イン 演 習		2		アパレル生産実習A		2	
建 築 設 計 基 礎 実 習		2		アパレル生産実習B		2	
ま ち づ くり 基 礎 演 習		2		アパレル構成学実習Ⅱ		1	
色 彩 学		2		アパレル企画論		2	
統 計 学		2		ス タ イ ル 画 実 習		1	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
テキスタイルデザイン実習Ⅰ		2		福祉住環境実習		2	
テキスタイルデザイン実習Ⅱ		2		建築設備		2	
ドラフティングCAD実習Ⅰ		1		建築材料学		2	
ドラフティングCAD実習Ⅱ		1		建築材料学実験		2	
ドレーピング実習		2		建築施工		2	
ファッションコンピュータ実習		2		建築計画学Ⅰ		2	
V M D 演 習		2		建築計画学Ⅱ		2	
服 飾 史		2		住宅設計		2	
現代ファッション論		2		建築CAD実習		2	
ファッションデザイン演習		2		建築・インテリア設計Ⅰ		4	
生活デザイン論		2		建築・インテリア設計Ⅱ		3	
生活デザイン実習Ⅰ		2		都市・建築設計		3	
生活デザイン実習Ⅱ		2		世界建築史		2	
生活デザイン実習Ⅲ		2		日本建築史		2	
生活デザイン実習Ⅳ		2		近代建築論		2	
デザイン技法Ⅰ		2		現代建築論		2	
デザイン技法Ⅱ		2		建築一般構造Ⅰ		2	
デザインリサーチ実習		2		建築一般構造Ⅱ		2	
視 覚 文 化 論		2		構造力学Ⅰ		2	
インテリアテキスタイル概論		2		構造力学Ⅰ演習		1	
人 間 工 学		2		構造力学Ⅱ		2	
人間工学実験Ⅰ		2		構造力学Ⅱ演習		1	
人間工学実験Ⅱ		2		建築法規		2	
環境計画Ⅰ		2		測量実習		2	
環境計画実習Ⅰ		2		景 観 論		2	
環境計画Ⅱ		2		まちづくり論Ⅰ		2	
環境計画実習Ⅱ		2		まちづくり論Ⅱ		2	
環境計画Ⅲ		2		フィールドデザイン演習Ⅰ		2	
環境計画実習Ⅲ		2		フィールドデザイン演習Ⅱ		2	
環境リスク学		2		フィールドデザイン演習Ⅲ		3	
福祉生活環境概論		2		フィールドデザイン特別演習		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
フィールド・サーヴェイ実習		1					
プレゼンテーション演習		2					
造園学・同演習		2					
家庭生活論		2					
保 育 学		2					
調理学実習		2					
家庭工学		2					
食 物 学		2					
テキスタイルアドバイザー実習		1					
海外語学研修		3					
海外の生活環境研修Ⅰ		1					
海外の生活環境研修Ⅱ		2					
卒業基礎演習	2						
卒業研究		6					

社会情報学部 社会情報学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				経 営 情 報 演 習		2	
初 期 演 習 I	1			組 織 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論		2	
初期演習Ⅱ (社会情報入門)	1			広 告 メ デ ィ ア 論		2	
データ・情報リテラシー	2			広 告 メ デ ィ ア 演 習		2	
Oral Communication I		1		地 域 産 業 論		2	
Oral Communication II		1		I T 活 用 と ビ ジ ネ ス		2	
T O E I C 認 定 英 語 I		2		コ ミ ュ ニ テ ィ ビ ジ ネ ス 論		2	
T O E I C 認 定 英 語 II		2		消 費 者 経 済 学		2	
T O E I C 認 定 英 語 III		2		衣 生 活 情 報 論		2	
T O E I C 認 定 英 語 IV		2		情 報 科 学 入 門	2		
<b>専門教育科目</b>				プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門		2	
メ デ ィ ア 論		2		プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習 I		2	
コンセプトデザイン論		2		プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習 II		2	
科学技術と社会		2		ユ ー ザ イン タ フ ェ ー ス 論		2	
メディアと生活文化		2		ア ル ゴ リ ズ ム 論		2	
メディア産業論		2		ソ フ ト ウ ェ ア 工 学		2	
メディアカルチャー論		2		ソ フ ト ウ ェ ア 工 学 演 習		2	
情報とコミュニケーション		2		シ ス テ ム 設 計		2	
ネットワーク社会論		2		シ ス テ ム 設 計 演 習		2	
SNSリテラシー演習		2		情 報 基 礎 数 学		2	
映像文化史		2		情 報 数 学		2	
文化社会学		2		デ ー タ ベ ー ス 入 門		2	
文化社会学演習		2		コ ン ピ ュ ー タ ネ ッ ト ワ ー ク 入 門		2	
マーケティング論		2		コ ン ピ ュ ー タ ネ ッ ト ワ ー ク 演 習		2	
グローバルビジネス論		2		コ ン ピ ュ ー タ ネ ッ ト ワ ー ク 論		2	
マーケティング戦略論		2		ウ ェ ブ 入 門		2	
コンテンツプランニング演習		2		ウ ェ ブ プ ロ グ ラ ミ ン グ		2	
企業経営論		2		ウ ェ ブ ア プ リ ケ ー シ ョ ン 設 計		2	
マーケットデザイン演習		2		ウ ェ ブ ア プ リ ケ ー シ ョ ン 開 発 演 習		2	
経営情報論		2		ウ ェ ブ エ ン ジ ニ ア リ ン グ		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
ウェブコンピューティング論		2		社 会 情 報 学 概 論	2		
プラットフォーム概論		2		プロジェクト演習入門		2	
システムセキュリティ入門		2		プロジェクト演習Ⅰ		2	
情報セキュリティ論		2		プロジェクト演習Ⅱ		2	
統 計 学 Ⅰ	2			プロジェクト演習Ⅲ		2	
統 計 学 Ⅱ		2		ハ ッ カ ソ ン		2	
A Ⅰ 入 門		2		卒 業 基 礎 研 究	4		
A Ⅰ 概 論		2		卒 業 研 究	4		
A Ⅰ 演 習		2		卒 業 基 礎 演 習 Ⅰ	2		
データサイエンス基礎演習		2		卒 業 基 礎 演 習 Ⅱ	2		
データサイエンス演習<A>		2		キャリアプランニング		1	
データサイエンス演習<B>		2		生 涯 学 習 論		2	
データサイエンス演習<C>		2					
データサイエンス演習<D>		2					
データサイエンス論<A>		2					
データサイエンス論<B>		2					
社 会 調 査 入 門		2					
社 会 調 査 Ⅰ		2					
社 会 調 査 Ⅱ		2					
社 会 調 査 演 習		2					
デジタル表現入門		2					
デ ジ タ ル 表 現		2					
ウェブデザイン演習		2					
I C T 社 会 の ビ ジ ネ ス	2						
オフィスツールの活用		2					
色 彩 情 報 論		2					
色 彩 情 報 演 習		2					
情 報 英 語 Ⅰ		2					
情 報 英 語 Ⅱ		2					
情 報 倫 理		2					

食物栄養科学部 食物栄養学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				生 化 学 II		2	
初 期 演 習 I	1			生 化 学 実 験	1		
初期演習Ⅱ(食物栄養学入門)	1			臨床病原微生物学		2	
食物栄養科学概論	1			臨床医学Ⅰ	2		
管理栄養士論	1			臨床医学Ⅱ		2	
基礎化学	2			臨床学実習		1	
基礎化学実験	1			食 品 学	2		
栄養学の基礎	2			食 品 学 実 験	1		
食品素材学	2			食品加工学実験		1	
微生物学	2			食品機能学		2	
食文化論	2			食品機能学実験		1	
TOEIC Preparation I		1		食品衛生学	2		
TOEIC Preparation II		1		食品衛生学実験	1		
栄養学英語Ⅰ	2			調 理 学	2		
栄養学英語Ⅱ	2			調理学実習Ⅰ		1	
予防医学概論	1			調理学実習Ⅱ		1	
栄養統計学	2			基礎栄養学	2		
疫 学	1			基礎栄養学実験	1		
食事調査法演習	1			応用栄養学Ⅰ	2		
食事摂取基準論	1			応用栄養学Ⅱ		2	
健康科学Ⅰ		2		応用栄養学Ⅲ		2	
<b>専門教育科目</b>				応用栄養学実習	1		
公衆衛生学	2			栄養教育論Ⅰ	2		
公衆衛生学実習		1		栄養教育論Ⅱ	2		
環境科学		2		栄養教育論Ⅲ		2	
社会福祉概論	2			栄養教育論実習Ⅰ	1		
解剖生理学Ⅰ	2			栄養教育論実習Ⅱ	1		
解剖生理学Ⅱ	2			臨床栄養学Ⅰ	2		
解剖生理学実習	1			臨床栄養学Ⅱ	2		
生 化 学 I	2			臨床栄養学Ⅲ		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
臨 床 栄 養 学 IV		2		プレプロフェッショナル教育		2	
臨 床 栄 養 学 実 習 I	1						
臨 床 栄 養 学 実 習 II	1						
公 衆 栄 養 学 I	2						
公 衆 栄 養 学 II		2					
公 衆 栄 養 学 実 習	1						
給 食 経 営 管 理 論 I	2						
給 食 経 営 管 理 論 II	2						
給 食 経 営 管 理 学 実 習	1						
管 理 栄 養 総 合 演 習 I		1					
管 理 栄 養 総 合 演 習 II		1					
臨 地 実 習 I	1						
臨 地 実 習 II		2					
臨 地 実 習 III	1						
分 子 栄 養 学		2					
在 宅 栄 養 ケ ア 支 援 論		2					
リハビリテーション栄養学		1					
健 康 ス ポ ー ツ 栄 養 学		2					
国 際 栄 養 学 演 習		4					
食 糧 経 済 学		2					
卒 業 英 語 演 習 I	1						
卒 業 英 語 演 習 II	1						
卒 業 研 究 方 法 論	1						
卒 業 論 文		6	} 必修6				
卒 業 演 習		6					
学 校 栄 養 教 育 ・ 指 導 論 I		2					
学 校 栄 養 教 育 ・ 指 導 論 II		2					
健 康 科 学 II		2					
キ ャ リ ア デ ザ イン 論		2					
地 域 活 性 化 実 践 論		2					

食物栄養科学部 食創造科学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				臨床栄養学概論	2		
初期演習Ⅰ	1			臨床栄養学実習	1		
初期演習Ⅱ(食創造の可能性)	1			栄養教育論Ⅰ	2		
基礎化学	2			栄養教育論Ⅱ	2		
食品化学	2			栄養教育論実習Ⅰ	1		
食品化学実験	1			栄養教育論実習Ⅱ	1		
食物栄養科学概論	1			公衆栄養学	2		
統計学	2			調理学	2		
実践TOEIC演習Ⅰ	1			調理学実習Ⅰ	1		
実践TOEIC演習Ⅱ	1			調理学実習Ⅱ	1		
<b>専門教育科目</b>				給食管理論	2		
社会福祉概論	2			給食管理学実習	2		
公衆衛生学	2			校外実習	1		
解剖生理学	2			食品産業論実習Ⅰ	1		
解剖生理学実習	1			食品産業論実習Ⅱ	1		
臨床医学	2			食品製造学Ⅰ	2		
生化学Ⅰ	2			食品製造学Ⅱ	2		
生化学Ⅱ	2			食品産業論	2		
生化学実験	1			異文化コミュニケーション論	2		
食品学	2			フードサイエンス英語Ⅰ	2		
食品学実験	1			フードサイエンス英語Ⅱ	2		
食品加工学	2			食品開発論	2		
食品加工学実習	1			栄養資源開発論		2	
食品衛生学	2			調理科学	2		
食品衛生学実験	1			調理科学実験	1		
基礎栄養学	2			バイオテクノロジー概論		2	
基礎栄養学実験	1			食品機能学	2		
応用栄養学Ⅰ	2			官能評価・鑑別論		2	
応用栄養学Ⅱ	2			食品安全学Ⅰ	2		
応用栄養学実習	1			食品安全学Ⅱ		2	



授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
食 品 安 全 学 実 験	1			実 践 英 会 話 I		2	※選必
グローバルレギュラトリーサイエンス		2		実 践 英 会 話 II		2	
H A C C P 管理実践論		2		実 践 英 会 話 III		2	
マーケットリサーチ法	1			実 践 英 会 話 IV		2	
フードビジネス論 I	2			実 践 英 会 話 V		2	
フードビジネス論 II	2			卒業演習 (国際インターンシップ含む)		6	※※選必
補 完 代 替 医 学		2					
比 較 食 文 化 論		2					
卒 業 英 語 演 習 I		1	※選必				
卒 業 英 語 演 習 II		1	※選必				
卒 業 論 文		6	※※選必				
卒 業 演 習		6	※※選必				
食 経 営 学		2					
フードデザイン演習		1	※「卒業英語演習 I」、「卒業英語演習 II」、「実践英会話 I」のうち 2 単位必修。				
メニュー企画・開発論		2					
メニュー企画・開発実習		1					
食マーケティング演習 I		1					
食マーケティング演習 II		1					
インターンシップ (フードマネジメント)		2					
食 品 機 器 分 析 学		2	※※「卒業論文」、「卒業演習」、「卒業演習 (国際インターンシップ含む)」のうち 6 単位必修。				
食品機器分析学実験 I		1					
食品機器分析学実験 II		1					
実験計画法演習		1					
インターンシップ(フードイノベーション)		2					
グローバルフード研修事前演習		1					
食 の 国 際 理 解		2					
グ ロー バ ル フ ード 学		2					
国 際 食 流 通 論		2					
国 際 食 科 学		2					
国 際 食 科 学 演 習		1					

建築学部 建築学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				建築環境工学Ⅰ	2		
初期演習Ⅰ	1			建築環境工学Ⅱ	2		
初期演習Ⅱ（建築入門）	1			建築環境工学実験	2		
建築英語Ⅰ	2			建築環境工学Ⅲ		2	※選必
建築英語Ⅱ	2			建築設備Ⅰ	2		
建築英語Ⅲ	2			建築設備Ⅱ		2	※選必
建築英語Ⅳ	2			建築構造力学Ⅰ	2		
建築数学	2			建築構造力学Ⅱ	2		
建築物理	2			地盤・振動論		2	※選必
<b>専門教育科目</b>				建築一般構造Ⅰ	2		
空間表現演習Ⅰ	5			建築一般構造Ⅱ	2		
空間表現演習Ⅱ	5			建築各種構造		2	※選必
建築設計演習Ⅰ	5			建築材料	2		
建築設計演習Ⅱ	5			建築構造材料実験	2		
建築設計演習Ⅲ	6			建築生産	2		
建築設計演習Ⅳ	6			建築施工	2		
建築設計演習Ⅴ	6			建築法規Ⅰ	2		
図学・情報基礎演習Ⅰ	2			建築法規Ⅱ	2		
図学・情報基礎演習Ⅱ	2			都市計画・デザイン論	2		
CAD・CG応用演習Ⅰ	2			造園学		2	※選必
CAD・CG応用演習Ⅱ	2			測量実習	2		
卒業研究	6			建築フィールドワークⅠA		1	
現代建築論	2			建築フィールドワークⅠB		1	
建築設計計画Ⅰ	2			建築フィールドワークⅡA		1	
建築設計計画Ⅱ	2			建築フィールドワークⅡB		1	※選必から8単位を必修
建築設計計画Ⅲ	2			建築フィールドワークⅢA		1	
建築設計計画Ⅳ	2			建築フィールドワークⅢB		1	
日本建築史	2			建築フィールドワークⅣ		1	
世界建築史	2			海外研修		2	
近代建築史	2						

建築学部 景観建築学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				構 造 力 学 I	2		
初 期 演 習 I	1			構 造 力 学 II	2		
初期演習II (景観建築入門)	1			建 築 一 般 構 造 I	2		
景 観 建 築 英 語 I	2			建 築 一 般 構 造 II	2		
景 観 建 築 英 語 II	2			建 設 材 料	2		
景 観 建 築 英 語 III	2			建 築 生 産	2		
景 観 建 築 英 語 IV	2			建 築 施 工		2	※選必
景 観 建 築 数 学	2			建 築 法 規 I	2		
景 観 建 築 物 理	2			建 築 法 規 II		2	※選必
生 態 学	2			測 量 学	2		
<b>専門教育科目</b>				都 市 計 画	2		
表 現 基 礎 演 習	4			環 境 職 業 倫 理	2		
設 計 基 礎 演 習	4			土 質 力 学		2	※選必
景観建築設計演習I	4			水 理 学		2	※選必
景観建築設計演習II	4			自 然 環 境 保 全 学	2		
景観建築設計演習III	6			文 化 遺 産 保 全 学		2	※選必
景観建築設計演習IV	6			流 域 保 全 学		2	※選必
景観建築設計演習V	6			日 本 庭 園 史	2		
景観映像情報基礎	2			世 界 庭 園 史	2		
測 量 学 実 習	2			景 観 建 築 原 論	2		
景観映像情報演習I	2			景 観 緑 地 計 画 論	2		
景観映像情報演習II	2			景 観 設 計 施 工 技 術		2	※選必
卒 業 研 究	6			景 観 建 築 植 物 学	2		
日 本 建 築 史	2			景 観 建 築 植 物 実 習 I		1	※選必
世 界 建 築 史	2			景 観 建 築 植 物 実 習 II		1	※選必
近 代 建 築 史	2			建 築 都 市 緑 化 実 習 I		1	※選必
建 築 計 画	2			建 築 都 市 緑 化 実 習 II		1	※選必
建 築 環 境 工 学 I	2			建 築 都 市 緑 化 実 習 III		1	※選必
建 築 環 境 工 学 II		2	※選必	建 築 都 市 緑 化 実 習 IV		1	※選必
建 築 設 備	2			景 観 建 築 特 別 実 習 I		1	※選必

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
景観建築特別実習Ⅱ		1	※選必				
景観建築フィールドワークⅠA		1					
景観建築フィールドワークⅠB		1	※選必から14単位を必修				
景観建築フィールドワークⅡA		1					
景観建築フィールドワークⅡB		1					
景観建築フィールドワークⅢA		1					
景観建築フィールドワークⅢB		1					
景観建築フィールドワークⅣ		1					

音楽学部 演奏学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				副専声楽実技ⅢA		1	
初 期 演 習 I	1			副専声楽実技ⅢB		1	
初期演習Ⅱ(音楽探求への誘い)	1			副専ピアノ実技ⅢA		1	
2 年 次 演 習	1			副専ピアノ実技ⅢB		1	
英 語 A	1			副専ピアノ実技ⅣA		1	
英 語 B	1			副専ピアノ実技ⅣB		1	
Oral Communication		2		ソルフェージュⅠA	2		
情報リテラシーⅠ	2			ソルフェージュⅠB	2		
情報リテラシーⅡ		2		ソルフェージュⅡ		4	
TOEIC認定英語Ⅰ		2		和 声 法 A	2		
TOEIC認定英語Ⅱ		2		和 声 法 B	2		
TOEIC認定英語Ⅲ		2		指 揮 法 I		1	
TOEIC認定英語Ⅳ		2		指 揮 法 II		1	
<b>専門教育科目</b>				作家作品研究Ⅰ		2	
主 専 実 技 I A	2			作家作品研究Ⅱ		2	
主 専 実 技 I B	2			即 興 演 奏 A		2	
主 専 実 技 II A	2			即 興 演 奏 B		2	
主 専 実 技 II B	2			作 ・ 編 曲 法 A	2		
主 専 実 技 III A	2			作 ・ 編 曲 法 B	2		
主 専 実 技 III B	2			旋 律 と 和 声 A		2	
主 専 実 技 IV	2			旋 律 と 和 声 B		2	
卒 業 演 奏	3			教 育 伴 奏 法		2	
副専声楽実技ⅠA		1		楽 曲 研 究 A		2	
副専声楽実技ⅠB		1		楽 曲 研 究 B		2	
副専ピアノ実技ⅠA		1		電 子 楽 器		2	
副専ピアノ実技ⅠB		1		音 楽 史 I	4		
副専声楽実技ⅡA		1		音 楽 史 II	4		
副専声楽実技ⅡB		1		合 唱 I	2		
副専ピアノ実技ⅡA		1		合 唱 II	2		
副専ピアノ実技ⅡB		1		合 唱 III		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
学 内 演 奏 I	1						
学 内 演 奏 II	1						
学 内 演 奏 III	1						
器 楽 合 奏		1					
邦 楽		2					
副 科 器 楽 A		1					
副 科 器 楽 B		1					
イタリア語表現演習		2					
声 楽 演 奏 研 究 I A		1					
声 楽 演 奏 研 究 I B		1					
声 楽 演 奏 研 究 II A		1					
声 楽 演 奏 研 究 II B		1					
声 楽 演 奏 研 究 III A		1					
声 楽 演 奏 研 究 III B		1					
演 技 演 習		2					
オ ペ ラ		2					
合 唱 指 導 法		2					
協 奏 曲 I		2					
協 奏 曲 II		2					
伴 奏 法		2					
ピアノアンサンブル		2					
ピ ア ノ 指 導 法		2					
チ ェ ン バ ロ		2					
重 奏 演 習		2					
合 奏 指 導 法		2					
合 奏 I		2					
合 奏 II		2					
合 奏 III		2					
合 奏 IV		2					

音楽学部 応用音楽学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				ソルフェージュⅠA	2		
初 期 演 習 Ⅰ	1			ソルフェージュⅠB	2		
初期演習Ⅱ(音楽探求への誘い)	1			ソルフェージュⅡ		4	
2 年 次 演 習	1			和 声 法 A	2		
英 語 A	1			和 声 法 B	2		
英 語 B	1			指 揮 法 Ⅰ		1	
応 用 英 語 Ⅰ A		1		指 揮 法 Ⅱ		1	
応 用 英 語 Ⅰ B		1		即 興 演 奏 A		2	
応 用 英 語 Ⅱ A		1		即 興 演 奏 B		2	
応 用 英 語 Ⅱ B		1		作 ・ 編 曲 法 A		2	
Oral Communication		2		作 ・ 編 曲 法 B		2	
情報リテラシーⅠ	2			旋 律 と 和 声 A		2	
情報リテラシーⅡ	2			旋 律 と 和 声 B		2	
TOEIC認定英語Ⅰ		2		教 育 伴 奏 法		2	
TOEIC認定英語Ⅱ		2		実 用 楽 器 入 門		2	
TOEIC認定英語Ⅲ		2		音 楽 史 Ⅰ	4		
TOEIC認定英語Ⅳ		2		音 楽 史 Ⅱ	4		
<b>専門教育科目</b>				合 唱 Ⅰ	2		
ピアノ実技ⅠA	2			合 唱 Ⅱ	2		
ピアノ実技ⅠB	2			合 唱 Ⅲ		2	
ピアノ実技ⅡA	2			学 内 演 奏 Ⅰ	1		
ピアノ実技ⅡB	2			学 内 演 奏 Ⅱ		1	
ピアノ実技ⅢA		2		学 内 演 奏 Ⅲ		1	
ピアノ実技ⅢB		2		イタリヤ語表現演習		2	
ピアノ実技ⅣA		2		楽 器 ・ 合 奏 指 導 法		2	
ピアノ実技ⅣB		2		歌 唱 ・ 合 唱 指 導 法		2	
声 楽 実 技 Ⅰ A	2			器 楽 合 奏		1	
声 楽 実 技 Ⅰ B	2			邦 楽		2	
声 楽 実 技 Ⅱ A		2		演 習	2		
声 楽 実 技 Ⅱ B		2		卒 業 論 文	4		

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
音 楽 療 法 論 I	2			表 現 技 術 演 習		4	
音 楽 療 法 論 II		2		音 楽 文 化 創 造 学		4	
発 達 心 理 学		2		音 楽 文 化 事 業 企 画 演 習		2	
音 楽 心 理 学		2		音 楽 活 用 実 習		2	
臨 床 心 理 学 I		4		キ ャ リ ア デ ザ イン 論		2	
臨 床 心 理 学 II		2		地 域 活 性 化 実 践 論		2	
社 会 福 祉 論		2		プ レ プ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ ル 教 育		2	
障 害 児 教 育		2					
介 護 論		2					
レ パ ー ト リ ー ラ ー ニ ン グ		2					
ダ ン ス と 動 き		2					
医 学 概 論		2					
音 楽 療 法 各 論 I		2					
音 楽 療 法 各 論 II		2					
音 楽 療 法 各 論 III		2					
臨 床 医 学 各 論 I		2					
臨 床 医 学 各 論 II		2					
音 楽 療 法 演 習		4					
音 楽 療 法 実 習 I	1						
音 楽 療 法 実 習 II		2					
音 楽 療 法 実 習 III		2					
音 楽 療 法 実 習 IV		2					
音 楽 療 法 研 究 法		4					
音 楽 療 法 総 論		1					
音 楽 社 会 学 概 論	4						
音 楽 教 育 学 研 究		4					
環 境 と 音 楽		4					
生 涯 学 習 関 係 論 I		2					
生 涯 学 習 関 係 論 II		2					
音 楽 と マ ル チ メ デ ィ ア		2					



薬学部 薬学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				物 理 化 学 I	2		
初 期 演 習 I	1			物 理 化 学 II	2		
初期演習II (薬の世界へ)	1			物 理 化 学 III	2		
Oral Communication I		1		分 析 化 学 I	2		
Oral Communication II		1		分 析 化 学 II	2		
基 礎 英 語	1			分 析 化 学 III	2		
英 語 I	1			医 薬 品 試 験 法		1	
英 語 II	1			放 射 化 学	2		
英 語 III	1			有 機 化 学 I	2		
発 展 英 語 I	1			有 機 化 学 II	2		
基 礎 化 学	2			有 機 化 学 III	2		
基 礎 生 物	2			スペクトル構造解析学	2		
基礎数学・物理	2			医 薬 品 化 学	2		
情報リテラシー I	2			発 展 有 機 化 学		1	
情報リテラシー II		2		発 展 医 薬 品 化 学		1	
TOEIC 認定 英語		2		薬 用 植 物 ・ 生 薬 学	2		
<b>専門教育科目</b>				天 然 物 化 学	2		
薬 学 へ の 招 待	2			生 化 学	2		
早期体験学習 I	0.5			代 謝 生 化 学	2		
早期体験学習 II	0.5			分 子 生 物 学	2		
ヒューマニズム論 I	2			免 疫 学	2		
ヒューマニズム論 II	2			細 胞 生 物 学	2		
薬剤師のための生涯教育		1		病 原 微 生 物 学	2		
医療コミュニケーション		1		解 剖 学	2		
感染制御とがん医療		1		生 理 学	2		
医薬品開発論	2			生体恒常性のメカニズム		1	
医療保険と地域医療	2			薬 学 基 礎 演 習 I		1	
薬事関係法規	2			薬 学 基 礎 演 習 II		1	
薬剤師のリスクマネジメント		1		薬 学 基 礎 演 習 III		1	
地域医療における薬剤師		1		薬 学 基 礎 演 習 IV		1	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
公 衆 衛 生 学	2			実 践 治 療 学		1	
栄 養 ・ 食 品 衛 生 学	2			薬 学 臨 床 実 習 概 論	2		
環 境 衛 生 学	2			処 方 解 析 学 演 習	1		
臨 床 栄 養 学		1		医 薬 品 の 適 正 使 用 I		1	
国 民 衛 生 の 最 新 動 向		1		医 薬 品 の 適 正 使 用 II		1	
基 礎 薬 理 学 I	2			一 般 用 医 薬 品 総 論		1	
基 礎 薬 理 学 II		1		薬 剤 師 の 職 能 と 業 務		1	
臨 床 薬 理 学 I	2			臨 床 薬 学 基 本 実 習 I	1		
臨 床 薬 理 学 II	2			臨 床 薬 学 基 本 実 習 II	1		
臨 床 薬 理 学 III	2			臨 床 薬 学 基 本 実 習 III	1		
臨 床 薬 理 学 IV		1		薬 学 臨 床 実 習	20		
疾 患 か ら み た 薬 理 学		1		薬 学 臨 床 演 習		1	
薬 物 動 態 学 I	2			有 機 化 合 物 を つ く る	1		
薬 物 動 態 学 II	2			医 薬 品 を つ く る	1		
臨 床 統 計 学 I	2			生 薬 ・ 天 然 物 医 薬 品 を 取 扱 う	1		
臨 床 統 計 学 II		1		物 質 の 特 性 を 調 べ る	1		
物 理 薬 剤 学	2			物 質 を 解 析 す る	1		
製 剤 学	2			生 体 成 分 と 免 疫 を 調 べ る	1		
薬 物 代 謝 論		1		体 の 成 り 立 ち と 働 き を 調 べ る	1		
薬 物 送 達 シ ス テ ム 学		1		薬 の 働 き を 調 べ る	1		
臨 床 薬 物 動 態 学		1		薬 物 を 製 剤 化 し 体 内 動 態 を 調 べ る	1		
病 態 ・ 薬 物 治 療 学 I	2			人 と 環 境 へ の 影 響 と 細 菌 を 調 べ る	1		
病 態 ・ 薬 物 治 療 学 II	2			発 展 英 語 II	1		
病 態 ・ 薬 物 治 療 学 III	2			基 礎 薬 学 英 語 演 習		2	
病 態 ・ 薬 物 治 療 学 IV	2			薬 学 英 語 演 習		4	
病 態 ・ 薬 物 治 療 学 V	2			卒 業 研 究 I	2		
症 例 解 析 学	2			卒 業 研 究 II	2		
医 薬 品 情 報 学	2			総 合 演 習 I	2		
漢 方 治 療 学		1		総 合 演 習 II	2		
臨 床 化 粧 品 学		1					

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
卒 業 研 究 Ⅲ		1	} 必修1				
総 合 演 習 Ⅲ		1					
キャリアデザイン論		2					
地域活性化実践論		2					
プレプロフェッショナル教育		2					

薬学部 健康生命薬科学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				バイオメディカル分析化学		2	
初 期 演 習 I	1			基 礎 有 機 化 学	2		
初期演習Ⅱ (薬科学への第一歩)	1			応 用 有 機 化 学 I		2	
健康生命薬科学概論	2			応 用 有 機 化 学 II		2	
実 験 基 礎	1			薬 品 合 成 化 学		2	
生 命 倫 理 学	2			反 応 開 発 論		2	
Oral Communication I		1		薬 用 植 物 学		2	
Oral Communication II		1		天 然 物 化 学		2	
基 礎 薬 学 英 語 I	1			基 礎 生 化 学	2		
基 礎 薬 学 英 語 II	1			応 用 生 化 学 I		2	
基 礎 数 学	2			応 用 生 化 学 II		2	
基 礎 生 物 学	2			分 子 生 物 学	2		
情報リテラシー I	2			微 生 物 学		2	
情報リテラシー II		2		遺 伝 学		2	
健 康 科 学 I		2		細胞の情報伝達と疾患		2	
T O E I C 認 定 英 語		2		遺伝子情報リテラシー		2	
<b>専門教育科目</b>				免 疫 学 総 論		2	
薬 学 英 語 I	1			基 礎 解 剖 生 理 学	2		
薬 学 英 語 II	1			機 能 生 理 学		2	
薬 学 英 語 III	1			基 礎 薬 理 学		2	
キ ャ リ ア 英 語	1			応 用 薬 理 学		2	
実 践 薬 学 英 語	2			病 態 疾 病 学		2	
物 理 学		2		薬 物 動 態 学		2	
地 学		2		基 礎 統 計 学	2		
薬 学 化 学 I	2			物 理 薬 剤 学 ・ 製 剤 学 I		2	
基 礎 物 理 化 学	2			物 理 薬 剤 学 ・ 製 剤 学 II		2	
応 用 物 理 化 学		2		衛 生 薬 学 I		2	
基 礎 分 析 化 学	2			衛 生 薬 学 II		2	
応 用 分 析 化 学		2		実 践 薬 物 治 療 学		2	
機 器 分 析 学		2		皮 膚 科 学		2	

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
化粧品学総論		2		薬剤学実験		1	
化粧品製造学		2		基礎薬学英語演習		2	
実践化粧品学		2		卒業研究Ⅰ	2		
東洋美容学基礎		2		卒業研究Ⅱ	8		
臨床化粧品学		2		健康科学Ⅱ		2	
応用化粧品学		2		キャリアデザイン論		2	
臨床検査総論		2		地域活性化実践論		2	
臨床免疫学		2		プレプロフェッショナル教育		2	
脳神経科学		2					
腫瘍生物学		2					
医薬品開発論		2					
化粧品開発論		2					
保健食品機能学		2					
健康サポート論		2					
統合医療概論		2					
薬事関係法規		2					
医薬品情報学		2					
物理学実験		1					
地学実験		1					
臨地体験学習	0.5						
早期体験学習	0.5						
創薬体験学習Ⅰ	1						
創薬体験学習Ⅱ	1						
基礎有機化学実験		1					
生化学実験Ⅰ		1					
化粧品学実験		1					
分析化学実験		1					
解剖生理学実験		1					
衛生薬学実験		1					
薬理学実験		1					

看護学部 看護学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
<b>基礎教育科目</b>				成人看護学Ⅱ（慢性期）	1		
初 期 演 習 I	1			成人看護学Ⅱ（急性期）	1		
初期演習Ⅱ（生活と看護）	1			サポーターケア	1		
医 学 英 語	2			成人看護学実習（慢性期）	3		
看 護 英 語	2			成人看護学実習（急性期）	3		
情報リテラシーⅠ（情報活用の基礎）	2			老 年 看 護 学 概 論	1		
情報リテラシーⅡ（看護応用統計学）	2			老 年 看 護 学 I	2		
解 剖 生 理 学 I	2			老 年 看 護 学 II	1		
解 剖 生 理 学 II	2			アクティブエイジング	1		
生 化 学	2			老 年 看 護 学 実 習 I	2		
臨 床 病 態 栄 養 学	2			老 年 看 護 学 実 習 II	2		
微生物学と感染防御	2			小 児 看 護 学 概 論	1		
看 護 薬 理 学	2			小 児 看 護 学 I	2		
疾 病 治 療 概 論	2			小 児 看 護 学 II	1		
リハビリテーション学	2			チャイルドデイバロップメンタルアプローチ	1		
保健医療福祉制度	2			小 児 看 護 学 実 習	2		
チ ー ム 医 療 論	2			母 性 看 護 学 概 論	1		
公衆衛生看護学	2			母 性 看 護 学 I	2		
疫 学	2			母 性 看 護 学 II	1		
<b>専門教育科目</b>				ウイメンズヘルスケア	1		
看 護 学 概 論	2			母 性 看 護 学 実 習	2		
看 護 援 助 論	2			精 神 看 護 学 概 論	1		
基礎看護技術演習Ⅰ	2			精 神 看 護 学 I	2		
基礎看護技術演習Ⅱ	2			精 神 看 護 学 II	1		
基礎看護技術演習Ⅲ	2			グループアプローチ	1		
基礎看護学実習Ⅰ	1			精 神 看 護 学 実 習	2		
基礎看護学実習Ⅱ	2			在 宅 看 護 学 概 論	1		
成人看護学概論	1			在 宅 看 護 学 I	2		
成人看護学ⅠA	2			在 宅 看 護 学 II	1		
成人看護学ⅠB	2			在 宅 看 護 学 実 習	2		

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
統 合 看 護 学 実 習	2						
看 護 マ ネ ジ メ ン ト	1						
家 族 看 護 学	1						
看 護 研 究 方 法	2						
看 護 英 文 講 読	1						
卒 業 演 習	2						
国 際 看 護 学		2					
実 践 看 護 英 語		2					

経営学部 経営学科

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
基礎教育科目				ネットビジネス入門		2	
初 期 演 習 I	1			ク ラ ウ ド 入 門		2	
初期演習Ⅱ（経営）	1			企業情報システムⅠ		2	
経営課題演習Ⅰ	2			経 済 学 入 門		2	
経営課題演習Ⅱ	2			ヴィジュアルマーチャンダイジング		2	
Oral Communication	2			パブリックマネジメント入門	2		
Business English I	2			法 律 入 門 I		2	
Business English II		2		法 律 入 門 II		2	
情報リテラシーⅠ	2			民 法 入 門 I		2	
情報リテラシーⅡ	2			民 法 入 門 II		2	
経 営 学 入 門	2			地 域 振 興 論		2	
経 営 組 織 論		2		中小企業イノベーション論		2	
ビジネスプラン構築論		2		企業 の 社 会 連 携 論		2	
経営戦略論入門		2		公共総合基礎演習Ⅰ		2	
経 営 環 境 論		2		公共総合基礎演習Ⅱ		2	
労使コミュニケーション論		2		C S R		2	
協働プロジェクト論		2		ビジネスシンキング	2		
組 織 行 動 論		2		論 理 と 数 理 入 門		2	
会 計 入 門	2			消 費 者 行 動 論		2	
商 業 簿 記 I		2		デ ザ イン 思 考		2	
商 業 簿 記 II		2		ロジカルシンキング		2	
原 価 計 算 I		2		社 会 心 理 学		2	
原 価 計 算 II		2		キャリアデザイン特講Ⅰ	2		
企 業 財 務 論		2		キャリアデザイン特講Ⅱ		2	
マーケティング入門	2			実践へのいざない	2		
マーケティングリサーチ		2		インターンシップⅠ		1	※選必
デジタルマーケティング		2		インターンシップⅡ		1	※選必
消費者思考の製品開発		2		インターンシップⅢ		1	※選必
統 計 入 門		2		サービ斯拉ーニングⅠ		1	※選必
統 計 解 析		2		サービ斯拉ーニングⅡ		1	※選必



授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
サービ斯拉ーニングⅢ		1	※選必	W r i t i n g		3	※※※選必
フィールドワークⅠ		1	※選必	R e a d i n g		3	※※※選必
フィールドワークⅡ		1	※選必	C o n v e r s a t i o n		3	※※※選必
フィールドワークⅢ		1	※選必	M i c r o e c o n o m i c s		2	※※※選必
専門教育科目				Financial Accounting		2	※※※選必
経 営 管 理 論		2	※※選必	C o r p o r a t e F i n a n c e		2	※※※選必
流 通 小 売 論		2	※※選必	ビジネスライティング		2	※※※選必
財 務 会 計 論 Ⅰ		2	※※選必	スピーチプレゼンテーション		2	※※※選必
管 理 会 計 論 Ⅰ		2	※※選必	経験価値マネジメント		2	※※※選必
経 営 戦 略 論 Ⅰ		2	※※選必	グ ロー バ ル 経 営 論		2	※※※選必
マーケティング戦略論		2	※※選必	グ ロー バ ル 製 品 開 発 論		2	※※※選必
A I 戦 略 論		2	※※選必	ブ ラ ン ド 戦 略 論		2	※※※選必
商 品 企 画 論		2	※※選必	企業の投資意思決定		2	※※※選必
ビジネスモデル論		2	※※選必	M & A と 企 業 価 値 評 価		2	※※※選必
中 小 企 業 論		2	※※選必	新 興 国 企 業 論		2	※※※選必
財 務 会 計 論 Ⅱ		2	※※選必	パブリックマネジメント		2	※※※選必
人的資源管理論		2	※※選必	産 学 教 育 連 携 論		2	※※※選必
対 人 関 係 論		2	※※選必	環 境 マーケティング		2	※※※選必
労 働 経 済 論		2	※※選必	公 共 政 策 論		2	※※※選必
ベンチャービジネス論		2	※※選必	地 域 産 業 論		2	※※※選必
企業情報システムⅡ		2	※※選必	地 方 財 政 論		2	※※※選必
管 理 会 計 論 Ⅱ		2	※※選必	市 民 協 働 参 画 論		2	※※※選必
経 営 戦 略 論 Ⅱ		2	※※選必	行 政 法		2	※※※選必
デ ジ タ ル 戦 略 論		2	※※選必	福 祉 経 営 論		2	※※※選必
パブリックリレーションズ		2	※※選必	地 域 政 策 論		2	※※※選必
広告・セールスプロモーション		2	※※選必	情 報 政 策 論		2	※※※選必
サプライチェーンマネジメント		2	※※選必	地 域 ブ ラ ン ド 論		2	※※※選必
上 級 財 務 会 計 論		2	※※選必	地 域 防 災 ・ 復 興 論		2	※※※選必
イノベーションプロセス論		2	※※選必				

※選必から4単位を必修 ※※選必から12単位を必修 ※※※選必から6単位を必修  
 ※※※選必から6単位を必修

授 業 科 目	単 位 数		備 考	授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必修	選択			必修	選択	
美 容 業 界 論		2	※※※※選必				
健康ヘルスケア産業論		2	※※※※選必				
流 通 産 業 論		2	※※※※選必				
ファッション・アパレル業態論		2	※※※※選必				
情 報 通 信 産 業 論		2	※※※※選必				
ホテル・ホスピタリティ産業論		2	※※※※選必				
フードサービス産業論		2	※※※※選必				
レジャー・エンターテインメント産業論		2	※※※※選必				
専 門 演 習 I	2						
専 門 演 習 II	2						
専 門 演 習 III	2						
専 門 演 習 IV	2						
卒 業 研 究	4						

※※※※選必から4単位を必修

## 履 修 方 法 （別表第1、第2の備考）

### 1. 卒業までに修得すべき最低単位数

学生は、共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目の中から124単位（建築学科・景観建築学科は128単位、薬学科は190単位及び看護学科は127単位）以上を修得しなければならない。ただし、下記の学部、学科においては、それぞれに規定する単位を含めて修得しなければならない。なお、編入学生の履修方法については、別に定める。

#### 文学部 日本語日本文学科

- 1 共通教育科目の中から16単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「社会科学科目」、「自然科学科目」及び『ジェンダー科目群』から合計4単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」及び『大学・初年次ゼミ』の中の「学び発見ゼミ」から合計2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「言語リテラシー科目」から合計2単位以上、「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」（2単位・必修）
- 3 基礎教育科目及び専門教育科目の中から64単位以上
- 4 学科指定外国語科目の中から8単位以上

#### 文学部 英語文化学科

- 1 共通教育科目の中から14単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「社会科学科目」、「自然科学科目」及び『ジェンダー科目群』から合計4単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」及び『大学・初年次ゼミ』の中の「学び発見ゼミ」から合計4単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」（2単位・必修）
- 3 基礎教育科目の中から30単位以上
- 4 専門教育科目の中から60単位以上

#### 教育学部 教育学科

- 1 共通教育科目の中から12単位以上  
(ただし、次の2の共通教育科目で修得した外国語の単位を含めることができる)
- 2 共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目の中から、外国語科目8単位以上（英語Ⅰ・英語Ⅱの4単位を含む）
- 3 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「自然科学科目」から2単位以上を含み、『基礎教養科目群』から合計8単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」（2単位・必修）
- 4 基礎教育科目及び専門教育科目から81単位以上

心理・社会福祉学部 心理学科

- 1 共通教育科目の中から6単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から8単位以上
- 4 専門教育科目の中から54単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

心理・社会福祉学部 社会福祉学科

- 1 共通教育科目の中から10単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から16単位以上
- 4 専門教育科目の中から46単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科

- 1 共通教育科目の中から14単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』、『ジェンダー科目群』、『学び発見ゼミ』から合計6単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から12単位以上
- 4 専門教育科目の中から62単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科

- 1 共通教育科目の中から8単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から12単位以上
- 4 専門教育科目の中から62単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

生活環境学部 生活環境学科

- 1 共通教育科目の中から14単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」、「社会科学科目」、『ジェンダー科目群』及び『大学・初年次ゼミ』の中の「学び発見ゼミ」から合計4単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」から合計2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から4単位以上

- 4 専門教育科目の中から80単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

社会情報学部 社会情報学科

- 1 共通教育科目の中から16単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から4単位以上
- 4 専門教育科目の中から80単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

食物栄養科学部 食物栄養学科

- 1 共通教育科目の中から6単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から25単位以上
- 4 専門教育科目の中から90単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

食物栄養科学部 食創造科学科

- 1 共通教育科目の中から6単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目12単位
- 4 専門教育科目の中から90単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

建築学部 建築学科

- 1 共通教育科目6単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目」からそれぞれ2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から14単位
- 4 専門教育科目の中から108単位以上

建築学部 景観建築学科

- 1 共通教育科目6単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目」からそれぞれ2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から16単位
- 4 専門教育科目の中から106単位以上

音楽学部 演奏学科

- 1 共通教育科目の中から14単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「社会科学科目」、「自然科学科目」、「ジェンダー科目群」及び『大学・初年次ゼミ』の中の「学び発見ゼミ」から合計2単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」から合計2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「言語リテラシー科目」（ドイツ語又はフランス語）から合計4単位以上及び「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」（2単位・必修）
- 3 基礎教育科目の中から7単位以上
- 4 専門教育科目の中から80単位以上
- 5 上記2のドイツ語又はフランス語の4単位以上を含む学科指定外国語科目の中から8単位以上

音楽学部 応用音楽学科

- 1 共通教育科目の中から8単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「社会科学科目」、「自然科学科目」、「ジェンダー科目群」及び『大学・初年次ゼミ』の中の「学び発見ゼミ」から合計2単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」から合計2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」（2単位・必修）
- 3 基礎教育科目の中から9単位以上
- 4 専門教育科目の中から80単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

薬学部 薬学科

- 1 共通教育科目の中から14単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」（2単位・必修）
- 3 基礎・専門教育科目の中から174単位以上
- 4 学科指定外国語科目の中から8単位以上

薬学部 健康生命薬科学科

- 1 共通教育科目の中から8単位以上
- 2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」（2単位・必修）
- 3 基礎・専門教育科目の中から116単位以上
- 4 学科指定外国語科目の中から8単位以上

看護学部 看護学科

- 1 共通教育科目の中から21単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」、「社会科学科目」か

ら合計4単位以上、『基礎教養科目群』の中の「自然科学科目」、「国際理解科目」、「現代トピック科目」、「ジェンダー科目群」、「キャリアデザイン科目群」及び『大学・初年次ゼミ』の中の「学び発見ゼミ」から合計6単位以上、『言語・情報科目群』の中の「言語リテラシー科目」から合計4単位以上、『健康・スポーツ科目群』から合計1単位以上

- 3 基礎教育科目34単位
- 4 専門教育科目の中から72単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から9単位以上

経営学部 経営学科

- 1 共通教育科目の中から16単位以上
- 2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」、「社会科学科目」から合計2単位以上、『基礎教養科目群』の中の「自然科学科目」、「国際理解科目」、「現代トピック科目」から合計2単位以上、『ジェンダー科目群』、『キャリアデザイン科目群』から合計2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「言語リテラシー科目」から合計4単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」、「健康・スポーツ科目群」、「大学・初年次ゼミ」の中の「学び発見ゼミ」から合計2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)
- 3 基礎教育科目の中から40単位以上
- 4 専門教育科目の中から50単位以上
- 5 学科指定外国語科目の中から8単位以上

## 2 教育職員免許状取得に必要な単位数

教育職員免許状を取得するためには、第27条の2に定められた要件を充足する必要がある。また、各学科において定められた履修要項に従って、必要単位を修得しなければならない。



別表第 3

特別教育科目

1 全学プログラム

区分	授 業 科 目	授 業 時 間 数	備 考	区分	授 業 科 目	授 業 時 間 数	備 考
教 養 講 座 (講義、実習)	SDG2「飢餓ゼロ」を目指して	2	選 択	研究プロジェクト提供講座	栄養と健康のサイエンス	6	選 択
	税 務 署 の 仕 事	2	選 択		美 研 工 房	12	選 択
	日 本 酒 の 魅 力 と は	2	選 択				
	税務署の仕事と納税者サービス	2	選 択				
	国税庁の使命と税務署の仕事	2	選 択				
	就活で役立つ企業の見方	2	選 択				
	SDGsを通じた関西経済の活性化	2	選 択				
	高齢化社会と相続について	2	選 択				
	日 本 酒 の 魅 力 発 見	2	選 択				
資 格 講 座 対	「日本語検定」2級に挑戦	4	選 択				
キ ャ リ ア 教 育 講 座	内定が取れる就職活動講座	4	選 択				
	教職って？高校って？	2	選 択				
	現場が求める教師像	2	選 択				
	教 職 の 魅 力	2	選 択				
	小学校教師をめざす人へ	2	選 択				
	分かりやすい物理	2	選 択				
	発達障害児の理解	4	選 択				
	教員・保育士等採用試験音楽実技対策講座(ピアノ、弾き歌い)	6	選 択				
	教員・保育士等採用試験音楽実技対策講座(歌唱、弾き歌い)	2	選 択				
	教員・保育士等採用試験音楽実技対策講座(リコーダー、弾き歌い)	8	選 択				
	教員・保育士等採用試験音楽実技対策講座(歌唱、弾き歌い)	2	選 択				
	教員採用選考試験家庭科実技対策講座(被服)	2	選 択				
	教員採用選考試験家庭科実技対策講座(食物)	2	選 択				
	学 習 指 導 案 づ くり	8	選 択				
教員採用選考試験の面接など対策(個人・集団・模擬授業)	176	選 択					
教員採用選考試験の実技対策(水泳・マット運動・跳箱)	36	選 択					



## 2 学科プログラム

授 業 科 目	授 業 時間数	備 考	授 業 科 目	授 業 時間数	備 考
(日本語日本文学科)			幼稚園教員採用試験対策講座	4	選 択
予 備 演 習 I	4	選 択	小学校教員採用試験対策講座(水泳)	4	選 択
予 備 演 習 II	4	選 択	小学校教員採用試験対策講座(器械運動)	2	選 択
卒 業 演 習	6	選 択	幼稚園教員・保育士採用試験対策講座	2	選 択
研 究 へ の い ざ な い	4	選 択	教育学科主催講演会	4	選 択
附 属 高 校 授 業 参 観 実 習	6	選 択	幼稚園教育・保育実践講座	4	選 択
入 学 前 教 育	8	選 択	幼稚園教員・保育士採用試験対策講座	4	選 択
			特別支援学校教育実践講座	4	選 択
(英語文化学科)			教育学科主催オープンゼミ	4	選 択
イギリス世紀末文学と夏目漱石	4	選 択	教育研究会講演会	4	選 択
特 別 研 究	4	選 択	入 学 前 教 育	8	選 択
特 別 研 究 I	2	選 択			
特 別 研 究 I	8	選 択	(心理・社会福祉学科)		
特 別 研 究 II	2	選 択	卒 業 論 文	6	選 択
特 別 研 究 II	4	選 択	卒 業 論 文 中 間 報 告 会	6	選 択
特 別 研 究 II	6	選 択	卒 業 論 文 予 備 演 習	6	選 択
特 別 研 究 III	2	選 択	卒 業 論 文 最 終 審 査 会	6	選 択
英語科教員採用試験対策講座 I	84	選 択	特 別 ガ イ ダ ン ス	2	選 択
英語科教員採用試験対策講座 II	62	選 択	福祉レクリエーション特講 I	4	選 択
English Teaching Seminar	2	選 択	福祉レクリエーション特講 II	4	選 択
入 学 前 教 育	8	選 択	福祉レクリエーション特講 III	8	選 択
			福祉実習オリエンテーション	2	選 択
(教育学科)			国 家 試 験 ガ イ ダ ン ス	2	選 択
卒 業 研 究	6	選 択	国 家 試 験 対 策 (模 試 講 評)	2	選 択
教 育 演 習	4	選 択	国 家 試 験 対 策 夏 合 宿	10	選 択
教育研究会地域別採用対策懇談会	4	選 択	国 家 試 験 対 策 冬 合 宿	10	選 択
教育研究会研究発表会	4	選 択	ゼミ配属説明会(心理コース)	2	選 択
教育演習予備講座	4	選 択	ゼミ配属説明会(社会福祉コース)	2	選 択
幼稚園教員・保育士採用試験対策講座	2	選 択	進 路 ガ イ ダ ン ス	2	選 択

授 業 科 目	授 業 時 間 数	備 考	授 業 科 目	授 業 時 間 数	備 考
公 務 員 対 策 講 座	20	選 択	健康・スポーツ科学予備演習23	2	選 択
「心理実習」事前指導	4	選 択	健康・スポーツ科学予備演習24	2	選 択
入 学 前 教 育	8	選 択	健康・スポーツ科学予備演習25	2	選 択
(健康・スポーツ科学科)			健康・スポーツ科学予備演習26	2	選 択
バレーボール(基礎)	8	選 択	健康・スポーツ科学演習	8	選 択
バレーボール(応用編)	8	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンA	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習Ⅱ	4	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンB	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習1	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンC	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習2	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンD	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習3	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンE	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習4	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンF	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習5	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンG	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習6	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンH	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習7	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンI	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習8	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンJ	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習9	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンK	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習10	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンL	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習11	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンM	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習12	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンN	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習13	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンO	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習14	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンP	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習15	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンQ	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習16	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンR	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習17	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンS	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習18	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンT	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習19	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンU	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習20	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンV	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習21	2	選 択	卒業論文・研究発表のプレゼンW	4	選 択
健康・スポーツ科学予備演習22	2	選 択	器 械 運 動	4	選 択
			教員採用試験専門教養対策講座B	24	選 択

授 業 科 目	授 業 時間数	備 考	授 業 科 目	授 業 時間数	備 考
教員採用試験対策講座(水泳実技編)	2	選 択	卒業研究論文演習 FS 分野4	12	選 択
健康運動実践指導者試験対策ⅠA	2	選 択	卒業研究論文演習 FS 分野5	12	選 択
健康運動実践指導者試験対策ⅠB	2	選 択	卒業研究論文演習 FS 分野6	12	選 択
健康運動実践指導者試験対策ⅠC	2	選 択	卒業研究論文演習 FS 分野7	12	選 択
健康運動実践指導者試験対策ⅡA	2	選 択	卒業研究論文演習 FS 分野8	12	選 択
健康運動実践指導者試験対策ⅡB	2	選 択	卒業研究論文演習 FS 分野9	12	選 択
健康運動実践指導者試験対策ⅡC	2	選 択	卒業研究論文演習 NCM 分野1	12	選 択
健康運動実践指導者試験対策ⅡD	2	選 択	卒業研究論文演習 NCM 分野2	12	選 択
健康運動実践指導者試験対策ⅡE	2	選 択	卒業研究論文演習 NCM 分野3	12	選 択
健康運動実践指導者試験対策ⅡF	2	選 択	卒業研究論文演習 NCM 分野4	12	選 択
健康運動実践指導者試験対策ⅡG	2	選 択	卒業研究論文演習 NCM 分野5	12	選 択
健康運動実践指導者試験対策ⅡH	2	選 択	卒業研究論文演習 NCM 分野6	12	選 択
日ス協公認AT資格対策講座A	2	選 択	卒業研究論文演習 NCM 分野7	12	選 択
日ス協公認AT資格対策講座B	2	選 択	卒業研究論文演習 NCM 分野8	12	選 択
入 学 前 教 育	8	選 択	卒業研究論文演習 NCM 分野9	12	選 択
			卒業研究論文演習 NCM 分野10	12	選 択
(生活環境学科)			卒業研究論文演習 NS 分野1	12	選 択
キッズドリームウエア	12	選 択	卒業研究論文演習 NS 分野2	12	選 択
人、まちを科学的に見てみよう	2	選 択	卒業研究論文演習 NS 分野3	12	選 択
卒業研究特別演習	18	選 択	卒業研究論文演習 NS 分野4	12	選 択
生活環境特別演習	12	選 択	卒業研究論文演習 NS 分野5	12	選 択
生活環境特別演習	18	選 択	卒業研究論文演習 NS 分野6	12	選 択
目指せ！ワンランク上のTA	6	選 択	卒業研究論文演習 NS 分野7	12	選 択
入 学 前 教 育	8	選 択	卒業研究論文演習 NS 分野8	12	選 択
			卒業研究論文演習 NS 分野9	12	選 択
(食物栄養学科)			卒業研究論文演習 NS 分野10	12	選 択
卒業演習基礎演習Ⅰ	2	選 択	卒業研究論文演習 PN 分野1	12	選 択
卒業演習基礎演習Ⅱ	4	選 択	卒業研究論文演習 PN 分野2	12	選 択
卒業研究論文演習 FS 分野1	12	選 択	卒業研究論文演習 PN 分野3	12	選 択
卒業研究論文演習 FS 分野2	12	選 択	卒業研究論文演習 PN 分野4	12	選 択

授 業 科 目	授 業 時 間 数	備 考	授 業 科 目	授 業 時 間 数	備 考
卒業研究論文演習 PN 分野5	12	選 択	国試対策・臨床栄養学 1	2	選 択
卒業研究論文演習 PN 分野6	12	選 択	国試対策・臨床栄養学 2	2	選 択
卒業研究論文演習 PN 分野7	12	選 択	国試対策・解剖生理学 1	2	選 択
卒業研究論文演習 PN 分野8	12	選 択	国試対策・解剖生理学 2	2	選 択
卒業研究論文演習 PN 分野9	12	選 択	国試対策・調理科学 1	2	選 択
卒業研究論文演習 PN 分野10	12	選 択	国試対策・調理科学 2	2	選 択
国家試験受験ガイダンス I	2	選 択	国試対策・調理科学 3	2	選 択
国家試験受験ガイダンス II	2	選 択	国試対策・調理科学 4	2	選 択
国家試験受験ガイダンス III	2	選 択	国試対策・食品加工学 1	2	選 択
国家試験対策ガイダンス II	2	選 択	国試対策・食品加工学 2	2	選 択
国家試験対策ガイダンス III	2	選 択	国試対策・食品学 1	2	選 択
国試対策・公衆栄養学 1	2	選 択	国試対策・食品学 2	2	選 択
国試対策・公衆衛生学 1	2	選 択	国試対策・食品学 3	2	選 択
国試対策・公衆衛生学 2	2	選 択	国試対策・食品衛生学 1	2	選 択
国試対策・基礎栄養学 1	2	選 択	国試対策・食品衛生学 2	2	選 択
国試対策・基礎栄養学 2	2	選 択	国試対策(夏季)	2	選 択
国試対策・応用栄養学 1	2	選 択	栄養士免許申請ガイダンス	2	選 択
国試対策・応用栄養学 2	2	選 択	栄養士実習事前ガイダンス	4	選 択
国試対策・応用栄養学 3	2	選 択	管栄国家試験申請ガイダンス	2	選 択
国試対策・栄養教育論 1	2	選 択	管理栄養総合演習事前演習 I	2	選 択
国試対策・栄養教育論 2	2	選 択	管理栄養総合演習事前演習 II-1	4	選 択
国試対策・栄養教育論 3	2	選 択	管理栄養総合演習事前演習 II-2	4	選 択
国試対策・生化学 1	2	選 択	管理栄養総合演習事前演習 II-3	4	選 択
国試対策・生化学 2	2	選 択	管理栄養総合演習事前演習 II-4	4	選 択
国試対策・病原微生物学 1	2	選 択	管理栄養総合演習事前演習 II-5	4	選 択
国試対策・給食経営管理学 1	2	選 択	管理栄養総合演習事前演習 II-6	4	選 択
国試対策・給食経営管理学 2	2	選 択	管理栄養総合演習事前演習 II-7	4	選 択
国試対策・臨床医学 1	2	選 択	管理栄養総合演習事前演習 II-8	4	選 択
国試対策・臨床医学 2	2	選 択	管理栄養総合演習事前演習 II-9	4	選 択
国試対策・臨床医学 3	2	選 択	管理栄養総合演習事前演習 II-10	4	選 択

授 業 科 目	授 業 時 間 数	備 考	授 業 科 目	授 業 時 間 数	備 考
管理栄養総合演習事前演習Ⅱ-11	4	選 択	「空間表現演習Ⅱ」補習	6	選 択
管理栄養総合演習事前演習Ⅱ-12	4	選 択	作 品 展 指 導 1	4	選 択
管理栄養総合演習事前演習Ⅱ-13	4	選 択	作 品 展 指 導 2	4	選 択
管理栄養総合演習事前演習Ⅱ-14	4	選 択	作 品 展 指 導 3	4	選 択
管理栄養総合演習事前演習Ⅱ-15	4	選 択	建築学専攻修士研究発表会1	4	選 択
管理栄養総合演習事前演習Ⅱ-16	4	選 択	建築学専攻修士研究発表会2	4	選 択
管理栄養総合演習事前演習Ⅱ-17	4	選 択	建築学専攻修士研究発表会3	4	選 択
管理栄養総合演習事前演習Ⅲ	4	選 択	建築学科卒業研究発表会1	4	選 択
管理栄養総合演習事前演習Ⅳ-1	4	選 択	建築学科卒業研究発表会2	4	選 択
管理栄養総合演習事前演習Ⅳ-2	4	選 択	建築学科卒業研究発表会3	4	選 択
国家試験対策ガイダンスⅠ	2	選 択	建築学科卒業研究発表会4	4	選 択
基礎学力向上演習Ⅰ	2	選 択	建築学科卒業研究発表会5	4	選 択
基礎学力向上演習Ⅱ	4	選 択	建築学科卒業研究発表会6	4	選 択
入 学 前 教 育	8	選 択	特別学期ガイダンス	2	選 択
(食創造科学科)			数 学 演 習	16	選 択
入 学 前 教 育	8	選 択	物 理 演 習	16	選 択
			物 理 ゼ ミ	16	選 択
			「建築数学・景観建築数学」補習	4	選 択
(情報メディア学科)			「日本建築史」補習	2	選 択
情報処理のための基礎的な技能と知識	8	選 択	「現代建築論」補習	2	選 択
映像基礎ワークショップ	12	選 択	「建築一般構造Ⅰ」補習	4	選 択
入 学 前 教 育	8	選 択	「建築構造力学Ⅰ」補習	4	選 択
(建築学科)			「建築法規Ⅱ」補習	4	選 択
「建築構造力学Ⅱ」補習	4	選 択	「建築設計演習Ⅰ」補習	6	選 択
「建築設計演習Ⅱ」補習	6	選 択	「建築設計演習Ⅴ」補習	6	選 択
「建築設計演習Ⅳ」補習	6	選 択	入 学 前 教 育	8	選 択
「世界建築史」補習	2	選 択	(景観建築学科)		
「建築法規Ⅰ」補習	4	選 択	「建築一般構造Ⅰ」補習	4	選 択
「建築物理・景観建築物理」補習	4	選 択	「景観建築英語Ⅱ」補習	2	選 択



授 業 科 目	授 業 時 間 数	備 考	授 業 科 目	授 業 時 間 数	備 考
「測量学・測量学実習」補習	4	選 択	今岡淑子ピアノ特別レッスンⅠ	2	選 択
「設計基礎演習」補習	6	選 択	卒 業 論 文 発 表 会	4	選 択
特別学期ガイダンス	2	選 択	和 声 法 総 復 習	4	選 択
「建築物理・景観建築物理」補習	4	選 択	多田秀子ピアノ特別レッスン	2	選 択
作 品 展 指 導 1	4	選 択	宮下朋樹ピアノ特別レッスンⅡ	2	選 択
作 品 展 指 導 2	4	選 択	弾 き 歌 い レ ッ ス ン Ⅳ	2	選 択
作 品 展 指 導 3	4	選 択	応 用 音 楽 へ の 誘 い	2	選 択
建築学専攻修士研究発表会1	4	選 択	応用音楽学科ガイダンス	2	選 択
建築学専攻修士研究発表会2	4	選 択	柏木敦子声楽特別レッスン	4	選 択
建築学専攻修士研究発表会3	4	選 択	楽 し い 伴 奏 法 Ⅰ	2	選 択
建築学科卒業研究発表会1	4	選 択	楽 し い 伴 奏 法 Ⅱ	2	選 択
建築学科卒業研究発表会2	4	選 択	福原寿美枝声楽特別レッスンⅠ	2	選 択
建築学科卒業研究発表会3	4	選 択	福原寿美枝声楽特別レッスンⅡ	2	選 択
建築学科卒業研究発表会4	4	選 択	藤村匡人声楽特別レッスンⅠ	2	選 択
建築学科卒業研究発表会5	4	選 択	藤村匡人声楽特別レッスンⅡ	2	選 択
建築学科卒業研究発表会6	4	選 択	音楽×科学の英語論文を読もう	4	選 択
数 学 演 習	16	選 択	音 楽 療 法 士 試 験 対 策	4	選 択
物 理 演 習	16	選 択	音 楽 療 法 士 ( 補 ) 試 験 に 向 け て	4	選 択
物 理 ゼ ミ	16	選 択	入 学 前 教 育	8	選 択
「建築数学・景観建築数学」補習	4	選 択			
「日本建築史」補習	2	選 択	(薬学科、健康生命薬科学科)		
「景観建築英語Ⅰ」補習	2	選 択	アロマセラピスト資格を目指して	2	選 択
「日本庭園史」補習	2	選 択	化 粧 心 理 学	2	選 択
「景観建築植物学」補習	2	選 択	卒 論 発 表 会 へ の 参 加	2	選 択
「景観映像情報基礎」補習	4	選 択	新 薬 開 発 論	2	選 択
入 学 前 教 育	8	選 択	研 究 の 手 引 き	24	選 択
			薬 学 科 1 年 次 の ま と め	14	選 択
(演奏学科、応用音楽学科)			薬 学 科 2 年 次 の ま と め	14	選 択
中村伸吾ピアノ特別レッスンⅠ	2	選 択	薬 学 科 3 年 次 の ま と め	28	選 択
中村伸吾ピアノ特別レッスンⅡ	2	選 択	基 礎 薬 学 入 門	4	選 択

授 業 科 目	授 業 数 時間数	備 考	授 業 科 目	授 業 数 時間数	備 考
薬 学 化 学 入 門	2	選 択			
薬 学 生 物 入 門	2	選 択			
基 礎 分 析 化 学 演 習	2	選 択			
基 礎 有 機 化 学 演 習	2	選 択			
基 礎 生 物 学 演 習	2	選 択			
入 学 前 教 育	8	選 択			
(看護学科)					
模 擬 面 接 お よ び 履 歴 書 相 談 会 2	4	選 択			
第 4 回 国 試 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン	4	選 択			
第 5 回 国 試 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン	2	選 択			
臨 地 実 習 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン 1	2	選 択			
統 合 看 護 学 実 習 へ の 導 入 1	2	選 択			
第 1 回 国 試 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン	2	選 択			
臨 地 実 習 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン 2	2	選 択			
第 2 回 国 試 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン	2	選 択			
統 合 看 護 学 実 習 へ の 導 入 2	4	選 択			
国 試 勉 強 方 法 ガ イ ダ ン ス	2	選 択			
看 護 学 部 就 職 説 明 会	8	選 択			
臨 地 実 習 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン 3	4	選 択			
災 害 看 護 学	4	選 択			
国 際 看 護 学	2	選 択			
第 3 回 国 試 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン	4	選 択			
臨 地 実 習 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン 4	4	選 択			
模 擬 面 接 お よ び 履 歴 書 相 談 会 1	4	選 択			
入 学 前 教 育	8	選 択			
(経営学科)					
入 学 前 教 育	8	選 択			

### 3 ボランティア活動

ボランティア活動	(注)	選 択			
----------	-----	-----	--	--	--

(注) ボランティア活動30時間に対して1単位を認定する。修得した単位は卒業要件の単位に含めない。

### 4 インターンシップ活動

インターンシップ活動	(注)	選 択			
------------	-----	-----	--	--	--

(注) インターンシップ活動30時間に対して1単位を認定する。修得した単位は卒業要件の単位に含めない。



別表第 4

教育職員免許状

(中学校・高等学校教諭、栄養教諭 教育職員免許法施行規則第66条の6「日本国憲法」)

免許法施行規則に定める科目	修得単位 法定最低	本学の開設授業科目	単位数	必修単位 中一種免	必修単位 高一種免	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2	2	

【履修方法】

- (1) その他の教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（本学では「教職基礎科目」と称する。）については、別表第1・別表第2より履修すること。

(中学校・高等学校教諭「各教科の指導法」)

免許法施行規則に定める科目		左の科目に含めることが 必要な事項	修得単位 法定最低	本学の開設授業科目	単位数	必修単位 中一種免	必修単位 高一種免	備考
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目							
		・各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	中 8 ・ 高 4	国語科指導法Ⅰ	2	2	2	各自が取得する免許状の教科に応じて修得すること
				国語科指導法Ⅱ	2	2	2	
				国語科指導法Ⅲ	2	2	2	
				国語科指導法Ⅳ	2	2	2	
				書道科指導法Ⅰ	2	—	2	
				書道科指導法Ⅱ	2	—	2	
				英語科指導法Ⅰ	2	2	2	
				英語科指導法Ⅱ	2	2	2	
				英語科指導法Ⅲ	2	2	2	
				英語科指導法Ⅳ	2	2	2	
				家庭科指導法Ⅰ	2	2	2	
				家庭科指導法Ⅱ	2	2	2	
				家庭科指導法Ⅲ	2	2	2	
				家庭科指導法Ⅳ	2	2	2	
				情報科指導法Ⅰ	2	—	2	
				情報科指導法Ⅱ	2	—	2	
				音楽科指導法Ⅰ	2	2	2	
				音楽科指導法Ⅱ	2	2	2	
				音楽科指導法Ⅲ	2	2	2	
				音楽科指導法Ⅳ	2	2	2	
理科指導法Ⅰ	2	2	2					
理科指導法Ⅱ	2	2	2					
理科指導法Ⅲ	2	2	2					
理科指導法Ⅳ	2	2	2					
合計			中 8 ・ 高 4	計		8	8	

【履修方法】

- (1) 「各教科の指導法」の科目を履修するために必要な手続きの詳細は別に定める。  
 (2) 上表の科目のうち、各自が取得する免許状の教科に応じて8単位（書道科指導法・情報科指導法は4単位）を修得すること。

(中学校・高等学校教諭「教育の基礎的理解に関する科目等」)

免許法施行規則に定める科目		修得単位	法定最低	大学の開設授業科目	単位数	必修単位	中一 種免	必修単位	高一 種免	備考
左の科目に含めることが 必要な事項										
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	2		2		
				教育史	2					
		・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2	2		2		
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政学	2	2		2		
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	2		2		
				発達心理学	2					
		・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	2	2		2		
	・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程総論	2	2		2				
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	中10・高8	道徳教育指導論	2	2		—		
		・総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間と特別活動	2	2		2		
		・特別活動の指導法								
		・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法の理論と実践	2	2		2		
		・生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導	2	2		2		
・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	2	2		2				
第五欄	教育実践に関する科目	・教育実習	中5・高3	教育実習事前指導(中高)	1	1		1		事前事後指導
				教育実習事前事後指導(中高)	1	1		1		
				教育実習Ⅰ(中高)	2	2				
				教育実習Ⅱ(中高)	2	2		2		
		・教職実践演習	2	教職実践演習(中高)	2	2		2		
合計			中27・高23	計	34	30		26		

【履修方法】

- 「教育の基礎的理解に関する科目等」の科目を履修するために必要な手続きの詳細は別に定める。
- 上表の「免許法施行規則に定める科目区分」ごとに指定されている必修単位数を含んで中学校教諭30単位以上、高等学校教諭26単位以上。
- 「教育実習事前事後指導(中高)」「教育実習Ⅰ(中高)・Ⅱ(中高)」「教職実践演習(中高)」については、その履修要件を充足すること。当該履修要件についての詳細は別に定める。
- 「道徳教育指導論」は、高等学校教諭においては「大学が独自に設定する科目」として開設する。
- 「教育の基礎的理解に関する科目等」として修得した単位数のうち中学校教諭27単位、高等学校教諭23単位を超えて修得した単位数を「大学が独自に設定する科目」の修得単位数に含めることができる。

(中学校・高等学校教諭「大学が独自に設定する科目」)

免許法施行規則に定める科目	修得単位 法定最低	算入可能な科目 及び 本学の開設授業科目	単位数	中一種免		高一種免		備考
				必修	選択	必修	選択	
大学が独自に設定する科目	中4 ・ 高12	中学校教諭：28単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」・27単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目等」						いずれかの単位で、中学校教諭4単位以上、高等学校教諭12単位以上修得すること
		① 高等学校教諭：24単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」・23単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目等」						
		人権教育の理論と方法	2		2		2	
		② 道徳教育指導論	2	—			2	
		特別支援学校参加実習	1		1		1	

【履修方法】

- (1) 「大学が独自に設定する科目」②の科目を履修するために必要な手続きの詳細は別に定める。
- (2) 上表の①②いずれかの単位で、中学校教諭4単位以上、高等学校教諭12単位以上。
- (3) 「道徳教育指導論」は、中学校教諭においては「教育の基礎的理解に関する科目等」として開設する。

(栄養教諭「教育の基礎的理解に関する科目等」)

	免許法施行規則に定める科目		修得単 法定 最低 単位	本学の開設授業科目	単位数	栄教一 種免 必修 単 位	備考
		左の科目に含めることが必要な事項					
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原理*	2	2	
		・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門*	2	2	
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政学*	2	2	
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学*	2	2	
		・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論*	2	2	
		・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論*	2	2	
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	道徳教育指導論*	2	2	
		・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		総合的な学習の時間と特別活動*	2	2	
		・生徒指導の理論及び方法		教育方法の理論と実践*	2	2	
		・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		生徒指導の理論と方法	2	2	
				教育相談の理論と方法*	2	2	
第五欄	教育実践に関する科目	・栄養教育実習	2	栄養教育実習事前事後指導	1	1	事前事後指導
				栄養教育実習(学校現場)	1	1	
		・教職実践演習	2	教職実践演習(栄教)	2	2	
合計			18	計	26	26	

【履修方法】

- (1) 「教育の基礎的理解に関する科目等」の科目を履修するために必要な手続きの詳細は別に定める。
- (2) 上表の「免許法施行規則に定める科目区分」ごとに指定されている必修単位数を含んで26単位以上。
- (3) 「栄養教育実習(学校現場)」「教職実践演習(栄教)」については、その履修要件を充足すること。当該履修要件についての詳細は別に定める。
- (4) \*の科目は、中学校・高等学校免許課程と共通開設。

## 別表第 5

### 図書館司書専門教育科目

図書館法施行規則に規定する科目	必要単位数	左記に相当する本学の開講科目	単位数	必修単位
生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	2
図書館概論	2	図書館概論	2	2
図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2	2
図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2	2
図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	2
情報サービス論	2	情報サービス論	2	2
児童サービス論	2	児童サービス論	2	2
情報サービス演習	2	情報サービス演習Ⅰ	1	1
		情報サービス演習Ⅱ	1	1
図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2	2
情報資源組織論	2	情報資源組織論	2	2
情報資源組織演習	2	情報資源組織演習Ⅰ	1	1
		情報資源組織演習Ⅱ	1	1
図書館基礎特論	2	図書館基礎特論	2	4
図書館サービス特論		図書館サービス特論	2	
図書館情報資源特論		図書館情報資源特論	2	
図書・図書館史		図書・図書館史	2	
図書館実習		図書館実習	1	
図書館施設論		—		
図書館総合演習		—		
	24	計	31	26

#### 【履修方法】

- (1) 図書館司書専門教育科目を履修するために必要な手続きの詳細は別に定める。
- (2) 上表の「図書館法施行規則に規定する科目」ごとに指定されている必修単位数を含んで26単位以上。

## 別表第 6

### 学校図書館司書教諭専門教育科目

学校図書館司書教諭講習規程に定める科目	必要単位数	左記に相当する本学の開講科目	単位数	司書教諭必修
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2	2
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2	2
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2	2
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	2
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2	2
	10	計	10	10

#### 【履修方法】

- (1) 学校図書館司書教諭専門教育科目を履修するために必要な手続きの詳細は別に定める。
- (2) 上表の「学校図書館司書教諭講習規程に定める科目」ごとに指定されている必修単位数を含んで10単位以上。

## 別表第 7

### 博物館学芸員専門教育科目

博物館法施行規則 に規定する科目	必 要 単位数	左記に相当する 本学の開講科目	単位数	必 修 単 位
生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	2
博物館概論	2	博物館概論	2	2
博物館経営論	2	博物館経営論	2	2
博物館資料論	2	博物館資料論	2	2
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	2
博物館展示論	2	博物館展示論	2	2
博物館教育論	2	博物館教育論	2	2
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	2
博物館実習	3	博物館実習 A	2	2
		博物館実習 B	1	1
	19	計	19	19

#### 【履修方法】

- (1) 博物館学芸員専門教育科目を履修するために必要な手続きは別に定める。
- (2) 上表の「博物館法施行規則に規定する科目」ごとに指定されている必修単位数を19単位取得。

別表第8（第39条関係）

令和5年度の入学生

学部・学科		費目	※1 入学検定料	入学金	学 費（年 額）			
					授 業 料	教育充実費	実験実習費	実務実習費
文学部	日本語日本文学科	1年次	35,000	200,000	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	935,000	200,000	—	—
	英語文化学科	1年次	35,000	200,000	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	975,000	200,000	—	—
学部教育	教育学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	240,000	—	—
社会心理・福祉学部	心理学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	230,000	—	—
	社会福祉学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	230,000	—	—
スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	※2 26,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	270,000	※2 26,000	—
	スポーツマネジメント学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	※2 26,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	270,000	※2 26,000	—
境生活学部	生活環境学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	250,000	—	—
報社会学部	社会情報学科	1年次	35,000	200,000	990,000	180,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,060,000	250,000	—	—
食物栄養科学部	食物栄養学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	50,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	350,000	50,000	—
	食創造科学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	50,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	350,000	50,000	—
建築学部	建築学科	1年次	35,000	200,000	1,120,000	300,000	80,000	—
		2～4年次	—	—	1,160,000	400,000	80,000	—
	景観建築学科	1年次	35,000	200,000	1,120,000	300,000	80,000	—
		2～4年次	—	—	1,160,000	400,000	80,000	—
音楽学部	演奏学科	1年次	35,000	200,000	1,370,000	330,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,440,000	330,000	—	—
	応用音楽学科	1年次	35,000	200,000	1,370,000	330,000	—	20,000
		2～4年次	—	—	1,440,000	330,000	—	0
薬学部	薬学科	1年次	35,000	200,000	1,502,000	362,000	0	—
		2～6年次	—	—	1,532,000	394,000	96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	35,000	200,000	1,130,000	370,000	0	—
		2～4年次	—	—	1,170,000	370,000	160,000	—
学部看護	看護学科	1年次	35,000	200,000	1,347,000	328,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,367,000	328,000	—	—
学部経営	経営学科	1年次	35,000	200,000	800,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,000,000	200,000	—	—

※1 出願方法、出願回数に応じた割引金額とする。

※2 野外実習費 1・2年次のみ

令和3年度の入学生

学部・学科		費目	※1 入学検定料	入学金	学 費 (年 額)			
					授 業 料	教育充実費	実験実習費	実務実習費
文学部	日本語日本文学科	1年次	35,000 <sup>円</sup>	200,000 <sup>円</sup>	895,000 <sup>円</sup>	200,000 <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>
		2～4年次	—	—	935,000	200,000	—	—
	英語文化学科	1年次	35,000	200,000	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	975,000	200,000	—	—
	心理・社会福祉学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	230,000	—	—
学部教育	教育学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	240,000	—	—
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	1年次	35,000	200,000	995,000	230,000	※2 20,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	270,000	※3 20,000	—
生活環境学部	生活環境学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	250,000	—	—
	情報メディア学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	250,000	—	—
食物栄養科学部	食物栄養学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	50,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	350,000	50,000	—
	食創造科学科	1年次	35,000	200,000	995,000	250,000	50,000	—
		2～4年次	—	—	1,035,000	350,000	50,000	—
建築学部	建築学科	1年次	35,000	200,000	1,100,000	300,000	60,000	—
		2～4年次	—	—	1,140,000	340,000	60,000	—
	景観建築学科	1年次	35,000	200,000	1,100,000	300,000	60,000	—
		2～4年次	—	—	1,140,000	340,000	60,000	—
音楽学部	演奏学科	1年次	35,000	200,000	1,370,000	330,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,440,000	330,000	—	—
	応用音楽学科	1年次	35,000	200,000	1,370,000	330,000	—	20,000
		2～4年次	—	—	1,440,000	330,000	—	—
薬学部	薬学科	1年次	35,000	200,000	1,502,000	362,000	0	—
		2～6年次	—	—	1,532,000	394,000	96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	35,000	200,000	1,130,000	370,000	0	—
		2～4年次	—	—	1,170,000	370,000	160,000	—
学部看護	看護学科	1年次	35,000	200,000	1,347,000	328,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,367,000	328,000	—	—
学部経営	経営学科	1年次	35,000	200,000	800,000	200,000	—	—
		2～4年次	—	—	1,000,000	200,000	—	—

※1 出願方法、出願回数に応じた割引金額とする。

※2 野外実習費

※3 野外実習費 2年次のみ



令和2年度の入学生

学部・学科		費目	学 費 (年 額)			
			授 業 料	教育充実費	実験実習費	実務実習費
文学部	日本語日本文学科	1年次	895,000 <sup>円</sup>	200,000 <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>
		2～4年次	935,000	200,000	—	—
	英語文化学科	1年次	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	975,000	200,000	—	—
	心理・社会福祉学科	1年次	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	230,000	—	—
学部教育	教育学科	1年次	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	240,000	—	—
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	1年次	995,000	230,000	※1 20,000	—
		2～4年次	1,035,000	270,000	※2 20,000	—
生活環境学部	生活環境学科	1年次	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	250,000	—	—
	情報メディア学科	1年次	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	250,000	—	—
食物栄養科学部	食物栄養学科	1年次	995,000	250,000	50,000	—
		2～4年次	1,035,000	350,000	50,000	—
	食創造科学科	1年次	995,000	250,000	50,000	—
		2～4年次	1,035,000	350,000	50,000	—
建築学部	建築学科	1年次	1,100,000	300,000	60,000	—
		2～4年次	1,140,000	340,000	60,000	—
	景観建築学科	1年次	1,100,000	300,000	60,000	—
		2～4年次	1,140,000	340,000	60,000	—
音楽学部	演奏学科	1年次	1,370,000	330,000	—	—
		2～4年次	1,440,000	330,000	—	—
	応用音楽学科	1年次	1,370,000	330,000	—	20,000
		2～4年次	1,440,000	330,000	—	—
薬学部	薬学科	1年次	1,502,000	362,000	0	—
		2～6年次	1,532,000	394,000	96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	1,130,000	370,000	0	—
		2～4年次	1,170,000	370,000	160,000	—
学部看護	看護学科	1年次	1,347,000	328,000	—	—
		2～4年次	1,367,000	328,000	—	—
学部経営	経営学科	1年次	800,000	200,000	—	—
		2～4年次	1,000,000	200,000	—	—

※1 野外実習費

※2 野外実習費 2年次のみ

令和元年度の入学生

学部・学科		費目	学 費 (年 額)			
			授 業 料	教育充実費	実験実習費	実務実習費
文学部	日本語日本文学科	1年次	895,000 <sup>円</sup>	200,000 <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>
		2～4年次	935,000	200,000	—	—
	英語文化学科	1年次	895,000	200,000	—	—
		2～4年次	975,000	200,000	—	—
	心理・社会福祉学科	1年次	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	230,000	—	—
学部教育	教育学科	1年次	995,000	230,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	240,000	—	—
スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	1年次	995,000	230,000	※1 20,000	—
		2～4年次	1,035,000	270,000	※2 20,000	—
生活環境学部	生活環境学科	1年次	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	250,000	—	—
	食物栄養学科	1年次	995,000	250,000	50,000	—
		2～4年次	1,035,000	350,000	50,000	—
	情報メディア学科	1年次	995,000	250,000	—	—
		2～4年次	1,035,000	250,000	—	—
建築学科	1年次	1,100,000	300,000	60,000	—	
	2～4年次	1,140,000	340,000	60,000	—	
音楽学部	演奏学科	1年次	1,370,000	330,000	—	—
		2～4年次	1,440,000	330,000	—	—
	応用音楽学科	1年次	1,370,000	330,000	—	20,000
		2～4年次	1,440,000	330,000	—	—
薬学部	薬学科	1年次	1,502,000	362,000	0	—
		2～6年次	1,532,000	362,000	96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	1,130,000	370,000	0	—
		2～4年次	1,170,000	370,000	160,000	—
学部看護	看護学科	1年次	1,347,000	328,000	—	—
		2～4年次	1,367,000	328,000	—	—

※1 野外実習費

※2 野外実習費 2年次のみ

平成30年度の入学生

学部・学科		学 費 (年 額)					
		授 業 料	教育充実費	学生研修費	実験実習費	実務実習費	
文学部	日本語日本文学科	895,000 <sup>円</sup>	200,000 <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	
	英語文化学科	895,000	200,000	—	—	—	
	教育学科	995,000	230,000	—	—	—	
	心理・社会福祉学科	995,000	230,000	—	—	—	
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	995,000	230,000	—	*1 20,000	—	
生活環境学部	生活環境学科	995,000	250,000	—	—	—	
	食物栄養学科	995,000	250,000	—	46,000	—	
	情報メディア学科	995,000	250,000	—	—	—	
	建築学科	1,100,000	300,000	—	60,000	—	
音楽学部	演奏学科	1,370,000	330,000	—	—	—	
	応用音楽学科	1,370,000	330,000	—	—	*2 20,000	
薬学部	薬学科	1年次	1,502,000	362,000	—	0	—
		2~6年次	1,502,000	362,000	—	96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	1,130,000	370,000	—	0	—
		2~4年次	1,130,000	370,000	—	160,000	—
看護学部	看護学科	1,347,000	300,000	3,000	—	—	

※1 野外実習費。1年次、2年次のみ

※2 1年次のみ

平成26～29年度の入学生

学部・学科		学 費 (年 額)					
		授 業 料	教育充実費	学生研修費	実験実習費	実務実習費	
文学部	日本語日本文学科	895,000 <sup>円</sup>	175,000 <sup>円</sup>	3,000 <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	
	英語文化学科	895,000	175,000	3,000	—	—	
	教育学科	995,000	205,000	3,000	—	—	
	心理・社会福祉学科	995,000	205,000	3,000	—	—	
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	995,000	205,000	3,000	*1 20,000	—	
生活環境学部	生活環境学科	995,000	225,000	3,000	—	—	
	食物栄養学科	995,000	225,000	3,000	46,000	—	
	情報メディア学科	995,000	225,000	3,000	—	—	
	建築学科	1,100,000	275,000	3,000	60,000	—	
音楽学部	演奏学科	1,370,000	305,000	3,000	—	—	
	応用音楽学科	1,370,000	305,000	3,000	—	*2 20,000	
薬学部	薬学科	1年次	1,502,000	337,000	3,000	0	—
		2～6年次	1,502,000	337,000	3,000	96,000	—
	健康生命薬科学科	1年次	1,130,000	345,000	3,000	0	—
		2～4年次	1,130,000	345,000	3,000	160,000	—
看護学部	看護学科	1,347,000	300,000	3,000	—	—	

※1 野外実習費。1年次、2年次のみ

※2 1年次のみ

・看護学部看護学科は平成27年度開設

平成25年度以前の入学生

学部・学科		学 費 (年 額)					
		授 業 料	教育充実費	学生研修費	実験実習費	実務実習費	
文 学 部	日本語日本文学科	895,000 <sup>円</sup>	150,000 <sup>円</sup>	3,000 <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>	
	英語文化学科	895,000	150,000	3,000	—	—	
	教 育 学 科	995,000	180,000	3,000	—	—	
	心理・社会福祉学科	995,000	180,000	3,000	—	—	
健康・ スポーツ 科学部	健康・スポーツ科学科	995,000	180,000	3,000	*1 20,000	—	
生 活 環 境 学 部	生活環境学科	995,000	200,000	3,000	—	—	
	食物栄養学科	995,000	200,000	3,000	46,000	—	
	情報メディア学科	995,000	200,000	3,000	—	—	
	建 築 学 科	1,100,000	250,000	3,000	60,000	—	
音 楽 学 部	演 奏 学 科	1,370,000	280,000	3,000	—	—	
	応用音楽学科	1,370,000	280,000	3,000	—	*2 20,000	
薬 学 部	薬 学 科 (平成23年度以前の入学生)	1,502,000	320,000	3,000	—	80,000	
	薬 学 科 (平成24・25年度の入学生)	1年次	1,502,000	320,000	3,000	0	—
		2～6年次	1,502,000	320,000	3,000	96,000	—
	健康生命薬科学科 (平成23年度以前の入学生)	1,250,000	320,000	3,000	—	—	
	健康生命薬科学科 (平成24・25年度の入学生)	1年次	1,130,000	320,000	3,000	0	—
		2～4年次	1,130,000	320,000	3,000	160,000	—

※1 野外実習費。1年次、2年次のみ

※2 1年次のみ

別表第9（第56条関係）

区 分		金 額	備 考
科目等履修生	選 考 料	10,000円	本学卒業生は免除
	登 録 料	15,000円	本学卒業生は半額
	履 修 料	1 単位 30,000円 ただし、薬学部基礎・専門教育科目のうち講義科目 1 単位 60,000円 「臨床薬学基本実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の履修料は 1 単位 60,000円 「薬学臨床実習」の履修料は750,000円 〔健康生命薬科学科卒業生の薬剤師国家試験 受験資格取得に関する経過措置対応のため〕	単位不要の場合は半額

別表第10（第57条関係）

区 分		金 額	備 考
研 究 生	研 究 料	日本語日本文、英語文化 月額 25,000円	
		教育学部、健康・スポーツ科学部、 心理・社会福祉 月額 29,000円	
		生活環境学部、食物栄養科学部 月額 29,000円	
		建築学部 月額 31,000円	
		音楽学部 月額 39,000円	
		薬学 月額 43,000円	
		健康生命薬科 月額 32,000円	
		経営学部 月額 23,000円	

## 変更事項を記載した書類

### 1. 変更の事由

令和5年4月、心理・社会福祉学部、社会情報学部及び健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科を設置する。また同時に文学部心理・社会福祉学科及び生活環境学部情報メディア学科の学生募集を停止する。以上に伴い、学則の一部を変更する。

#### (1) 新設する学部・学科

心理・社会福祉学部	心理学科	入学定員 150 人	収容定員 600 人
心理・社会福祉学部	社会福祉学科	入学定員 70 人	収容定員 280 人
社会情報学部	社会情報学科	入学定員 180 人	収容定員 720 人
健康・スポーツ科学部	スポーツマネジメント学科	入学定員 100 人	収容定員 400 人

#### (2) 学生募集を停止する学部・学科

文学部	心理・社会福祉学科	入学定員 160 人	3 年次編入学定員 17 人
		収容定員 674 人	
生活環境学部	情報メディア学科	入学定員 150 人	収容定員 600 人

### 2. 変更点

- (1) 第5条（学部・学科及び収容定員）、第5条の2（目的）、第27条の2（教育職員免許状）、第27条の8（社会福祉士、精神保健福祉士）において、新設する学部・学科の記載を加える。また、募集停止する学部・学科の記載を削る。
- (2) 附則において施行日を明確にし、完成年度までの移行措置を追加する。
- (3) 別表第1（共通教育科目の授業科目及びその単位数）、別表第2（基礎教育科目及び専門教育科目）、履修方法において、新設する学部・学科の記載を加える。また、募集停止する学部・学科の記載を削る。
- (4) 別表第8（入学検定料・入学金及び学費）において、新設する学部・学科の記載を加える。また、募集停止する学部・学科の記載を削る。

### 3. 変更の時期

令和5年4月1日

武庫川女子大学学則 変更部分の新旧対照表

新(改正後(案))					旧(現行)				
第5条 本学に置く学部・学科及び収容定員は、次のとおりとする					第5条 本学に置く学部・学科及び収容定員は、次のとおりとする				
学部	学科	入学定員	編入学定員	収容定員	学部	学科	入学定員	編入学定員	収容定員
文学部	日本語日文学科	150	3年次25	650	文学部	日本語日文学科	150	3年次25	650
	英語文化学科	200	3年次25	850		英語文化学科	200	3年次25	850
	(削除)					心理・社会福祉学科	160	3年次17	674
教育学部	教育学科	240	3年次25	1,010	教育学部	教育学科	240	3年次25	1,010
心理・社会福祉学部	心理学科	150	—	600	(新設)				
	社会福祉学科	70	—	280	健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	180	3年次20	760
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	180	3年次20	760	(新設)				
	スポーツマネジメント学科	100	—	400	生活環境学部	生活環境学科	165	3年次20	700
生活環境学部	生活環境学科	165	3年次20	700	情報メディア学科	150	—	600	
	(削除)				(新設)				
社会情報学部	社会情報学科	180	—	720	食物栄養科学部	食物栄養学科	200	3年次10	820
食物栄養科学部	食物栄養学科	200	3年次10	820	食創造科学科	80	3年次5	330	
	食創造科学科	80	3年次5	330	建築学部	建築学科	45	—	180
建築学部	建築学科	45	—	180	景観建築学科	40	—	160	
	景観建築学科	40	—	160	音楽学部	演奏学科	30	—	120
音楽学部	演奏学科	30	—	120	応用音楽学科	20	—	80	
	応用音楽学科	20	—	80	薬学部	薬学科	210	—	1,260
薬学部	薬学科	210	—	1,260	健康生命薬科学科	40	—	160	
	健康生命薬科学科	40	—	160	看護学部	看護学科	80	—	320
看護学部	看護学科	80	—	320	経営学部	経営学科	200	—	800
経営学部	経営学科	200	—	800					
(目的)					(目的)				
第5条の2 各学部・学科の目的は次のとおりとする。					第5条の2 各学部・学科の目的は次のとおりとする。				
2 文学部は、人間の本质と文化的所産を人文諸科学の観点と方法により探究し、探究の過程と成果に基づき、時代と社会の要請に応じる有為な女性を育成することを目的とする。					2 文学部は、人間の本质と文化的所産を人文諸科学の観点と方法により探究し、探究の過程と成果に基づき、時代と社会の要請に応じる有為な女性を育成することを目的とする。				
(略)					(略)				
(削除)					(3) 心理・社会福祉学科は、実力あるところの専門家、福祉のスペシャリストを養成することにより、共に生きる人びとに共感できるやさしさと強さをあわせもち、人・社会の幸福の実現に寄与することのできる実力のある女性の育成を目的とする。				
(略)					(略)				
4 心理・社会福祉学部は、幅広い教養と豊かな人間性を備えるとともに、来るべき人間中心社会の担い手として、「誰一人取り残さない (leave no one behind) 世界」の実現に向けて、社会が抱えるさまざまな課題の解決や新たな価値創造のために、心理学や社会福祉学の知識とスキルを積極的に活用して「持続可能な社会」の実現に向けて、自ら考え行動する力、他者と共に生きる社会の共同的な価値を創造する力、社会の多様性や異質性を理解し社会的な課題に立ち向かうことができる力を備えた人材の育成を目的とする。					(新設)				
(1) 心理学科は、自身の理想を探究・追求し、社会の一員としての自覚を持ち、人びとの幸福に貢献することを目指して、心理学の諸領域における専門的知識と方法論を習得するとともに、個人・社会的問題および学術的課題を主体的に発見し、その解決過程を他者と協働しながら実践的に学ぶことにより、課題発見力と実践力を身につけ、多様な課題に想像力と柔軟性をもって取り組むことができる人材を養成することを目的とする。					(新設)				
(2) 社会福祉学科は、一人ひとりの個性とその人らしく生きる権利を尊重し、支援を必要としている人々と共に自らも、さらには地域や社会もエンパワメントしていけるよう、グローバルな社会の一員としてさまざまな領域で活躍することを目指し、人間中心社会の理念を理解し、持続可能な包摂的社会の実現に向け地域市民として、また福祉専門職として、他者と共に生きる社会における共同的な価値の創造を希求し、社会の多様性、異質性に謙虚に向き合い、社会的な課題の解決に向けて実践することができる人材を養成することを目的とする。					(新設)				
5 健康・スポーツ科学部は、幅広い専門知識並びに豊かな人間性と倫理観を養い、学校や企業、地域社会で活躍できる優れた健康・スポーツの実践者・指導者・管理者となる有為な女性を育成することを目的とする。					4 健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科は、科学的知識に裏づけられた体育・スポーツの研究とその実践を通して、心身の健康並びに体力の保持増進について指導的役割を担う、幅広い分野の健康・スポーツに関わる指導者、保健体育に関わる教育者を養成することを目的とする。				
(1) 健康・スポーツ科学科は、科学的知識に裏づけられた体育・スポーツの研究とその実践を通して、心身の健康並びに体力の保持増進について指導者の役割を担う、幅広い分野の健康・スポーツに関わる指導者、保健体育に関わる教育者を養成することを目的とする。					(新設)				
(2) スポーツマネジメント学科は、健康スポーツ科学の優れた知見と実践を広く学び、多角的な視点からスポーツマネジメントやビジネスに対する理解を深め、多様な社会的課題の解決やダイバーシティの推進に資するマネジメント力と創造性を有する女性を育成することを目的とする。					(新設)				



新(改正後(案))

旧(現行)

6 生活環境学部生活環境学科は、衣服、インテリア、住居、建築から、街・都市空間、地球環境までを連続した生活環境としてとらえ、さらにこれに関わる歴史や生活文化的視点も取り入れながら、理系と文系の考え方を融合させた幅広い視野に立って、新しい時代に対応できる人間性豊かな、専門性と創造的能力を持った有為な女性を育成することを目的とする。

(削除)

(削除)

7 社会情報学部社会情報学科は、情報化社会を超えるデータ駆動の新しい世界に向けて、社会科学と情報科学を画翼とし、これをデータサイエンスで結合する実践的教育研究体系によって、コンピュータネットワークがもたらす仮想空間においても、人間性をいかに発揮できる知恵と技術をそなえた人材を育成することを目的とする。

8～13(略)

第27条の2 教育職員免許状授与の所要資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の単位を、別表第1、第2及び履修方法(別表第1、第2の備考)、並びに別表第4に従い修得しなければならない。

2～3(略)

4 本学において当該所要資格を取得できる学部学科、教員免許状の種類及び免許教科又は領域を次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類	免許教科又は領域
(略)			
健康・スポーツ学部	健康・スポーツ科学科	中学校教諭一種免許状	保健体育
		高等学校教諭一種免許状	保健体育
	スポーツマネジメント学科	中学校教諭一種免許状	保健体育
		高等学校教諭一種免許状	保健体育
生活環境学部	生活環境学科	中学校教諭一種免許状	家庭
		高等学校教諭一種免許状	家庭
	(削除)		
社会情報学部	社会情報学科	高等学校教諭一種免許状	情報
(略)			

第27条の8 心理・社会福祉学部社会福祉学科の学生で、社会福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、社会福祉士及び介護福祉士法並びに同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

2 心理・社会福祉学部社会福祉学科の学生で、精神保健福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、精神保健福祉士法に定める所定の単位を修得しなければならない。

3 心理・社会福祉学部社会福祉学科の定員は70名である。

4 心理・社会福祉学部社会福祉学科の、社会福祉士の指定養成施設としての定員は70名である。

5 心理・社会福祉学部社会福祉学科の、精神保健福祉士の指定養成施設としての定員は40名である。

附 則

1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。

2 第5条に規定する心理・社会福祉学部心理学科及び社会福祉学科の収容定員は令和5年度から令和7年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
心理・社会福祉学部		150	300	450
心理学科				
心理・社会福祉学部		70	140	210
社会福祉学科				

5 生活環境学部は、人間が生活空間において生き、情報を利用して多様な生活を選び、さらに快適で美的な生活環境を築く知識と知恵を生み出すことのできる有為な女性を育成することを目的とする。

(1) 生活環境学科は、衣服、インテリア、住居、建築から、街・都市空間、地球環境までを連続した生活環境としてとらえ、さらにこれに関わる歴史や生活文化的視点も取り入れながら、理系と文系の考え方を融合させた幅広い視野に立って、新しい時代に対応できる人間性豊かな、専門性と創造的能力を持った有為な女性を育成することを目的とする。

(2) 情報メディア学科は、個人の生活に及ぼす情報の力が増大する高度情報化社会において、さまざまな情報を利用・活用して最も適切な生活行動を設計し、他人と協働しながら社会的な営みに積極的に主体的に参画し、個性を活かしつつ、自立して人生を切り開くために、知識と技術と感性と行動力を身に付けた有為な女性を育成することを目的とする。

(新設)

6～11(略)

第27条の2 教育職員免許状授与の所要資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の単位を、別表第1、第2及び履修方法(別表第1、第2の備考)、並びに別表第4に従い修得しなければならない。

2～3(略)

4 本学において当該所要資格を取得できる学部学科、教員免許状の種類及び免許教科又は領域を次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類	免許教科又は領域
(略)			
健康・スポーツ学部	健康・スポーツ科学科	中学校教諭一種免許状	保健体育
		高等学校教諭一種免許状	保健体育
	(新設)		
生活環境学部	生活環境学科	中学校教諭一種免許状	家庭
		高等学校教諭一種免許状	家庭
	情報メディア学科	高等学校教諭一種免許状	情報
(新設)			
(略)			

第27条の8 文学部心理・社会福祉学科社会福祉コースの学生で、社会福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、社会福祉士及び介護福祉士法並びに同法施行規則に定める所定の単位を修得しなければならない。

2 文学部心理・社会福祉学科社会福祉コースの学生で、精神保健福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、第35条の規定によるほか、精神保健福祉士法に定める所定の単位を修得しなければならない。

3 文学部心理・社会福祉学科社会福祉コースの定員は70名である。

4 文学部心理・社会福祉学科社会福祉コースの、社会福祉士の指定養成施設としての定員は70名である。

5 文学部心理・社会福祉学科社会福祉コースの、精神保健福祉士の指定養成施設としての定員は30名である。

(略)

(新設)

新(改正後(案))				旧(現行)																																																																																																																																																																																																																															
<p>3 文学部心理・社会福祉学科は、令和5年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。</p> <p>4 第5条に規定する健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科の収容定員は令和5年度から令和7年度までの間、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学部・学科</th> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> </tr> <tr> <th>収容定員</th> <th>収容定員</th> <th>収容定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康・スポーツ科学部</td> <td></td> <td>100</td> <td>200</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>スポーツマネジメント学科</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5 第5条に規定する社会情報学部社会情報学科の収容定員は令和5年度から令和7年度までの間、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学部・学科</th> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> </tr> <tr> <th>収容定員</th> <th>収容定員</th> <th>収容定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会情報学部</td> <td></td> <td>180</td> <td>360</td> <td>540</td> </tr> <tr> <td>社会情報学科</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>6 生活環境学部情報メディア学科は、令和5年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。</p> <p>7 第5条の2第4項、第5項及び第7項の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生については、なお従前のとおりとする。</p> <p>8 第26条第4項の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生の基礎教育科目及び専門教育科目の授業科目並びにその単位数(別表第2)については、なお、従前のとおりとする。</p> <p>9 第27条の2第4項の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生については、なお従前のとおりとする。</p> <p>10 第27条の8の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生については、なお従前のとおりとする。</p> <p>11 第35条の規定にかかわらず、令和4年度以前の入学生の卒業の要件については、なお従前のとおりとする。</p>				学部・学科	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	収容定員	収容定員	収容定員	収容定員	健康・スポーツ科学部		100	200	300	スポーツマネジメント学科					学部・学科	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	収容定員	収容定員	収容定員	収容定員	社会情報学部		180	360	540	社会情報学科																																																																																																																																																																																														
学部・学科	年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度																																																																																																																																																																																																																														
	収容定員	収容定員	収容定員	収容定員																																																																																																																																																																																																																															
健康・スポーツ科学部		100	200	300																																																																																																																																																																																																																															
スポーツマネジメント学科																																																																																																																																																																																																																																			
学部・学科	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																																																																																																																																																															
	収容定員	収容定員	収容定員	収容定員																																																																																																																																																																																																																															
社会情報学部		180	360	540																																																																																																																																																																																																																															
社会情報学科																																																																																																																																																																																																																																			
<p>別表第1 共通教育科目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">授業科目</th> <th colspan="2">単位数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>必修</th> <th>選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"><b>基礎教養科目群</b></td> </tr> <tr> <td>神話・伝説の世界から</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平安朝文学の世界</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鎌倉時代の文学への誘い</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平安時代の文学への誘い</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日常生活からの哲学入門</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現代フランスの音楽事情</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミュージカル歌唱法</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>音楽の科学</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フランスの音楽と芸術文化</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>先端芸術表現</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自己発見アート</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>未来造形</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(削除)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歌舞伎鑑賞入門</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本の文化 I</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本の文化 II</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				授業科目	単位数		備考	必修	選択	<b>基礎教養科目群</b>				神話・伝説の世界から		2		平安朝文学の世界		2		鎌倉時代の文学への誘い		2		(削除)				(削除)				(削除)				(削除)				(削除)				(削除)				平安時代の文学への誘い		2		日常生活からの哲学入門		2		現代フランスの音楽事情		2		ミュージカル歌唱法		1		(削除)				(削除)				音楽の科学		2		フランスの音楽と芸術文化		2		先端芸術表現		1		自己発見アート		1		未来造形		1		(削除)				(削除)				歌舞伎鑑賞入門		2		日本の文化 I		2		日本の文化 II		2		<p>別表第1 共通教育科目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">授業科目</th> <th colspan="2">単位数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>必修</th> <th>選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"><b>基礎教養科目群</b></td> </tr> <tr> <td>神話・伝説の世界から</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平安朝文学の世界</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鎌倉時代の文学への誘い</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>芭蕉をめぐる人々</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雨月物語に込められた情念</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>芭蕉と旅</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「心中天網島」の女房「おさん」</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本近代文学の魅力 I</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本近代文学の魅力 II</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平安時代の文学への誘い</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日常生活からの哲学入門</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現代フランスの音楽事情</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミュージカル歌唱法</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合唱表現 I</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合唱表現 II</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>音楽の科学</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フランスの音楽と芸術文化</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>先端芸術表現</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自己発見アート</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>未来造形</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書の世界</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本舞踊に学ぶ着付けと作法</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>歌舞伎鑑賞入門</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本の文化 I</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本の文化 II</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				授業科目	単位数		備考	必修	選択	<b>基礎教養科目群</b>				神話・伝説の世界から		2		平安朝文学の世界		2		鎌倉時代の文学への誘い		2		芭蕉をめぐる人々		2		雨月物語に込められた情念		2		芭蕉と旅		2		「心中天網島」の女房「おさん」		2		日本近代文学の魅力 I		2		日本近代文学の魅力 II		2		平安時代の文学への誘い		2		日常生活からの哲学入門		2		現代フランスの音楽事情		2		ミュージカル歌唱法		1		合唱表現 I		1		合唱表現 II		1		音楽の科学		2		フランスの音楽と芸術文化		2		先端芸術表現		1		自己発見アート		1		未来造形		1		書の世界		2		日本舞踊に学ぶ着付けと作法		1		歌舞伎鑑賞入門		2		日本の文化 I		2		日本の文化 II		2	
授業科目	単位数		備考																																																																																																																																																																																																																																
	必修	選択																																																																																																																																																																																																																																	
<b>基礎教養科目群</b>																																																																																																																																																																																																																																			
神話・伝説の世界から		2																																																																																																																																																																																																																																	
平安朝文学の世界		2																																																																																																																																																																																																																																	
鎌倉時代の文学への誘い		2																																																																																																																																																																																																																																	
(削除)																																																																																																																																																																																																																																			
(削除)																																																																																																																																																																																																																																			
(削除)																																																																																																																																																																																																																																			
(削除)																																																																																																																																																																																																																																			
(削除)																																																																																																																																																																																																																																			
(削除)																																																																																																																																																																																																																																			
平安時代の文学への誘い		2																																																																																																																																																																																																																																	
日常生活からの哲学入門		2																																																																																																																																																																																																																																	
現代フランスの音楽事情		2																																																																																																																																																																																																																																	
ミュージカル歌唱法		1																																																																																																																																																																																																																																	
(削除)																																																																																																																																																																																																																																			
(削除)																																																																																																																																																																																																																																			
音楽の科学		2																																																																																																																																																																																																																																	
フランスの音楽と芸術文化		2																																																																																																																																																																																																																																	
先端芸術表現		1																																																																																																																																																																																																																																	
自己発見アート		1																																																																																																																																																																																																																																	
未来造形		1																																																																																																																																																																																																																																	
(削除)																																																																																																																																																																																																																																			
(削除)																																																																																																																																																																																																																																			
歌舞伎鑑賞入門		2																																																																																																																																																																																																																																	
日本の文化 I		2																																																																																																																																																																																																																																	
日本の文化 II		2																																																																																																																																																																																																																																	
授業科目	単位数		備考																																																																																																																																																																																																																																
	必修	選択																																																																																																																																																																																																																																	
<b>基礎教養科目群</b>																																																																																																																																																																																																																																			
神話・伝説の世界から		2																																																																																																																																																																																																																																	
平安朝文学の世界		2																																																																																																																																																																																																																																	
鎌倉時代の文学への誘い		2																																																																																																																																																																																																																																	
芭蕉をめぐる人々		2																																																																																																																																																																																																																																	
雨月物語に込められた情念		2																																																																																																																																																																																																																																	
芭蕉と旅		2																																																																																																																																																																																																																																	
「心中天網島」の女房「おさん」		2																																																																																																																																																																																																																																	
日本近代文学の魅力 I		2																																																																																																																																																																																																																																	
日本近代文学の魅力 II		2																																																																																																																																																																																																																																	
平安時代の文学への誘い		2																																																																																																																																																																																																																																	
日常生活からの哲学入門		2																																																																																																																																																																																																																																	
現代フランスの音楽事情		2																																																																																																																																																																																																																																	
ミュージカル歌唱法		1																																																																																																																																																																																																																																	
合唱表現 I		1																																																																																																																																																																																																																																	
合唱表現 II		1																																																																																																																																																																																																																																	
音楽の科学		2																																																																																																																																																																																																																																	
フランスの音楽と芸術文化		2																																																																																																																																																																																																																																	
先端芸術表現		1																																																																																																																																																																																																																																	
自己発見アート		1																																																																																																																																																																																																																																	
未来造形		1																																																																																																																																																																																																																																	
書の世界		2																																																																																																																																																																																																																																	
日本舞踊に学ぶ着付けと作法		1																																																																																																																																																																																																																																	
歌舞伎鑑賞入門		2																																																																																																																																																																																																																																	
日本の文化 I		2																																																																																																																																																																																																																																	
日本の文化 II		2																																																																																																																																																																																																																																	

新(改正後(案))				旧(現行)			
遊びの人類学		2		遊びの人類学		2	
SNSから日本語を見る		2		SNSから日本語を見る		2	
(削除)				心理学入門		2	
(削除)				人間関係の心理学		2	
(削除)				心理学実践演習		2	
(削除)				生と死の心理学		2	
(削除)				建築文化論		2	
現代世界の教育		2		現代世界の教育		2	
(削除)				情報化と教育		2	
差別と暴力のない世界をめざして		2		差別と暴力のない世界をめざして		2	
メディアに映る女性		2		メディアに映る女性		2	
(削除)				カウンセリングの実際		2	
(削除)				カウンセリングスキル		2	
(削除)				実践カウンセリング		2	
(削除)				生きがい探しのボランティア論		2	
生涯福祉論		2		生涯福祉論		2	
社会福祉とボランティア		2		社会福祉とボランティア		2	
福祉レクリエーションの実際		2		福祉レクリエーションの実際		2	
子育てと家族関係		2		子育てと家族関係		2	
(削除)				「ふつう」を考える社会学		2	
子育てと母性の気づき		2		子育てと母性の気づき		2	
環境心理学入門		2		環境心理学入門		2	
現代社会と憲法		2		現代社会と憲法		2	
教養としての法律		2		教養としての法律		2	
暮らしと法律		2		暮らしと法律		2	
女性と子どものヘルスケア		2		女性と子どものヘルスケア		2	
(削除)				外国から見た日本社会のしくみ		2	
(削除)				経営学入門		2	
消費者生活論		2		消費者生活論		2	
(削除)				日本経済のしくみ		2	
英語で学ぶやさしい経済学		2		英語で学ぶやさしい経済学		2	
英語で学ぶお金の知識		2		英語で学ぶお金の知識		2	
我々の暮らしと日本の産業		2		我々の暮らしと日本の産業		2	
メディア技術と文字デザイン		2		メディア技術と文字デザイン		2	
(削除)				甲子園と阪神電鉄		2	
(削除)				建築と人間行動		2	
まちづくりと地方自治の役割		2		まちづくりと地方自治の役割		2	
(削除)				エコロジーと私たちの暮らし		2	
(削除)				数や図形の科学		2	
文化を創造する数学		2		文化を創造する数学		2	
生命科学入門		2		生命科学入門		2	
(削除)				身近な動植物の起源と歴史		2	
(削除)				生命の恒常性と情報伝達		2	
(削除)				環境問題の歴史		2	
(削除)				科学技術の歩み		2	
(削除)				生命科学の基礎		2	
(削除)				科学への入門		2	
生活の中の物理学		2		生活の中の物理学		2	
最先端物理学が描く宇宙		2		最先端物理学が描く宇宙		2	
微生物がつくる発酵食品の不思議		2		微生物がつくる発酵食品の不思議		2	
(削除)				健康を支える仕組み		2	
(削除)				生活習慣と脳と心と身体の科学		2	
薬の歴史と未来		2		薬の歴史と未来		2	
薬とからだ		2		薬とからだ		2	
(削除)				健康生活とライフステージ		2	
医薬品概論		2		医薬品概論		2	
(削除)				韓流ブーム		2	
韓国文化の理解		2		韓国文化の理解		2	
(削除)				World English I		2	
(削除)				World English II		2	
中国文化論		2		中国文化論		2	
国際協力入門		2		国際協力入門		2	

新(改正後(案))				旧(現行)			
世界の中の日本人		2		世界の中の日本人		2	
モラルジレンマから考える私 (削除)		2		モラルジレンマから考える私 <u>テレビ映像と現代社会</u>		2	
女性のためのマーケティング (削除)		2		女性のためのマーケティング 命を守る生体の機構と科学		2	
Current Affairs in Japan I		2		Current Affairs in Japan I		2	
Current Affairs in Japan II		2		Current Affairs in Japan II		2	
<b>基礎教養科目群 ジェンダー科目群</b>				<b>基礎教養科目群 ジェンダー科目群</b>			
セクシュアリティ入門 (削除)		2		セクシュアリティ入門 女性と教育		2	
(削除)				<u>ジェンダーとアイデンティティ</u>		2	
女性の身体とセクシュアリティ		2		女性の身体とセクシュアリティ		2	
メディアに見るジェンダー (削除)		2		メディアに見るジェンダー <u>アジアのなかのジェンダー</u>		2	
(削除)				<u>ジェンダーと社会</u>		2	
女性が輝く社会づくり		2		女性が輝く社会づくり		2	
<b>基礎教養科目群 キャリアデザイン科目群</b>				<b>基礎教養科目群 キャリアデザイン科目群</b>			
女性のためのライフプランニング (削除)		2		女性のためのライフプランニング キャリアと学び		2	
(削除)				卒業生が語る仕事と人生		2	
(削除)				<u>ヒューマンスキル入門</u>		2	
(削除)				<u>パーソナルコミュニケーション</u>		2	
自己アビリティトレーニング (削除)		2		自己アビリティトレーニング 仕事力を考える		2	
(削除)				<u>チームで学ぶ課題解決</u>		2	
キャリアビジョンと人物評価 (削除)		2		キャリアビジョンと人物評価 <u>プレゼンテーションの基礎</u>		2	
(削除)				文章表現の基礎		2	
(削除)				企業での女性活躍と働き方改革		2	
(削除)				企業で役に立つ情報収集と企画力		2	
(削除)				<u>グローバル化と企業の海外展開</u>		2	
(削除)				公務員の魅力		2	
<b>基礎教養科目群 言語情報科目群</b>				<b>基礎教養科目群 言語情報科目群</b>			
英語コミュニケーション I		2		英語コミュニケーション I		2	
英語コミュニケーション II		2		英語コミュニケーション II		2	
英語コミュニケーション III		1		英語コミュニケーション III		1	
英語コミュニケーション IV		1		英語コミュニケーション IV		1	
英語リーディング I		1		英語リーディング I		1	
英語リーディング II		1		英語リーディング II		1	
英語ライティング I		1		英語ライティング I		1	
英語ライティング II		1		英語ライティング II		1	
TOEIC演習 I		1		TOEIC演習 I		1	
TOEIC演習 II		1		TOEIC演習 II		1	
TOEIC演習 III		1		TOEIC演習 III		1	
TOEFL演習		1		TOEFL演習		1	
TOEIC(初級)		1		TOEIC(初級)		1	
Basics for Presentation I		1		Basics for Presentation I		1	
Basics for Presentation II		1		Basics for Presentation II		1	
Grammar for Communication		1		Grammar for Communication		1	
Reading & Writing		1		Reading & Writing		1	
Speaking & Listening I		1		Speaking & Listening I		1	
Speaking & Listening II		1		Speaking & Listening II		1	
Speaking & Listening III		1		Speaking & Listening III		1	
Presentation		1		Presentation		1	
Writing I		1		Writing I		1	
Writing II		1		Writing II		1	
English for Careers		1		English for Careers		1	
Reading & Discussion		1		Reading & Discussion		1	
Global Communication I		1		Global Communication I		1	
Global Communication II		1		Global Communication II		1	
Current Events I		1		Current Events I		1	
Current Events II		1		Current Events II		1	

新(改正後(案))				旧(現行)			
Reading & Critical Thinking		1		Reading & Critical Thinking		1	
Career Workshop		1		Career Workshop		1	
ドイツ語 I		2		ドイツ語 I		2	
ドイツ語 II		2		ドイツ語 II		2	
フランス語 I		2		フランス語 I		2	
フランス語 II		2		フランス語 II		2	
フランス語 I A		1		フランス語 I A		1	
フランス語 I B		1		フランス語 I B		1	
中国語 I		2		中国語 I		2	
中国語 II		2		中国語 II		2	
イタリア語 I A		1		イタリア語 I A		1	
イタリア語 I B		1		イタリア語 I B		1	
スペイン語 I		2		スペイン語 I		2	
ハングル I		2		ハングル I		2	
ハングル II		2		ハングル II		2	
(削除)				手話		1	
特別英語演習 I		4		特別英語演習 I		4	
特別英語演習 II		4		特別英語演習 II		4	
(削除)				特別英語演習Ⅶ		2	
特別中国語演習 I		2		特別中国語演習 I		2	
特別中国語演習 II		2		特別中国語演習 II		2	
特別ハングル演習 I		4		特別ハングル演習 I		4	
特別ハングル演習 II		4		特別ハングル演習 II		4	
日本語初級A		3		日本語初級A		3	
日本語初級B		3		日本語初級B		3	
日本語初級C		3		日本語初級C		3	
日本語初級D		3		日本語初級D		3	
日本語中級A		3		日本語中級A		3	
日本語中級B		3		日本語中級B		3	
日本語中級C		3		日本語中級C		3	
日本語中級D		3		日本語中級D		3	
日本語・上級 I		2		日本語・上級 I		2	
日本語・上級 II		2		日本語・上級 II		2	
日本語・上級 III		2		日本語・上級 III		2	
日本語・上級 IV		2		日本語・上級 IV		2	
Accessデータベース基礎		2		Accessデータベース基礎		2	
情報社会を生きる技術		2		情報社会を生きる技術		2	
Webデザイン基礎		2		Webデザイン基礎		2	
Webデザイン応用		2		Webデザイン応用		2	
Scratchによるプログラミング		2		Scratchによるプログラミング		2	
グラフィックデザイン基礎		2		グラフィックデザイン基礎		2	
フォトレタッチ基礎		2		フォトレタッチ基礎		2	
データサイエンスの基礎とExcel		2		データサイエンスの基礎とExcel		2	
データサイエンスの応用とExcel		2		データサイエンスの応用とExcel		2	
データリテラシー・AIの基礎	2			データリテラシー・AIの基礎	2		
(削除)				データリテラシー・AI入門		2	
<b>健康・スポーツ科目群</b>				<b>健康・スポーツ科目群</b>			
スポーツと栄養		2		スポーツと栄養		2	
(削除)				知っておきたい応急処置		2	
(削除)				女性の健康と運動		2	
生涯スポーツ論		2		生涯スポーツ論		2	
スポーツと現代社会		2		スポーツと現代社会		2	
スポーツ実技 (テニス)		1		スポーツ実技(テニス)		1	
スポーツ実技 (ゴルフ)		1		スポーツ実技(ゴルフ)		1	
スポーツ実技 (バレーボール)		1		スポーツ実技(バレーボール)		1	
スポーツ実技 (バドミントン)		1		スポーツ実技(バドミントン)		1	
スポーツ実技 (ジャズダンス)		1		スポーツ実技(ジャズダンス)		1	
スポーツ実技 (エアロビクス)		1		スポーツ実技(エアロビクス)		1	
スポーツ実技 (スリムエアロ)		1		スポーツ実技(スリムエアロ)		1	
スポーツ実技 (ダンスエアロ)		1		スポーツ実技(ダンスエアロ)		1	
スポーツ実技 (水泳)		1		スポーツ実技(水泳)		1	
スポーツ実技 (軽スポーツ)		1		スポーツ実技(軽スポーツ)		1	

新(改正後(案))				旧(現行)			
(削除)				スポーツ実技(遊びと障害)			1
スポーツ実技 (ヨガ)		1		スポーツ実技(ヨガ)			1
スポーツ実技 (サッカー)		1		スポーツ実技(サッカー)			1
からだど気づきと姿勢法		1		からだど気づきと姿勢法			1
(削除)				スポーツ実技(バンジーエクササイズ)			1
(削除)				スポーツ実技(エアリアルワーク)			1
スポーツ実技 (スタイルジャズ)		1		スポーツ実技(スタイルジャズ)			1
(削除)				大学学び発見ゼミ			2
<b>単位互換協定科目</b>				<b>単位互換協定科目</b>			
(削除)				建築デザインを考える			2
(削除)				抗微生物効果を示す食品の機能性			2
(削除)				情報・メディア・社会			2
<b>別表第2</b>				<b>文学部 心理・社会福祉学科</b>			
<b>基礎教育科目及び専門教育科目</b>				<b>表(略)</b>			
(削除)				教育学部 教育学科			
(削除)				表(略)			
教育学部 教育学科				表(略)			
表(略)				(新設)			
心理・社会福祉学部 心理学科							
<b>基礎教育科目</b>							
人間と社会(HEARTプログラムコア)		2					
初期演習Ⅰ		1					
初期演習Ⅱ(心理学実験演習)		1					
英語Ⅰ		2					
英語Ⅱ		2					
Oral CommunicationⅠ			1				
Oral CommunicationⅡ			1				
TOEIC認定英語Ⅰ			2				
TOEIC認定英語Ⅱ			2				
TOEIC認定英語Ⅲ			2				
TOEIC認定英語Ⅳ			2				
<b>専門教育科目</b>							
心理学史			2				
心理学概論		2					
臨床心理学概論		2					
知覚・認知心理学			2				
学習・言語心理学			2				
感情・人格心理学			2				
神経・生理心理学			2				
社会・集団・家族心理学			2				
発達心理学Ⅰ			2				
発達心理学Ⅱ			2				
人体の構造と機能及び疾病			2				
精神疾患とその治療			2				
障害者・障害児心理学			2				
臨床人格心理学			2				
神経心理学			2				
心理学的支援法Ⅰ			2				
心理学的支援法Ⅱ			2				
福祉心理学			2				
教育・学校心理学			2				
健康・医療心理学			2				
産業・組織心理学			2				
司法・犯罪心理学			2				
心理的アセスメント(概論)			2				
心理的アセスメント(実習)			2				
公認心理師の職責			2				
関係行政論			2				
心理演習			2				
心理実習			1				
心理実習指導			1				
リスク心理学			2				

新(改正後(案))			旧(現行)					
コミュニケーション論		2						
グループダイナミクス		2						
プロジェクトマネジメントの実践		2						
行動変容・ナッジ		2						
消費者心理学		2						
社会実践実習Ⅰ		1						
社会実践実習Ⅱ		1						
マーケティング論		2						
認知心理学		2						
言語心理学		2						
感性心理学		2						
臨床社会心理学		2						
コミュニティ心理学		2						
経済心理学		2						
環境心理学		2						
メディアリテラシー		2						
心理学研究法		2						
臨床心理学研究法		2						
社会調査概論		2						
心理学日本語文献講読		2						
心理学英語文献講読		2						
心理学統計法		2						
応用心理学統計法		2						
心理学実験		2						
社会調査実習		2						
データ処理論Ⅰ		2						
データ処理論Ⅱ		2						
データ解析法		2						
質的データ解析法		2						
専門演習ⅠA	1							
専門演習ⅠB	1							
専門演習ⅡA	1							
専門演習ⅡB	1							
卒業研究	6							
多文化社会概論		2						
社会貢献とボランティア		2						
虐待とソーシャルワーク		2						
スーパービジョン論		2						
スクールソーシャルワーク		2						
多文化社会のコミュニケーション		2						
NGO・NPO概論		2						
ソーシャルビジネス概論		2						
フェアトレード概論		2						
共生の社会心理		2						
ジェンダーと開発		2						
<b>心理・社会福祉学部 社会福祉学科</b>			<b>(新設)</b>					
<b>基礎教育科目</b>								
人間と社会(HEARTプログラムコア)	2							
初期演習Ⅰ	1							
初期演習Ⅱ(社会福祉)	1							
心理学概論	2							
ソーシャルワーク概論A	2							
ソーシャルワーク概論B	2							
人体の構造と機能及び疾病		2						
社会学		2						
多文化社会概論	2							
社会貢献とボランティア		2						
英語Ⅰ	2							
英語Ⅱ	2							
Oral CommunicationⅠ		1						
Oral CommunicationⅡ		1						
TOEIC認定英語Ⅰ		2						

新(改正後(案))		旧(現行)	
TOEIC認定英語Ⅱ		2	
TOEIC認定英語Ⅲ		2	
TOEIC認定英語Ⅳ		2	
<b>専門教育科目</b>			
権利擁護と成年後見制度		2	
児童・家庭福祉論		2	
障害者福祉論		2	
高齢者福祉論		2	
地域福祉論A		2	
地域福祉論B		2	
社会調査法		2	
現代社会と福祉A		2	
現代社会と福祉B		2	
公的扶助論		2	
福祉サービスの組織と経営		2	
更生保護制度		2	
社会保障論A		2	
社会保障論B		2	
保健医療サービス		2	
ソーシャルワーク論ⅠA		2	
ソーシャルワーク論ⅠB		2	
ソーシャルワーク論ⅡA		2	
ソーシャルワーク論ⅡB		2	
ソーシャルワーク演習ⅠA		2	
ソーシャルワーク演習ⅠB		2	
ソーシャルワーク演習ⅡA		2	
ソーシャルワーク演習ⅡB		2	
ソーシャルワーク演習Ⅲ		2	
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		1	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		1	
ソーシャルワーク実習Ⅰ		1	
ソーシャルワーク実習Ⅱ		5	
医療ソーシャルワーク		2	
虐待とソーシャルワーク		2	
スーパービジョン論		2	
スクールソーシャルワーク		2	
社会福祉事業史		2	
社会福祉特講		2	
専門演習ⅠA	1		
専門演習ⅠB	1		
専門演習ⅡA	1		
専門演習ⅡB	1		
卒業論文	6		
精神保健A		2	
精神保健B		2	
精神保健福祉の原理A		2	
精神保健福祉の原理B		2	
精神障害リハビリテーション論		2	
精神保健福祉制度論		2	
精神疾患とその治療A		2	
精神疾患とその治療B		2	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)A		2	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)B		2	
ソーシャルワーク演習(専門)A		2	
ソーシャルワーク演習(専門)B		2	
ソーシャルワーク演習(専門)C		2	
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		1	
ソーシャルワーク実習指導Ⅳ		1	
ソーシャルワーク実習Ⅲ		3	
ソーシャルワーク実習Ⅳ		2	
多文化社会実践論		2	
多文化社会のコミュニケーション		2	



新(改正後(案))				旧(現行)							
多文化社会のソーシャルワークⅠ			2								
多文化社会のソーシャルワークⅡ			2								
NGO・NPO概論	2										
NGO・NPOマネジメント演習			1								
ソーシャルビジネス概論	2										
ソーシャルビジネス・マネジメント			2								
ソーシャルビジネス計画演習			1								
フェアトレード概論			2								
共生の社会心理			2								
コミュニティメディア論			2								
コミュニティ防災論			2								
ジェンダーと開発			2								
フィールド調査の基礎	2										
フィールドワーク演習Ⅰ			1								
フィールドワーク演習Ⅱ			1								
フィールドワーク実習指導Ⅰ			1								
フィールドワーク実習指導Ⅱ			1								
フィールドワーク実習指導Ⅲ			1								
フィールドワーク実習			1								
知覚・認知心理学			2								
学習・言語心理学			2								
感情・人格心理学			2								
神経・生理心理学			2								
社会・集団・家族心理学			2								
発達心理学Ⅰ			2								
障害者・障害児心理学			2								
心理学的支援法Ⅰ			2								
リスク心理学			2								
コミュニケーション論			2								
グループダイナミクス			2								
消費者心理学			2								
マーケティング論			2								
<b>健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科</b>				(新設)							
<b>基礎教育科目</b>											
初期演習Ⅰ			1								
初期演習Ⅱ(スポーツマネジメント)			1								
健康・スポーツ科学論			2								
スポーツの文化・歴史			2								
情報リテラシー			2								
基礎英語Ⅰ			1								
基礎英語Ⅱ			1								
Oral CommunicationⅠ			1								
Oral CommunicationⅡ			1								
TOEIC認定英語Ⅰ										2	
TOEIC認定英語Ⅱ										2	
TOEIC認定英語Ⅲ										2	
TOEIC認定英語Ⅳ										2	
<b>専門教育科目</b>											
スポーツビジネス最前線	2										
スポーツ産業と政策										2	
スポーツビジネス論	2										
スポーツマネジメント論	2										
スポーツマーケティング論	2										
スポーツガバナンス論										2	
スポーツ情報・メディア論										2	
スポーツイノベーション論						2					
ホスピタリティマネジメント論						2					
地域スポーツマネジメント論						2					
スポーツイベントの企画・運営						2					
スポーツ施設マネジメント論						2					

新(改正後(案))		旧(現行)	
トップスポーツ経営論		2	
スポーツ・ヘルスツーリズム論		2	
ヘルスケアマネジメント論		2	
アカウンティングⅠ		2	
アカウンティングⅡ		2	
実務技能対策論		2	
経営組織論		2	
ファイナンシャルマネジメント		2	
消費者行動論		2	
販売管理論		2	
マーチャンダイジング		2	
ヒューマンリソースマネジメント		2	
スポーツマネジメント学内演習	2		
スポーツマネジメント学外実習		1	
専門英語A		1	
専門英語B		1	
海外のスポーツビジネス研究		2	
スポーツ心理学		2	
スポーツ栄養学		2	
運動生理学		2	
スポーツ医学		2	
スポーツ運動学		2	
体育原理		2	
運動器の解剖と機能		2	
スポーツトレーニングの科学		2	
救急処置演習	1		
バイオメカニクス		2	
学校保健		2	
公衆衛生学		2	
発育発達・老化論		2	
スポーツ指導論		2	
スポーツ社会学		2	
スポーツ行政・法規		2	
スポーツ経営管理学		2	
体力の測定評価演習		2	
コーチング論		2	
健康・スポーツカウンセリング		2	
生活習慣病論		2	
運動処方		2	
フィットネス指導法		2	
介護法・介護予防演習		2	
運動療法演習		2	
健康行動科学・演習		2	
健康・スポーツ実践実習		1	
レクリエーション論		2	
レクリエーション指導法演習		1	
レクリエーション指導法実習		1	
障がい者スポーツ論Ⅰ		2	
障がい者スポーツ論Ⅱ		2	
障がい者スポーツ指導法		2	
スイミング		1	
トラックアンドフィールド		1	
体操		1	
器械運動		1	
バレーボール		1	
バスケットボール		1	
ハンドボール		1	
柔道		1	
剣道		1	
ダンスⅠ	1		
ダンスⅡ		1	
ダンスⅢ		1	

新(改正後(案))				旧(現行)																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
卓球		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
バドミントン		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
保健体育科指導法Ⅰ		2																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
保健体育科指導法Ⅱ		2																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
保健体育科指導法Ⅲ		2																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
保健体育科指導法Ⅳ		2																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
保健体育科指導法(体づくり運動・器械運動)		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
保健体育科指導法(陸上競技・水泳)		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
保健体育科指導法(球技)		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
保健体育科指導法(武道・ダンス)		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
エアロビックダンス		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
アクアエクササイズ		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
マリンスポーツ実習		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
キャンプ実習		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
スノースポーツ実習		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
健康・スポーツ科学の統計学演習		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
卒業研究Ⅰ	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
卒業研究Ⅱ	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>社会情報学部 社会情報学科</p> <p><b>基礎教育科目</b></p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>初期演習Ⅰ</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>初期演習Ⅱ(社会情報入門)</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>データ・情報リテラシー</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Oral CommunicationⅠ</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Oral CommunicationⅡ</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>TOEIC認定英語Ⅰ</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>TOEIC認定英語Ⅱ</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>TOEIC認定英語Ⅲ</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>TOEIC認定英語Ⅳ</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>専門教育科目</b></p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>メディア論</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセプトデザイン論</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>科学技術と社会</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>メディアと生活文化</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>メディア産業論</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>メディアカルチャー論</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報とコミュニケーション</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ネットワーク社会論</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SNSリテラシー演習</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>映像文化史</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>文化社会学</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>文化社会学演習</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>マーケティング論</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>グローバルビジネス論</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>マーケティング戦略論</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンテンツプランニング演習</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>企業経営論</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>マーケットデザイン演習</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>経営情報論</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>経営情報演習</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>組織コミュニケーション論</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>広告メディア論</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>広告メディア演習</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域産業論</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>IT活用とビジネス</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コミュニティビジネス論</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費者経済学</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								初期演習Ⅰ		1						初期演習Ⅱ(社会情報入門)		1						データ・情報リテラシー		2						Oral CommunicationⅠ			1					Oral CommunicationⅡ			1					TOEIC認定英語Ⅰ			2					TOEIC認定英語Ⅱ			2					TOEIC認定英語Ⅲ			2					TOEIC認定英語Ⅳ			2					メディア論			2					コンセプトデザイン論			2					科学技術と社会			2					メディアと生活文化			2					メディア産業論			2					メディアカルチャー論			2					情報とコミュニケーション			2					ネットワーク社会論			2					SNSリテラシー演習			2					映像文化史			2					文化社会学			2					文化社会学演習			2					マーケティング論			2					グローバルビジネス論			2					マーケティング戦略論			2					コンテンツプランニング演習			2					企業経営論			2					マーケットデザイン演習			2					経営情報論			2					経営情報演習			2					組織コミュニケーション論			2					広告メディア論			2					広告メディア演習			2					地域産業論			2					IT活用とビジネス			2					コミュニティビジネス論			2					消費者経済学			2				
初期演習Ⅰ		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
初期演習Ⅱ(社会情報入門)		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
データ・情報リテラシー		2																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
Oral CommunicationⅠ			1																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
Oral CommunicationⅡ			1																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
TOEIC認定英語Ⅰ			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
TOEIC認定英語Ⅱ			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
TOEIC認定英語Ⅲ			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
TOEIC認定英語Ⅳ			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
メディア論			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
コンセプトデザイン論			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
科学技術と社会			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
メディアと生活文化			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
メディア産業論			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
メディアカルチャー論			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
情報とコミュニケーション			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
ネットワーク社会論			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SNSリテラシー演習			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
映像文化史			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
文化社会学			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
文化社会学演習			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
マーケティング論			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
グローバルビジネス論			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
マーケティング戦略論			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
コンテンツプランニング演習			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
企業経営論			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
マーケットデザイン演習			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
経営情報論			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
経営情報演習			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
組織コミュニケーション論			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
広告メディア論			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
広告メディア演習			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
地域産業論			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
IT活用とビジネス			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
コミュニティビジネス論			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
消費者経済学			2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
<p>生活環境学部 情報メディア学科</p> <p>表(略)</p> <p>(新設)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

新(改正後(案))		旧(現行)	
衣生活情報論		2	
情報科学入門	2		
プログラミング入門		2	
プログラミング演習 I		2	
プログラミング演習 II		2	
ユーザインタフェース論		2	
アルゴリズム論		2	
ソフトウェア工学		2	
ソフトウェア工学演習		2	
システム設計		2	
システム設計演習		2	
情報基礎数学		2	
情報数学		2	
データベース入門		2	
コンピュータネットワーク入門		2	
コンピュータネットワーク演習		2	
コンピュータネットワーク論		2	
ウェブ入門		2	
ウェブプログラミング		2	
ウェブアプリケーション設計		2	
ウェブアプリケーション開発演習		2	
ウェブエンジニアリング		2	
ウェブコンピューティング論		2	
プラットフォーム概論		2	
システムセキュリティ入門		2	
情報セキュリティ論		2	
統計学 I	2		
統計学 II		2	
A I 入門		2	
A I 概論		2	
A I 演習		2	
データサイエンス基礎演習		2	
データサイエンス演習<A>		2	
データサイエンス演習<B>		2	
データサイエンス演習<C>		2	
データサイエンス演習<D>		2	
データサイエンス論<A>		2	
データサイエンス論<B>		2	
社会調査入門		2	
社会調査 I		2	
社会調査 II		2	
社会調査演習		2	
デジタル表現入門		2	
デジタル表現		2	
ウェブデザイン演習		2	
I C T 社会のビジネス	2		
オフィスツールの活用		2	
色彩情報論		2	
色彩情報演習		2	
情報英語 I		2	
情報英語 II		2	
情報倫理		2	
社会情報学概論	2		
プロジェクト演習入門		2	
プロジェクト演習 I		2	
プロジェクト演習 II		2	
プロジェクト演習 III		2	
ハッカソン		2	
卒業基礎研究	4		
卒業研究	4		
卒業基礎演習 I	2		
卒業基礎演習 II	2		

新(改正後(案))	旧(現行)								
<table border="1" data-bbox="177 147 769 210"> <tr> <td data-bbox="177 147 536 174">キャリアプランニング</td> <td data-bbox="536 147 595 174"></td> <td data-bbox="595 147 651 174">1</td> <td data-bbox="651 147 769 174"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 174 536 201">生涯学習論</td> <td data-bbox="536 174 595 201"></td> <td data-bbox="595 174 651 201">2</td> <td data-bbox="651 174 769 201"></td> </tr> </table> <p data-bbox="177 241 475 300">履修方法(別表第1、第2の備考) (略)</p> <p data-bbox="177 333 245 360">(削除)</p> <p data-bbox="177 622 467 649"><u>心理・社会福祉学部 心理学科</u></p> <p data-bbox="177 654 753 835"> 1 共通教育科目の中から8単位以上  2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)  3 基礎教育科目の中から8単位以上  4 専門教育科目の中から54単位以上  5 学科指定外国語科目の中から8単位以上 </p> <p data-bbox="177 875 512 902"><u>心理・社会福祉学部 社会福祉学科</u></p> <p data-bbox="177 907 753 1088"> 1 共通教育科目の中から10単位以上  2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)  3 基礎教育科目の中から16単位以上  4 専門教育科目の中から46単位以上  5 学科指定外国語科目の中から8単位以上 </p> <p data-bbox="177 1160 624 1187"><u>健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科</u></p> <p data-bbox="177 1191 753 1373"> 1 共通教育科目の中から8単位以上  2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)  3 基礎教育科目の中から12単位以上  4 専門教育科目の中から62単位以上  5 学科指定外国語科目の中から8単位以上 </p> <p data-bbox="177 1442 245 1469">(削除)</p> <p data-bbox="177 1792 456 1818"><u>社会情報学部 社会情報学科</u></p> <p data-bbox="177 1823 753 2004"> 1 共通教育科目の中から16単位以上  2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)  3 基礎教育科目の中から4単位以上  4 専門教育科目の中から80単位以上  5 学科指定外国語科目の中から8単位以上 </p>	キャリアプランニング		1		生涯学習論		2		<p data-bbox="874 241 1173 300">履修方法(別表第1、第2の備考) (略)</p> <p data-bbox="874 338 1142 365"><u>文学部 心理・社会福祉学科</u></p> <p data-bbox="874 369 1461 551"> 1 共通教育科目の中から10単位以上  2 共通教育科目『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)  3 基礎教育科目の中から16単位以上  4 専門教育科目の中から46単位以上  5 学科指定外国語科目の中から8単位以上 </p> <p data-bbox="874 622 943 649">(新設)</p> <p data-bbox="874 875 943 902">(新設)</p> <p data-bbox="874 1160 943 1187">(新設)</p> <p data-bbox="874 1442 1177 1469"><u>生活環境学部 情報メディア学科</u></p> <p data-bbox="874 1473 1469 1753"> 1 共通教育科目の中から14単位以上  2 共通教育科目『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」、「社会科学科目」、「ジェンダー科目群」及び「大学・初年次ゼミ」の中の学び発見ゼミから合計4単位以上、『基礎教養科目群』の中の「国際理解科目」、「現代トピック科目」から合計2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」(2単位・必修)  3 基礎教育科目の中から4単位以上  4 専門教育科目の中から80単位以上  5 学科指定外国語科目の中から8単位以上 </p> <p data-bbox="874 1792 943 1818">(新設)</p>
キャリアプランニング		1							
生涯学習論		2							

新(改正後(案))

旧(現行)

別表第8(第39条関係)  
令和5年度の入学生

別表第8(第39条関係)  
(新設)

別表第8(第39条関係)  
令和5年度の入学生

学部・学科	学年	募集人数		学費(円)				
		募集人数	入学生	授業料	教材費	実験実習費	実務実習費	
経済学部	経済学	1年次	35,000	200,000	922,000	200,000	-----	-----
	2-4年次	-----	-----	922,000	200,000	-----	-----	
文学部	文学	1年次	35,000	200,000	922,000	200,000	-----	-----
	2-4年次	-----	-----	922,000	200,000	-----	-----	
工学部	工学	1年次	35,000	200,000	922,000	200,000	-----	-----
	2-4年次	-----	-----	1,050,000	200,000	-----	-----	
情報学部	情報学	1年次	35,000	200,000	922,000	200,000	-----	-----
	2-4年次	-----	-----	1,050,000	200,000	-----	-----	
健康学部	健康学	1年次	35,000	200,000	922,000	200,000	-----	-----
	2-4年次	-----	-----	1,050,000	200,000	-----	-----	
芸術学部	芸術学	1年次	35,000	200,000	922,000	200,000	-----	-----
	2-4年次	-----	-----	1,050,000	200,000	-----	-----	
国際学部	国際学	1年次	35,000	200,000	922,000	200,000	-----	-----
	2-4年次	-----	-----	1,050,000	200,000	-----	-----	
法学部	法学	1年次	35,000	200,000	922,000	200,000	-----	-----
	2-4年次	-----	-----	1,050,000	200,000	-----	-----	
理学部	理学	1年次	35,000	200,000	922,000	200,000	-----	-----
	2-4年次	-----	-----	1,050,000	200,000	-----	-----	
経済学部	経済学	1年次	35,000	200,000	922,000	200,000	-----	-----
	2-4年次	-----	-----	1,050,000	200,000	-----	-----	
文学部	文学	1年次	35,000	200,000	922,000	200,000	-----	-----
	2-4年次	-----	-----	1,050,000	200,000	-----	-----	

※1. 国際学部 国際学専攻の1年次生は別表第8-15のとおり。  
※2. 教材実習費、1-3学期の分。

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### 目次

ア	学則変更（収容定員変更）の内容	・・・・・・・・P.2
イ	学則変更（収容定員変更）の必要性	・・・・・・・・P.3
ウ	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	
	（ア）教育課程の変更内容	・・・・・・・・P.6
	（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容	・・・・・・・・P.12
	（ウ）教員組織の変更内容	・・・・・・・・P.13
	（エ）大学全体の施設・設備の変更内容	・・・・・・・・P.15

## ア 学則変更（収容定員変更）の内容

武庫川女子大学は令和5年4月、新学部として心理・社会福祉学部及び社会情報学部を、新学科として健康・スポーツ科学部にスポーツマネジメント学科を設置する。また同時に文学部心理・社会福祉学科及び生活環境学部情報メディア学科の学生募集を停止する。

以上のことから、武庫川女子大学学則第5条第1項に定める各学部学科の定員を以下のとおり変更し、大学全体の収容定員は現行の9,474人から726人増の10,200人とする。

学 部 学 科	変更前（令和4年度）			変更後（令和5年度）			増減		
	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
文学部 日本語日本文学科	150	25	650	150	25	650	0	0	0
文学部英語文化学科 (令和5年度に英語グローバル学科へ名称変更予定)	200	25	850	200	25	850	0	0	0
文学部 心理・社会福祉学科	160	17	674	0	0	0	▲160	▲17	▲674
教育学部 教育学科	240	25	1,010	240	25	1,010	0	0	0
心理・社会福祉学部 心理学科	—	—	—	150	—	600	150	0	600
心理・社会福祉学部 社会福祉学科	—	—	—	70	—	280	70	0	280
健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科	180	20	760	180	20	760	0	0	0
健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科	—	—	—	100	—	400	100	0	400
生活環境学部 生活環境学科	165	20	700	165	20	700	0	0	0
生活環境学部 情報メディア学科	150	0	600	0	0	0	▲150	0	▲600
社会情報学部 社会情報学科	—	—	—	180	—	720	180	0	720
食物栄養科学部 食物栄養学科	200	10	820	200	10	820	0	0	0



食物栄養科学部 食創造科学科	80	5	330	80	5	330	0	0	0
建築学部 建築学科	45	—	180	45	—	180	0	0	0
建築学部 景観建築学科	40	—	160	40	—	160	0	0	0
音楽学部 演奏学科	30	—	120	30	—	120	0	0	0
音楽学部 応用音楽学科	20	—	80	20	—	80	0	0	0
薬学部 薬学科	210	—	1,260	210	—	1,260	0	0	0
薬学部 健康生命薬科学科	40	—	160	40	—	160	0	0	0
看護学部 看護学科	80	—	320	80	—	320	0	0	0
経営学部 経営学科	200	—	800	200	—	800	0	0	0
大学全体	2,190	147	9,474	2,380	130	10,200	190	▲17	726

※網掛けしている学部学科は定員変更なし。

※各学科の定員はすべて完成年度時点の人数。

## イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

昭和24年4月に開学した武庫川女子大学は、時代に応じて教員、薬剤師、管理栄養士、看護師、建築士などの養成に力を入れ、人、家庭、社会に貢献できる女性の育成に努めてきた。令和3年度現在で10学部17学科を有し、常に時代や社会の要請に応え得る進取の精神と学問探究の姿勢を堅持しつつ、我が国の高等教育、とりわけ女子高等教育の学術振興に少なからず貢献してきた。

近年、少子化・超高齢化、グローバル化の進展、AI（人工知能）・ビッグデータの飛躍的進化といった社会の加速度的な変化が進み、これまでも増して将来の予測が難しい社会が到来している。そのような予測不可能社会において、生涯にわたって活躍できる次代を担う人材を育成することが我が国における喫緊の課題となっている。特に、女性の活躍がより望まれる時代を迎えた今、全国最大規模の女子総合大学である本学の果たすべき役割はますます大きくなっている。

このような状況にあって、学校法人武庫川学院は、新元号・令和がスタートした令和元年5月1日、学院創立100周年を見据えたビジョン「MUKOJO Vision 2019→2039」を公表し、「教育の質の向上と特色の探究」、「研究の高度化と多様性の追求」、「地域や社会の発展への貢献」「教育研究環境の充実と経営基盤の磐石化」の4つの柱からなる中期計画「[MUKOJO Vision 2019→2039]」を策定した。

#### 【資料1：MUKOJO Vision と MUKOJO Principles】

現在、これらの実現に向けて取り組んでおり、その一環として、武庫川女子大学の既存学科を発展的に改組し、心理・社会福祉学部、社会情報学部及び健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科を令和5年4月に設置する結論に至った(令和4年4月設置届出予定)。

これら学部・学科の新設に伴い、収容定員が増加するため、収容定員変更の申請を行う。収容定員を変更する各学部等の設置の趣旨・必要性は次のとおりである。

#### (1) 心理・社会福祉学部

既設の文学部心理・社会福祉学科(収容定員674人)では、心理コースと社会福祉コースの2コース制で心理学と社会福祉学に関する知識と技術を学ぶことにより、幸福でかつ豊かな人生を創造するための具体的な見識を持つ人材の養成に取り組んできた。

心理の分野では、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させながらも、人間を中心とする「Society 5.0」において、人間の心の働きを、思索や内省だけでなく、エビデンスとして把握し分析できる人材が必要とされており、人間とAIの共存、あるいは、その相補関係を理解した心の専門家養成が課題となっている。一方、社会福祉の分野では人口減少社会による地域社会の結びつきの弱まり、高齢者や子育て家庭の孤立化、マイノリティーの排除等様々な問題が顕在化し、これらの課題解決を担う人材が必要とされており、虐待、貧困、子育て、介護、孤独死、障害児・障害者差別等の問題を解決するために必要な社会福祉専門職の育成が急務となっている。

以上の必要性を鑑み、多様な分野にわたる心理学の習得機会の確保、社会福祉実践における種々の課題解決に必要な専門性の向上のために既設の文学部心理・社会福祉学科の教育課程を、発展・拡充させ、心理学科(収容定員600人)及び社会福祉学科(収容定員280人)の2学科から成る心理・社会福祉学部を設置する。本学部では、社会が抱えるさまざまな課題の解決や新たな価値創造のために、心理学や社会福祉学の知識とスキルを積極的に活用して「持続可能な社会」の実現に貢献できる人材を養成する。

また、既設の文学部心理・社会福祉学科では入学後にコース選択をしていたが、新たに設置する心理・社会福祉学部では、入学時より心理学科と社会福祉学科のどちらかを選択させることによって、より今日的なテーマに対応した専門性を高めることができると考える。

なお、文学部心理・社会福祉学科は、令和5年4月(3年次編入学定員は令和7年4月)より学生募集を停止し、在籍学生の卒業を待って廃止する。さらに、併設する武庫川女子大学短期大学の心理・人間関係学科(収容定員200人)も新学部開設と同時に学生募集を

停止することを予定している。

## (2) 社会情報学部

既設の生活環境学部情報メディア学科(収容定員 600 人)は、「情報」と「社会」について文系/理系を超えて多角的にアプローチし、情報社会で活躍できる、幅広い知識やスキルを持った人材の養成に取り組んできた。

国が推進する「Society5.0」の実現には、ビッグデータ解析と AI による判断と意思決定の自動化が必須である。人とコンピュータが協働するには、両者の意味理解の仕方の違いを仲介し、社会から発生する膨大なデータをコンピュータが処理してその意味を提示し、その結果を人間が言語的解釈に基づいた情報として社会に実装することが求められる。そのため、文理融合の教育により自然科学と人文・社会科学の双方に通じた人材への期待は高い。一方、経済産業省の「IT人材需給に関する調査」の結果(平成 31 年 4 月発表)による推計では、データ活用が要となる AI などに長けた人材は令和 12 年に約 12 万人不足する可能性がある」と試算されており、当該分野での人材養成が我が国喫緊の課題となっている。情報の世紀からデータの世紀への進展を支えるためには、最新の情報通信技術だけでなく、データサイエンスという発展途上の領域に関する知識や技術に追従できる人材が必要となる。

以上の必要性を鑑み、既設の生活環境学部情報メディア学科を発展的に改組し、情報科学と社会科学を両翼とし、これをデータサイエンスで結合する新しい教育研究体系を編成した「社会情報学部社会情報学科」(収容定員 720 人)を設置する。本学部では、「Society5.0」の実現に向けて、新たな価値の創造を目指す情報のスペシャリストを育成する。

なお、生活環境学部情報メディア学科は、令和 5 年 4 月より学生募集を停止し、在籍学生の卒業を待って廃止する。

## (3) 健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科

本学では既存の健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科において平成 31 年 4 月入学生から「スポーツマネジメントコース」を置き、スポーツをビジネス的視点から学びスポーツ関連企業・団体等で活躍できる人材を育成してきた。

新規産業の展開の遅れが我が国の課題とされているが、スポーツ産業もその一つと言える。平成 27 年にスポーツ庁が発足し、スポーツの成長産業化が促進されてきたが、「スポーツ未来開拓会議」(スポーツ庁と経済産業省が共同開催)が平成 28 年 6 月にとりまとめた中間報告書の中においてもスポーツマネジメントに係る人材を育成する仕組み不十分である点を指摘している。そのため多様なスポーツ産業の領域で必要となる、マーケティング、組織ガバナンス、施設運営などの専門性を有したスポーツマネジメント人材が求められている。特に、令和元年の「ラグビーワールドカップ 2019」、令和 3 年開催の「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」などの大規模スポーツイベントが我が国で続いたこともあり、スポーツ産業の更なる活性化とそれをマネジメントできる人材育成に対する社

会的必要性や養成の機運が高まっている。令和3年12月に策定された第3期スポーツ基本計画においても、スポーツの成長産業化の基盤となるトップスポーツやスポーツ興行の活性化、スポーツツーリズム等による地方創生やまちづくりは基本計画の重要な柱として引き継がれている。

そこで学科の1コースであるスポーツマネジメントコースを発展的に独立させ、スポーツマネジメント学科(収容定員400人)を新設する。本学科では、時代と社会の要請とともに高度化、多様化するスポーツマネジメント領域において、リーダーシップを発揮できる女性を育成する。

なお、併設する武庫川女子大学短期大学部の健康・スポーツ学科(収容定員160人)については、新学科開設と同時に学生募集を停止することを予定している。

## ウ 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

### (ア) 教育課程の変更内容

本学では、開設する全ての学部・学科において、「共通教育科目」「基礎教育科目」及び「専門教育科目」の3つの柱からなる教育課程を編成しており、今回の収容定員増にあってもその編成方針に変更はない。

#### ○共通教育科目

共通教育科目は、全ての学部・学科の学生が自由に選択できる。思想や学問について広く基礎を学び、変化が激しい現代社会において的確に判断できる知性及び知識、技能の習得、真摯な学習と実践を通じ、思いやりと心の豊かな感性をもつ自律的な個人の確立をめざしている。以下に示された5つの教育目標(MW教養コア)の理念のもと、令和3年度現在は大きく6つの科目群(「基礎教養科目群」「ジェンダー科目群」「キャリアデザイン科目群」「言語・情報科目群」「健康・スポーツ科目群」「大学・初年次ゼミ」)で構成される。

### 共通教育理念「MW教養コア」

1. 人文、社会、自然の各分野における人間理解に関する広い知識と学ぶ態度の修得
2. 心身の健康のための運動習慣の形成と生命の尊さや倫理に関する知識・態度の向上
3. ジェンダーの視点の理解と主体的な判断力・行動力の獲得
4. 自らの生涯にわたるライフデザインに資するキャリア形成能力の育成
5. 異文化を理解し、グローバルな視点で活躍するためのリテラシーと基礎知識の修得

さらに「基礎教養科目群」「言語・情報科目群」「健康・スポーツ科目群」は下表の通り細分化されている。

①基礎教養科目群	人文科学科目
	社会科学科目
	自然科学科目
	国際理解科目
	現代トピック科目
②ジェンダー科目群	
③キャリアデザイン科目群	
④言語・情報科目群	言語リテラシー科目
	情報リテラシー科目
⑤健康・スポーツ科目群	健康・スポーツ科学科目
	スポーツ実技科目
⑥大学・初年次ゼミ	

なお、共通教育科目については基本的にすべて選択科目であるが、Society5.0時代の到来で、AIとの共存やDX化に対応できる教育が求められる中、情報リテラシー科目のうち「データリテラシー・AIの基礎」は令和3年度から全学科で1年次後期に必修としている。新設学部・学科では「データリテラシー・AIの基礎」を含む6～16単位以上（心理学科6単位、社会福祉学科10単位、社会情報学科16単位、スポーツマネジメント学科8単位）を修得することを卒業要件として設定している。この科目構成は、学部等の届出設置に係る収容定員変更後も変更はない。

共通教育科目は学部以外の教員組織である共通教育部によって全学的に運営されており、新設学部・学科の教育課程が他学部等の教育体制に問題はないと考える。共通教育科目は、多くの履修希望者に対応するため、多くの科目において前期・後期で複数クラス開講されており、収容定員増加により履修者が増えた場合も与える影響はきわめて限定的である。

#### ○基礎教育科目及び専門教育科目

新設する心理・社会福祉学部、社会情報学部及びスポーツマネジメント学科の基礎教育科目及び専門教育科目は、設置届出の基礎となる既存学科のものを基盤としつつ、新たな教育課程として、以下のように編成する。

##### (1) 心理・社会福祉学部

基礎教育科目は、学修の基礎となる科目群で構成される。本学部では心理、社会福祉の両学科の複数の専門科目を学科横断的に学修できるよう教育プログラムを編成する。このプログラムを「HEARTプログラム」と称し、「福祉を学んだ心の専門家」及び「心理を学んだ福祉のスペシャリスト」の養成を強みとする本学部の人材養成の基盤をなすプログラムとする。1年次に両学科共通の必修科目として「人間と社会（HEARTプログラムコア）」を設置し、両学科における4年間の学修の方向づけを行うとともに、心理学と社会福祉学という学問の共通性と独自性の両面を学べるようにする。

専門教育科目は、自らのキャリアプランに即して履修することで幅広い教養と専門的知識に基づく思考力や判断力を養い、人びとの健康で安心できる人間関係、さらには社会の構築を目指すために必要な熱意や責任感、そして技能を身につけることを目指す専門的かつ体系的な教育課程とする。学部共通科目として各学科から提供される乗り入れ科目を設定し、各学科での学びに加え、お互いに近接する学問領域について、共に学び、また機会を提供することにより、それぞれの専門性を客観的にとらえる機会にする。そして、4年間の学びから得られた学識と能力の結実として、「卒業研究」または「卒業論文」を必修科目とし、その準備を行うゼミ授業として「専門演習ⅠA」「専門演習ⅠB」と「専門演習ⅡA」「専門演習ⅡB」を設置する。

#### [心理学科]

既存の文学部心理・社会福祉学科心理学コースの教育課程を発展的に継承する。公認心理師の国家試験受験資格として必要な科目や、認定心理士資格及び社会調査士資格の取得が可能となる課程も継続する。

基礎教育科目では、本学の全ての学部・学科に共通した内容の導入教育を行う「初期演習Ⅰ」「初期演習Ⅱ（心理学実験演習）」を必修科目として設置し、専門分野に特化した内容の導入教育を行うとともに、キャリア教育も行う。さらに、実践的な英語力を獲得するために「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「Oral CommunicationⅠ」「Oral CommunicationⅡ」を設置する。

専門教育科目では、学科の教育目標に対応した「コア科目」に加えて、公認心理師受験に必要な科目を中心に臨床現場での活躍を想定したスキルを学ぶ「臨床系科目」、企業・社会で役立つスキルを学ぶ「実用系科目」、心理学分野で研究を行うためのスキルを学ぶ「研究系科目」の3つの領域の科目群を設置する。各科目群には既存学科の開講科目に加えて新たな科目を配置することで学ぶ内容を拡充し、心理学の諸領域におけるより専門的な知識及び主体的な課題発見力と解決実践力の向上を実現する。

#### ①コア科目

心理学の基礎的な知識を学ぶ科目を配置する。「コア科目」で学んだ基礎的な知識を、「臨床系科目」、「実用系科目」、「研究系科目」それぞれの科目へ発展させる。なお、心理学について基本的な考え方と方法論を理解することを目的とする「心理学概論」及び「臨床心理学概論」は必修科目とする。

#### ②臨床系科目

公認心理師国家試験の受験に必要な科目を中心に、対人援助の手法やカウンセリングなど、臨床現場での実務に直結する科目を配置する。

#### ③実用系科目

一般企業において活躍できる人材の育成を目指し、マーケティングや心理行動など、ビジネスに生かせる心理学の知識を磨くための科目を配置する。

#### ④研究系科目

心理学分野の研究者や専門家として活躍できる人材の育成を目指し、心理学実験やデータ分析をはじめ、研究活動に特化した科目を配置する。

**【資料2：心理・社会福祉学部心理学科 教育課程等の概要】**

[社会福祉学科]

既存の文学部心理・社会福祉学科社会福祉コースの教育課程をを発展的に継承する。

基礎教育科目では、心理学科同様、必修科目「初期演習Ⅰ」「初期演習Ⅱ（社会福祉）」や「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「Oral CommunicationⅠ」「Oral CommunicationⅡ」を設置する。さらに、社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけと求められる今日的役割、ソーシャルワークの実践基盤となる価値・倫理、相談援助専門職の概念について理解する「ソーシャルワーク概論A」「ソーシャルワーク概論B」、および「心理学概論」、多文化社会の歴史的、社会的背景について概観し、社会問題に関わることの意義を実感し行動に移すことを目指す「多文化社会概論」を必修科目とする。

「専門教育科目」では、学科の教育目標に対応し、社会福祉士国家資格取得に必要な「コア科目」に加えて、精神保健福祉士国家資格取得に必要な「アドバンスⅠ」、国際貢献・国際協力の理論と実践を学ぶ「アドバンスⅡ」の2つの領域の科目群を設置する。各科目群にはそれぞれ新たな科目を配置することで学ぶ内容を拡充し、主体的な学びの実践姿勢とコミュニケーション能力を身につけさせ、社会福祉専門職としてより一層の専門性の向上を実現する。

①コア科目

社会福祉士国家試験の受験対策を進めると共に、国内外の社会問題に迫り、具体的な解決策を探るためのスキルの修得に必要な科目を配置する。

②アドバンスⅠ科目

精神保健福祉士の資格取得に対応した科目を中心に、実践的なプログラムを配置する。また、社会福祉士の資格取得も同時に目指すことのできる配置とする。

③アドバンスⅡ科目

国内外の社会問題を支援するための知識を習得するための科目を配置する。「NGO・NPO 概論」、「ソーシャルビジネス概論」「フィールド調査の基礎」「フィールドワーク演習Ⅰ」、「フィールドワーク演習Ⅱ」を必修科目とする。

**【資料3：心理・社会福祉学部社会福祉学科 教育課程等の概要】**

(2) 社会情報学部 社会情報学科

既存の生活環境学部情報メディア学科の教育課程を発展的に継承する。社会情報学部社会情報学科では情報メディア専攻と情報サイエンス専攻の2専攻を設ける。

基礎教育科目では、専門教育で求められる基礎的学習能力の向上やキャリア形成を目的とした初期演習と、社会情報学科の専門分野と連携した外国語や情報・データの基礎教育に

よって、専門教育への導入を図る。初期演習は、1年前期に、本学の全ての学部・学科に共通した内容の導入教育を行う「初期演習Ⅰ」を必修科目として開講する。1年後期は、社会情報学科では「初期演習Ⅱ（社会情報入門）」を必修科目として開講し、専門分野に特化した内容の導入教育を行うとともに、キャリア教育も行う。言語に関しては、1年前期に「Oral CommunicationⅠ」、1年後期に「Oral CommunicationⅡ」を開講し、英語でのコミュニケーション力を養う。さらに英語力を伸ばしたい学生、英語以外の第二外国語を学習したい学生は、前述の共通教育科目において、全ての学年で言語リテラシー科目を選択できる。

専門教育科目は、講義・演習を中心に知識・技能を修得し、探求力と活用力を高める「専門科目群」と、実技を中心に技術を修得し、実践力を高めていく「表現実習／研究手法科目群」、総合力と主体性を養い、思考力・行動力を身につける「総合科目群」を並立させ、相互にバランスよく補完させることによって、単なる机上の知識・技能ではなく、実際の問題解決に活かせる生きた知識・技能を修得できるようにする。専門科目は、下記の4つの科目群で編成する。なお、情報メディア専攻では、「生活と文化科目群」と「生活と経済科目群」の科目を中心に、ICT社会について、コミュニケーション、メディア、マーケティングなどの視点から学ぶとともに、ICT社会を、コンピュータ、プログラミングなどの情報科学と、統計学、AIなどのデータサイエンスの視点からも掘り下げることによって、より深く理解していく。情報サイエンス専攻では、「情報科目群」の科目を中心に、ICT社会の仕組みやICTに関する知識や技能を学ぶとともに、ICT社会をコミュニケーション、メディア、マーケティングなどの社会科学と、統計学、AIなどのデータサイエンスの視点からも掘り下げることによって、より深く理解していく。

#### ①生活と文化科目群

人間の生活と情報化社会との関わりを理解し、ソーシャルネットワークを編集・設計・演出する力を養うことを目的に、コミュニケーション、メディア、ネットワークに関連する基礎科目や演習科目を配置する。

#### ②生活と経済科目群

生涯にわたって社会の一員として自分のキャリアを形成し、自己実現を図ることができるよう、マーケティング・広告、マネジメントを理解するための基礎科目や演習科目に加え、社会課題の認識とその解決に向けた対応力を身に付けるための科目を配置する。

#### ③情報科目群

ICT機器を操作して情報を利活用する能力を高めることを目的に、コンピュータ、プログラミング、ネットワーク、セキュリティなどに関連する科目を配置する。

#### ④データサイエンス科目群

ICT社会において、溢れているデータの中から価値のある情報を取り出し、それを利活用する能力を身につけることを目的に、統計学、AI、データサイエンス演習などの科目を配置する。

【資料4：社会情報学部社会情報学科 教育課程等の概要】



### (3) 健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科

基礎教育科目は、健康・スポーツ科学を学ぶ者に共通して必要となる、健康・スポーツ科学に関する基礎的な知識や情報リテラシー等を学ぶことを目的とした科目群である。入学初年度には、スポーツマネジメント学科の専門的教育への導入を目的に「初期演習Ⅰ」「初期演習Ⅱ（スポーツマネジメント）」を開講する。また、健康・スポーツをめぐる科学的な理解促進を目的に、主にスポーツ科学分野と健康科学分野を中心とした理論の理解を促す「健康・スポーツ科学論」や、スポーツ文化を通じた異文化理解や自文化理解を促す「スポーツの文化・歴史」を開講する。さらに、大学教育に適応し、専門的な学習を深めるために、コンピュータやネットワークの知識を学習する「情報リテラシー」や、実践的な英語力を獲得するために「基礎英語Ⅰ」「基礎英語Ⅱ」「Oral CommunicationⅠ」「Oral CommunicationⅡ」を設置する。

専門教育科目は、スポーツマネジメントを学ぶ上で、基礎となる科目と実務領域に特化した応用科目を体系的に履修できるよう設定している。「スポーツビジネス論」「スポーツ産業と政策」「地域スポーツマネジメント論」は、スポーツマネジメントの背景となるスポーツ産業政策、スポーツビジネスの基礎や地域活性化にスポーツが果たす役割等を学ぶ講義科目である。「スポーツビジネス最前線」は、スポーツビジネスに携わる企業人を講師として招き、オムニバス形式でスポーツビジネスの現場と課題を伝えるとともにロールモデルを提供する講義科目である。また、「スポーツガバナンス論」は、わが国のスポーツ団体にとって喫緊の課題であるリスクマネジメントや組織運営などについて早い段階で学ぶことを目的として設置した科目である。

スポーツマネジメント学科のより専門的な教育課程としては、スポーツマネジメントを学ぶ上で基礎となる「ビジネス／政策／ガバナンス」に関わる科目を発展的に学ぶために、下記の5つの実務領域に分け、応用的で実践的な専門教育科目を開講することで、多様な側面を有するスポーツマネジメントについて学生の興味・関心に応じた学びが進められるようにしている。

#### ① マネジメント領域

プロスポーツチーム、スポーツ施設の運営、地域スポーツプロモーションのマネジメントの場面で活躍できる人材の養成を主眼に置いた科目を設置している。

#### ② マーケティング領域

マーケティング的センスを有し、事業や製品をめぐる企画・開発力を発揮し、地域社会やスポーツビジネス等の発展に貢献できる人材の養成を目的とした科目を設置している。

#### ③ 実務領域

ビジネス実務の基礎と対人コミュニケーションの技法を身につけ、多様なスポーツマネジメントの領域で活躍できる人材の養成を目的とした科目を設置している。

#### ④ 生活・健康領域

ホスピタリティ精神を有し、地域社会やスポーツビジネス等の場でヘルスプロモーションや健康寿命の延伸に貢献できる人材の養成を目的とした科目を設置している。

#### ⑤先端ビジネス領域

日々進化するスポーツマネジメントやスポーツビジネスに対する高い感度と情報リテラシーを有し、スポーツ産業の発展に貢献できる人材の養成を目的とする科目を設置している。

なお、学科専門教育科目のうち、必修科目は「スポーツビジネス最前線」「スポーツビジネス論」「スポーツマネジメント論」「スポーツマーケティング論」「スポーツマネジメント学内演習」の5科目10単位にとどめている。あえて必修科目の数を減らしたのは、スポーツマネジメントやビジネスに関する基礎知識を修得した上で、学生の興味・関心に応じて多彩な科目を履修できるよう配慮しているからである。

さらに既存の健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科と連携・協力し、学部専門教育科目として63科目を開講している。健康・スポーツ科学科と共通の講義科目やスポーツ実技・実習科目を履修可能であり、健康・スポーツに関わる実践者・指導者・管理者に必要な基礎理論と技術を習得することができるよう教育課程を編成する。

【資料5：健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科 教育課程等の概要】

### (イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

本学では、全学的な制度として、学科・学年毎のクラス編成、クラス毎の時間割配当、授業への出席確認、所属学科の専任教員によるクラス担任などの支援・指導体制を採っている。その上で、学科固有の教育方法や履修要件等については、履修便覧や授業計画（シラバス）等で公表するとともに、毎学期に開催するガイダンスにおいて担任から学生に周知している。この制度・運営方法は、収容定員増を理由に変更することはない。新設する学部学科の教育方法についても、本学の教育方針をベースにし各学科が主体的に設定し実施する。また、履修指導についても学科が責任をもって行うため、他学部等に影響を与えるものではない。

#### ①教育方法

共通教育科目は、学部・学科・学年を超えて履修できるシステムであり、全学部・学科の履修希望者が一緒に受講する。言語・情報科目群は基本的に少人数の演習形式とし、スポーツ実技科目のみ実習形式で実施、基礎教養科目群等その他の科目の大半は講義形式とする。教育の質担保を目的として科目ごとに履修定員を設定しており、履修希望者が定員を上回った場合は抽選により履修者を決定する。

心理・社会福祉学部心理学科の基礎教育科目及び専門教育科目については、「心理学実験」等の実習科目において1教室における履修学生数を最大50人程度とし、「専門演習」及び「卒業研究」では、1教室における履修学生数を最大15人程度とする。なお、公認心理師受験資格に必要となる「心理演習」、「心理実習」、「心理実習指導」については、あらかじめ希望者を募り、最大30人程度の履修学生数とする。社会福祉学科では、社会福祉士または

精神保健福祉士の受験資格を得る上で必要な演習や実験・実習の科目ならびに「専門演習」及び「卒業論文」では、1教室における履修学生数を最大20人程度とする。また、ソーシャルビジネスを学ぶ「フィールドワーク実習」では、30人程度の履修学生数とする。なお、両学科とも講義科目は、履修学生数に制限は設けない。

社会情報学部の基礎教育科目及び専門教育科目については、原則として、クラス単位の時間割を編成して実施し、少人数教育を実現している。1学年の入学定員は180人であることから、1クラス45人の4クラスで編成する。

スポーツマネジメント学科の基礎教育科目及び専門教育科目は、講義科目、実技科目、演習科目、実習科目に分かれるが、講義科目は入学定員100人の中規模開講を基本とし、実技科目は約40人、演習科目は約20人、実習科目は10人程度とし、教育効果を重視した定員規模で運営する。

## ②履修指導方法

本学の履修指導は、入学時にオリエンテーションを実施し、また「初期演習Ⅰ」を通じて行う。さらに2年次以降においても、前期及び後期の授業開始日までに、ガイダンスを実施している。教員のオフィスアワーは、全学生に周知されており、この時間を活用して必要な学生への個別指導や助言を行っている。学生への個別指導などの役割は、主にクラス担任が担っている。また、学生への履修指導等においては、事務局関連部局とも密接な連携を図って、学生が無理なく卒業できるように配慮した履修計画を実現している。

加えて学生が履修登録した科目のうち、卒業非算入科目を除く科目のGPA(Grade Point Average)を算出し、学生自らが学業成績を的確に把握し、適切な履修計画とそれに基づいた学修へ取り組めるようにしている。

なお本学では効果的な学修を達成するための方策として、履修規程で「講義・演習・実験実習及び実技においては、毎回出席、欠席、遅刻、早退の調査を受けなければならない。」と規定し、学生の授業への出席を義務付け、全ての授業において出席確認を励行している。なお学生が、公的理由により授業を欠席する場合は、学生本人からの届出と担任の承認を得て公欠(公認欠席)扱いとしている。この公欠制度は共通教育科目には適用されない。

また前期・後期の定期試験を受けるための受験資格についても、履修規程で「週1回各期開講科目では、その欠席回数が4回以下の者のみ受験資格を与える。」と規定しており、受講(履修)科目で4回を超える欠席があった者は、当該科目の試験は自動的に受けられなくなるなど、日々の勉学の重要性を徹底させる指導を行っている。

## (ウ) 教員組織の変更内容

今般の収容定員に係る学則変更を行う学部・学科及び大学全体における大学設置基準上の必要教員数を上回っており、また、後述のとおり新設する学部学科においてS/T比も同等または改善できており、収容定員に係る学則変更の前後において、教員組織体制の低下はな

い。収容定員変更に関係のない既存の学部・学科の教員組織はそのまま維持されるため、他学科への影響も皆無である。

学則変更に関係する学部学科の教員組織の変更内容の詳細は、以下の通りである。

#### (1) 心理・社会福祉学部

心理学科では、17人の専任教員を配置する。職位別には教授6人、准教授5人、講師4人、助教2人で構成する。社会福祉学科には、12人の専任教員を配置し、職位別には教授6人、准教授3人、講師2人、助教1人で構成する。両学科あわせて29人の専任教員が、それぞれの専門分野の教育・研究を行うとともに、共同担当や科目連携による領域横断的な教育・研究を行う。大学設置基準上必要な専任教員数は、心理学科10人、社会福祉学科12人の計22人であることから、設置基準の1.32倍の専任教員数を配置していることとなる。専任教員は、令和5年度に学生募集を停止する既存の文学部心理・社会福祉学科及び併設短大の心理・人間関係学科から移籍する教員が8割以上を占め、残りは新規採用することから、心理・社会福祉学部が設置されることにより他学部等の教員組織に与える影響はない。

既存の文学部心理・社会福祉学科の専任教員1人当たりの学生数（S T比）は35.4人（収容定員674人÷専任教員19人）であったが、新設する心理学科では35.2人（600人÷17人）、社会福祉学科では23.3人（280人÷12人）、心理・社会福祉学部全体で30.3人（880人÷29人）となり、現状と同等程度以上のきめ細やかな指導が可能となる教員配置を実現する。

#### (2) 社会情報学部

社会情報学科には、20人の専任教員を配置する。職位別には教授11人、准教授7人、講師1人、助教1人で構成する。主に情報メディア専攻を担当する教員として11人、情報サイエンス専攻を担当する教員として9人を配置し、それぞれの専門分野の教育・研究を行うとともに、共同担当や科目連携による領域横断的な教育・研究を行う。大学設置基準上必要な専任教員数は、17人であることから、設置基準の1.18倍の専任教員数を配置していることとなる。専任教員は、令和5年度に学生募集を停止する既存の生活環境学部情報メディア学科から移籍する教員が8割を占め、残りは新規採用することから、社会情報学部が設置されることにより他学部等の教員組織に与える影響はない。

既存の生活環境学部情報メディア学科の専任教員1人当たりの学生数（S T比）は37.5人（収容定員600人÷専任教員16人）であるが、新設する社会情報学科では36人（720人÷20人）となり、現状と同等程度以上のきめ細やかな指導が可能となる教員配置を実現する。

#### (3) 健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科

スポーツマネジメント学科には、10人の専任教員を配置する。職位別には教授6人、准教授2人、講師2人で構成する。大学設置基準上必要な専任教員数は、9人であることから、

設置基準必要数を上回る教員を配置している。専任教員は全て既存の健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科及び令和 5 年度に学生募集を停止する併設短大の健康・スポーツ科学科から移籍する教員である。健康・スポーツ科学科では、スポーツマネジメント学科開設を見据えて令和 3・4 年度に新規採用した教員が 3 人おり、移籍によって既存の健康・スポーツ科学科の教員組織に与える影響はきわめて少ない。

なお、既存の健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科の専任教員 1 人当たりの学生数（S T 比）は 47.5 人（収容定員 760 人÷専任教員 16 人）であるが、新設するスポーツマネジメント学科では 40 人（400 人÷10 人）となり、現状と同等程度以上のきめ細やかな指導が可能となる教員配置を実現する。また健康・スポーツ科学科の専任教員のうち 16 人が兼任教員としてスポーツマネジメント学科の科目を担当し、両学科に所属する教員が相互に連携、協力し合い、学部全体としての教育の充実を図る。

### （エ）大学全体の施設・設備の変更内容

令和 5 年度に予定している学部設置・収容定員変更により、設置基準上必要となる校地・校舎面積（本学及びキャンパスを共用している併設の武庫川女子大学短期大学部の合計）は、校地 112,400 m<sup>2</sup>、校舎 80,136 m<sup>2</sup>に増加することになるが、本申請に係る学部等の開設時の面積は校地 237,032.44 m<sup>2</sup>、校舎 191,606.51 m<sup>2</sup>と、いずれも設置基準の 2 倍を上回る十分な面積を有している。

本学では、法人創立 80 周年の平成 31 年度から令和 4 年度にかけて相次いで新学部・研究科（教育学部、食物栄養科学部、建築学部、経営学部、建築学研究科、食物栄養科学研究科）を設置し、教育改革を進めているが、それ以前（平成 30 年度）と令和 5 年度の収容定員変更後の校地・校舎面積を比較すると、校地面積で約 3,400 m<sup>2</sup>、校舎面積は約 18,800 m<sup>2</sup>増加しており、定員規模拡大に合わせて不足がないよう着実に校地・校舎を拡充している。

○武庫川女子大学の有する設置基準上校地・校舎面積（平成 30 年度と令和 5 年度比較）

年度	収容定員 (学年進行中 学部完成時)	校地面積 (全学合計)	校舎面積 (全学合計)
平成 30 年度	7,834 人	233,668.64 m <sup>2</sup>	172,725.64 m <sup>2</sup>
令和 5 年度(予定)	10,200 人	237,032.44 m <sup>2</sup>	191,606.51 m <sup>2</sup>

本申請に係る学部学科を置く「中央キャンパス」（兵庫県西宮市池開町）は、校地約 116,303.16 m<sup>2</sup>、校舎 129,770.60 m<sup>2</sup>と、大学と併設短期大学部あわせて約 1 万人の学生が学ぶ大学のメインキャンパスに相応しい規模である。中央キャンパスには、大学設置基準第 34 条に定められる「学生が休息その他に利用するのに適当な空地」として、噴水、35 周年記念庭園、もみの木広場が整備されている。また、その周辺には各種のオブジェ、植樹、休憩用ベンチ等も配置され、学生の憩いの場となっている。大学設置基準第 35 条に定められる

運動場についても、中央キャンパス隣接のグラウンド、テニスコート、浜甲子園キャンパス隣接の浜甲子園グラウンド、中央キャンパスからスクールバスで南に約10分の場所にある総合スタジアムがあり、運動場の面積は合計9万㎡を超える十分な面積を有している。

本学では開学以来、教育研究環境の整備・充実には不断の努力を傾けており、学内には全学部学科の学生が使用する中央図書館や講堂、体育館、マルチメディア館など最新の設備を備えた大型施設があり、様々な分野の学びに対応した環境が整っている。近年においては、アクティブラーニングに対応した図書館や各教室のリニューアル、スマートキャンパスを目指した学内Wi-Fi環境整備、学生の安全安心のための各建物の耐震工事、学生満足度向上のためのキャリアセンター移転・機能拡充、食堂改装など大規模な施設・設備改修を行っている。また、令和元年10月には中央キャンパス最寄りの阪神電車「鳴尾・武庫川女子大前」駅の高架下空間に「武庫女ステーションキャンパス」を開設、さらに令和4年4月には西宮市内に「西宮北口キャンパス」を開設するなど、大学の定員規模拡大にあわせて校地拡充にも力を入れている。以上のことから、収容定員変更後も、収容力においても機能面においても不足は生じず、他学部等に与える影響もない。

学則変更に関係する学部学科の施設・設備の変更内容は、以下の通りである。

#### (1) 心理・社会福祉学部

心理・社会福祉学部の収容定員は880人であり、既存の文学部心理・社会福祉学科の収容定員674人から206人増加するが、併設する武庫川女子大学短期大学部の心理・人間関係学科(収容定員200人)も同時に学生募集を停止し、施設等はすべて心理・社会福祉学部に移管するため不足が生じることはない。さらに、心理及び社会福祉の2学科の教育課程に対応するため、研究室や演習室の新設など既存校舎の一部改修を実施する。なお、専任教員の研究室は中央図書館棟の10階及び11階に置く。

#### (2) 社会情報学部

社会情報学部(収容定員720人)の設置と同時に、既存の生活環境学部情報メディア学科(収容定員600人)の学生募集を停止する。収容定員は120人増加するため、社会情報学部が専用で使用する日下記念マルチメディア館6階、7階及び8階の大規模な改修工事を行う。近年では、学生の自律的に学ぶ力を育成するために、ノートパソコン等を持参して学ぶBYOD(Bring Your Own Device)が主流となりつつあり、従来のコンピュータを固定設置したコンピュータ実習室の大部分を、アクティブラーニングなど幅広い用途に使える演習室へと置き換える。具体的には現在、同館6・7・8階にコンピュータ設置の演習室が4部屋(合計の最大収容人数300人)あるが、コンピュータ設置の演習室を1室(最大収容人数60人)と多用途の演習室を6室(各室の最大収容人数60人)の計7室(合計の最大収容人数420人)を設置することによって対応していく。

また、研究室は専任教員数に応じて1室あたり25㎡の広さを確保した20部屋に増やし、

新たにゼミ室 10 室を研究室に近接して配置することによって綿密な学生指導が可能になる。以上により、本学部が設置されることにより、他学部学科の施設・設備に与える影響はなく、問題ないとする。

### (3) 健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科

スポーツマネジメント学科(収容定員 400 人)を新設することにより、健康・スポーツ科学部全体の収容定員が増加するが、併設する武庫川女子大学短期大学部の健康・スポーツ学科(収容定員 160 人)も同時に学生募集を停止し、施設等はすべて健康・スポーツ科学部に移管するため不足が生じることはない。講義・演習科目は、中央図書館、文学 1 号館、南館及び日下記念マルチメディア館において実施し、体育実技・実習科目は第 1～3 体育館において実施する。第 1 体育館には、アリーナ(バスケットボール、バレーボールの各コート)、ダンス室、体育室、コンディショニングルーム、情報処理室、運動生理学実験室、更衣室、シャワールーム、温水プール(25m×6 コース)等が、第 1 体育館アネックスには、心理学実験室、バイオメカニクス実験室、セミナー室、教員研究室等が、第 2 体育館には、ランニングコート、アリーナ、体育室、トレーニング室等が、第 3 体育館には、ハンドボールコートが完備されており、体育系学部として充実した教育環境を整えていることから、健康・スポーツ科学科をはじめとする他学部等の教育に与える影響も少ない。

学則変更の趣旨等を記載した書類

資料目次

資料 1 : MUKOJO Vision と MUKOJO Principles

資料 2 : 心理・社会福祉学部心理学科 教育課程等の概要

資料 3 : 心理・社会福祉学部社会福祉学科 教育課程等の概要

資料 4 : 社会情報学部社会情報学科 教育課程等の概要

資料 5 : 健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科 教育課程等の概要



[ MUKOJO Vision 2019→2039 ]

# 一生を描ききる女性力を。

1939年の学院創立以来、私たちは立学の精神である、  
高い知性、善美な情操、高雅な徳性を追求し、  
女子教育に取り組んできました。

女性の活躍がより望まれる時代を迎えた今、  
個性輝く女性を社会へ送り出すこと。  
それが、女子総合大学の果たすべき使命だと確信しています。  
自らの意志と行動力で可能性を拡げ、生涯を切り拓いていく。  
それは、立学の精神を新たな時代に向かって  
進化させていくことです。

今こそ、女子大が変わらなくてはならない。

一生を描ききる女性力を育む。  
武庫川学院、武庫川女子大学は  
女子教育のさらなる頂に挑みます。

[ MUKOJO Principles 2019→2039 ]

女性一人ひとりのライフデザインを支える総合大学として

- 【教 育】 教育の質の向上と特色の探究
- 【研 究】 研究の高度化と多様性の追求
- 【社会貢献】 地域や社会の発展への貢献
- 【運 営】 教育研究環境の充実と経営基盤の磐石化

MUKOJO ACTION 2019→2039 の全体構造



## 「MUKOJO Principles」

### 女性一人ひとりのライフデザインを支える総合大学として

#### 【教育】教育の質の向上と特色の探究

- ・個性を育み、ライフデザイン力・生涯学習力を涵養する教育の推進
- ・創造性や付加価値力の育成に向けた教養教育・専門教育のさらなる充実
- ・文理融合型教育など横断型教育の推進
- ・人々や社会と繋がり、主体的に活動できる指導的女性を育成する教育の推進
- ・多様な学生・生徒の受け入れによる教育の活性化
- ・新たな価値を創造する多様な教員による教育・研究の推進
- ・中高大一貫教育の強化
- ・アメリカキャンパスを核としたグローバル教育の強化

#### 【研究】研究の高度化と多様性の追求

- ・女性研究者やプロフェッショナル（女性専門職）育成の強化
- ・多様化する社会の課題解決やイノベーション創出に向けた研究の高度化
- ・総合大学の長を生かした領域架橋や共同による独創的な研究の推進
- ・新たな価値創造を目指した女性テーマ研究の開拓
- ・研究ブランドの確立
  - ・社会をリードする高度な人材育成に向けた大学院教育・研究の推進

#### 【社会貢献】地域や社会の発展への貢献

- ・学術・研究成果の社会還元
- ・社会課題の解決に向けた実践的教育や産官学共同研究の強化
- ・鳴尾エリアなど地域活性化への協力
- ・諸外国の女性高等教育進展への協力・支援

#### 【運営】教育研究環境の充実と経営基盤の磐石化

- ・教育・研究・社会貢献の高度化を支える環境の構築
- ・総合大学にふさわしい教育・研究の開拓や支援
- ・国際化促進ならびにダイバーシティの推進
- ・“教育・研究・管理運営は人なり”を追求する人材育成および組織の活性化
- ・卒業生や支援者を含むMUKOJOコミュニティ形成の強化
- ・広報、ブランディングの戦略的推進
- ・財政的自立を目指した強固な財務・経営基盤の確立
- ・ガバナンスとコンプライアンスの強化

(用紙 日本産業規格A4縦型)

教育課程等の概要

(心理・社会福祉学部 心理学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
人文 科学 科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2		○									兼1	
	平安朝文学の世界	1前		2		○									兼1	
	鎌倉時代の文学への誘い	1前・後		2		○									兼1	
	平安時代の文学への誘い	1前・後		2		○									兼1	
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2		○									兼1	
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2		○									兼1	
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1			○								兼1	
	音楽の科学	1前・後		2		○									兼1	
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後		2		○									兼1	
	先端芸術表現	1前・後		1				○							兼1	
	自己発見アート	1前・後		1				○	○						兼1	
	未来造形	1前・後		1				○	○						兼1	
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2			○								兼1	
	日本の文化Ⅰ	1前		2		○									兼1	
	日本の文化Ⅱ	1後		2		○									兼1	
	遊びの人類学	1後		2		○									兼1	
	SNSから日本語を見る	1前・後		2		○									兼1	
小計 (17科目)	—		0	30	0	—			0	0	0	0	0	0	兼12	—
社会 科学 科目	現代世界の教育	1前・後		2		○									兼1	
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2		○									兼1	
	メディアに映る女性	1前・後		2		○									兼1	
	生涯福祉論	1前・後		2		○									兼1	
	社会福祉とボランティア	1前・後		2		○									兼1	
	福祉レクリエーションの実践	1後		2		○									兼1	
	子育てと家族関係	1前		2		○									兼1	
	子育てと母性の気づき	1前		2		○									兼1	
	環境心理学入門	1前・後		2		○									兼1	
	現代社会と憲法	1前・後		2		○									兼1	
	教養としての法律	1前		2		○									兼1	
	暮らしと法律	1後		2		○									兼1	
	女性と子どものヘルスケア	1後		2		○									兼2	オムニバス
	消費者生活論	1前		2		○									兼1	
英語で学ぶやさしい経済学	1前		2		○									兼1		
英語で学ぶお金の知識	1後		2		○									兼1		
我々の暮らしと日本の産業	1前・後		2		○									兼1		
メディア技術と文字デザイン	1前		2		○									兼1		
まちづくりと地方自治の役割	1前・後		2		○									兼1		
小計 (19科目)	—		0	38	0	—			0	0	0	0	0	0	兼16	—
自然 科学 科目	文化を創造する数学	1後		2		○									兼1	
	生命科学入門	1前		2		○									兼1	
	生活の中の物理学	1後		2		○									兼1	
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2		○									兼1	
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前		2		○									兼1	
	薬の歴史と未来	1後		2		○									兼2	オムニバス
	薬とからだ	1後		2		○									兼2	オムニバス
	医薬品概論	1前		2		○									兼2	オムニバス
小計 (8科目)	—		0	16	0	—			0	0	0	0	0	兼10	—	
国際 理解 科目	韓国文化の理解	1前・後		2		○									兼1	
	中国文化論	1前・後		2		○									兼1	
	国際協力入門	1前		2		○									兼1	
	世界の中の日本人	1前		2		○									兼1	
小計 (4科目)	—		0	8	0	—			0	0	0	0	0	兼4	—	
現代 トピ ック 科目	モラルジレンマから考える私	1前		2		○									兼1	
	女性のためのマーケティング	1前・後		2		○									兼1	
	Current Affairs in Japan I	1前		2		○									兼1	
	Current Affairs in Japan II	1後		2		○									兼1	
小計 (4科目)	—		0	8	0	—			0	0	0	0	0	兼4	—	
ジェ ンダ ー 目 録	セクシュアリティ入門	1前・後		2		○									兼1	
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2		○									兼1	
	メディアに見るジェンダー	1前・後		2		○									兼1	
	女性が輝く社会づくり	1前・後		2		○									兼1	
小計 (4科目)	—		0	8	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—	
デ キ ヤ リ ア 目 録	女性のためのライフプランニング	1前・後		2		○									兼1	
	自己アビリティトレーニング	1前・後		2			○								兼1	
	キャリアビジョンと人物評価	1前・後		2			○								兼1	
小計 (3科目)	—		0	6	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—	
言 語 ・ 詳 情 報 目 録	英語コミュニケーションⅠ	1前・後		2			○								兼1	
	英語コミュニケーションⅡ	1前・後		2			○								兼1	
	英語コミュニケーションⅢ	1前・後		1			○								兼1	
	英語コミュニケーションⅣ	1前・後		1			○								兼1	
	英語リーディングⅠ	1前・後		1			○								兼2	
	英語リーディングⅡ	1前・後		1			○								兼1	
	英語ライティングⅠ	1前・後		1			○								兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	言語・情報科目群	英語ライティングⅡ		1			○								兼1		
		TOEIC演習Ⅰ	1前・後	1			○								兼1		
		TOEIC演習Ⅱ	1前・後	1			○								兼1		
		TOEIC演習Ⅲ	1前・後	1			○								兼1		
		TOEFL演習	1前・後	1			○								兼1		
		TOEIC(初級)	1後	1			○								兼1		
		Basics for PresentationⅠ	2前	1			○								兼1		
		Basics for PresentationⅡ	2後	1			○								兼1		
		Grammar for Communication	2前	1			○								兼1		
		Reading & Writing	2後	1			○								兼1		
		Speaking & ListeningⅠ	2前	1			○								兼1		
		Speaking & ListeningⅡ	2後	1			○								兼1		
		Speaking & ListeningⅢ	3後	1			○								兼1		
		Presentation	3後	1			○								兼1		
		WritingⅠ	3前	1			○								兼1		
		WritingⅡ	3後	1			○								兼1		
		English for Careers	3前	1			○								兼1		
		Reading & Discussion	3後	1			○								兼1		
		Global CommunicationⅠ	4前	1			○								兼1		
		Global CommunicationⅡ	4後	1			○								兼1		
		Current EventsⅠ	4前	1			○								兼1		
		Current EventsⅡ	4後	1			○								兼1		
		Reading & Critical Thinking	4前	1			○								兼1		
		Career Workshop	4後	1			○								兼1		
		ドイツ語Ⅰ	1前・後	2				○							兼2		
		ドイツ語Ⅱ	1後	2				○							兼1		
		フランス語Ⅰ	1前・後	2				○							兼2		
		フランス語Ⅱ	1後	2				○							兼1		
		フランス語ⅠA	1前	1				○							兼1		
		フランス語ⅠB	1後	1				○							兼1		
		中国語Ⅰ	1前・後	2				○							兼3		
	中国語Ⅱ	1前・後	2				○							兼3			
	イタリア語ⅠA	1前・後	1				○							兼1			
	イタリア語ⅠB	1前・後	1				○							兼1			
	スペイン語Ⅰ	1前・後	2				○							兼1			
	ハングルⅠ	1前・後	2				○							兼2			
	ハングルⅡ	1後	2				○							兼1			
	特別英語演習Ⅰ	1前・後	4				○							兼1	集中		
	特別英語演習Ⅱ	1前・後	4				○							兼1	集中		
	特別中国語演習Ⅰ	1前	2				○							兼1	集中		
	特別中国語演習Ⅱ	1前	2				○							兼1	集中		
	特別ハングル演習Ⅰ	1前	4				○							兼1	集中		
	特別ハングル演習Ⅱ	1前	4				○							兼1	集中		
	(小計50科目)	—	—	0	75	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼19	—
	共通教育科目	情報リテラシー科目群	Accessデータベース基礎	1前・後	2			○								兼1	
			情報社会を生きる技術	1前・後	2			○								兼1	
			Webデザイン基礎	1前・後	2				○							兼1	
			Webデザイン応用	1前・後	2				○							兼1	
			Scratchによるプログラミング	1前・後	2				○							兼1	
			グラフィックデザイン基礎	1後	2				○							兼1	
			フォトタッチ基礎	1前	2				○							兼1	
			データサイエンスの基礎とExcel	1前・後	2				○							兼1	
			データサイエンスの応用とExcel	1後	2				○							兼1	
			データリテラシー・AIの基礎	1後	2				○							兼1	メディア
	(小計10科目)	—	—	2	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼3	—
	健康・スポーツ科目群	健康・栄養科目群	スポーツと栄養	1前・後	2			○								兼1	
生涯スポーツ論			1後	2			○								兼1		
スポーツと現代社会			1前・後	2			○								兼1		
(小計3科目)		—	—	0	6	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼3	—
スポーツ実技科目群		スポーツ実技(テニス)	1前・後	1					○						兼1		
		スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後	1					○						兼1		
		スポーツ実技(バレーボール)	1前・後	1					○						兼1		
		スポーツ実技(バドミントン)	1前・後	1					○						兼1		
		スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後	1					○						兼1		
		スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後	1					○						兼1		
		スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後	1					○						兼1		
		スポーツ実技(ダンスエアロ)	1前・後	1					○						兼1		
		スポーツ実技(水泳)	1後	1					○						兼1		
		スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後	1					○						兼1		
		スポーツ実技(ヨガ)	1前・後	1					○						兼1		
	スポーツ実技(サッカー)	1前・後	1					○						兼1			
からだと気づきと姿勢法	1後	1					○						兼1				
スポーツ実技(スタイルジャズ)	1前・後	1					○						兼1				
(小計14科目)	—	—	0	14	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼13	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育科目	人間と社会(HEARTプログラムコア)	1前	2			○			1	2	1			兼4	オムニバス	
	初期演習Ⅰ	1前	1				○			2	1					
	初期演習Ⅱ(心理学実験演習)	1後	1				○			2	1					
	英語Ⅰ	1前	2				○									
	英語Ⅱ	1後	2				○									
	Oral CommunicationⅠ	1前		1			○								兼1	
	Oral CommunicationⅡ	1後		1			○								兼1	
小計(7科目)	—		8	2	0	—			1	4	1	0	0	兼6	—	
専門教育科目	コア	心理学史	1前		2					1	1					
		心理学概論	1前	2			○			2	3					
		臨床心理学概論	1前	2			○			2		2				
		知覚・認知心理学	1後		2		○			1						
		学習・言語心理学	1後		2		○				1					
		感情・人格心理学	1前		2		○									
		神経・生理心理学	1後		2		○			1						
		社会・集団・家族心理学	1後		2		○				1					
		発達心理学Ⅰ	1前		2		○			1						
		小計(9科目)	—	4	14	0	—			5	4	2	0	0	兼1	—
	臨床系	発達心理学Ⅱ	1後		2		○					1				
		人体の構造と機能及び疾病	2前		2		○									兼1
		精神疾患とその治療	2前		2		○									兼1
		障害者・障害児心理学	2後		2		○			1						
		臨床人格心理学	2後		2		○					1				
		神経心理学	2前		2		○			1						
		心理学的支援法Ⅰ	2前		2		○				1					
		心理学的支援法Ⅱ	2後		2		○			1						
		福祉心理学	3後		2		○					1				
		教育・学校心理学	3前		2		○					1				
健康・医療心理学	3前		2		○									兼1		
産業・組織心理学	3後		2		○									兼1		
司法・犯罪心理学	3前		2		○									兼1		
心理的アセスメント(概論)	3前		2		○			1								
心理的アセスメント(実習)	3後		2					1		1				共同		
公認心理師の職責	3前		2		○									兼1		
関係行政論	3後		2		○									兼1		
心理演習	3通		2				○		2	3	1			共同		
心理実習	4通		1					5	5	4	2			共同		
心理実習指導	4通		1					2	2	2				共同		
小計(20科目)	—	0	38	0	—			5	5	4	2	0	兼7	—		
実用系	リスク心理学	1後		2		○					1					
	コミュニケーション論	1後		2		○					1					
	グループダイナミクス	2前		2		○					1					
	プロジェクトマネジメントの実践	2後		2		○						1			兼1	
	行動変容・ナッジ	2後		2		○							1		兼1	
	消費者心理学	3前		2		○			1							
	社会実践実習Ⅰ	3前		1								1			兼1	
	社会実践実習Ⅱ	3後		1								1			兼1	
	マーケティング論	3後		2		○									兼1	
	認知心理学	2前		2		○					1					
	言語心理学	2後		2		○					1					
	感性心理学	3後		2		○									兼1	
	臨床社会心理学	3後		2		○									兼1	
コミュニティ心理学	4前		2		○									兼1		
経済心理学	4前		2		○			1								
環境心理学	4後		2		○						1					
小計(16科目)	—	0	30	0	—			1	3	1	1	0	兼7	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	研究系	メディアリテラシー	1前	2		○				1					共同 共同 共同
		心理学研究法	1前	2		○				1					
		臨床心理学研究法	1後	2		○									
		社会調査概論	2前	2		○				1					
		心理学日本語文献講読	2前	2		○					1	1			
		心理学英語文献講読	2後	2		○				1	1	1			
		心理学統計法	2前	2		○					1				
		応用心理学統計法	2後	2		○					1				
		心理学実験	2前	2		○		○		1	1	2			
		社会調査実習	2後	2		○		○			2	1			
		データ処理論Ⅰ	2前	2		○					2		1		
		データ処理論Ⅱ	2後	2		○					2		1		
		データ解析法	3前	2		○					1				
		質的データ解析法	3前	2		○							1		
		専門演習ⅠA	3前	1				○		5	5	4			
	専門演習ⅠB	3後	1				○		5	5	4				
	専門演習ⅡA	4前	1				○		6	5	4				
	専門演習ⅡB	4後	1				○		6	5	4				
	卒業研究	4通	6				○		6	5	4				
	小計(19科目)	—	10	28	0		—		6	5	4	1	0	兼0	—
学部共通科目	多文化社会概論	1前	2		○									兼2	オムニバス 隔年
	社会貢献とボランティア	1後	2		○									兼1	
	虐待とソーシャルワーク	3前	2		○									兼1	
	スーパービジョン論	3後	2		○									兼1	
	スクールソーシャルワーク	3後・4後	2		○									兼1	
	多文化社会のコミュニケーション	4前	2		○									兼1	
	NGO・NPO概論	1後	2		○									兼1	
	ソーシャルビジネス概論	2後	2		○									兼1	
	フェアトレード概論	2後	2		○									兼1	
	共生の社会心理	3前	2		○									兼1	
	ジェンダーと開発	3後	2		○									兼1	
小計(11科目)	—	0	22	0		—		0	0	0	0	0	兼5	—	
合計(218科目)	—	24	361	0		—		6	5	4	2	0	兼104	—	
学位又は称号	学士(心理学)		学位又は学科の分野					文学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
4年以上在学し、共通教育科目6単位以上、基礎教育科目8単位以上、専門教育科目から54単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間)) また、共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上修得すること。 なお、TOEICのスコアに応じて単位(2~8単位)を基礎教育科目として認定する。								1学年の学期区分		2学期					
								1学期の授業期間		15週					
								1時限の授業時間		90分					

(用紙 日本産業規格A4縦型)

## 教育課程等の概要

(心理・社会福祉学部 社会福祉学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
人文科学科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2			○									兼1	
	平安朝文学の世界	1前		2			○									兼1	
	鎌倉時代の文学への誘い	1前・後		2			○									兼1	
	平安時代の文学への誘い	1前・後		2			○									兼1	
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2			○									兼1	
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2			○									兼1	
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1				○								兼1	
	音楽の科学	1前・後		2				○								兼1	
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後		2				○								兼1	
	先端芸術表現	1前・後		1												兼1	
	自己発見アート	1前・後		1						○	○					兼1	
	未来造形	1前・後		1							○					兼1	
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2				○								兼1	
	日本の文化Ⅰ	1前		2				○								兼1	
	日本の文化Ⅱ	1後		2				○								兼1	
	遊びの人類学	1後		2				○								兼1	
	SNSから日本語を見る	1前・後		2				○								兼1	
小計(17科目)	—		0	30	0		—			0	0	0	0	0	0	兼12	—
社会科学科目	現代世界の教育	1前・後		2			○									兼1	
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2			○									兼1	
	メディアに映る女性	1前・後		2			○									兼1	
	生涯福祉論	1前・後		2			○									兼1	
	社会福祉とボランティア	1前・後		2			○									兼1	
	福祉レクリエーションの実践	1後		2			○									兼1	
	子育てと家族関係	1前		2			○									兼1	
	子育てと母性の気づき	1前		2			○									兼1	
	環境心理学入門	1前・後		2			○									兼1	
	現代社会と憲法	1前・後		2			○									兼1	
	教養としての法律	1前		2			○									兼1	
	暮らしと法律	1後		2			○									兼1	
	女性と子どものヘルスケア	1後		2			○									兼2	オムニバス
	消費者生活論	1前		2			○									兼1	
	英語で学ぶやさしい経済学	1前		2			○									兼1	
	英語で学ぶお金の知識	1後		2			○									兼1	
	我々のくらしと日本の産業	1前・後		2			○									兼1	
メディア技術と文字デザイン	1前		2			○									兼1		
まちづくりと地方自治の役割	1前・後		2			○									兼1		
小計(19科目)	—		0	38	0		—			0	0	0	0	0	0	兼16	—
自然科学科目	文化を創造する数学	1後		2			○									兼1	
	生命科学入門	1前		2			○									兼1	
	生活の中の物理学	1後		2			○									兼1	
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2			○									兼1	
	微生物がたつくる発酵食品の不思議	1前		2			○									兼1	
	薬の歴史と未来	1後		2			○									兼2	オムニバス
	薬とからだ	1後		2			○									兼2	オムニバス
	医薬品概論	1前		2			○									兼2	オムニバス
小計(8科目)	—		0	16	0		—			0	0	0	0	0	0	兼10	—
国際理解科	韓国文化の理解	1前・後		2			○									兼1	
	中国文化論	1前・後		2			○									兼1	
	国際協力入門	1前		2			○									兼1	
	世界の中の日本人	1前		2			○									兼1	
小計(4科目)	—		0	8	0		—			0	0	0	0	0	0	兼4	—
現代トピック	モラルジレンマから考える私	1前		2			○									兼1	
	女性のためのマーケティング	1前・後		2			○									兼1	
	Current Affairs in Japan I	1前		2			○									兼1	
	Current Affairs in Japan II	1後		2			○									兼1	
小計(4科目)	—		0	8	0		—			0	0	0	0	0	0	兼4	—
ジェンダー群	セクシュアリティ入門	1前・後		2			○									兼1	
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2			○									兼1	
	メディアに見るジェンダー	1前・後		2			○									兼1	
	女性が輝く社会づくり	1前・後		2			○									兼1	
小計(4科目)	—		0	8	0		—			0	0	0	0	0	0	兼3	—
デキヤイリア群	女性のためのライフプランニング	1前・後		2			○									兼1	
	自己アビリティトレーニング	1前・後		2					○							兼1	
	キャリアビジョンと人物評価	1前・後		2					○							兼1	
小計(3科目)	—		0	6	0		—			0	0	0	0	0	0	兼3	—
言語・情報科目	英語コミュニケーションⅠ	1前・後		2					○							兼1	
	英語コミュニケーションⅡ	1前・後		2					○							兼1	
	英語コミュニケーションⅢ	1前・後		1					○							兼1	
	英語コミュニケーションⅣ	1前・後		1					○							兼1	
	英語リーディングⅠ	1前・後		1					○							兼2	
	英語リーディングⅡ	1前・後		1					○							兼1	
英語ライティングⅠ	1前・後		1					○							兼2		



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			専任教員等の配置					備考					
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手				
言語・情報科目群	英語ライティングⅡ	1前・後		1			○									兼1		
	TOEIC演習Ⅰ	1前・後		1												兼1		
	TOEIC演習Ⅱ	1前・後		1			○									兼1		
	TOEIC演習Ⅲ	1前・後		1			○									兼1		
	TOEFL演習	1前・後		1			○									兼1		
	TOEIC(初級)	1後		1			○									兼1		
	Basics for PresentationⅠ	2前		1			○									兼1		
	Basics for PresentationⅡ	2後		1			○									兼1		
	Grammar for Communication	2前		1			○									兼1		
	Reading & Writing	2後		1			○									兼1		
	Speaking & ListeningⅠ	2前		1			○									兼1		
	Speaking & ListeningⅡ	2後		1			○									兼1		
	Speaking & ListeningⅢ	3後		1			○									兼1		
	Presentation	3後		1			○									兼1		
	WritingⅠ	3前		1			○									兼1		
	WritingⅡ	3後		1			○									兼1		
	English for Careers	3前		1			○									兼1		
	Reading & Discussion	3後		1			○									兼1		
	Global CommunicationⅠ	4前		1			○									兼1		
	Global CommunicationⅡ	4後		1			○									兼1		
	Current EventsⅠ	4前		1			○									兼1		
	Current EventsⅡ	4後		1			○									兼1		
	Reading & Critical Thinking	4前		1			○									兼1		
	Career Workshop	4後		1			○									兼1		
	ドイツ語Ⅰ	1前・後		2				○								兼2		
	ドイツ語Ⅱ	1後		2				○								兼1		
	フランス語Ⅰ	1前・後		2				○								兼2		
	フランス語Ⅱ	1後		2				○								兼1		
	フランス語ⅠA	1前		1				○								兼1		
	フランス語ⅠB	1後		1				○								兼1		
	中国語Ⅰ	1前・後		2				○								兼3		
	中国語Ⅱ	1前・後		2				○								兼3		
	イタリア語ⅠA	1前・後		1				○								兼1		
	イタリア語ⅠB	1前・後		1				○								兼1		
	スペイン語Ⅰ	1前・後		2				○								兼1		
	ハンブルⅠ	1前・後		2				○								兼2		
	ハンブルⅡ	1後		2				○								兼1		
	特別英語演習Ⅰ	1前・後		4				○								兼1	集中	
	特別英語演習Ⅱ	1前・後		4				○								兼1	集中	
	特別中国語演習Ⅰ	1前		2				○								兼1	集中	
	特別中国語演習Ⅱ	1前		2				○								兼1	集中	
	特別ハンブル演習Ⅰ	1前		4				○								兼1	集中	
	特別ハンブル演習Ⅱ	1前		4				○								兼1	集中	
	(小計50科目)	—		0	75	0		—			0	0	0	0	0	0	兼19	—
	共通教育科目	情報リテラシー科目	Accessデータベース基礎	1前・後	2			○									兼1	
		情報リテラシー科目	情報社会を生きる技術	1前・後	2			○									兼1	
		情報リテラシー科目	Webデザイン基礎	1前・後	2			○									兼1	
		情報リテラシー科目	Webデザイン応用	1前・後	2			○									兼1	
		情報リテラシー科目	Scratchによるプログラミング	1前・後	2			○									兼1	
		情報リテラシー科目	グラフィックデザイン基礎	1後	2			○									兼1	
情報リテラシー科目		フォトレタッチ基礎	1前	2			○									兼1		
情報リテラシー科目		データサイエンスの基礎とExcel	1前・後	2			○									兼1		
情報リテラシー科目		データサイエンスの応用とExcel	1後	2			○									兼1		
情報リテラシー科目		データリテラシー・AIの基礎	1後	2			○									兼1	メディア	
(小計10科目)	—		2	18	0		—			0	0	0	0	0	0	兼3	—	
健康・スポーツ科目群	健康・スポーツ科目	スポーツと栄養	1前・後	2			○									兼1		
	健康・スポーツ科目	生涯スポーツ論	1後	2			○									兼1		
	健康・スポーツ科目	スポーツと現代社会	1前・後	2			○									兼1		
	(小計3科目)	—		0	6	0		—			0	0	0	0	0	兼3	—	
	健康・スポーツ科目群	スポーツ実技科目	スポーツ実技(テニス)	1前・後	1					○							兼1	
		スポーツ実技科目	スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後	1					○							兼1	
		スポーツ実技科目	スポーツ実技(バレーボール)	1前・後	1					○							兼1	
		スポーツ実技科目	スポーツ実技(バドミントン)	1前・後	1					○							兼1	
		スポーツ実技科目	スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後	1					○							兼1	
		スポーツ実技科目	スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後	1					○							兼1	
		スポーツ実技科目	スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後	1					○							兼1	
		スポーツ実技科目	スポーツ実技(ダンスエアロ)	1前・後	1					○							兼1	
		スポーツ実技科目	スポーツ実技(水泳)	1後	1					○							兼1	
		スポーツ実技科目	スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後	1					○							兼1	
		スポーツ実技科目	スポーツ実技(ヨガ)	1前・後	1					○							兼1	
スポーツ実技科目		スポーツ実技(サッカー)	1前・後	1					○							兼1		
スポーツ実技科目	からだの気づきと姿勢法	1後	1					○							兼1			
スポーツ実技科目	スポーツ実技(スタイルジャズ)	1前・後	1					○							兼1			
(小計14科目)	—		0	14	0		—			0	0	0	0	0	兼13	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育科目	人間と社会(HEARTプログラムコア)	1前	2			○			1	1	2			兼4	オムニバス	
	初期演習 I	1前	1				○			1	1					
	初期演習 II(社会福祉)	1後	1				○			1	1					
	心理学概論	1前	2													
	ソーシャルワーク概論A	1前	2			○			1					兼1		
	ソーシャルワーク概論B	1後	2			○			1							
	人体の構造と機能及び疾病	1後		2												
	社会学	2後		2					1						兼1	
	多文化社会概論	1前	2						1		1					オムニバス
	社会貢献とボランティア	1後		2					1							
	英語 I	1前	2													兼1
	英語 II	1後	2													兼1
	Oral Communication I	1前		1												兼1
	Oral Communication II	1後		1												兼1
小計(14科目)	—	—	16	8	0	—	—	—	4	2	2	0	0	兼8	—	
専門教育科目	コア	権利擁護と成年後見制度	1後	2					1							
		児童・家庭福祉論	2前	2			○		1							
		障害者福祉論	2前	2			○				1					
		高齢者福祉論	2前	2			○			1						
		地域福祉論A	2前	2			○			1						
		地域福祉論B	2後	2			○			1						
		社会調査法	2後	2			○									
		現代社会と福祉A	3前	2			○				1					
		現代社会と福祉B	3後	2			○				1					
		公的扶助論	3前	2			○				1					
		福祉サービスの組織と経営	3前	2			○			1						
		更生保護制度	3後	2			○									
		社会保障論A	3前	2			○				1					
		社会保障論B	3後	2			○				1					
		保健医療サービス	3後	2			○					1				
		ソーシャルワーク論 I A	2前	2			○			1						
		ソーシャルワーク論 I B	2後	2			○			1						
		ソーシャルワーク論 II A	3前	2			○			1						
		ソーシャルワーク論 II B	3後	2			○				1					
	ソーシャルワーク演習 I A	1前	2				○		2		2					
	ソーシャルワーク演習 I B	1後	2				○		4							
	ソーシャルワーク演習 II A	2前	2				○		3			1				
	ソーシャルワーク演習 II B	2後	2				○		3		1					
	ソーシャルワーク演習 III	4前	2				○		4							
	ソーシャルワーク実習指導 I	2通	1					○	2	1	1		1			
	ソーシャルワーク実習指導 II	3通	1					○	3	1			1			
	ソーシャルワーク実習 I	2通	1					○	6	2	1		1			
	ソーシャルワーク実習 II	3通	5					○	6	2	1		1			
	医療ソーシャルワーク	2後	2				○									兼1
	虐待とソーシャルワーク	3前	2				○		1							
	スーパービジョン論	3後	2				○		1							
	スクールソーシャルワーク	3後・4後	2				○		1							隔年
	社会福祉事業史	4後	2				○		1							
	社会福祉特講	4後	2				○		1							
	専門演習 I A	3前	1					○	2	1	2					
	専門演習 I B	3後	1					○	2	1	2					
	専門演習 II A	4前	1					○	4	2						
	専門演習 II B	4後	1					○	4	2						
	卒業論文	4通	6					○	6	3	2					
小計(39科目)	—	—	10	68	0	—	—	—	6	3	2	1	0	兼1	—	
アドバンス1	精神保健A	1前		2			○									
	精神保健B	1後		2			○									
	精神保健福祉の原理A	1前		2			○			1						
	精神保健福祉の原理B	1後		2			○			1						
	精神障害リハビリテーション論	2前		2			○				1					
	精神保健福祉制度論	2前		2			○									
	精神疾患とその治療A	2前		2			○			1						
	精神疾患とその治療B	2後		2			○									
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)	2前		2			○		1							
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)	2後		2			○			1						
	ソーシャルワーク演習(専門)A	3後		2				○	1	1						
	ソーシャルワーク演習(専門)B	4前		2				○	1		1					
	ソーシャルワーク演習(専門)C	4後		2				○		1	1					
	ソーシャルワーク実習指導III	3通		1						1	1		1			
ソーシャルワーク実習指導IV	4通		1						1	1		1				
ソーシャルワーク実習III	3後		3					1	1	1		1				
ソーシャルワーク実習IV	4通		2					1	1	1						
小計(17科目)	—	—	0	33	0	—	—	—	1	1	1	1	0	兼1	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	アドバンス2	多文化社会実践論	2前	2		○			1		1				兼1 兼1 兼1 オムニバス オムニバス オムニバス
		多文化社会のコミュニケーション	4前	2		○									
		多文化社会のソーシャルワークⅠ	2前	2		○					1				
		多文化社会のソーシャルワークⅡ	3前	2		○			1						
		NGO・NPO概論	1後	2		○					1				
		NGO・NPOマネジメント演習	4後	1		○		○			1				
		ソーシャルビジネス概論	2後	2		○					1				
		ソーシャルビジネス・マネジメント	3前	2		○			1						
		ソーシャルビジネス計画演習	4前	1		○		○	1						
		フェアトレード概論	2後	2		○									
		共生の社会心理	3前	2		○			1						
		コミュニティメディア論	3後	2		○									
		コミュニティ防災論	3後	2		○									
		ジェンダーと開発	3後	2		○									
		フィールド調査の基礎	1前	2		○						1			
		フィールドワーク演習Ⅰ	1後	1					○	1		1			
		フィールドワーク演習Ⅱ	2後	1					○	1		1			
		フィールドワーク実習指導Ⅰ	3後	1						1		1			
		フィールドワーク実習指導Ⅱ	4前	1						1		1			
		フィールドワーク実習指導Ⅲ	4後	1						1		1			
フィールドワーク実習	4通	1						1		1					
	小計(21科目)	—	8	26	0	—	—	1	0	1	0	0	兼2	—	
学部共通科目	知覚・認知心理学	1後		2		○								兼1	
	学習・言語心理学	1後		2		○								兼1	
	感情・人格心理学	1前		2		○								兼1	
	神経・生理心理学	1後		2		○								兼1	
	社会・集団・家族心理学	1後		2		○								兼1	
	発達心理学Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	障害者・障害児心理学	2後		2		○								兼1	
	心理学的支援法Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	リスク心理学	1後		2		○								兼1	
	コミュニケーション論	1後		2		○								兼1	
	グループダイナミクス	2前		2		○								兼1	
	消費者心理学	3前		2		○								兼1	
	マーケティング論	3後		2		○								兼1	
	小計(13科目)	—	0	26	0	—	—	0	0	0	0	0	兼11	—	
合計(240科目)			—	36	388	0	—	6	3	2	1	0	兼102	—	
学位又は称号		学士(社会福祉学)		学位又は学科の分野				社会学・社会福祉学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
4年以上在学し、共通教育科目10単位以上、基礎教育科目16単位以上、専門教育科目から46単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間)) また、共通教育科目及び基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上修得すること。なお、TOEICのスコアに応じて単位(2~8単位)を基礎教育科目として認定する。								1学年の学期区分		2学期					
								1学期の授業期間		15週					
								1時限の授業時間		90分					

別記様式第2号 (その2の1)

教育課程等の概要																	
(社会情報学部 社会情報学科)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	人文科学科目	神話・伝説の世界から		2		○									兼1		
		平安朝文学の世界	1前	2		○										兼1	
		鎌倉時代の文学への誘い	1前・後	2		○										兼1	
		平安時代の文学への誘い	1前・後	2		○										兼1	
		日常生活からの哲学入門	1前・後	2		○										兼1	
		現代フランスの音楽事情	1前・後	2		○										兼1	
		ミュージカル歌唱法	1前・後	1				○								兼1	
		音楽の科学	1前・後	2			○									兼1	
		フランスの音楽と芸術文化	1前・後	2			○									兼1	
		先端芸術表現	1前・後	1					○							兼1	
		自己発見アート	1前・後	1					○							兼1	
		未来造形	1前・後	1					○							兼1	
		歌舞伎鑑賞入門	1後	2				○								兼1	
		日本の文化Ⅰ	1前	2				○								兼1	
		日本の文化Ⅱ	1後	2				○								兼1	
		遊びの人類学	1後	2				○								兼1	
		SNSから日本語を見る	1前・後	2				○								兼1	
		小計 (17科目)	—	0	30	0	—			0	0	0	0	0	兼12	—	
	基礎教養科目群	社会科学科目	現代世界の教育	1前・後	2		○									兼1	
差別と暴力のない世界をめざして			1後	2		○									兼1		
メディアに映る女性			1前・後	2		○									兼1		
生涯福祉論			1前・後	2		○									兼1		
社会福祉とボランティア			1前・後	2		○									兼1		
福祉レクリエーションの実際			1後	2		○									兼1		
子育てと家族関係			1前	2		○									兼1		
子育てと母性の気づき			1前	2		○									兼1		
環境心理学入門			1前・後	2		○									兼1		
現代社会と憲法			1前・後	2		○									兼1		
教養としての法律			1前	2		○									兼1		
暮らしと法律			1後	2		○									兼1		
女性と子どものヘルスケア			1後	2		○									兼2	オムニバス	
消費者生活論			1前	2		○									兼1		
英語で学ぶやさしい経済学			1前	2		○									兼1		
英語で学ぶお金の知識			1後	2		○									兼1		
我々の暮らしと日本の産業			1前・後	2		○					1					兼1	
メディア技術と文字デザイン	1前	2		○					1					兼1			
まちづくりと地方自治の役割	1前・後	2		○										兼1			
	小計 (19科目)	—	0	38	0	—			0	2	0	0	0	兼14	—		
自然科学科目	自然科学科目	文化を創造する数学	1後	2		○									兼1		
		生命科学入門	1前	2		○									兼1		
		生活の中の物理学	1後	2		○									兼1		
		最先端物理学が描く宇宙	1後	2		○									兼1		
		微生物が作る発酵食品の不思議	1前	2		○									兼1		
		薬の歴史と未来	1後	2		○									兼2	オムニバス	
		薬とからだ	1後	2		○									兼2	オムニバス	
		医薬品概論	1前	2		○									兼2	オムニバス	
	小計 (8科目)	—	0	16	0	—			0	0	0	0	0	兼10	—		
国際理解科	国際理解科	韓国文化の理解	1前・後	2		○									兼1		
		中国文化論	1前・後	2		○									兼1		
		国際協力入門	1前	2		○									兼1		
		世界の中の日本人	1前	2		○									兼1		
	小計 (4科目)	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	兼4	—		
現代科目ピック	現代科目ピック	モラルジレンマから考える私	1前	2		○									兼1		
		女性のためのマーケティング	1前・後	2		○									兼1		
		Current Affairs in Japan I	1前	2		○									兼1		
		Current Affairs in Japan II	1後	2		○									兼1		
	小計 (4科目)	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	兼4	—		
ジェンダー	ジェンダー	セクシュアリティ入門	1前・後	2		○									兼1		
		女性の身体とセクシュアリティ	1前・後	2		○									兼1		
		メディアに見るジェンダー	1前・後	2		○									兼1		
		女性が輝く社会づくり	1前・後	2		○									兼1		
	小計 (4科目)	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—		
キャリア	キャリア	女性のためのライフプランニング	1前・後	2		○									兼1		
		自己アピールトレーニング	1前・後	2				○							兼1		
		キャリアビジョンと人物評価	1前・後	2				○							兼1		
		小計 (3科目)	—	0	6	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—	
言語・情報科目群	言語・情報科目群	英語コミュニケーションⅠ	1前・後	2				○							兼1		
		英語コミュニケーションⅡ	1前・後	2				○							兼1		
		英語コミュニケーションⅢ	1前・後	1				○							兼1		
		英語コミュニケーションⅣ	1前・後	1				○							兼1		
		英語リーディングⅠ	1前・後	1				○							兼2		
		英語リーディングⅡ	1前・後	1				○							兼1		
		英語ライティングⅠ	1前・後	1				○							兼2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
言語・情報科目群	英語ライティングⅡ	1前・後		1			○									兼1		
	TOEIC演習Ⅰ	1前・後		1			○									兼1		
	TOEIC演習Ⅱ	1前・後		1			○									兼1		
	TOEIC演習Ⅲ	1前・後		1			○									兼1		
	TOEFL演習	1前・後		1			○									兼1		
	TOEIC(初級)	1後		1			○									兼1		
	Basics for PresentationⅠ	2前		1			○									兼1		
	Basics for PresentationⅡ	2後		1			○									兼1		
	Grammar for Communication	2前		1			○									兼1		
	Reading & Writing	2後		1			○									兼1		
	Speaking & ListeningⅠ	2前		1			○									兼1		
	Speaking & ListeningⅡ	2後		1			○									兼1		
	Speaking & ListeningⅢ	3後		1			○									兼1		
	Presentation	3後		1			○									兼1		
	WritingⅠ	3前		1			○									兼1		
	WritingⅡ	3後		1			○									兼1		
	English for Careers	3前		1			○									兼1		
	Reading & Discussion	3後		1			○									兼1		
	Global CommunicationⅠ	4前		1			○									兼1		
	Global CommunicationⅡ	4後		1			○									兼1		
	Current EventsⅠ	4前		1			○									兼1		
	Current EventsⅡ	4後		1			○									兼1		
	Reading & Critical Thinking	4前		1			○									兼1		
	Career Workshop	4後		1			○									兼1		
	ドイツ語Ⅰ	1前・後		2			○									兼2		
	ドイツ語Ⅱ	1後		2			○									兼1		
	フランス語Ⅰ	1前・後		2			○									兼2		
	フランス語Ⅱ	1後		2			○									兼1		
	フランス語ⅠA	1前		1			○									兼1		
	フランス語ⅠB	1後		1			○									兼1		
	中国語Ⅰ	1前・後		2			○									兼3		
	中国語Ⅱ	1前・後		2			○									兼3		
	イタリア語ⅠA	1前・後		1			○									兼1		
	イタリア語ⅠB	1前・後		1			○									兼1		
	スペイン語Ⅰ	1前・後		2			○									兼1		
	ハンブルⅠ	1前・後		2			○									兼2		
	ハンブルⅡ	1後		2			○									兼1		
	特別英語演習Ⅰ	1前・後		4			○									兼1		
	特別英語演習Ⅱ	1前・後		4			○									兼1		
	特別中国語演習Ⅰ	1前		2			○									兼1		
	特別中国語演習Ⅱ	1前		2			○									兼1		
	特別ハンブル演習Ⅰ	1前		4			○									兼1		
	特別ハンブル演習Ⅱ	1前		4			○									兼1		
	(小計50科目)	—		0	75	0		—			0	0	0	0	0	0	兼19	—
	共通教育科目	情報リテラシー科目	1前・後		2			○									兼1	
		情報社会を生きる技術	1前・後		2			○									兼1	
		Webデザイン基礎	1前・後		2			○									兼1	
		Webデザイン応用	1前・後		2			○									兼1	
		Scratchによるプログラミング	1前・後		2			○									兼1	
		グラフィックデザイン基礎	1後		2			○									兼1	
		フォトタッチ基礎	1前		2			○									兼1	
		データサイエンスの基礎とExcel	1前・後		2			○									兼1	
		データサイエンスの応用とExcel	1後		2			○									兼1	
		データリテラシー・AIの基礎	1後		2			○									兼1	
	(小計10科目)	—		2	18	0		—			0	0	0	0	0	0	兼3	—
	健康・スポーツ科目群	健康・スポーツ科目	1前・後		2			○									兼1	
生涯スポーツ論		1後		2			○									兼1		
スポーツと現代社会		1前・後		2			○									兼1		
(小計3科目)		—		0	6	0		—			0	0	0	0	0	兼3	—	
スポーツ実技(テニス)		1前・後		1					○							兼1		
スポーツ実技(ゴルフ)		1前・後		1					○							兼1		
スポーツ実技(バレーボール)		1前・後		1					○							兼1		
スポーツ実技(バドミントン)		1前・後		1					○							兼1		
スポーツ実技(ジャズダンス)		1前・後		1					○							兼1		
スポーツ実技(エアロビクス)		1前・後		1					○							兼1		
スポーツ実技(スリムエアロ)		1前・後		1					○							兼1		
スポーツ実技(ダンスエアロ)		1前・後		1					○							兼1		
スポーツ実技(水泳)		1後		1					○							兼1		
スポーツ実技(軽スポーツ)		1前・後		1					○							兼1		
スポーツ実技(ヨガ)		1前・後		1					○							兼1		
スポーツ実技(サッカー)	1前・後		1					○							兼1			
からだど気づきと姿勢法	1後		1					○							兼1			
スポーツ実技(スタイルジャズ)	1前・後		1					○							兼1			
(小計14科目)	—		0	14	0		—			0	0	0	0	0	0	兼13	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎教育科目	初期演習Ⅰ	1前	1				○		4								
	初期演習Ⅱ(社会情報入門)	1後	1				○		4								
	データ・情報リテラシー	1前	2				○		1								
	Oral CommunicationⅠ	1前		1			○									兼1	
	Oral CommunicationⅡ	1後		1			○									兼1	
	小計(5科目)	—	4	2	0		—		5	0	0	0	0		兼1	—	
生活と文化科目群	メディア論	1後		2			○		1								
	コンセプトデザイン論	2前		2			○		1								
	科学技術と社会	2後		2			○			1							
	メディアと生活文化	3前		2			○		1								
	メディア産業論	3後		2			○										
	メディアカルチャー論	3後		2			○		1								
	情報とコミュニケーション	1前		2			○			1							
	ネットワーク社会論	2前		2			○		1		1						
	SNSリテラシー演習	2前		2				○									兼1
	映像文化史	4前		2			○										兼1
	文化社会学	4前		2			○		1								兼1
	文化社会学演習	4後		2				○	1								兼1
	小計(12科目)	—	0	24	0		—		2	2	0	0	0		兼3	—	
生活と経済科目群	マーケティング論	1後		2			○		1								
	グローバルビジネス論	2後		2			○			1							
	マーケティング戦略論	3前		2			○		1								
	コンテンツプランニング演習	3前		2				○									兼1
	企業経営論	3後		2			○		1								
	マーケットデザイン演習	4前		2				○	1								
	経営情報論	2後		2			○		1								
	経営情報演習	3前		2				○	1								
	組織コミュニケーション論	1前		2			○		1								
	広告メディア論	2前		2			○				1						
	広告メディア演習	2後		2				○			2						共同
	地域産業論	2後		2			○		1								
	IT活用とビジネス	3前		2			○		1								
	コミュニティビジネス論	3前		2			○		1								
	消費者経済学	3後		2			○		1								
	衣生活情報論	3後		2			○		1								
	小計(16科目)	—	0	32	0		—		2	4	0	0	0		兼1	—	
専門教育科目	情報科学入門	1前	2				○		2								
	プログラミング入門	1後		2				○	2								
	プログラミング演習Ⅰ	2前		2				○	1								
	プログラミング演習Ⅱ	2後		2				○	1		1						
	ユーザインタフェース論	3後		2				○	1								
	アルゴリズム論	2後		2				○									
	ソフトウェア工学	2後		2				○	1								
	ソフトウェア工学演習	3前		2					1								
	システム設計	3前		2				○	1								
	システム設計演習	3後		2					1								
	情報基礎数学	2後		2				○	1								
	情報数学	3前		2				○	1								
	データベース入門	1後		2				○			1						
	コンピュータネットワーク入門	1前		2				○	1								
	コンピュータネットワーク演習	2前		2					1								
	コンピュータネットワーク論	4前		2				○	1								
	ウェブ入門	1後		2					1		1						
	ウェブプログラミング	2前		2					1		1						
	ウェブアプリケーション設計	2後		2					1		1						
	ウェブアプリケーション開発演習	3前		2					1		1						
	ウェブエンジニアリング	3後		2					1		1						
	ウェブコンピューティング論	4前		2				○	1		1						
	プラットフォーム概論	3後		2				○	1								
システムセキュリティ入門	2前		2				○	1									
情報セキュリティ論	4後		2				○	1									
	小計(25科目)	—	2	48	0		—		6	1	1	0	0		兼1	—	
データサイエンス科目群	統計学Ⅰ	1後	2				○		1				1				
	統計学Ⅱ	2前		2			○		1				1				
	AI入門	1前		2			○		1								
	AI概論	2後		2			○		1								
	AI演習	3後		2					1								
	データサイエンス基礎演習	2後		2				○	2								
	データサイエンス演習<A>	3前		2				○	1								
	データサイエンス演習<B>	3前		2				○	1								
	データサイエンス演習<C>	3後		2				○	1								
	データサイエンス演習<D>	3後		2				○	1								
	データサイエンス論<A>	4前		2				○	1								
	データサイエンス論<B>	4前		2				○	1								
	社会調査入門	1後		2				○	1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	データサイエンス科目群	社会調査Ⅰ	2前	2		○				1						
		社会調査Ⅱ	2後	2		○				1						
		社会調査演習	3前	2			○					1				
		小計(16科目)	—	2	30	0	—	—	—	4	1	0	1	0		—
	表現実習／研究手法科目群	デジタル表現入門	1後		2			○			1					
		デジタル表現	2前		2			○			1					
		ウェブデザイン演習	3前		2			○			1					
		ICT社会のビジネス	1前	2			○				1					
		オフィスツールの活用	1後		2			○			1					
		色彩情報論	2前		2		○				1					
		色彩情報演習	3前		2			○			1					
		情報英語Ⅰ	3前		2		○				1					
		情報英語Ⅱ	3後		2		○									兼1
		情報倫理	2後		2		○									兼1
	小計(10科目)	—	2	18	0	—	—	—	0	3	0	0	0		兼2	—
総合科目群	社会情報学概論	1前	2			○			5							
	プロジェクト演習入門	1前		2			○		1	2						
	プロジェクト演習Ⅰ	1後		2			○		1	1		1				
	プロジェクト演習Ⅱ	2前		2			○		2	1						
	プロジェクト演習Ⅲ	2後		2			○		4	6					兼1	
	ハッカソン	2後		2			○		7	1	1					
	卒業基礎研究	3通	4				○		11	7	1					
	卒業研究	4通	4				○		11	7	1					
	卒業基礎演習Ⅰ	3前		2			○		11	7	1					
	卒業基礎演習Ⅱ	3後		2			○		11	7	1					
小計(10科目)	—	14	10	0	—	—	—	11	7	1	1	0		兼1	—	
キャリア	キャリアプランニング	2後		1			○			1						
	生涯学習論	3前		2		○				1						
	小計(2科目)	—	0	3	0	—	—	—	0	2	0	0	0		—	
合計(232科目)			—	26	394	0	—	—	11	7	1	1	0	兼88	—	
学位又は称号			学士(社会情報学)			学位又は学科の分野			工学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
<p>4年以上在学し、共通教育科目16単位以上、基礎教育科目4単位以上、専門教育科目から80単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。また、外国語科目から合計8単位以上を含めて修得すること。なお、TOEICのスコアに応じて単位(2~8単位)を基礎教育科目として認定する。ITパスポート資格の取得をもって2単位を専門教育科目として認定する。(履修科目の登録の上限：50単位未満(年間))</p> <p>【情報メディア専攻】専門教育科目のうち、プロジェクト演習入門、プロジェクト演習Ⅲの4単位を必修とする。また、メディア論、科学技術と社会、情報とコミュニケーション、ネットワーク社会論、マーケティング論、経営情報論、広告メディア論、組織コミュニケーション論から10単位、アルゴリズム論、プログラミング入門、プログラミング演習Ⅰ、プログラミング演習Ⅱ、ソフトウェアエンジニアリング、データベース入門、コンピュータネットワーク入門、システムセキュリティ入門、ウェブ入門、ウェブプログラミング、統計学Ⅱ、データサイエンス基礎演習、AⅠ入門から16単位、プロジェクト演習Ⅰ、プロジェクト演習Ⅱから2単位をそれぞれ選択必修とする。</p> <p>【情報サイエンス専攻】専門教育科目のうち、メディア論、科学技術と社会、情報とコミュニケーション、ネットワーク社会論、マーケティング論、経営情報論、広告メディア論、組織コミュニケーション論から6単位、アルゴリズム論、プログラミング入門、プログラミング演習Ⅰ、プログラミング演習Ⅱ、ソフトウェアエンジニアリング、データベース入門、コンピュータネットワーク入門、システムセキュリティ入門、ウェブ入門、ウェブプログラミング、統計学Ⅱ、データサイエンス基礎演習、AⅠ入門から22単位をそれぞれ選択必修とする。</p>								1学年の学期区分			2学期					
								1学期の授業期間			15週					
								1時限の授業時間			90分					

別記様式第2号 (その2の1)

教育課程等の概要 (健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	人文科学科目	神話・伝説の世界から		2		○									兼1		
		平安朝文学の世界	1前	2		○										兼1	
		鎌倉時代の文学への誘い	1前・後	2		○										兼1	
		平安時代の文学への誘い	1前・後	2		○										兼1	
		日常生活からの哲学入門	1前・後	2		○										兼1	
		現代フランスの音楽事情	1前・後	2		○										兼1	
		ミュージカル歌唱法	1前・後	1				○								兼1	
		音楽の科学	1前・後	2			○									兼1	
		フランスの音楽と芸術文化	1前・後	2			○									兼1	
		先端芸術表現	1前・後	1					○							兼1	
		自己発見アート	1前・後	1					○							兼1	
		未来造形	1前・後	1					○							兼1	
		歌舞伎鑑賞入門	1後	2				○								兼1	
		日本の文化Ⅰ	1前	2			○									兼1	
		日本の文化Ⅱ	1後	2			○									兼1	
		遊びの人類学	1後	2			○									兼1	
		SNSから日本語を見る	1前・後	2			○					1				兼1	
	小計 (17科目)	—	—	0	30	0	—	—	—	—	—	—	—	—	兼11	—	
	社会科学科目	現代世界の教育	1前・後		2		○									兼1	
差別と暴力のない世界をめざして		1後		2		○									兼1		
メディアに映る女性		1前・後		2		○									兼1		
生涯福祉論		1前・後		2		○									兼1		
社会福祉とボランティア		1前・後		2		○									兼1		
福祉レクリエーションの実際		1後		2		○									兼1		
子育てと家族関係		1前		2		○									兼1		
子育てと母性の気づき		1前		2		○									兼1		
環境心理学入門		1前・後		2		○									兼1		
現代社会と憲法		1前・後		2		○									兼1		
教養としての法律		1前		2		○									兼1		
暮らしと法律		1後		2		○									兼1		
女性と子どものヘルスケア		1後		2		○									兼2	オムニバス	
消費者生活論		1前		2		○									兼1		
英語で学ばやさしい経済学		1前		2		○									兼1		
英語で学ばお金の知識		1後		2		○									兼1		
我々の暮らしと日本の産業		1前・後		2		○									兼1		
メディア技術と文字デザイン	1前		2		○									兼1			
まちづくりと地方自治の役割	1前・後		2		○									兼1			
小計 (19科目)	—	—	0	38	0	—	—	—	—	—	—	—	—	兼16	—		
自然科学科目	文化を創造する数学	1後		2		○									兼1		
	生命科学入門	1前		2		○									兼1		
	生活の中の物理学	1後		2		○									兼1		
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2		○									兼1		
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前		2		○									兼1		
	薬の歴史と未来	1後		2		○									兼2	オムニバス	
	薬とからだ	1後		2		○									兼2	オムニバス	
	医薬品概論	1前		2		○									兼2	オムニバス	
小計 (8科目)	—	—	0	16	0	—	—	—	—	—	—	—	—	兼10	—		
国際理解科	韓国文化の理解	1前・後		2		○									兼1		
	中国文化論	1前・後		2		○									兼1		
	国際協力入門	1前		2		○									兼1		
	世界の中の日本人	1前		2		○									兼1		
小計 (4科目)	—	—	0	8	0	—	—	—	—	—	—	—	—	兼4	—		
現代科目ピック	モラルジレンマから考える私	1前		2		○									兼1		
	女性のためのマーケティング	1前・後		2		○									兼1		
	Current Affairs in Japan I	1前		2		○									兼1		
	Current Affairs in Japan II	1後		2		○									兼1		
小計 (4科目)	—	—	0	8	0	—	—	—	—	—	—	—	—	兼4	—		
ジェンダー	セクシュアリティ入門	1前・後		2		○									兼1		
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2		○									兼1		
	メディアに見るジェンダー	1前・後		2		○									兼1		
	女性が輝く社会づくり	1前・後		2		○									兼1		
小計 (4科目)	—	—	0	8	0	—	—	—	—	—	—	—	—	兼3	—		
キャリア	女性のためのライフプランニング	1前・後		2		○									兼1		
	自己アピールトレーニング	1前・後		2				○							兼1		
	キャリアビジョンと人物評価	1前・後		2				○							兼1		
	小計 (3科目)	—	—	0	6	0	—	—	—	—	—	—	—	—	兼3	—	
言語・情報科目群	英語コミュニケーションⅠ	1前・後		2				○							兼1		
	英語コミュニケーションⅡ	1前・後		2				○							兼1		
	英語コミュニケーションⅢ	1前・後		1				○							兼1		
	英語コミュニケーションⅣ	1前・後		1				○							兼1		
	英語リーディングⅠ	1前・後		1				○							兼2		
	英語リーディングⅡ	1前・後		1				○							兼1		
	英語ライティングⅠ	1前・後		1				○							兼2		



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
言語・情報科目群	英語ライティングⅡ	1前・後		1			○									兼1	
	TOEIC演習Ⅰ	1前・後		1			○									兼1	
	TOEIC演習Ⅱ	1前・後		1			○									兼1	
	TOEIC演習Ⅲ	1前・後		1			○									兼1	
	TOEFL演習	1前・後		1			○									兼1	
	TOEIC(初級)	1後		1			○									兼1	
	Basics for PresentationⅠ	2前		1			○									兼1	
	Basics for PresentationⅡ	2後		1			○									兼1	
	Grammar for Communication	2前		1			○									兼1	
	Reading & Writing	2後		1			○									兼1	
	Speaking & ListeningⅠ	2前		1			○									兼1	
	Speaking & ListeningⅡ	2後		1			○									兼1	
	Speaking & ListeningⅢ	3後		1			○									兼1	
	Presentation	3後		1			○									兼1	
	WritingⅠ	3前		1			○									兼1	
	WritingⅡ	3後		1			○									兼1	
	English for Careers	3前		1			○									兼1	
	Reading & Discussion	3後		1			○									兼1	
	Global CommunicationⅠ	4前		1			○									兼1	
	Global CommunicationⅡ	4後		1			○									兼1	
	Current EventsⅠ	4前		1			○									兼1	
	Current EventsⅡ	4後		1			○									兼1	
	Reading & Critical Thinking	4前		1			○									兼1	
	Career Workshop	4後		1			○									兼1	
	ドイツ語Ⅰ	1前・後		2			○									兼2	
	ドイツ語Ⅱ	1後		2			○									兼1	
	フランス語Ⅰ	1前・後		2			○									兼2	
	フランス語Ⅱ	1後		2			○									兼1	
	フランス語ⅠA	1前		1			○									兼1	
	フランス語ⅠB	1後		1			○									兼1	
	中国語Ⅰ	1前・後		2			○									兼3	
	中国語Ⅱ	1前・後		2			○									兼3	
	イタリア語ⅠA	1前・後		1			○									兼1	
	イタリア語ⅠB	1前・後		1			○									兼1	
	スペイン語Ⅰ	1前・後		2			○									兼1	
	ハンブルⅠ	1前・後		2			○									兼2	
	ハンブルⅡ	1後		2			○									兼1	
	特別英語演習Ⅰ	1前・後		4			○									兼1	
	特別英語演習Ⅱ	1前・後		4			○									兼1	
	特別中国語演習Ⅰ	1前		2			○									兼1	
	特別中国語演習Ⅱ	1前		2			○									兼1	
	特別ハンブル演習Ⅰ	1前		4			○									兼1	
	特別ハンブル演習Ⅱ	1前		4			○									兼1	
	(小計50科目)	—		0	75	0		—			0	0	0	0	0	0	兼19
	共通教育科目	情報リテラシー科目	1前・後		2			○									兼1
		Accessデータベース基礎	1前・後		2			○									兼1
		情報社会を生きる技術	1前・後		2			○									兼1
		Webデザイン基礎	1前・後		2			○									兼1
		Webデザイン応用	1前・後		2			○									兼1
		Scratchによるプログラミング	1前・後		2			○									兼1
		グラフィックデザイン基礎	1後		2			○									兼1
		フォトタッチ基礎	1前		2			○									兼1
		データサイエンスの基礎とExcel	1前・後		2			○									兼1
		データサイエンスの応用とExcel	1後		2			○									兼1
	データリテラシー・AIの基礎	1後		2			○									兼1	
	(小計10科目)	—		2	18	0		—			0	0	0	0	0	0	兼3
健康・スポーツ科目群	健康スポーツ科目	1前・後		2			○									兼1	
	スポーツと栄養	1後		2			○									兼1	
	生涯スポーツ論	1前・後		2			○									兼1	
	スポーツと現代社会	1前・後		2			○									兼1	
	(小計3科目)	—		0	6	0		—		1	0	0	0	0	0	兼2	
	スポーツ実技科目	スポーツ実技(テニス)	1前・後		1					○							兼1
		スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後		1					○							兼1
		スポーツ実技(バレーボール)	1前・後		1					○							兼1
		スポーツ実技(バドミントン)	1前・後		1					○							兼1
		スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後		1					○			1				兼1
		スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後		1					○							兼1
		スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後		1					○							兼1
		スポーツ実技(ダンスエアロ)	1前・後		1					○							兼1
		スポーツ実技(水泳)	1後		1					○							兼1
		スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後		1					○							兼1
スポーツ実技(ヨガ)		1前・後		1					○							兼1	
スポーツ実技(サッカー)		1前・後		1					○							兼1	
からだど気づきと姿勢法	1後		1					○							兼1		
スポーツ実技(スタイルジャズ)	1前・後		1					○							兼1		
(小計14科目)	—		0	14	0		—			0	0	1	0	0	兼12		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎 教育 科目	初期演習Ⅰ	1前	1				○		1						
	初期演習Ⅱ(スポーツマネジメント)	1後	1				○		1						
	健康・スポーツ科学論	1前	2			○			1						兼1
	スポーツの文化・歴史	1前	2												兼2
	情報リテラシー	1前	2					○							兼2
	基礎英語Ⅰ	1前	1					○							兼2
	基礎英語Ⅱ	1後	1					○							兼1
	Oral CommunicationⅠ	2前	1					○							兼1
	Oral CommunicationⅡ	2後	1					○							兼1
小計(9科目)	—	—	12	0	0				2	0	1	0	0	兼6	—
学科 専門 教育 科目	スポーツビジネス最前線	1後	2			○			1						
	スポーツ産業と政策	1前		2		○						1			
	スポーツビジネス論	1前	2			○			1						
	スポーツマネジメント論	1後	2			○			1						
	スポーツマーケティング論	2前	2			○				1					
	スポーツガバナンス論	2前		2		○					1				
	スポーツ情報・メディア論	3前	2			○									兼1
	スポーツイノベーション論	4後	2			○			1						兼1
	ホスピタリティマネジメント論	1後	2			○									
	地域スポーツマネジメント論	2前	2			○			1						
	スポーツイベントの企画・運営	2後	2			○			1						
	スポーツ施設マネジメント論	3前	2			○			1						
	トップスポーツ経営論	3後	2			○					1				
	スポーツ・ヘルスツーリズム論	3後	2			○			1						
	ヘルスケアマネジメント論	4前	2			○			1						
	アカウンティングⅠ	1前	2			○			1						
	アカウンティングⅡ	1後	2			○			1						
	実務技能対策論	2後	2			○			1						
	経営組織論	2後	2			○				1					
	ファイナンシャルマネジメント	2前	2			○			1						
	消費者行動論	3前	2			○				1					
	販売管理論	3前	2			○			1						
	マーチャンダイジング	3後	2			○				1					
ヒューマンリソースマネジメント	4前	2			○					1					
スポーツマネジメント学内演習	2後	2				○		3	1	2				集中・共同	
スポーツマネジメント学外実習	3後	1					○	3	1	2				集中・共同	
専門英語A	3前	1					○	1							
専門英語B	3後	1					○				1				
海外のスポーツビジネス研究	1前	2					○	3	1	2					
小計(29科目)	—	—	10	45	0				4	1	2	0	0	兼2	—
専門 教育 科目	スポーツ心理学	1前		2		○									兼1
	スポーツ栄養学	2前		2		○									兼1
	運動生理学	1前		2		○									兼1
	スポーツ医学	2前		2		○									兼2
	スポーツ運動学	1後		2		○									兼2
	体育原理	1後		2		○			1						兼1
	運動器の解剖と機能	1前		2		○									兼1
	スポーツトレーニングの科学	2後		2		○									兼1
	救急処置演習	1前	1				○								兼1
	バイオメカニクス	2前		2		○									兼1
	学校保健	2前		2		○									兼1
	公衆衛生学	3後		2		○									兼1
	発育発達・老化論	3前		2		○									兼1
	スポーツ指導論	2後		2		○				1					兼1
	スポーツ社会学	2後		2		○									
	スポーツ行政・法規	2後		2		○				1					兼1
	スポーツ経営管理学	2前		2		○				1					
	体力の測定評価演習	2前		2			○								兼1
	コーチング論	2前		2			○								兼1
	健康・スポーツカウンセリング	3前		2			○								兼1
	生活習慣病論	3前		2			○								兼1
	運動処方	2後		2			○								兼1
	フィットネス指導法	3後		2				○							兼1
	介護法・介護予防演習	3後		2				○							兼1
	運動療法演習	2前		2				○							兼2
	健康行動科学・演習	4前		2				○							兼1
	健康・スポーツ実践実習	4前		1					○						兼1
	レクリエーション論	2後		2			○			1					集中
	レクリエーション指導法演習	3前		1				○		1					
	レクリエーション指導法実習	3後		1					○	1					
	障がい者スポーツ論Ⅰ	3後		2			○								兼1
	障がい者スポーツ論Ⅱ	4前		2			○								兼1
障がい者スポーツ指導法	4後		2				○							兼1	
スイミング	1前		1											兼1	
トラックアンドフィールド	1後		1											兼1	
体操	1前		1											兼1	
器械運動	1後		1							1				兼1	
バレーボール	1後		1											兼1	
バスケットボール	1後		1											兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	学部共通専門教育科目	ハンドボール	2前	1				○								兼1
		柔道	3後	1				○								兼1
		剣道	2後	1					○							兼1
		ダンスⅠ	1前	1					○			1				
		ダンスⅡ	1後	1					○							兼1
		ダンスⅢ	2前	1					○							兼1
		卓球	4前	1					○							兼1
		バドミントン	4後	1					○							兼1
		保健体育科指導法Ⅰ	1後	2			○									兼1
		保健体育科指導法Ⅱ	2前	2					○							兼1
		保健体育科指導法Ⅲ	2後	2					○			1				兼1
		保健体育科指導法Ⅳ	3前	2					○							兼1
		保健体育科指導法(体づくり運動・器械運動)	2後	1					○							兼1
		保健体育科指導法(陸上競技・水泳)	2後	1					○							兼2 オムニバス
		保健体育科指導法(球技)	2後	1					○							兼1
		保健体育科指導法(武道・ダンス)	3後	1					○				1			兼1 オムニバス
		エアロビックダンス	1後	1						○						兼1
		アクアエクササイズ	3前	1						○						兼1
		マリンスポーツ実習	1前	1						○						兼1 集中
		キャンプ実習	2前	1						○			1			兼1 集中
		スノースポーツ実習	2後	1						○						兼1 集中
		健康・スポーツ科学の統計学演習	3後	1						○			1			兼1 オムニバス
		卒業研究Ⅰ	3通	2						○			6	2	2	
卒業研究Ⅱ	4通	4						○			6	2	2			
小計(63科目)		—	8	92	0			—			6	2	2	0	0	兼24
合計(237科目)		—	32	364	0			—			6	2	2	0	0	兼110
学位又は称号	学士(スポーツマネジメント学)															
学位又は学科の分野																体育関係
卒業要件及び履修方法																授業期間等
4年以上在学し、共通教育科目8単位以上、基礎教育科目12単位(必修科目12単位)、専門教育科目から62単位以上(必修科目18単位)を修得し、合計124単位以上修得すること。なお、TOEICのスコアに応じて単位(2~8単位)を基礎教育科目として認定する。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))										1学年の学期区分		2学期				
										1学期の授業期間		15週				
										1時限の授業時間		90分				

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 目次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況
  - (1) 学生の確保の見通し
    - ①定員充足の見込み（概要） . . . . . P.2
    - ②定員超過率が0.7倍未満の学科について . . . . . P.3
    - ③定員充足の根拠となる客観的なデータの概要 . . . . . P.3
    - ④学生納付金設定の考え方 . . . . . P.15
  - (2) 学生確保に向けた具体的な取組状況
    - ①学生確保に向けた取り組み . . . . . P.16
    - ②定員超過率が0.7倍未満の学科について . . . . . P.18
2. 人材需要の動向等社会の要請
  - (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） . . . . . P.19
  - (2) 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものである  
ことの客観的な根拠 . . . . . P.20
    - ①社会的な人材需要 . . . . . P.20
    - ②既設学科の就職状況 . . . . . P.22
    - ③企業及び事業所への人材需要に関する採用意向調査 . . . . . P.24

## 1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

### (1) 学生の確保の見通し

#### ①定員充足の見込み（概要）

令和5年度に設置する心理・社会福祉学部の心理学科と社会福祉学科、社会情報学部社会情報学科及び健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科の定員は、以下のように設定した。

学 部 学 科	定員		
	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
心理・社会福祉学部 心理学科	150	—	600
心理・社会福祉学部 社会福祉学科	70	—	280
社会情報学部 社会情報学科	180	—	720
健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科	100	—	400

これら新設学部・学科の入学定員は、既存学部・学科の入学志願状況、人口動態、女子大学進学率、分野別志願動向、近隣競合校の状況、受験対象者への進学需要調査、社会的人材需要、企業対象の採用意向調査の結果などを総合的に踏まえ、教育内容の質の担保及び教育の効果を最大限に発揮することが可能な人員として設定した。

特に、高等学校に在籍する女子生徒を対象に実施した進学需要調査においては、回答のあった10,354人（うち、249人は附属高等学校生）のうち、武庫川女子大学を「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた人の割合は19.9%（2,059人）と、高い受験・進学意向が確認できた。さらに新設予定の学部・学科に「進学したい」という回答が、設定した入学定員を上回る結果となった。

また、設置の基礎となる既存の学科の令和3年度入試において、文学部心理・社会福祉学科では160人の入学定員に対して1,916人の志願者、健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科は180人の入学定員に対して1,152人の志願者、生活環境学部情報メディア学科では150人の入学定員に対して1,311人の志願者と、いずれも定員に対して6.4倍から12倍程度の高い志願倍率を維持し、入学者選抜により、学力を担保するためには一定程度の志願者数を集めていることは明らかである。大学全体でみても2,190人の入学定員に対して20,642人の志願者を集めており、本学の入学志願状況は堅調である。

以上のことから、教育研究活動のさらなる充実・発展を図り、学生募集活動への努力を継続することで、入学定員を十分確保できるものと考えている。

定員充足の根拠については、次の「定員充足の根拠となる客観的なデータの概要」におい

て詳述する。

### ②定員超過率が 0.7 倍未満の学科について

令和 3 年度の入試結果を受けて、音楽学部演奏学科の 4 年間の平均入学定員超過率が 0.7 倍未満(0.63 倍)となった。定員未充足の原因は、伝統的なクラシック音楽を学ぶ音楽大学(含音楽学部)への進学率の低下及び新型コロナウイルス感染拡大による影響と分析している。具体的には全国的にミュージカルや電子機器を使ったオリジナル音楽を志向する傾向にあり、クラシック音楽を専門に学び続けようと進学する高校生が減少している。加えて、令和 2 年からのコロナ禍の中、マスコミ報道において演奏家が窮地に置かれている情報が拡散され、先行き不透明な時代に就職を見通すのが難しい音楽学部は敬遠されたものと分析している。

また併設の武庫川女子大学短期大学部に設置している 7 学科のうち、英語キャリア・コミュニケーション学科(平均入学定員超過率 0.67 倍)、幼児教育学科(0.56 倍)、健康・スポーツ学科(0.59 倍)及び食生活学科(0.62 倍)の 4 学科において 2 年間の平均入学定員超過率が 0.7 倍未満となった。文部科学省が令和 3 年 2 月にとりまとめた「私立学校の経営状況について(概要)」によると、令和 2 年度における入学定員未充足の短期大学の割合は 73.9%であり、また、入学定員の 80%以上に満たない短期大学の割合は全体の約 35%と、全国的な短大離れの傾向は止まらない。武庫川女子大学短期大学部においても、平成 27 年度以降毎年定員未充足の状況が続いていたが、令和 3 年度入試は新型コロナウイルス感染拡大による経済状況の悪化等の影響から大学・短大への現役志願率が伸び悩んだ。特に短期大学部については全体の入学定員 700 人に対して入学者は 370 人(0.52 倍)という厳しい入試結果となった。現在の短期大学部の定員設定はこの様な状況下で維持することは難しく大学の学部・学科の充実とあわせて短大の定員を順次減少させることを決定している。

この度の、心理・社会福祉学部の設置とあわせて短期大学部心理・人間関係学科を、スポーツマネジメント学科の設置と同時に健康・スポーツ学科の学生募集を停止し、在籍学生全員の卒業をもって廃止し、教育・研究に係る人的・物的資源を大学に集中させる。

### ③定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

#### (ア)既存学部学科の入学志願状況

[大学全体]

武庫川女子大学の令和 3 年度現在の入学定員は 10 学部 17 学科合計 2,190 人であり、わが国の女子大学の中で最大規模の定員を誇っている。直近では令和元年度及び令和 2 年度に新学部設置等に伴う定員増を行ったが、平均して 2 万人以上の安定した志願者を集めている。入学定員の充足率(入学定員超過率)は 1.00 倍前後の範囲内で安定しており、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年平均は 0.97 倍になっている。

大学設置基準第 18 条第 3 項において、「大学は、教育にふさわしい環境の確保のため、在

学する学生の数を収容定員に基づき適正に管理するものとする」とされており、本学においても、昨今のコロナ禍における受験動向の変化等で歩留り予測が難しい中ではあるものの、厳格な定員管理を行っている。

令和5年度に設置予定の学部・学科の基礎となる既存学科の過去5年間の志願倍率は、平均すると10倍を超えている。今後も従来同様に適切な学生募集及び入学者選抜を実施することで、設置する学部学科においても適正な定員の確保及び入学者の学力水準の維持を両立することができるものと考えている。

年 度	入学定員 ①	志願者 ②	志願倍率 (②/①)	入学者 ③	定員超過率 (③/①)
平成29年度	1,785	20,598	11.5	1,888	1.05
平成30年度	1,785	19,708	11.0	1,618	0.90
平成31年度	1,865	20,260	10.9	1,917	1.02
令和2年度	2,190	24,679	11.3	2,204	1.00
令和3年度	2,190	20,642	9.4	1,907	0.87
平 均	—	21,177	10.8	1,907	0.97

続いて、令和5年度設置の学部学科の基礎となる既存学科の状況は下記のとおりである。

[文学部心理・社会福祉学科入学志願状況]

年 度	入学定員 ①	志願者 ②	志願倍率 (②/①)	入学者 ③	定員超過率 (③/①)
平成29年度	160	1,871	11.7	157	0.98
平成30年度	160	1,900	11.9	143	0.89
平成31年度	160	1,804	11.3	177	1.10
令和2年度	160	2,067	12.9	172	1.07
令和3年度	160	1,916	12.0	143	0.89
平 均	—	1,912	12.0	158	0.99

以上のとおり志願倍率は平均して11倍を超えており、入学定員160人に対して、入学者数の平均は158人、定員超過率0.99倍と適正な定員管理を行っている。また、高い志願倍率が故に、文学部心理・社会福祉学科を不合格になり、併設の武庫川女子大学短期大学部心理・人間関係学科に入学した学生のうち、短期大学部卒業後に文学部心理・社会福祉学科3年次への編入学（3年次17人）を志願する者が毎年度30人程度存在する。

これら旺盛な進学需要の実績を踏まえ、文学部心理・社会福祉学科を募集停止し心理・社会福祉学部へと改組した後も心理学科150人、社会福祉学科70人の入学定員充足は十分可

能であると判断している。

[生活環境学部情報メディア学科入学志願状況]

年 度	入学定員 ①	志願者 ②	志願倍率 (②/①)	入学者 ③	定員超過率 (③/①)
平成29年度	150	1,461	9.7	155	1.03
平成30年度	150	1,493	10.0	129	0.86
平成31年度	150	1,603	10.7	168	1.12
令和2年度	150	1,481	9.9	145	0.96
令和3年度	150	1,311	8.7	154	1.02
平 均	—	1,470	9.8	150	1.00

以上のとおり志願倍率は平均して約 10 倍であり、また入学定員 150 人に対して、入学者数の平均はちょうど 150 人、5 年間の定員超過率の平均は 1.00 倍と、極めて適正な定員管理を行っている。

これら旺盛な進学需要の実績を踏まえれば、生活環境学部情報メディア学科を社会情報学部社会情報学科へと発展的に改組し、入学定員が 150 人から 180 人へと 30 人増加した場合でも、十分に入学定員の充足が可能であると判断している。

[健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科入学志願状況]

年 度	入学定員 ①	志願者 ②	志願倍率 (②/①)	入学者 ③	定員超過率 (③/①)
平成29年度	150	1,655	11.0	162	1.08
平成30年度	150	1,379	9.2	149	0.99
平成31年度	180	1,504	8.4	193	1.07
令和2年度	180	1,459	8.1	189	1.05
令和3年度	180	1,152	6.4	160	0.88
平 均	—	1,430	8.6	171	1.01

以上のとおり志願倍率は平均して 9 倍近くあり、また 5 年間の定員超過率の平均は 1.01 倍と、極めて適正な定員管理を行っている。

健康・スポーツ科学科では平成 31 年度（令和元年度）入学生から教育課程を変更し、保健体育科教員を養成する「スポーツ教育コース」（2 クラス）、健康・スポーツに関わる指導者を育成する「スポーツ科学コース」（1 クラス）、そしてスポーツビジネス分野に進出する女性を育成する「スポーツマネジメントコース」（1 クラス）の 3 コースを置いている。学



生は2年次への進級時に3つのコースのうちからいずれか1つを選択する。同学科の入学定員は180人であることから、1クラスあたり45人程度となることが理想であるが、スポーツマネジメントコースを希望する学生は年々増えており、45人を上回る状況が続いている。令和3年度現在、2年次学生193人のうち54人、3年次学生216人のうち59人がスポーツマネジメントコースに在籍している。進級時の希望調査においてもさらに多くの学生がスポーツマネジメントコースを第1希望に選択しているが、スポーツマネジメント分野の専任教員の配置状況や実技授業実施の関係上、受け入れることのできる学生は限られており毎年、一部の学生についてはやむなく他コースへ進む状況となっている。このようにスポーツマネジメント分野への学生からの関心は非常に高いことが分かる。

これら旺盛な進学需要及びスポーツマネジメントコース選択の実績を踏まえれば、健康・スポーツ科学部内に新たに本学科を設置した場合でも、十分に入学定員の充足が可能であると判断している。

#### (イ) 18歳人口の推移

文部科学省が「学校基本調査」や国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」を元に作成した資料「18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移」によると、平成21～令和2年頃までほぼ横ばいで推移してきた18歳人口は、令和3年頃から再び減少局面に突入り、令和22年には約88万人まで減少することが予測されている。

また、中央教育審議会大学分科会将来構想部会で配付された「高等教育に関する基礎データ」によると、本学の所在する兵庫県の18歳人口は、平成29年の54,774人から令和22年には39,050人まで減少すると推計されている。隣接する大阪府についても85,687人から58,280人まで減少すると予測されており、20年間で18歳人口は約3割減少する。

株式会社リクルートの調査研究機関「リクルート進学総研」が、文部科学省「学校基本調査」のデータを基に分析した「18歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向」（令和3年4月発表）によると、令和2年の近畿エリア2府4県の18歳人口は195,001人で、その中でも本学の設置圏域である大阪府は81,797人、兵庫県は52,305人と近畿全体の7割近くを占めている。今後の18歳人口の推移をみると、令和5年から4年間は、近畿エリア全体で181,639人⇒175,501人⇒179,248人⇒179,159人とほぼ横ばいもしくは微減となると予測されている。また、令和2年の近畿エリア全体の女子18歳人口は95,085人、その中でも大阪府は39,667人、兵庫県は25,631人であるが、令和4年から4年間は近畿エリア全体で90,742人⇒88,985人⇒85,362人⇒87,843人とほぼ横ばい傾向で推移し、その後、令和10年には85,448人、令和14年には81,153人へと減少することが予測されている。

以上のことから、長期的には18歳人口は減少するが、本学が立地する近畿エリアにおいては中期的な傾向として大学受験対象者数は横ばいであり、長期的にも大きく減少することはないものと見込まれる。

〔資料1：リクルート進学総研マーケットレポート 2021年4月号〕

#### (ウ) 女子の進学動向

前述したように18歳人口はゆるやかに減少するが、一方で、女子の大学進学率は増加が続いている。近畿エリアの女子の大学進学率は平成23年で49.1%であったが、令和2年には55.2%と、6.1ポイントも上昇している。先の「リクルート進学総研」の調査によると、進学者数も平成23年の41,889人から令和5年には47,717人へと5,828人増加し、女子については大学進学者数が増加傾向にある。

また、令和3年度「学校基本調査」によると、全国の大学学部の女子学生数は、約119万7千人と、前年度より約3千人増加し、過去最多を記録した。また、学部学生全体に占める女子の割合は45.6%（前年度より0.1ポイント上昇）で過去最高となった。以上のことから、18歳人口は日本全体で漸減傾向にあるものの、大学入学対象者が激減することはなく、特に女子の大学進学意欲は旺盛であり、女子を募集対象とする女子大学である本学は、中長期的に安定した志願者・入学者の確保を目指せるものと見込んでいる。

#### (エ) 分野別志願動向

日本私立学校振興・共済事業団では、全国の私立大学を対象に実施している「学校法人基礎調査」から各大学の入学者数等の状況を集計し、『私立大学・短期大学等入学志願動向』として報告書を発行している。令和3年9月に発行された同報告書の最新版によると、令和5年度に設置する学部・学科と同分野の過去5年間の志願動向は以下のとおりである。

[心理・社会福祉系学部] ※心理・社会福祉学科と同分野

令和3年度時点で、私立大学「心理学部」は22学部あり、入学定員は3,053人となっている。この入学定員に対し、志願者数は24,990人と8.18倍の高い志願倍率を有している。また、入学者数は令和2年度よりも48人増加している。また、入学定員充足率についても、5か年平均で105.94%と受験生から非常に人気の高い学部となっている。

年度	心理学部				
	学部数	入学定員(人)	志願者数(人)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
平成29年度	14	2,185	17,324	2,405	110.07
平成30年度	18	2,723	23,026	2,935	107.79
平成31年度	18	2,713	28,076	2,832	104.39
令和2年度	21	2,968	29,548	3,098	104.38
令和3年度	22	3,053	24,990	3,146	103.05
平均	19	2,728	24,593	2,883	105.94

同様に、「社会福祉学部」は21学部あり、入学定員は3,649人となっている。この入学定員に対し、志願者数は10,181人と2.79倍であり、定員を超える志願倍率を有している。入学定員充足率については5か年平均で97.34%とやはり人気の学部と言えよう。

年度	社会福祉学部				
	学部数	入学定員(人)	志願者数(人)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
平成29年度	22	4,424	12,079	4,096	92.59
平成30年度	22	4,174	12,597	3,977	95.28
平成31年度	22	4,084	14,442	4,009	98.16
令和2年度	21	3,684	11,735	3,811	103.45
令和3年度	21	3,649	10,181	3,548	97.23
平均	22	4,003	12,207	3,888	97.34

[情報系学部] ※社会情報学部と同分野

令和3年度時点で、私立大学には「情報科学部」が4学部、「情報学部」は9学部、「総合情報学部」は6学部、「メディア学部」は3学部、「情報メディア学部」は3学部あり、入学定員の合計は5,975人となっている。これら25学部の入学定員総合計5,975人に対し、志願者数は69,752人と11.67倍の高い志願倍率を有しており、入学者数は令和2年度よりも188人増加している。また、入学定員充足率についても5か年平均で情報科学部は108.28%、情報学部で106.93%、総合情報学部で106.24%、メディア学部で105.67%、情報メディア学部で105.35%と、情報系学部では安定した志願者数の確保と定員充足を達成していることが分かる。

年度	情報科学部				
	学部数	入学定員(人)	志願者数(人)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
平成29年度	4	1,046	19,740	1,139	108.89
平成30年度	4	1,046	22,836	1,075	102.77
平成31年度	4	1,046	26,130	1,126	107.65
令和2年度	4	1,046	27,781	1,136	108.60
令和3年度	4	1,090	29,130	1,237	113.49
平均	4	1,055	25,123	1,143	108.28

年度	情報学部				
	学部数	入学定員(人)	志願者数(人)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
平成29年度	10	2,220	15,003	2,315	104.28
平成30年度	10	2,220	16,707	2,308	103.96
平成31年度	9	2,020	20,458	2,247	111.24
令和2年度	9	2,040	22,907	2,155	105.64
令和3年度	9	2,040	21,409	2,234	109.51
平均	9	2,108	19,297	2,252	106.93

年度	総合情報学部				
	学部数	入学定員(人)	志願者数(人)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
平成29年度	6	1,645	10,588	1,726	104.92
平成30年度	6	1,685	12,350	1,818	107.89
平成31年度	6	1,685	15,209	1,800	106.82
令和2年度	6	1,685	15,667	1,779	105.58
令和3年度	6	1,685	13,207	1,786	105.99
平均	6	1,677	13,404	1,782	106.24

年度	メディア学部				
	学部数	入学定員(人)	志願者数(人)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
平成29年度	学部数僅少のためデータなし				
平成30年度	3	730	3,632	755	103.42
平成31年度	3	790	4,759	814	103.04
令和2年度	3	790	5,295	865	109.49
令和3年度	3	790	4,994	843	106.71
平均	3	775	4,670	819	105.67

年度	情報メディア学部				
	学部数	入学定員(人)	志願者数(人)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
平成29年度	3	370	543	340	91.89
平成30年度	3	370	716	374	101.08
平成31年度	3	370	883	430	116.22
令和2年度	3	370	1,188	391	105.68
令和3年度	3	370	1,012	414	111.89
平均	3	370	868	390	105.35

[健康・スポーツ系学部] ※スポーツマネジメント学科と同分野

令和3年度時点で、私立大学には「体育学部」は11学部、「スポーツ健康科学部」は7学部、「スポーツ健康学部」は4学部あり、以上22学部の入学定員総合計7,416人となっている。令和3年度はコロナ禍の影響もあり、志願者数が前年比2割減となったが、7,416人の入学定員に対し、志願者数は25,977人と3.50倍の高い志願倍率を有している。入学定員充足率についても5か年平均で体育学部は105.28%、スポーツ健康科学部で104.02%、スポーツ健康学部で105.90%と、当該分野では安定した志願者数の確保と定員充足を達成していることが分かる。

年度	体育学部				
	学部数	入学定員(人)	志願者数(人)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
平成29年度	10	4,942	16,720	5,348	108.22
平成30年度	11	5,043	16,172	5,368	106.44
平成31年度	11	5,040	14,590	5,311	105.38
令和2年度	11	5,040	15,462	5,295	105.06
令和3年度	11	5,040	12,680	5,106	101.31
平均	11	5,021	15,125	5,286	105.28

年度	スポーツ健康科学部				
	学部数	入学定員(人)	志願者数(人)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
平成29年度	7	1,540	11,199	1,635	106.17
平成30年度	7	1,576	11,832	1,658	105.20
平成31年度	7	1,576	12,125	1,684	106.85
令和2年度	7	1,576	11,436	1,611	102.22
令和3年度	7	1,766	9,015	1,760	99.66
平均	7	1,607	11,121	1,670	104.02

年度	スポーツ健康学部				
	学部数	入学定員(人)	志願者数(人)	入学者数(人)	入学定員充足率(%)
平成29年度	4	585	5,190	640	109.40
平成30年度	4	585	5,190	620	105.98
平成31年度	4	585	5,226	634	108.38
令和2年度	4	585	5,420	634	108.38
令和3年度	4	610	4,282	594	97.38
平均	4	590	5,062	624	105.90

『私立大学・短期大学等入学志願動向』によると、令和3年度の私立大学全体に占める未充足校の割合は、前年度から15.4ポイント上昇して46.4%となったが、そのような状況下においても新設学部と同分野の学部では安定した志願者数の確保と定員充足を達成していることが分かる。

(オ) 同分野を有する近隣競合校の志願状況

令和3年度に本学に在籍する学生の出身高校の所在地を確認したところ、79.4%が兵庫県、大阪府であった。次いで奈良県、京都府の高校出身者が多く、これら2府2県の占める割合は85.8%と、在籍者の大半を占めており、本学が学生確保の基盤としているのは、兵庫県、大阪府、奈良県、京都府であることが確認できた。受験生の併願先としてもこれら府県に所在する大学の同系統学部が選ばれと判断し、これまでの受験生の併願動向等も踏まえ、立地や教育内容から心理・社会福祉学部、社会情報学部及び健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科の競合と想定する学科をピックアップした。当該競合校の令和元年度から3年度の一般入試募集状況は以下のとおりである。なお、志願者数のデータは、旺文社の「螢雪時代 全国大学受験年鑑 11月臨時増刊」の各年版から引用した。

[心理・社会福祉学部心理学科の想定競合校の一般入試募集状況（過去3年間）]

大学名	学部・学科名	年度	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
関西学院大学	文学部	令和3	108	878	617	272	2.3
	総合心理科学科	令和2	108	1,192	877	320	2.7
	心理科学専修	令和元	108	783	498	260	1.9
甲南大学	文学部	令和3	55	349	971	268	3.6
	人間科学科	令和2	55	273	1,021	238	4.3
		令和元	107	1,328	1,306	187	7.0
神戸学院大学	心理学部	令和3	75	1,172	1,101	384	2.9
	心理学科	令和2	75	1,568	1,518	366	4.1
		令和元	75	1,769	1,704	271	6.3
近畿大学	総合社会学部	令和3	29	3,754	2,992	611	4.9
	総合社会学科	令和2	-	3,681	2,948	595	5.0
	心理系専攻	令和元	-	4,499	3,523	410	8.6

競争率（受験者数／合格者数）の過去3年間の平均は、関西学院大学文学部総合心理科学科心理科学専修が2.3倍、甲南大学文学部人間科学科が5.0倍、神戸学院大学心理学部心理学科は4.4倍、近畿大学総合社会学部総合社会学科心理系専攻が6.1倍、志願倍率（志願者数／募集人数）の過去3年間の平均は、関西学院大学文学部総合心理科学科心理科学専修が8.8倍、甲南大学文学部人間科学科が7.9倍、神戸学院大学心理学部心理学科は20.0倍、近畿大学総合社会学部総合社会学科心理系専攻が129.4倍と安定した志願者を集めていることが分かる。関西圏の受験生の心理系学部に対する関心度は十分高いものと考えられる。

[心理・社会福祉学部社会福祉学科の想定競合校の一般入試募集状況（過去3年間）]

大学名	学部名	年度	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
関西学院大学	人間福祉学部 社会福祉学科	令和3	62	601	477	209	2.3
		令和2	73	700	656	179	3.7
		令和元	73	818	641	183	3.5
同志社大学	社会学部 社会福祉学科	令和3	98	413	391	143	2.7
		令和2	98	589	521	113	4.6
		令和元	98	517	494	108	4.6
京都女子大学	発達教育学部 教育学科 養護・福祉教育学専	令和3	30	442	410	99	4.1
		令和2	28	468	460	134	3.4
		令和元	28	452	451	116	3.9

競争率（受験者数／合格者数）の過去3年間の平均は、関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科が3.1倍、同志社大学社会学部社会福祉学科が4.0倍、京都女子大学発達教育学部教育学科養護・福祉教育学専攻は3.8倍、志願倍率（志願者数／募集人数）の過去3年間の平均は、関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科が10.2倍、同志社大学社会学部社会福祉学科が5.2倍、京都女子大学発達教育学部教育学科養護・福祉教育学専攻は15.9倍と安定した志願者を集めていることが分かる。関西圏の受験生の社会福祉系学部に対する関心度は十分高いものと考えられる。

[社会情報学部社会情報学科の想定競合校の一般入試募集状況（過去3年間）]

大学名	学部名	年度	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
関西大学	総合情報学部	令和3	280	5,188	5,081	866	5.9
		令和2	280	5,851	5,671	679	8.4
		令和元	280	6,483	-	708	9.2
同志社女子大学	学芸学部 メディア創造学科	令和3	67	632	629	144	4.4
		令和2	67	812	798	166	4.8
		令和元	67	704	687	141	4.9
京都女子大学	現代社会学部 現代社会学科 情報システム専攻	令和3	112	891	822	318	2.6
		令和2	17	199	196	65	3.0
		令和元	18	242	239	78	3.1

競争率（受験者数／合格者数）の過去3年間の平均は、関西大学総合情報学部が7.8倍、同志社女子大学学芸学部メディア創造学科が4.7倍、京都女子大学現代社会学部現代社会学科情報システム専攻は2.9倍、志願倍率（志願者数／募集人数）の過去3年間の平均は、関西大学総合情報学部が20.9倍、同志社女子大学学芸学部メディア創造学科が10.7倍、京都女子大学現代社会学部現代社会学科情報システム専攻は11.0倍と安定した志願者を集めていることが分かる。関西圏の受験生の情報系学部に対する関心度は十分高いものと考えられる。

[健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科の想定競合校の一般入試募集状況(過去3年間)]

大学名	学部名	年度	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
立命館大学	スポーツ健康科学部	令和3	155	1,796	1,766	695	2.5
		令和2	155	2,578	2,521	550	4.6
		令和元	155	2,712	2,663	529	5.0
関西大学	人間健康学部	令和3	165	3,566	3,514	732	4.8
		令和2	162	4,190	4,108	470	8.7
		令和元	162	4,050	-	566	7.2
大阪経済大学	人間科学部	令和3	93	1,406	1,395	243	5.7
		令和2	93	1,911	1,886	337	5.6
		令和元	93	1,955	1,921	292	6.6
大阪体育大学	体育学部	令和3	75	372	-	187	2.0
	健康・スポーツマネジメント学科	令和2	75	713	588	334	1.8
		令和元	75	254	252	126	2.0

競争率(受験者数/合格者数)の過去3年間の平均は、立命館大学スポーツ健康科学部が4.0倍、関西大学人間健康学部は24.2倍、大阪経済大学人間科学部が6.0倍、大阪体育大学体育学部健康・スポーツマネジメント学科が1.9倍であった。志願倍率(志願者数/募集人数)の過去3年間の平均は、立命館大学スポーツ健康科学部が15.2倍、関西大学人間健康学部は24.2倍、大阪経済大学人間科学部が18.9倍、大阪体育大学体育学部健康・スポーツマネジメント学科が6.0倍と安定した志願者を集めている。関西圏の受験生の同系統学部に対する関心度は十分高いものと考えられる。

#### (カ)受験対象者への進学需要調査

令和5年4月設置の学部学科(心理・社会福祉学部、社会情報学部、健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科)の継続的な学生確保の見通しを定量的に確認することを目的として、設置圏域を中心に所在する高等学校の2年生女子に対する進学意向等に関するアンケート調査を実施した。調査は、学外の調査機関である株式会社進研アドに委託し、令和3年6月21日から8月10日の間に実施した。

本学学生の約80%が大阪府と兵庫県の高専の卒業生であることから、新設する学部・学科についても大阪府と兵庫県が学生確保における基盤となることは確実であり、大阪府と兵庫県の高専を中心に、108校20,465人に対して調査を実施した。うち、有効回答数は90校10,105人で、回答率は49.4%であった。その他、本学附属高専2年生249人からも回答を得た。

調査にあたっては、本学部の目的、特色、養成する人材像、想定される進路、入学定員、初年度納付金、交通アクセス等を明示し、有効回答10,354人(内訳:大阪府と兵庫県の高専2年生女子10,105人、本学附属高専2年生249人)のうち、19.9%にあたる



2,059人が、「武庫川女子大学を受験したいと思う」と回答した。「受験したいと思う」と回答した2,059人のうち、「入学したい」と回答した数は次のとおりである。なお、他学部学科との複数選択を不可としているため、回答者の重複はない。

〔資料2：武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部  
スポーツマネジメント学科」（すべて仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書  
【高校生調査】〕

〔心理・社会福祉学部〕

「受験したいと思う」と回答した2,059人のうち、32.0%にあたる658人が本学部心理学科に「入学したい」と回答、9.1%にあたる188人が本学部社会福祉学科に「入学したい」と回答した。

以上のことから本学部への進学需要は、心理学科の入学定員150人の4.4倍、社会福祉学科の入学定員70人の2.7倍となり、入学定員数を大幅に上回る入学意向者が見込まれる。なお、入学意向を示した生徒の内訳を高校所在地別にみると、本学の立地する兵庫県の高校在籍者のうち、入学意向を示したのは、心理学科434人、社会福祉学科130人であり、兵庫県だけでも入学定員を上回る入学意向者が確認できた。また、高校卒業後の希望進路別にみると本学を受験・入学する可能性がある「私立大学」への進学希望者のうち入学意向を示したのは1,748人中、心理学科556人、社会福祉学科147人であり、予定している入学定員を大きく上回っている。

〔資料3：心理・社会福祉学部リーフレット〕

〔社会情報学部〕

「受験したいと思う」と回答した2,059人のうち、11.5%にあたる236人が本学部社会情報学科の情報メディア専攻に「入学したい」と回答、3.4%にあたる69人が本学部社会情報学科情報サイエンス専攻に「入学したい」と回答している。

以上のことから本学部への進学需要は両専攻合計で305人と、入学定員180人の1.7倍となり、入学定員数を上回る入学意向者が見込まれる。なお、入学意向を示した生徒の内訳を高校所在地別にみると、本学の立地する兵庫県の高校在籍者のうち、入学意向を示したのは182人（情報メディア専攻149人、情報サイエンス専攻33人）であり、兵庫県だけでも入学定員を上回る入学意向者が確認できた。また、高校卒業後の希望進路別にみると本学を受験・入学する可能性がある「私立大学」への進学希望者のうち入学意向を示したのは1,748人中264人（情報メディア専攻205人、情報サイエンス専攻59人）であり、予定している入学定員を大きく上回っている。

〔資料4：社会情報学部リーフレット（高校生向け）〕

〔健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科〕

「受験したいと思う」と回答した2,059人のうち、16.7%にあたる343人が本学科に「入学したい」と回答し、入学定員100人の3.4倍となり、入学定員数を上回る入学意向者が見込まれる。

なお、入学意向を示した 343 人の生徒の内訳を高校所在地別にみると大学所在地である兵庫県の高校在籍者のうち入学意向を示したのは 244 人 (17.4%) であり、兵庫県だけでも入学定員を上回る入学意向者が確認できた。また、高校卒業後の希望進路別にみると本学を受験・入学する可能性がある「私立大学」への進学希望者のうち入学意向を示したのは 1,748 人中 287 人であり、予定している入学定員を大きく上回っている。

〔資料 5：健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科リーフレット〕

#### (キ)大学附属高等学校・中学校対象進学需要調査

開設 2 年目以降の継続的な入学ニーズを把握するため、本学附属高等学校 1 年生及び附属中学校 1 年～3 年の生徒に対しても進学意向等に関するアンケート調査を実施した。この調査についても調査の客観性を担保するため、学外の調査機関である株式会社進研アドに委託し、令和 3 年 6 月 21 日から 8 月 10 日の間に実施し、高校 1 年生 225 人、中学 3 年生 157 人、中学 2 年生 128 人、中学 1 年生 156 人から回答があった。

結果は下表のとおり、附属高校から内部進学を希望する生徒のうち、各学年で 3 割程度が、令和 5 年度新設予定の学部学科への進学意向があることが確認できた。本学は創設以来、「中高大一貫教育」を標榜しており、附属高校から本学への推薦進学率は例年 8 割前後と極めて高く、入学者として見込むことができる。

学年	回答者数	武庫川女子 大学に進学 したい	心理学科 に進学し たい	社会福祉学 科に進学し たい	社会情報学部 に進学したい	スポーツマネジ メント学科に進 学したい
附属高校 2 年※	249 人	173 人	36 人	15 人	33 人	25 人
附属高校 1 年	225 人	165 人	29 人	4 人	17 人	22 人
附属中学 3 年	157 人	120 人	9 人	1 人	19 人	9 人
附属中学 2 年	128 人	101 人	14 人	1 人	16 人	6 人
附属中学 1 年	156 人	124 人	14 人	3 人	15 人	15 人

※本学附属高等学校 2 年生からの回答は、前述の受験対象者への進学需要調査結果に含まれる。

#### ④学生納付金設定の考え方

学部学科等を新設する際、本学では大学の経営に係る財務的な視点と学生への還元等、受益者に対する説明責任の観点を重視しつつ、大学の将来の発展を目的とする施設・設備の充

実を考慮するとともに、近隣他大学の類似学部学科の状況を勘案したうえで、学生納付金を設定している。新設学部・学科の初年度納入金（予定）は、以下のとおりである。

（単位：円）

学部名	入学金	授業料	教育充実費等	諸会費等	初年度納入金
心理・社会福祉学部 心理学科・社会福祉学科	200,000	995,000	230,000	14,700	1,439,700
社会情報学部 社会情報学科	200,000	990,000	180,000	14,700	1,384,700
健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科	200,000	995,000	256,000	14,700	1,465,700

いずれも、設置の基礎とする既存学科と同額又は同程度であり、本学部を志望する受験生にとっても許容範囲内の金額であると思われる。

また、近隣他大学の同系統分野の初年度納入金は、心理・社会福祉学部については1,230,000円～1,469,300円、社会情報学部については1,310,000円～1,718,500円、スポーツマネジメント学科については1,173,000円～1,506,000円であり、本学の初年度納入金は突出して高いことはなく、総合的にみて妥当であると判断している。

特に社会情報学部及びスポーツマネジメント学科については、同名称・分野の学部・学科を設置している大学が近畿圏では少数であることから、首都圏の大学の同名称・分野の初年度納入金を参考に調査したが、本学の初年度納入金は他大学と比較しても低く抑えられており、妥当な額であると判断している。

〔資料6：心理・社会福祉学部想定競合校の学納金〕

〔資料7：社会情報学部想定競合校の学納金〕

〔資料8：健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科想定競合校の学納金〕

## （2）学生確保に向けた具体的な取組状況

### ①学生確保に向けた取り組み

学生確保に向けた具体的な取り組みは、従来から大学全体として行っている様々な取り組みに加え、学部学科独自の取り組みを通して、受験生をはじめ社会一般への認知度向上を図り、学生の確保につなげていく。当然ながら、設置届出受理と収容定員に係る学則変更認可を受けていない段階での本学部のPR活動及び学生募集についてはルールを遵守し、入学希望者や社会一般に対して誤解や損害を与えることのないようにする。

#### （ア）広報戦略

本学では、法人創立80周年を迎えた令和元年、創立100周年に向けた活性化プロジェクト「MUKOJO ACTION 2019-2039」をスタートさせた。「日本の女子大を、更新しよう。」をスローガンとし、「未来像」となるビジョンを策定、公表している。特設Webサイトやポスター、大学案内等の各種広報媒体のビジュアルイメージを統一して大規模な

広報戦略を展開し、女子総合大学としての本学の知名度向上に努めている。

(イ) 大学案内（キャンパスガイド）や学科紹介パンフレット等の印刷物の配布

大学案内（キャンパスガイド）は約8万部を作成、また学科紹介パンフレット、入試案内、募集要項を作成し、高校訪問、オープンキャンパス、高校教員向け説明会、保護者向け説明会、大学見学会、各地域での進学・入試相談会等において幅広く配布している。

(ウ) 高校訪問

本学の設置圏域である兵庫県、大阪府の高等学校を中心に、全国の高等学校（本学に志願実績のある高等学校等）を教職員が訪問し、高校生や進路担当教諭に対して直接本学の特色のある教育等について説明を行っている。訪問校の延べ数は、令和2年度は26府県735校、令和3年度は30都府県839校にのぼる。

(エ) 多様な入学選考（選抜）試験の実施

本学では、アドミッションポリシーに沿って、次のように多様な入試を実施している（令和4年度入試実績）。

- ・公募制推薦入試（前期）・公募制推薦入試（後期）・一般選抜A・一般選抜B
- ・一般選抜C・一般選抜D（大学入試共通テスト利用型）・演奏奨学生入試
- ・グローバル（英語重視型）入試 ・スポーツ推薦入試
- ・指定校推薦入試 ・附属高校推薦入試 ・社会人特別選抜 ・外国人留学生入試

また、遠隔地の受験生に対して利便性を図り、広く志願者を確保するため、公募制推薦入試及び一般選抜A・Bでは全国12会場（東京、石川、愛知、京都、和歌山、鳥取、岡山、広島、香川、愛媛、福岡、沖縄）に学外試験場を設置している。

(オ) オープンキャンパス、各種説明会等

オープンキャンパスは夏期を中心に開催している。高校生、保護者、教員等を対象に入試概要の説明や、学科企画プログラム（学科説明・施設見学・体験授業）、予備校講師による入試対策講座、学科別のQ&Aコーナーにて入試・就職・資格・奨学金・寮・下宿など学生生活全般にわたる個別相談等を実施している。令和3年度のオープンキャンパスは6月13日、7月10日・11日、8月10日、9月26日、10月3日の6日間にわたって開催した。コロナ禍のため、参加人数を制限した上での開催となったが、6日間で3,287組5,500人の参加があった。定員変更前年度の令和4年度についても同様の時期に開催を予定している。

受験生の大学見学については、常時受け付けられるようにしている。数人のグループや個人単位の訪問に対して、平日及び土曜日の午前中は入試センター職員が応対、また、入試センターが閉室となる土曜の午後や日祝日は、中央キャンパス内に設ける「受験生の部

屋“Muko ナビルーム”にて、学生スタッフが大学の授業や学生生活の紹介、キャンパス見学の案内、入試に関する相談・質疑応答を行っている（※令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため「受験生の部屋“Muko ナビルーム”」は閉室、また、学生スタッフによる対応も一時休止中）。

また、高校単位での受け入れ対応も行っている。その他、高校教員向けの説明会や保護者向け説明会、附属高校向け説明会を開催している。

#### (カ) ソーシャルメディア等による情報の提供

Facebook、Twitter、LINE 及び Instagram に本学の公式アカウントを開設し、ソーシャルメディアを利用した情報発信を積極的に実施している。学内施設や授業風景、学生の日常を動画配信等の情報発信を定期的に行い、本学で学ぶ具体的なイメージを掴めるように努めている。

#### (キ) 新聞・雑誌、駅・車内広告等

新聞や雑誌等のマスメディアでの広告やインターネット広告、駅・電車内の交通広告を出稿し、受験生はもちろんのこと広く社会で知名度が向上するよう努めている。また、出版社、新聞社、予備校等が発行する受験情報誌等の媒体に積極的に情報掲載を行い、具体的な学修内容や大学生活の様子、受験情報等を提供している。

#### ②定員超過率が0.7倍未満の学科について

定員超過率が0.7倍未満となった音楽学部演奏学科については、高校生には吹奏楽が根強い人気があるため、令和2年度入学生より専門に学ぶ管楽器の楽器種を5種類増やした。その結果、志願者数は令和2年度の60人から令和3年度は71人へとわずかではあるが着実に増加していることが認められる。今後の取組みとしては、音楽学部ホームページを在学生の様子や活躍が見やすく、情報更新しやすいものにリニューアルしてスマートフォンにも対応し、高校生に必要な情報を提供するツールとして活用していく。また、教員が積極的に高校訪問を行い、今後も音楽担当教諭への面談を続け、希望があれば音楽学部教員による特別レッスンやクラブ指導を行うなど良好な関係を構築し、学生募集につなげる。また、総合大学の利点を生かした確実な就職及び就職率の高さをアピールすると共に、授業内容を見直すなど、高校生に魅力ある学科となるよう検討し、入学者の確保をめざす。

武庫川女子大学短期大学部の英語キャリア・コミュニケーション学科、幼児教育学科、食生活学科の3学科の学生確保に向けた取組としては、学科の魅力を伝えるリーフレットの作成、より分かりやすいホームページの開設、ダイレクトメール送付等をこれまで以上に行い、入学者確保をめざしたい。なお、健康・スポーツ学科及び心理・人間関係学科については、定員充足の見込みは難しいと判断し、令和5年度に学生募集を停止し、在学生全員の卒業を待って廃止することを令和4年2月28日開催の理事会で決定した。

## 2. 人材需要の動向等社会の要請

### (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

[心理・社会福祉学部]

来るべき人間中心社会の担い手として、「誰一人取り残さない (leave no one behind) 世界」の実現に向けて、社会が抱えるさまざまな課題の解決や新たな価値創造のために、心理学や社会福祉学の知識とスキルを積極的に活用して「持続可能な社会」の実現に貢献できる人材を養成する。

心理学科では、科学的知識と科学的方法論に基づく思考と判断ができる人材、人々や社会の多様性、異質性に謙虚に向き合い、かかわっていくことができる人材、様々な課題に想像力と柔軟性をもって取り組むことができる人材、自らの考えを自ら表現したいという欲求をもち、それを実現するスキルをもった人材を養成する。

社会福祉学科では、論理的思考力、問題解決力、コミュニケーション能力、課題探求力、表現能力など、現代社会において必要となる社会人基礎力をもつ人材、人の個性とその人らしく生きる権利を尊重しながら新たなコミュニティを築くことができる人材、修得した知識やスキルを活用し、問題解決に向けて新たな提案をするなど、想像力を持って創造的に考え行動できる人材、社会福祉士及び精神保健福祉士として、国及び地方公共団体の福祉専門職として活躍する、あるいは、ソーシャルビジネスを起業できる人材を養成する。

[社会情報学部]

国が推進する仮想空間と現実空間を高度に融合した超スマート社会「Society5.0」の実現に向けて、新たな価値の創造を目指す情報のスペシャリストを育成し、社会に貢献することを目的とする。本学科が育成する情報のスペシャリストとは、(1)プログラミング、情報ネットワーク、情報セキュリティなどの情報科学の観点から ICT に関する知識や技能を有し、(2)メディア、コミュニケーション、マーケティングなどの社会的・経済的観点から ICT 社会における問題を発見できる能力を有し、(3)データサイエンスの観点、すなわち膨大なデータから価値を創出する能力を有しているとともに、(1)情報科学、(2)社会科学、(3)データサイエンスの総合的見地から社会的な課題に答えを出すことができる人材である。加えて、幅広い教養と豊かな人間性を備えるとともに、高度化していく ICT 社会で活躍できる女性を育成する。

[スポーツマネジメント学科]

健康・スポーツ科学部において養成する人材像に基づいて、幅広い教養と豊かな人間性を備えるとともに、時代と社会の要請とともに高度化、多様化するスポーツマネジメント領域において、リーダーシップを発揮できる女性を育成する。スポーツマネジメントやスポーツビジネスの領域を俯瞰し解決すべき課題を発見する能力、学修したマネジメント論やマー

ケティンク論などの知見を問題解決に活かす理論的な実践能力を身に付け、良好な対人コミュニケーションを築き集団や組織をまとめリードしたり、新たなスポーツビジネスの起業に挑戦したりするような進取の精神を持った女性人材の育成を目指す。加えて、健康・スポーツ科学の優れた知見を広く学び、多角的な視点からスポーツマネジメントやビジネスに対する理解を深め、スポーツを越えた多様な社会的課題の解決やダイバーシティの推進に資するマネジメント力と創造性を有する女性を育成することを目的とする。

## **(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠**

### **①社会的な人材需要**

[心理・社会福祉学部]

今日、あらゆる分野で心理や社会福祉の専門職をはじめ心理学・社会福祉学的素養を持つ人材が求められている。例えば、教育の分野では、いじめ、校内暴力、不登校といった問題を抱えている。文部科学省の「令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果では、自殺した児童生徒数は415人(前年度317人)で、調査開始以降最多となり、極めて憂慮すべき状況である。医療の分野では、厚生労働省が「患者調査」により作成した「精神疾患を有する総患者数の推移」によると、精神疾患の患者数は、平成26年度の392.4万人から平成29年度には419.3万人と増加している。その他、福祉の分野では児童虐待、犯罪の分野は、「再犯防止対策」、産業の分野では「メンタルヘルスケア」が社会的問題となっている。

本学部は、社会が抱えるさまざまな課題の解決や新たな価値創造のために、心理学や社会福祉学の知識とスキルを積極的に活用して「持続可能な社会」の実現に貢献する人材を養成することを目的としており、この養成する人材像は社会的な需要と合致したものである。

#### ○心理学科

サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させながらも、人間を中心とする Society 5.0 では、人間の心の働きを、思索や内省だけでなく、エビデンスとして把握し分析することが求められ、「デジタル変革」の中では、人間とAIの共存、あるいは、その相補関係を理解した心の専門家が必要になる。また、コロナ禍による情勢変化により、新たな日常の構築に向けて、人の心を理解し支援することによって、持続可能で強靱な社会への変革、知の創造、新たな社会に対応できる人材の養成が、ますます期待されている。

以上のことから本学科では、卒業後の進路として社会福祉法人、医療機関、公務員、金融、保険、メーカー、商社など幅広い業種を想定している。

#### ○社会福祉学科

人口減少社会によって地域社会の結びつきが弱まり、高齢者や子育て家庭の孤立化、マイノリティーの排除等様々な問題が顕在化し、多文化共生を目指す我が国の方向性と併せて、これらの課題解決が急務となっている。平成28年6月2日に閣議決定された「ニッポンー

億総活躍プラン」では、「子供・高齢者・障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる『地域共生社会』を実現する。」ことがうたわれており、その実現のための工程の一つの柱として「専門人材の機能強化・最大活用」が挙げられている。令和3年4月1日には「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」が施行されたが、審議にあたって「社会福祉士や精神保健福祉士が活用されるよう努めること」などが参議院の附帯決議において示された。このように地域共生社会の実現に向けてソーシャルワーカーの機能や役割への期待は高まっており、本学科で養成する社会福祉士、精神保健福祉士といった専門職は、幅広い分野において需要が見込める。

以上のことから本学科では、卒業後の進路として公務員、医療機関、社会福祉法人、金融・保険業といった業種を想定している。

#### [社会情報学部]

経済産業省が平成28年6月に公表した「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査」によれば、IT需要が今後拡大する一方で、我が国の労働人口（特に若年人口）は減少が見込まれ、IT人材の需要と供給の差は、需要が供給を上回り、令和12年には、最大で約79万人に拡大する可能性がある試算されている。

例えば、内閣府経済社会総合研究所が実施した『組織マネジメントに関する調査（平成30年度）』によれば、「意思決定をサポートするためのデータを利用するにあたり、現在、どのような課題に直面していますか」という問いに対して、調査に回答した6,749事業所のうち50%を超える3,471事業所が、「データ利用を行う人材が不足している」ことを問題点としてあげている。この調査は、道路貨物運送業、卸売業、医療業に属する事業所を対象としたもので、これらの事業所は、いわゆるIT企業やAI企業といったデータサイエンスに直結したサービスの提供を主業とするものではなく、ITやAIの技術を利用する側のユーザー企業であるといえる。従って彼らが求めているのは、「AIを開発する人材」ではなく、あくまでもデータを扱うことができる人材であり、これは本学部が目標とする「データに基づきビジネスの現場で新たな価値創造の担い手となり得るような人材」そのものである。この調査結果は、本学部が育成する人材に対する社会的なニーズが非常に大きいことを示唆している。

また、政府が令和元年6月11日に策定した「A I戦略2019」では、『「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能と、人文社会芸術系の教養をもとに、新しい社会の在り方や製品・サービスをデザインする能力が重要であり、これまでの教育方法の抜本的な改善と、STEAM教育などの新たな手法の導入・強化、さらには、実社会の課題解決的な学習を教科横断的に行うことが不可欠となる。』としている。

このように、本学部が育成しようとしている、数理・データサイエンス教育とあわせて、文理融合の教育により自然科学と人文・社会科学の双方に通じた人材への期待は高い。社会ニーズをとらえ、次世代の科学技術イノベーションを担うことができる女性の育成は、強く要望されている。



以上のことから本学科では、情報通信業におけるシステムエンジニアや企画・営業職、データアナリスト、Webデザイナーのほか、情報科教員、金融、公務員などを卒業後の進路として想定している。

[スポーツマネジメント学科]

「2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会」が令和3年夏に開催され、コロナ禍の中ではあったが、大きな盛り上がりを見せた。大会の盛り上がりは今後のスポーツ産業に好影響をもたらすことが想定されるが、スポーツ産業やスポーツ組織が持続可能な成長を達成していくためには、ビジネスとして社会と共に成長していくことが必要であり、それをマネジメントできる人材が重要である。

平成28年にスポーツ庁がとりまとめた「スポーツ未来開拓会議中間報告」においても、「我が国においては、スポーツ経営に係る人材を育成する仕組みが社会的に未発達であり、スポーツが潜在的に有するコンテンツ力を様々な形で活用する等、スポーツの持つ価値を十分活かせていない」と指摘があり、スポーツビジネスを推進する上でのマーケティング活動はもとより、スポーツ団体のガバナンス強化、スタジアム等の施設運営、興業等で必要となる様々な専門性を有した即戦力となるスポーツマネジメント人材の必要性が指摘された。このように、体育・スポーツの発展と推進をめぐることは、学校体育や競技スポーツにとどまることなく、地域社会やビジネス等のマネジメントの現場において、スポーツに内在している価値を引き出し、実現できるスポーツマネジメント人材の養成が課題となっている。

文部科学省が平成29年に策定した「第2期スポーツ基本計画」では、スポーツの成長産業化として、「スポーツ市場を拡大し、その収益をスポーツ環境の改善に還元し、スポーツ参画人口の拡大につなげるという好循環を生み出すことにより、スポーツ市場規模5.5兆円を令和2年までに10兆円、令和7年までに15兆円に拡大することを目指す」としており、スポーツ産業発展への期待は大変大きいものがある。令和3年12月に策定された「第3期スポーツ基本計画」においても、スポーツの成長産業化やスポーツツーリズム等による地方創生やまちづくりは基本計画の重要な柱として引き継がれている。また、同基本計画で指摘されている「スポーツを通じた女性の活躍促進」はスポーツを通じた共生社会の実現を目指したダイバーシティの実践を意味するものであり、スポーツ団体やスポーツ企業で活躍する女性のスポーツマネジメント人材育成は、我が国でも喫緊の課題であり、女子大学である本学が、そのような人材を育成することの意義は極めて大きい。

このように、本学がスポーツマネジメント学科を設置することは、社会的な要請に合致したものであることは明らかであり、卒業後の進路としてはスポーツ関連企業、保健体育科教員、フィットネスクラブやヘルスケア産業、地域スポーツ団体等を想定している。

## ②既設学科の就職状況

本学は現在、文学部、教育学部、健康・スポーツ科学部、生活環境学部、食物栄養科学部、建築学部、音楽学部、薬学部、看護学部、経営学部の10学部17学科を有し、入学定員は

女子大学としては日本最大規模の2,190人である。

最近5年間の本学の就職状況は下表の通りであり、多数の求人件数を得て、また高い就職実績を維持している。特に直近の令和2年度卒業生にあってはコロナ禍における就職難の状況下にあっても高い就職率(99%)を維持した。このことは、本学の有する学部・学科の人材の養成に関する目的やその他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等の社会の要請を踏まえたものであることを示している。これは女子大学である本学が、社会が求める人材を輩出する高等教育機関として社会から高く期待されていることの顕れと言える。

[武庫川女子大学就職状況]

年度	卒業生数	求人件数	就職希望者数	就職者数	就職率
平成28年度	1,932	7,326	1,751	1,740	99.4%
平成29年度	1,947	7,264	1,752	1,744	99.5%
平成30年度	2,072	6,806	1,853	1,845	99.6%
平成31年度	2,019	6,225	1,832	1,820	99.3%
令和2年度	1,964	5,719	1,732	1,715	99.0%

続いて、令和5年度設置の学部学科の基礎となる既存学科の状況は下記のとおりである。

[文学部心理・社会福祉学科]

心理・社会福祉学部の基礎となる既設の文学部心理・社会福祉学科の最近5年間の就職実績は下表の通り、高い就職実績を維持している。このように、昨今のコロナ禍における就職難の状況下においても多くの求人件数があり、高い就職率で推移していることは、本学及び心理・社会福祉学部における人材の養成に関する目的や教育研究上の目的が、人材需要の動向等といった社会の要請を踏まえたものであることの裏付けとなるものである。心理・社会福祉学科を発展的に改組して本学部を設置した場合でも、卒業後の進路については十分に見込むことができると考える。

年度	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率
平成28年度	195	182	181	99.5%
平成29年度	178	155	154	99.4%
平成30年度	190	155	154	99.4%
平成31年度	198	186	185	99.5%
令和2年度	173	145	138	95.2%

[資料9：文学部心理・社会福祉学科令和2年度卒業生の進路状況]

[生活環境学部情報メディア学科]

社会情報学部社会情報学科の基礎となる既設の生活環境学部情報メディア学科の最近5年間の就職実績は下表の通り、100%に近い値が継続している。このように、昨今のコロナ禍における就職難の状況下においても多くの求人があり、高い就職率で推移している。また、令和2年度卒業生就職者の就職先の業種は、情報通信業が57%、卸・小売業が14%、サービス業が8%であり、本学及び情報メディア学科における人材の養成に関する目的や教育研究上の目的が、情報系分野の産業界の人材需要の動向に合致していることは明らかであり、情報メディア学科を発展的に改組して本学部を設置した場合でも、卒業後の進路については十分に見込むことができると考える。

年度	卒業 者数	就職 希望者数	就職 者数	就職率
平成28年度	171	157	156	99.4%
平成29年度	173	170	168	98.8%
平成30年度	166	161	160	99.4%
平成31年度	180	172	171	99.4%
令和2年度	155	138	137	100%

〔資料10：生活環境学部情報メディア学科令和2年度卒業生の進路状況〕

[スポーツマネジメント学科]

スポーツマネジメント学科の基礎となる健康・スポーツ科学科の最近5年間の就職実績は下表の通り、就職希望者に対する就職率は100%が継続している。また、令和2年度卒業生就職者の就職先の業種は、教育支援（教員等）が24%、卸・小売業が20%、サービス業が18%、製造業9%であり、本学部卒業生は保健体育科教員やフィットネスクラブ等のサービス業、スポーツ関連の企業に多く就職しており、養成に関する目的や教育研究上の目的が、人材需要の動向に合致していることは明らかである。先述したようにスポーツ経営人材を軸としたスポーツ産業の拡大が国策として進められている中、新たに本学科を設置した場合でも、卒業後の進路については十分に見込むことができると考える。

年度	卒業 者数	就職 希望者数	就職 者数	就職率
平成28年度	189	177	177	100%
平成29年度	201	176	176	100%
平成30年度	186	165	165	100%
平成31年度	178	168	168	100%
令和2年度	181	163	163	100%

〔資料11：健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科令和2年度卒業生の進路状況〕

③企業及び事業所への人材需要に関する採用意向調査

令和5年4月設置の学部・学科（心理・社会福祉学部、社会情報学部、健康・スポーツ科

学部スポーツマネジメント学科)の人材需要の見通しを測定するために、本学への求人実績や卒業生の採用実績が民間企業・団体等に対して、新設学部等の必要性や卒業した者の採用に関する人材需要調査(無記名方式)を実施した。

調査は、学外の調査機関である株式会社進研アドに委託し、本学卒業生の採用実績のある1,413社に対して令和3年6月21日に調査票を郵送し、8月10日の間までに1,413社中26.9%にあたる380社から回答を得た。380社の回答者の属性は、採用や選考にかかわっている者の割合が90%を超えており、採用意向を確認するにあたって十分なデータを得ることができた。

#### [心理・社会福祉学部]

心理・社会福祉学部心理学科及び社会福祉学科の社会的必要性をたずねたところ、心理学科について380社中94.5%にあたる359社が「必要だと思う」と回答、社会福祉学科については96.3%にあたる366社が「必要だと思う」と回答した。このことから、多くの企業・団体が本学部をこれからの社会にとって必要な学部であると評価し、本学部への大きな期待を寄せていることが伺える。

本学部卒業生に対する採用意向については、380社中73.9%にあたる281社が心理学科卒業生を「採用したいと思う」と回答した。281社のうち、心理学科卒業生の想定される就職先と関連の深い業種の採用意向を抽出すると、「福祉施設・福祉関連業」では、83.9%(31社中26社)、「医療機関・病院」では58.8%(17社中10社)、「公務」76.2%(21社中16企業)であった。加えて、「金融・保険業・不動産」では84.6%(39社中33社)、「卸売・小売業」では82.6%(86社中71社)と、多様な業種からの採用意向がみられる。また、社会福祉学科卒業生についても69.7%にあたる265社が「採用したいと思う」と回答した。265社のうち、社会福祉学科卒業生の想定される就職先と関連の深い業種の採用意向を抽出すると、「福祉施設・福祉関連業」では96.8%(31社中30社)、「医療機関・病院」では76.5%(17社中13社)、「公務」では90.5%(21社中19社)であった。

さらに「採用したいと思う」と回答した企業に本学部卒業生の具体的な採用予定数を聞いたところ、心理学科については385人程度、社会福祉学科については393人程度という回答があり合計778人程度の採用意向が確認できた。本学部の入学定員は220人であることから、定員を大きく上回る結果となった。

本調査結果において、本学部を卒業した者への高い採用意向を確認できたことから、卒業後の進路においては十分な見通しがあると考えられる。

#### [社会情報学部]

本学部の社会的必要性をたずねたところ、情報メディア専攻について380社中97.6%にあたる371社が「必要だと思う」と回答、情報サイエンス専攻については96.3%にあたる366社が「必要だと思う」と回答しており、本学部がこれからの社会にとって必要な学部であると多くの企業・団体が評価していることが確認できた。この割合は、同時に調査した心

理・社会福祉学部及び健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科と比べても高いものであり、本学部への期待の大きさが伺える。

〔資料 12：社会情報学部リーフレット（企業・団体向け）〕

本学部卒業生に対する採用意向については、380 社中 81.8%にあたる 311 社が社会情報学科情報メディア専攻の卒業生を「採用したいと思う」と回答した。311 企業のうち、本学部卒業生の想定される就職先と関連の深い業種の採用意向を抽出すると、「情報通信業」では 96.1%（51 社中 49 社）、「製造業」では 80.6%（31 社中 25 社）、「金融・保険業・不動産」では 82.1%（39 社中 32 社）、「卸売・小売業」では 90.7%（86 社中 78 社）であった。

また、情報サイエンス専攻卒業生についても 82.6%にあたる 314 社が「採用したいと思う」と回答した。314 企業のうち「情報通信業」では 100%（51 社中 51 社）、「製造業」では 90.3%（31 社中 28 社）、「金融・保険業・不動産」では 84.6%（39 社中 33 社）であった。

さらに「採用したいと思う」と回答した企業に本学部卒業生の具体的な採用予定数を聞いたところ、情報メディア専攻については 421 人程度、情報サイエンス専攻については 427 人程度という回答があり合計 848 人程度の採用意向が確認できた。本学部の入学定員は 180 人であることから、定員を大きく上回る結果となった。

このような本学への求人実績や卒業生の採用実績がある企業・団体等に限定した調査結果において、本学部を卒業した者への高い採用意向を確認できたことから、卒業後の進路においては十分な見通しがあると考えられる。

〔スポーツマネジメント学科〕

本学科の社会的必要性をたずねたところ、380 社中 88.7%にあたる 337 社が「必要だと思う」と回答しており、スポーツマネジメント学科がこれからの社会にとって必要な学科であると多くの企業・団体が評価していることが確認でき、本学科への企業等からの期待の大きさが伺える。

本学科卒業生に対する採用意向については、380 社中 65.8%にあたる 250 社がスポーツマネジメント学科の卒業生を「採用したいと思う」と回答した。250 社のうち、本学科卒業生の想定される就職先と関連の深い業種の採用意向を抽出すると、「福祉施設・福祉関連業」では 64.5%（31 社中 20 社）、「製造業」では 77.4%（31 社中 24 社）、「スポーツ・フィットネス・ヘルス関連業」では 92.9%（14 社中 13 社）であった。以上を合わせると 57 社が採用意向を示している。

さらに「採用したいと思う」と回答した 57 社に本学科卒業生の毎年の具体的な採用予定数を聞いたところ、354 人程度の採用意向が確認できた。本学部の入学定員は 100 人であることから、定員を上回る結果となった。

このような本学への求人実績や卒業生の採用実績がある企業・団体等に限定した調査結果において、本学部を卒業した者への高い採用意向を確認できたことから、卒業後の進路に

おいては十分な見通しがあると考える。

〔資料 13：武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科」（すべて仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書【企業・団体対象調査】〕

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 資料目次

- 資料 1 : リクルート進学総研マーケットレポート 2021 年 4 月号
- 資料 2 : 武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科」(すべて仮称) 設置に関するニーズ調査結果報告書  
【高校生調査】
- 資料 3 : 心理・社会福祉学部リーフレット
- 資料 4 : 社会情報学部リーフレット (高校生向け)
- 資料 5 : 健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科リーフレット
- 資料 6 : 心理・社会福祉学部想定競合校の学納金
- 資料 7 : 社会情報学部想定競合校の学納金
- 資料 8 : 健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科想定競合校の学納金
- 資料 9 : 文学部心理・社会福祉学科令和 2 年度卒業生の進路状況
- 資料 10 : 生活環境学部情報メディア学科令和 2 年度卒業生の進路状況
- 資料 11 : 健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科令和 2 年度卒業生の進路状況
- 資料 12 : 社会情報学部リーフレット (企業・団体向け)
- 資料 13 : 武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科」(すべて仮称) 設置に関するニーズ調査結果報告書  
【企業・団体対象調査】

## 資料 1

(掲載省略)

### 1. 書類等の題名

リクルート進学総研マーケットレポート 2021年4月号

### 2. 出典

リクルート進学総研

URL:[https://souken.shingakunet.com/research/.assets/202104\\_kinki\\_souken\\_report.pdf](https://souken.shingakunet.com/research/.assets/202104_kinki_souken_report.pdf)



---

---

武庫川女子大学  
「心理・社会福祉学部」  
「社会情報学部」  
「健康・スポーツ科学部  
スポーツマネジメント学科」(すべて仮称)  
設置に関するニーズ調査  
結果報告書  
【高校生対象調査】

---

---

令和3年10月  
株式会社 進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 高校生対象 調査概要

## 1. 調査目的

2023年4月開設予定の武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」新設構想に関して、高校生の入学ニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		高校生対象調査		
調査対象	高校2年生の女子			
調査エリア	大阪府、兵庫県、奈良県	附属高校留置き調査		
調査方法	高校留置き調査			
調査対象数	依頼数 (依頼校)	20,465人	108校	249人
	有効回収数 (回収校)	10,105人	90校	
	回収率	49.4%	83.3%	
調査時期	2021年6月21日(月)～ 2021年8月10日(火)	2021年6月21日(月)～ 2021年8月10日(火)		
調査実施機関	株式会社 進研アド			

## 3. 調査項目

高校生対象調査「高校留置き」
<ul style="list-style-type: none"><li>・性別</li><li>・高校所在地</li><li>・高校種別</li><li>・高校卒業後の希望進路</li><li>・武庫川女子大学への受験意向</li><li>・各学部・学科・専攻への入学意向</li></ul>

高校生対象調査「附属高校留置き」
<ul style="list-style-type: none"><li>・学年</li><li>・居住地</li><li>・高校卒業後の希望進路</li><li>・武庫川女子大学への進学意向</li><li>・各学部・学科・専攻への入学意向</li></ul>

---

---

## 高校2年生対象 調査結果まとめ

---

---

## 高校生対象 調査結果まとめ

### 回答者の属性

※本調査は、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」に対する需要を確認するための調査として設計したため、武庫川女子大学の主な学生募集エリアである大阪府、兵庫県、奈良県に所在する高校の高校2年生の女子生徒(10,354人)に調査を実施した。

- 本調査の有効回答数は91校、10,354人。(うち、249人は附属校)
- 回答者の高校所在地は武庫川女子大学の所在地である「兵庫県」が61.3%を占める。次に「大阪府」が37.3%、「奈良県」が1.4%と続く。
- 回答者の高校種別は「公立」が73.3%、「私立」が26.7%である。

### 高校卒業後の希望進路

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「私立大学に進学」を希望する人の割合が68.1%で最も高い。次いで「国公立大学に進学」が38.3%、「専門学校・専修学校に進学」が19.7%と続く。私立大学進学志望者が多いことから、武庫川女子大学の受験を検討しうる高校生の意見を聴取できていると考えられる。

## 高校生対象 調査結果まとめ

### 武庫川女子大学への受験・進学意向

- 武庫川女子大学を「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた人は、**2,059人 (19.9%)**である。(うち、173人は附属校)

### 「心理・社会福祉学部 心理学科」への入学意向

- 武庫川女子大学を「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人のうち、「心理・社会福祉学部 心理学科に入学したい」と入学意向を示した人は**658人 (32.0%)**であり、予定している入学定員150名を大きく上回っている。(うち、36人は附属校)※詳細はP8～P9参照

### 「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」への入学意向

- 武庫川女子大学を「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人のうち、「心理・社会福祉学部 社会福祉学科に入学したい」と入学意向を示した人は**188人 (9.1%)**であり、予定している入学定員70名を大きく上回っている。(うち、15人は附属校)※詳細はP10～P11参照

### 「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」への入学意向

- 武庫川女子大学を「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人のうち、「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻に入学したい」と入学意向を示した人は**236人 (11.5%)**であり、予定している入学定員140名を上回っている。(うち、26人は附属校)※詳細はP12～P13参照

### 「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」への入学意向

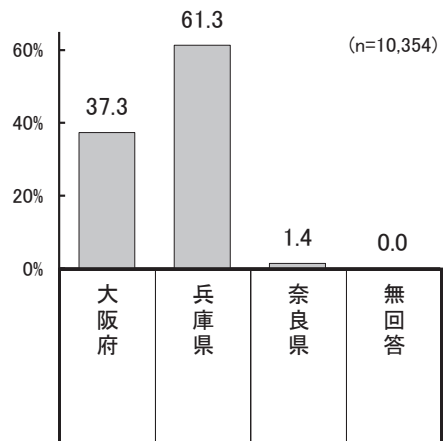
- 武庫川女子大学を「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人のうち、「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻に入学したい」と入学意向を示した人は**69人 (3.4%)**であり、予定している入学定員40名を上回っている。(うち、7人は附属校)※詳細はP14～P15参照

### 「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」への入学意向

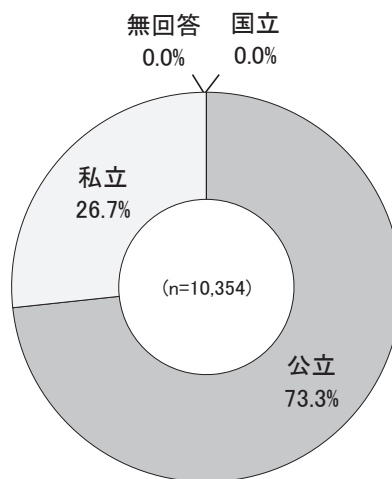
- 武庫川女子大学を「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人のうち、「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科に入学したい」と入学意向を示した人は**343人 (16.7%)**であり、予定している入学定員100名を大きく上回っている。(うち、25人は附属校)※詳細はP16～P17参照

## 回答者の属性(高校所在地/高校種別)

### ■高校所在地



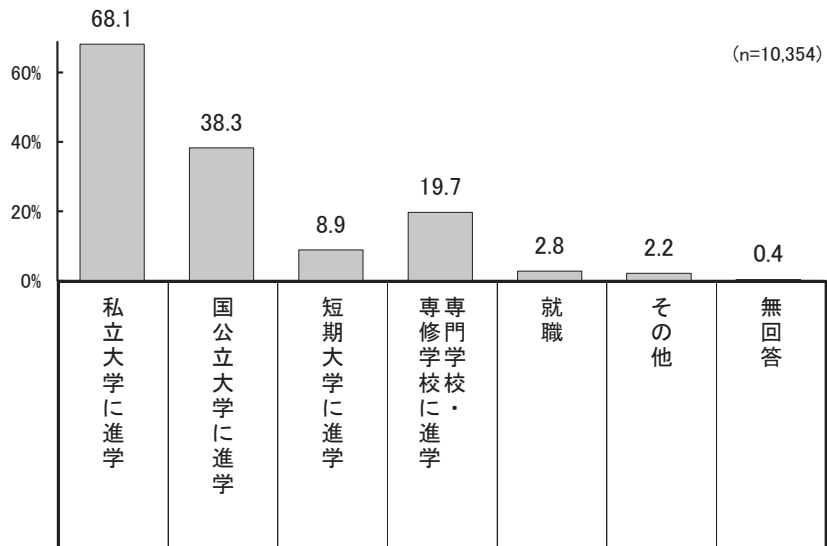
### ■高校種別



# 高校卒業後の希望進路

## ■高校卒業後の希望進路

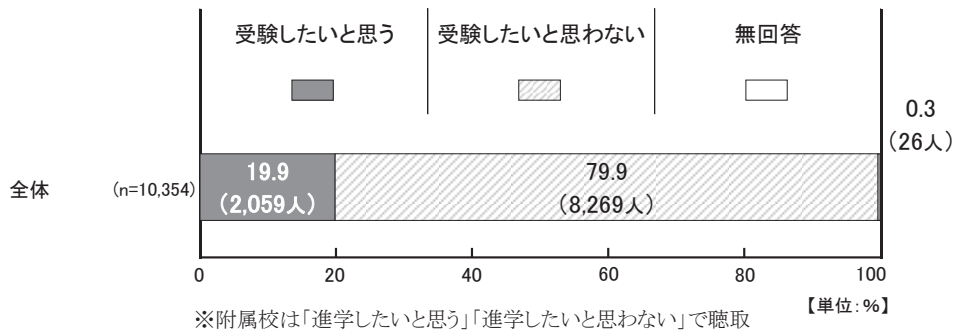
Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。  
以下の項目から、あてはまる番号すべてにQをつけてください。(いくつでも)



# 武庫川女子大学への受験意向／入学意向

## ■武庫川女子大学への受験・進学意向

Q2. あなたは、新しい学部・学科・専攻を備えた武庫川女子大学を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つにQをつけてください。(1つだけ)

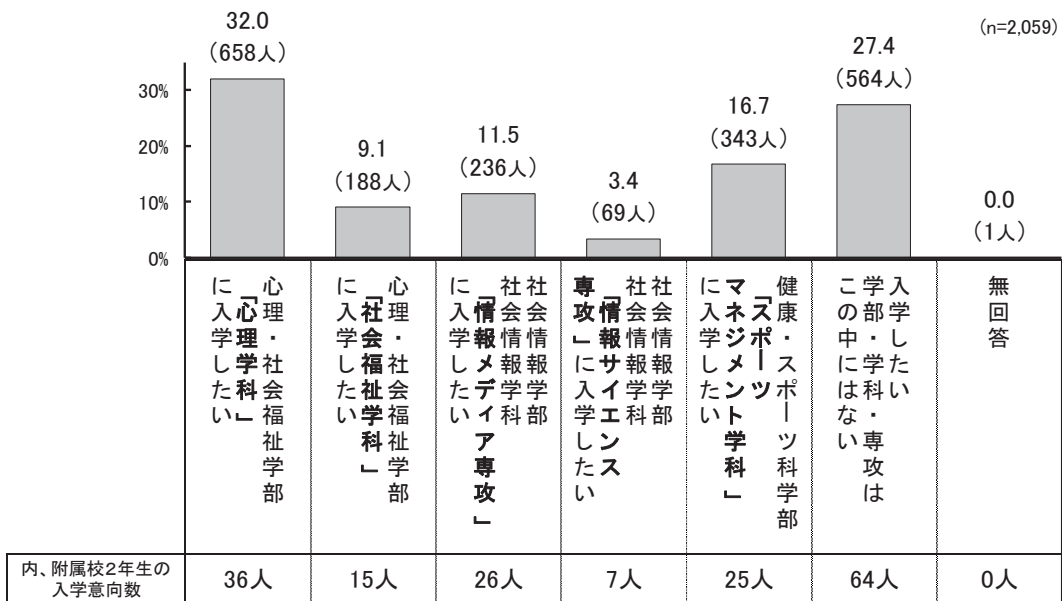


「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人  
(うち、173人は附属校)のみ抽出

## ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への入学意向

Q3. あなたは、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称、設置構想中)を受験して合格したら、どの学部・学科・専攻に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近い番号1つにQをつけてください。(1つだけ)

※Q2の「受験したいと思う」と答えた2,059人の回答

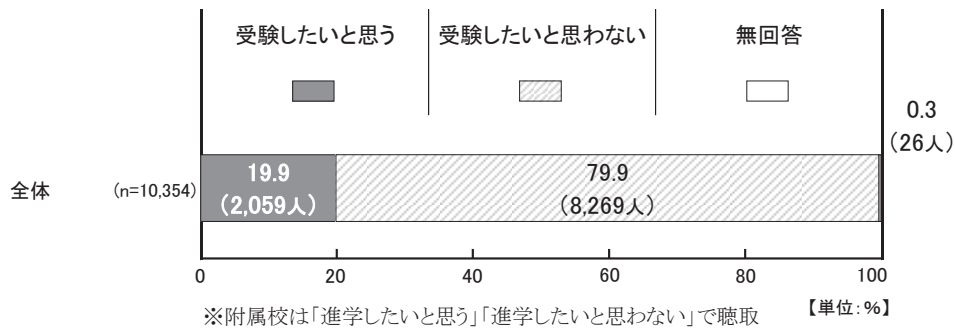




# 心理・社会福祉学部 心理学科①

## ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への受験・進学意向

Q2. あなたは、新しい学部・学科・専攻を備えた武庫川女子大学を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

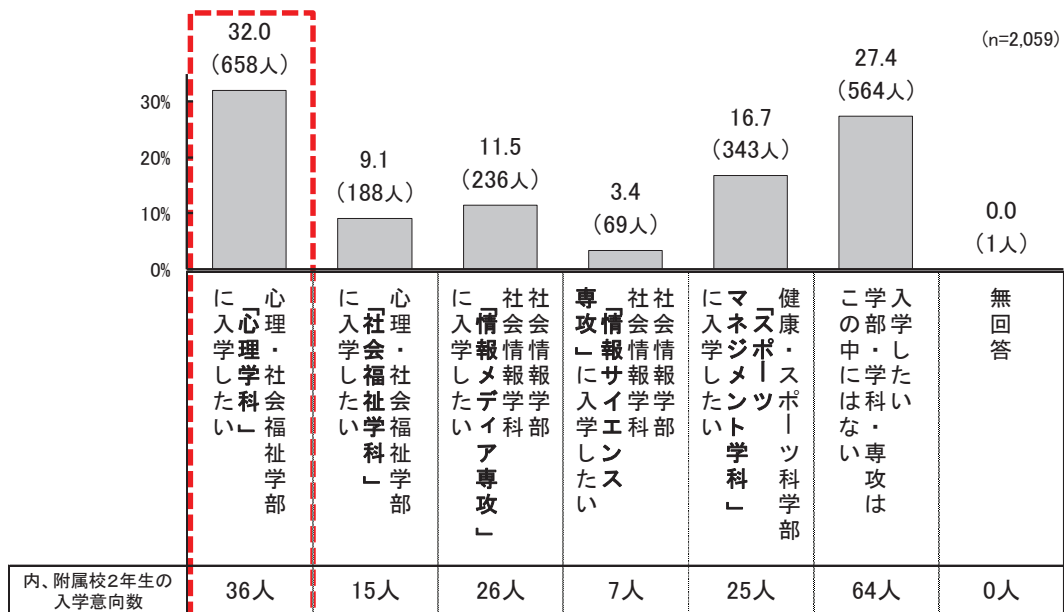


「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人 (うち、173人は附属校)のみ抽出

## ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への入学意向

Q3. あなたは、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称、設置構想中)を受験して合格したら、どの学部・学科・専攻に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

※Q2の「受験したいと思う」と答えた2,059人の回答



## 心理・社会福祉学部 心理学科②

### ■「心理・社会福祉学部 心理学科」への入学意向 属性別結果

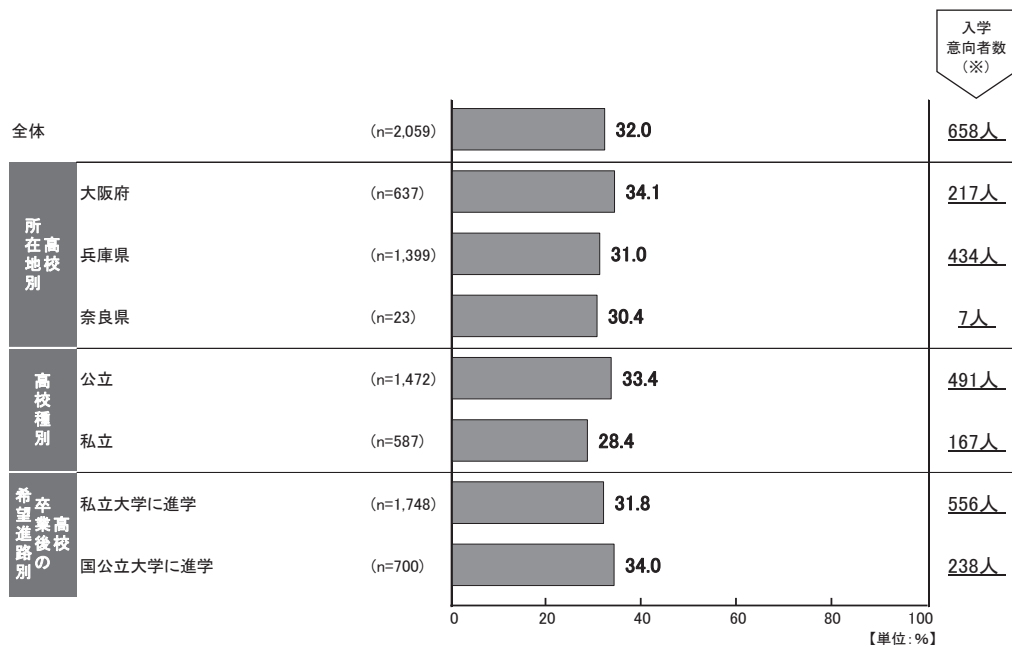
※ Q2で「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人(うち、173人は附属校)のうち、Q3で「心理・社会福祉学部 心理学科に入学したい」と答えた658人の属性別割合

#### ◇高校所在地別

- 大学と隣接する「大阪府」の高校在籍者のうち入学意向を示したのは637人中、**217人**(34.1%)である。(うち、2人は附属校)。また、大学所在地である「兵庫県」の高校在籍者のうち入学意向を示したのは1,399人中、**434人**(31.0%)であり、予定している入学定員を上回っている。(うち、33人は附属校)

#### ◇高校卒業後の希望進路別

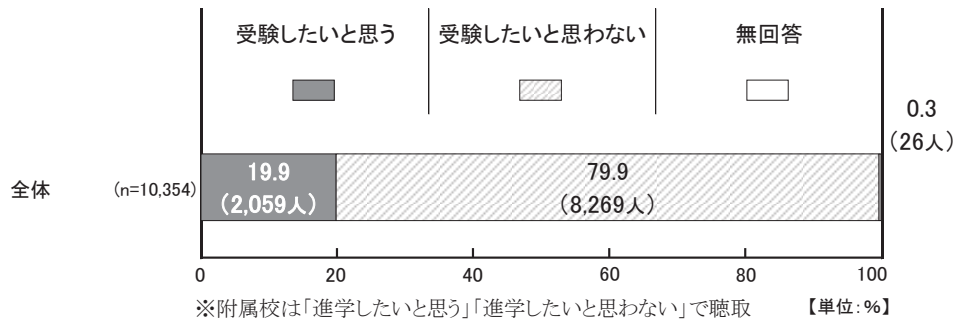
- 武庫川女子大学を受験・入学する可能性がある「私立大学」への進学希望者のうち入学意向を示したのは1,748人中、**556人**(31.8%)であり、予定している入学定員を上回っている。(うち、32人は附属校)



# 心理・社会福祉学部 社会福祉学科①

## ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への受験・進学意向

Q2. あなたは、新しい学部・学科・専攻を備えた武庫川女子大学を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

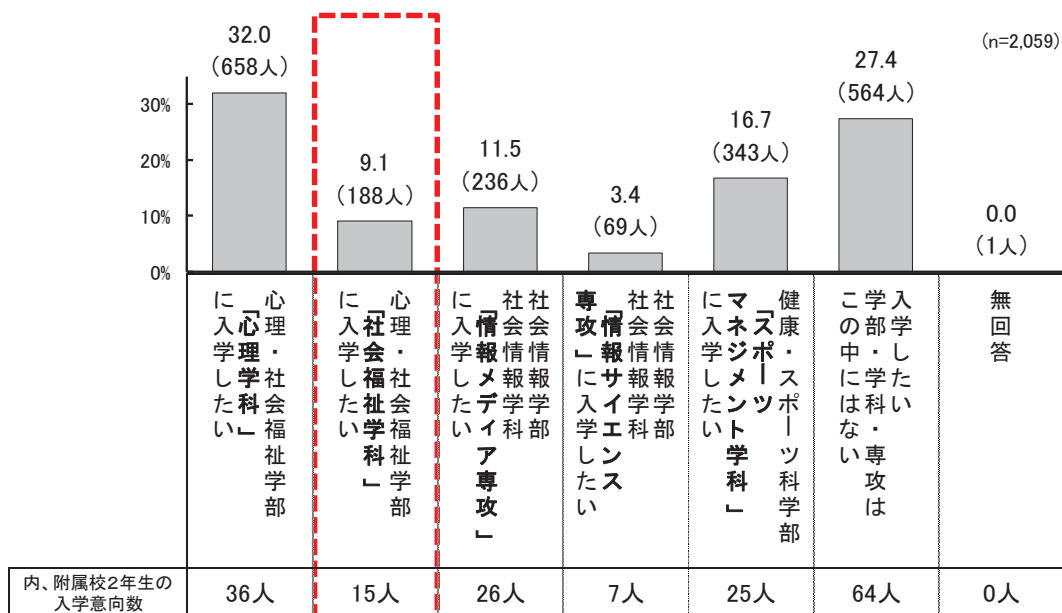


「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人 (うち、173人は附属校)のみ抽出

## ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への入学意向

Q3. あなたは、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称、設置構想中)を受験して合格したら、どの学部・学科・専攻に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

※Q2の「受験したいと思う」と答えた2,059人の回答



## 心理・社会福祉学部 社会福祉学科②

### ■「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」への入学意向 属性別結果

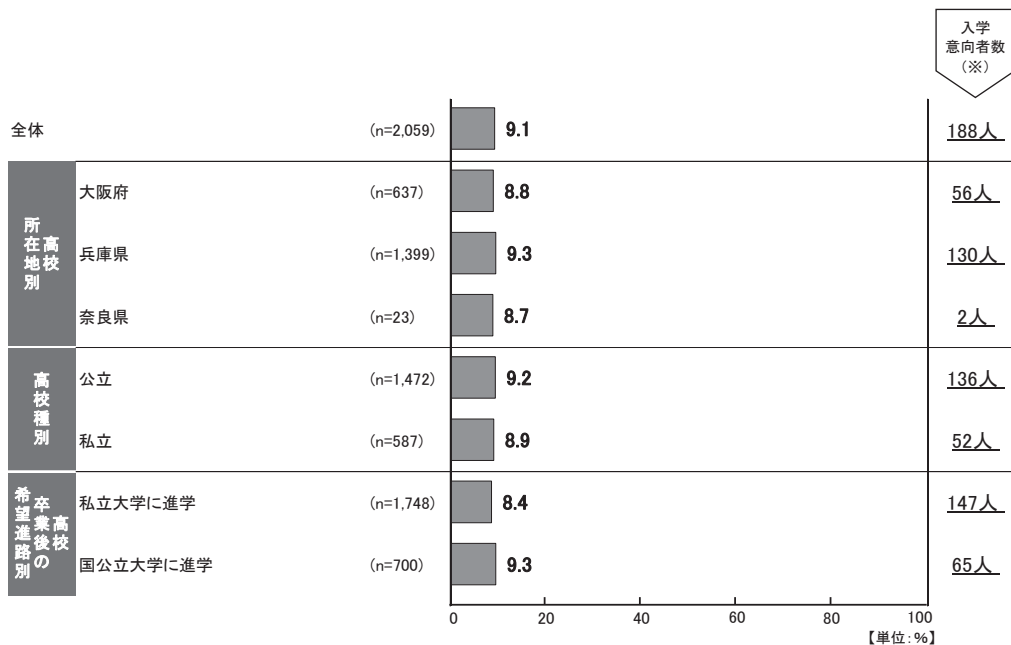
※ Q2で「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人(うち、173人は附属校)のうち、Q3で「心理・社会福祉学部 社会福祉学科に入学したい」と答えた188人の属性別割合

#### ◇高校所在地別

- ・大学所在地である「兵庫県」の高校在籍者のうち入学意向を示したのは1,399人中、**130人**(9.3%)であり、予定している入学定員を上回っている。(うち、12人は附属校)

#### ◇高校卒業後の希望進路別

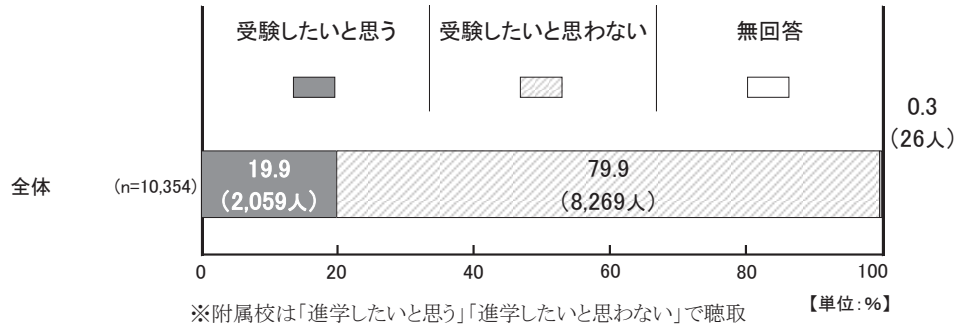
- ・武庫川女子大学を受験・入学する可能性がある「私立大学」への進学希望者のうち入学意向を示したのは1,748人中、**147人**(8.4%)であり、予定している入学定員を上回っている。(うち、14人は附属校)



# 社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻①

## ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への受験・進学意向

Q2. あなたは、新しい学部・学科・専攻を備えた武庫川女子大学を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

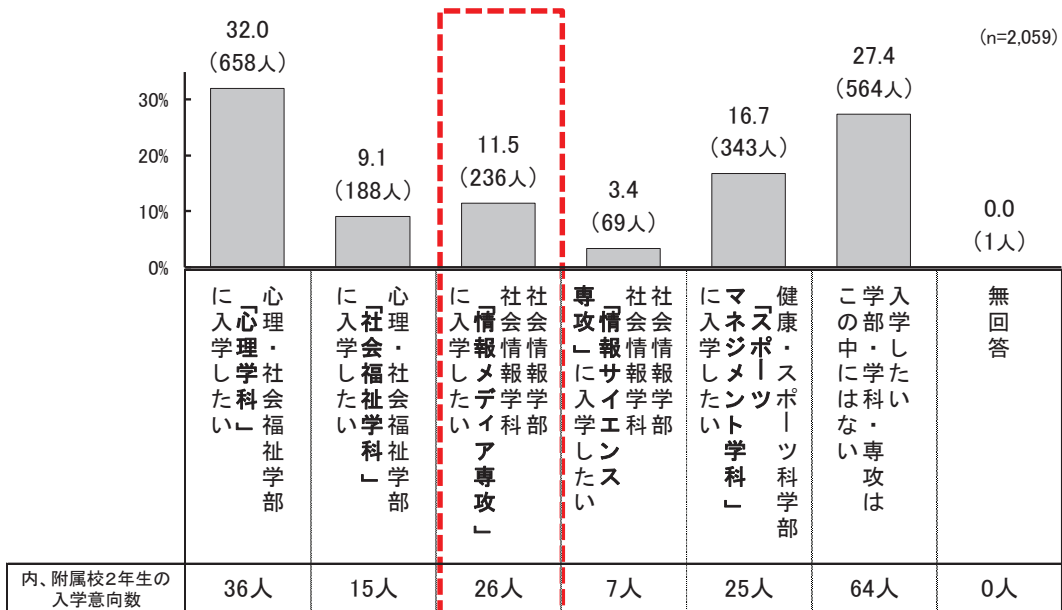


「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人 (うち、173人は附属校)のみ抽出

## ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への入学意向

Q3. あなたは、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称、設置構想中)を受験して合格したら、どの学部・学科・専攻に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

※Q2の「受験したいと思う」と答えた2,059人の回答



## 社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻②

### ■「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」への入学意向 属性別結果

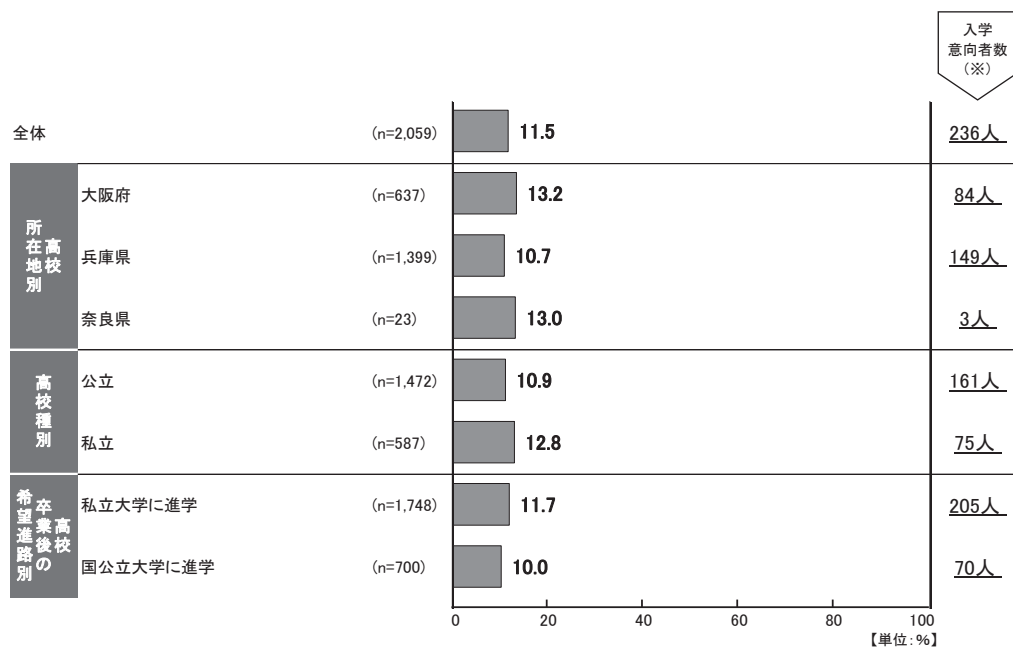
※ Q2で「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人(うち、173人は附属校)のうち、  
Q3で「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻に入学したい」と答えた236人の属性別割合

#### ◇高校所在地別

- ・大学所在地である「兵庫県」の高校在籍者のうち入学意向を示したのは1,399人中、**149人(10.7%)**であり、予定している入学定員を上回っている。(うち、22人は附属校)

#### ◇高校卒業後の希望進路別

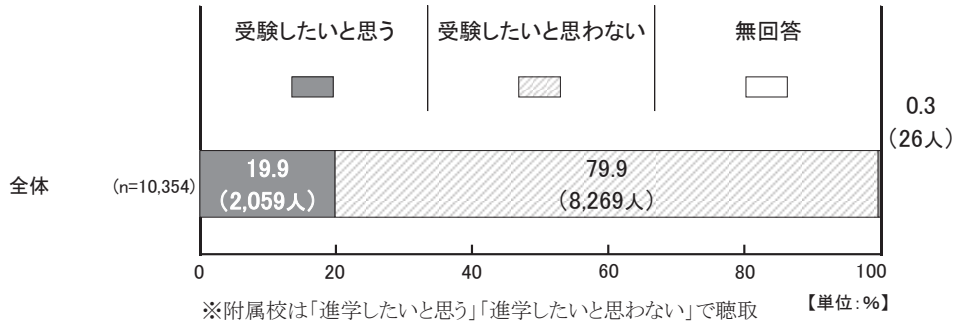
- ・武庫川女子大学を受験・入学する可能性がある「私立大学」への進学希望者のうち入学意向を示したのは1,748人中、**205人(11.7%)**であり、予定している入学定員を上回っている。(うち、25人は附属校)



# 社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻①

## ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への受験・進学意向

Q2. あなたは、新しい学部・学科・専攻を備えた武庫川女子大学を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

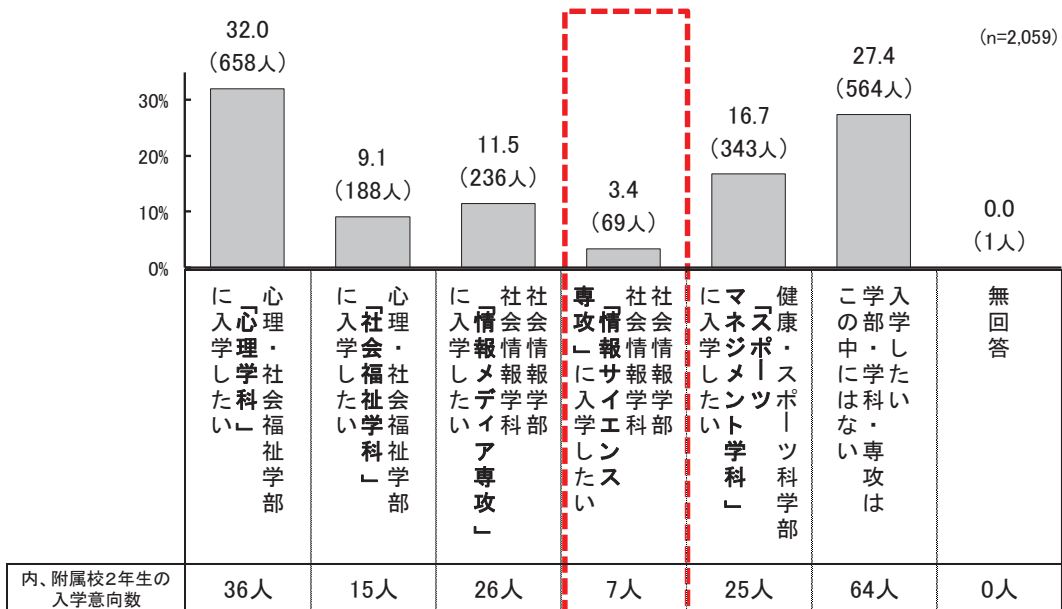


「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人 (うち、173人は附属校)のみ抽出

## ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への入学意向

Q3. あなたは、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称、設置構想中)を受験して合格したら、どの学部・学科・専攻に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

※Q2の「受験したいと思う」と答えた2,059人の回答



## 社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻②

### ■「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」への入学意向 属性別結果

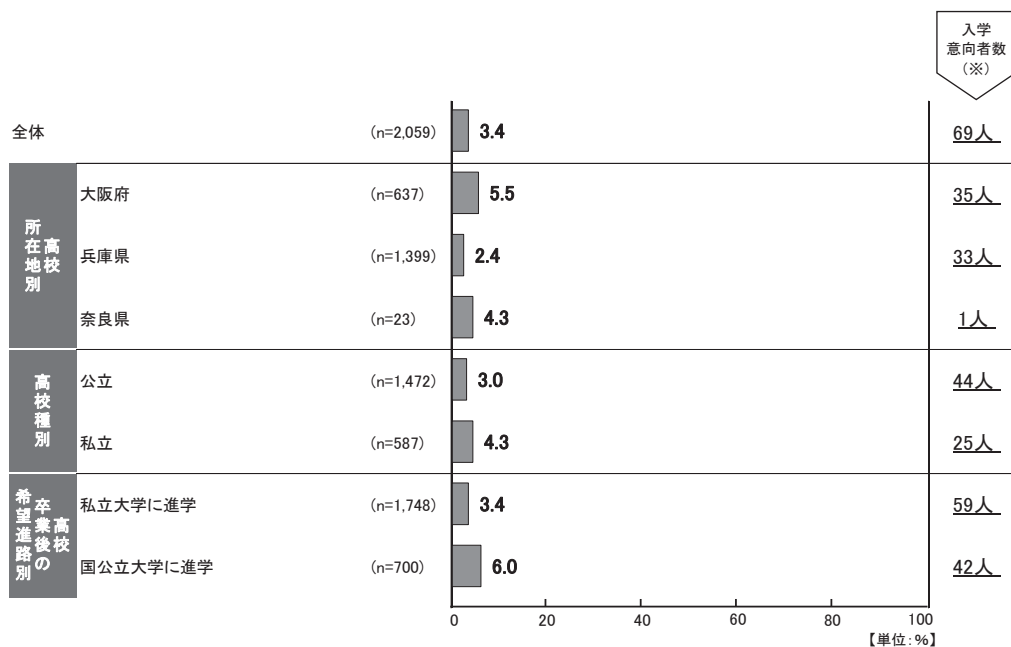
※ Q2で「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人(うち、173人は附属校)のうち、  
Q3で「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻に入学したい」と答えた69人の属性別割合

#### ◇高校所在地別

- ・大学と隣接する「大阪府」の高校在籍者のうち入学意向を示したのは637人中、**35人**(5.5%)である。(うち、1人は附属校)。また、大学所在地である「兵庫県」の高校在籍者のうち入学意向を示したのは1,399人中、**33人**(2.4%)であり、予定している入学定員を上回っている。(うち、6人は附属校)

#### ◇高校卒業後の希望進路別

- ・武庫川女子大学を受験・入学する可能性がある「私立大学」への進学希望者のうち入学意向を示したのは1,748人中、**59人**(3.4%)であり、予定している入学定員を上回っている。(うち、7人は附属校)

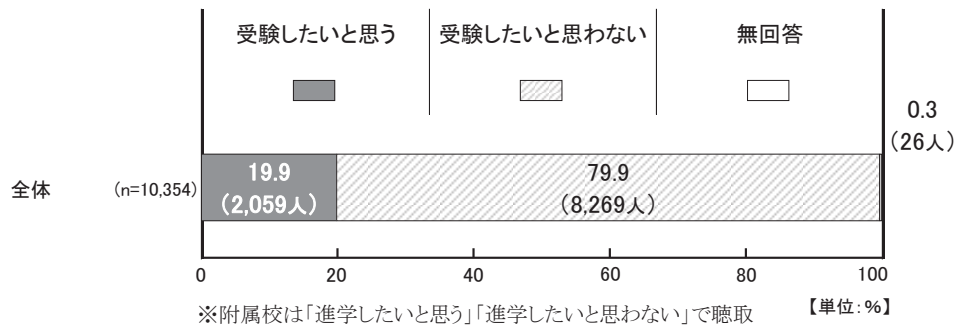




# 健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科①

## ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への受験・進学意向

Q2. あなたは、新しい学部・学科・専攻を備えた武庫川女子大学を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

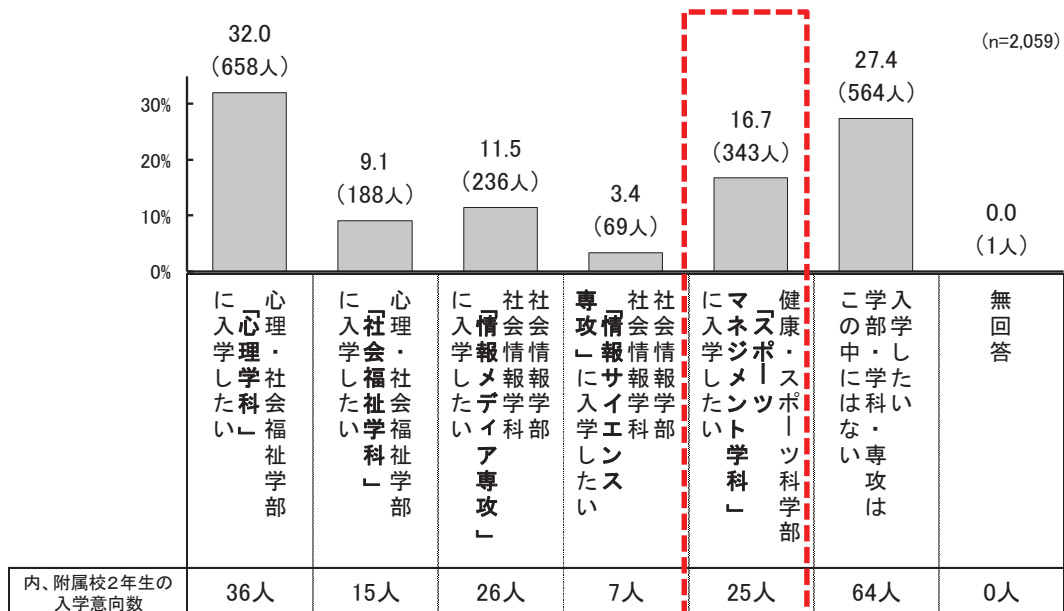


「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人  
(うち、173人は附属校)のみ抽出

## ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への入学意向

Q3. あなたは、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称、設置構想中)を受験して合格したら、どの学部・学科・専攻に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

※Q2の「受験したいと思う」と答えた2,059人の回答



## 健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科②

### ■「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」への入学意向 属性別結果

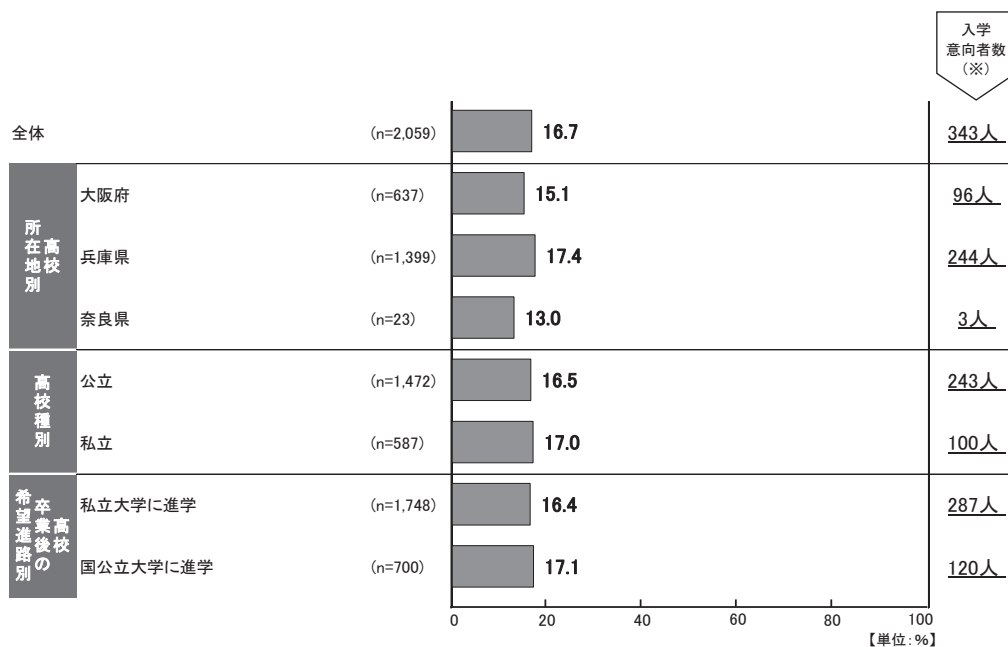
※ Q2で「受験したいと思う」「進学したいと思う」と答えた2,059人（うち、173人は附属校）のうち、  
Q3で「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科に入学したい」と答えた343人の属性別割合

#### ◇高校所在地別

- 大学所在地である「兵庫県」の高校在籍者のうち入学意向を示したのは1,399人中、**244人**（17.4%）であり、予定している入学定員を上回っている。（うち、23人は附属校）

#### ◇高校卒業後の希望進路別

- 武庫川女子大学を受験・入学する可能性がある「私立大学」への進学希望者のうち入学意向を示したのは1,748人中、**287人**（16.4%）であり、予定している入学定員を上回っている。（うち、25人は附属校）



---

---

**附属高校1年・附属中学校 調査結果まとめ**

---

---

# 附属高校1年・附属中学校対象 調査概要

## 1. 調査目的

2023年4月開設予定の武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」新設構想に関して、開設2年目以降の入学ニーズを附属高校1年・中学校の生徒から把握する。

## 2. 調査概要

			附属高校1年・附属中学校対象調査
調査対象			附属高校1年・附属中学校1～3年
調査方法			留置き調査
調査対象数	高校1年生	有効回収数	225人
	中学3年生	有効回収数	157人
	中学2年生	有効回収数	128人
	中学1年生	有効回収数	156人
調査時期			2021年6月21日(月)～2021年8月10日(火)
調査実施機関			株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

附属高校1年・附属中学校対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・学年</li><li>・居住地</li><li>・高校卒業後の希望進路</li><li>・武庫川女子大学への進学意向</li><li>・各学部・学科・専攻への入学意向</li></ul>

## 附属高校1年・附属中学校対象 調査結果まとめ

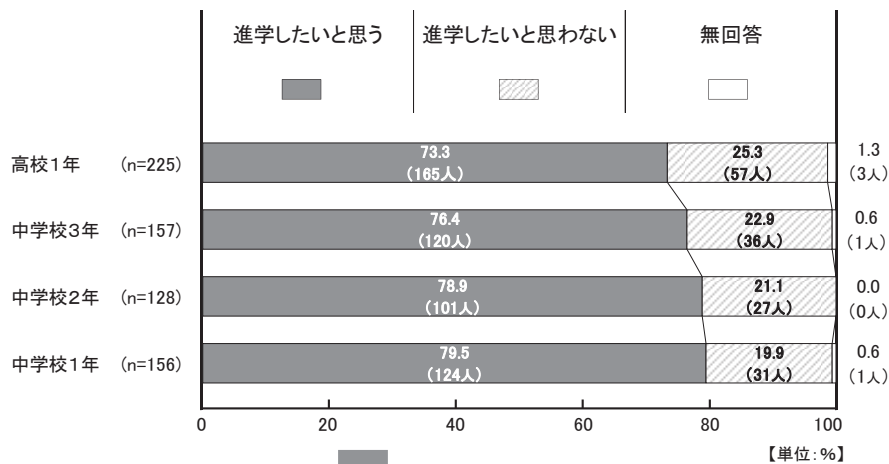
本ページ以降の結果は、武庫川女子大学 附属高校1年・中学校1～3年の生徒に高校卒業後の進路や、新学部・学科・専攻への入学意向について、聴取した結果を掲載している。

結果は、いずれの学年においても、7割超の生徒が武庫川女子大学への進学意向を示し、また新学部・学科・専攻に対して、一定の入学意向があることがうかがえる。(本ページ下部参照)

次ページ以降では、各学年ごとの結果を掲載している。

### ■武庫川女子大学への進学意向

Q2. あなたは、新しい学部・学科・専攻を備えた武庫川女子大学に進学したいと思いますか。  
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



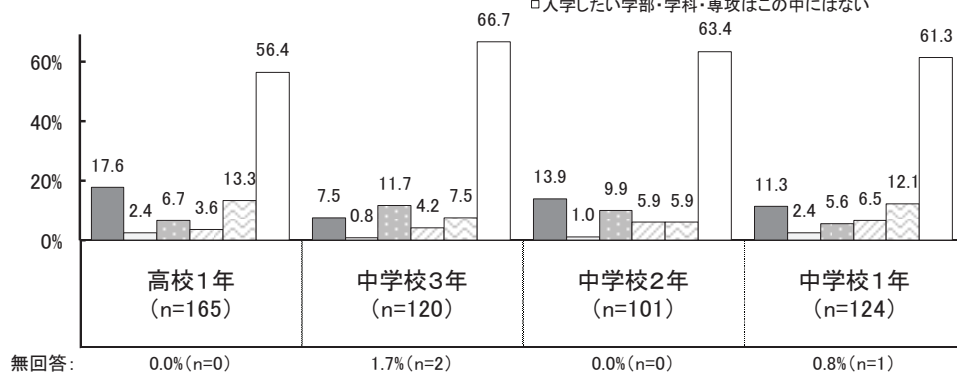
「進学したいと思う」と答えた510人のみ抽出

### ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への入学意向

Q3. あなたは、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称、設置構想中)のうち、どの学部・学科・専攻に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

※Q2の「進学したいと思う」と答えた510人の回答

- 心理・社会福祉学部「心理学科」に入学したい
- 心理・社会福祉学部「社会福祉学科」に入学したい
- 社会情報学部社会情報学科「情報メディア専攻」に入学したい
- 社会情報学部社会情報学科「情報サイエンス専攻」に入学したい
- 健康・スポーツ科学部「スポーツマネジメント学科」に入学したい
- 入学したい学部・学科・専攻はこの中にはない



## <附属高校1年> 調査結果まとめ

---

### 回答者の属性

※本調査は、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」に対する需要を確認するための調査として設計。附属高校1年生(225人)に調査を実施した。

- 本調査の有効回答数は225人。
- 回答者の居住地は「兵庫県」が83.6%、「大阪府」が15.6%である。

### 高校卒業後の希望進路

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「私立大学に進学」を希望する人の割合が92.9%で最も高い。次いで「国公立大学に進学」が18.7%、「専門学校・専修学校に進学」が8.9%と続く。私立大学進学志望者が多いことから、武庫川女子大学の受験を検討しうる高校生の意見を聴取できていると考えられる。

## <附属高校1年> 調査結果まとめ

### 武庫川女子大学への進学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた人は、**165人(73.3%)**である。

### 「心理・社会福祉学部 心理学科」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた165人のうち、「心理・社会福祉学部 心理学科に入学したい」と入学意向を示した人は**29人(17.6%)**。

### 「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた165人のうち、「心理・社会福祉学部 社会福祉学科に入学したい」と入学意向を示した人は**4人(2.4%)**。

### 「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた165人のうち、「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻に入学したい」と入学意向を示した人は**11人(6.7%)**。

### 「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた165人のうち、「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻に入学したい」と入学意向を示した人は**6人(3.6%)**。

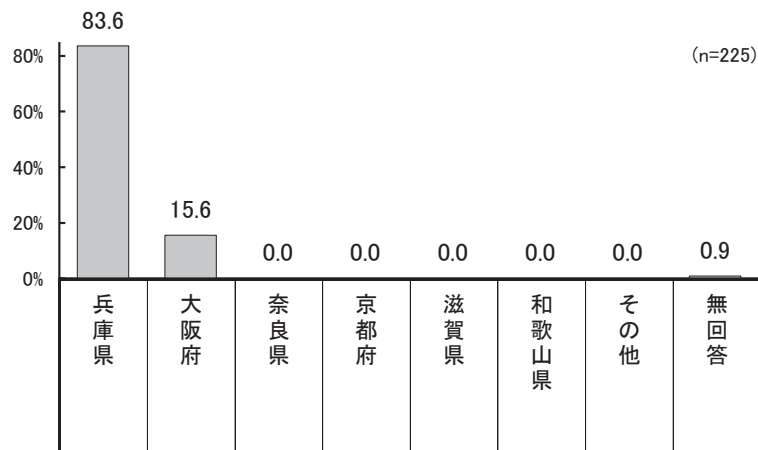
### 「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた165人のうち、「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科に入学したい」と入学意向を示した人は**22人(13.3%)**。

## <附属高校1年>

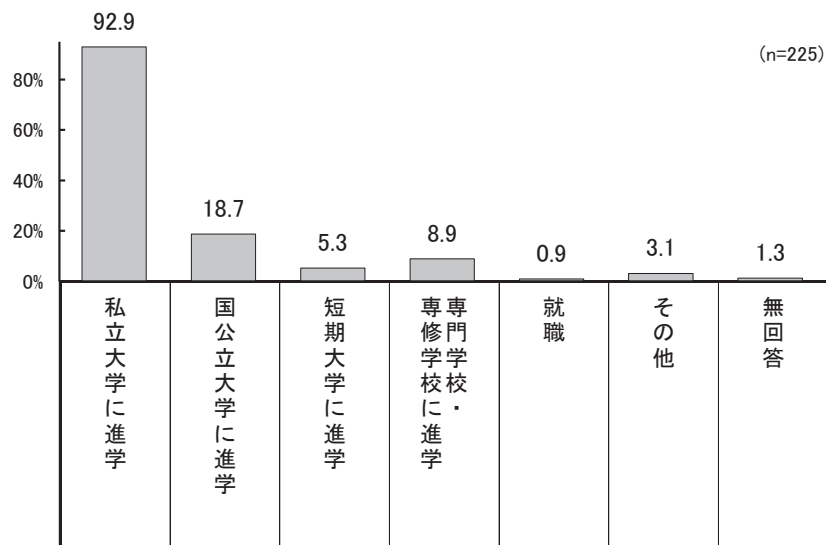
### 回答者の属性(居住地) 高校卒業後の希望進路

#### ■居住地



#### ■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。  
以下の項目から、あてはまる番号すべてにQをつけてください。(いくつでも)



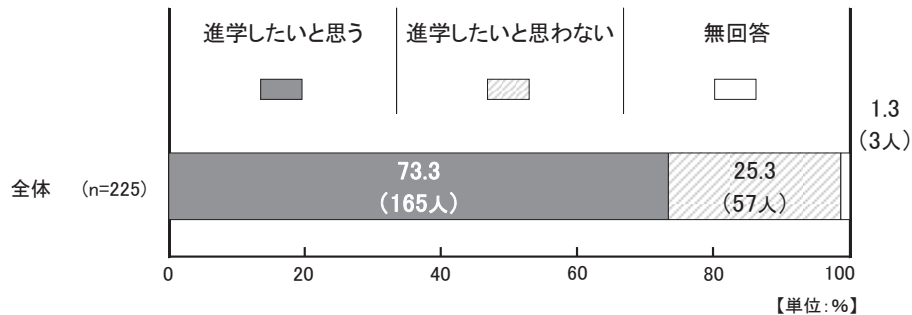


# <附属高校1年>

## 武庫川女子大学への進学意向／入学意向

### ■武庫川女子大学への進学意向

Q2. あなたは、新しい学部・学科・専攻を備えた武庫川女子大学に進学したいと思いますか。  
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

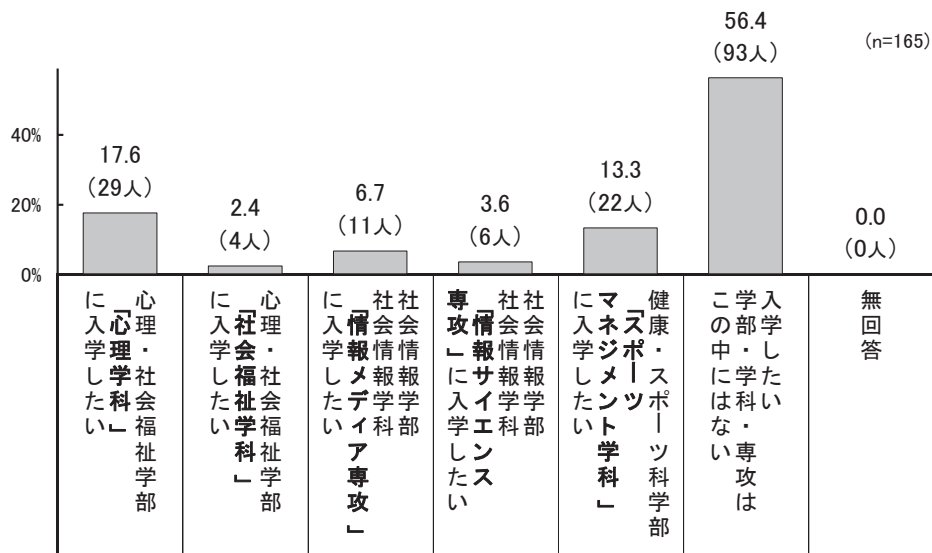


「進学したいと思う」と答えた165人のみ抽出

### ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への入学意向

Q3. あなたは、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称、設置構想中)のうち、どの学部・学科・専攻に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

※Q2の「進学したいと思う」と答えた165人の回答



## <附属中学校3年> 調査結果まとめ

---

### 回答者の属性

※本調査は、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」に対する需要を確認するための調査として設計。附属中学3年生(157人)に調査を実施した。

- 本調査の有効回答数は157人。
- 回答者の居住地は「兵庫県」が80.3%、「大阪府」が15.9%、「奈良県」が0.6%である。

### 高校卒業後の希望進路

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「私立大学に進学」を希望する人の割合が77.1%で最も高い。次いで「国公立大学に進学」が21.0%、「専門学校・専修学校に進学」が12.7%と続く。私立大学進学志望者が多いことから、武庫川女子大学の受験を検討しうる中学生の意見を聴取できていると考えられる。

## ＜附属中学校3年＞調査結果まとめ

### 武庫川女子大学への進学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた人は、**120人(76.4%)**である。

### 「心理・社会福祉学部 心理学科」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた120人のうち、「心理・社会福祉学部 心理学科に入学したい」と入学意向を示した人は**9人(7.5%)**。

### 「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた120人のうち、「心理・社会福祉学部 社会福祉学科に入学したい」と入学意向を示した人は**1人(0.8%)**。

### 「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた120人のうち、「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻に入学したい」と入学意向を示した人は**14人(11.7%)**。

### 「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた120人のうち、「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻に入学したい」と入学意向を示した人は**5人(4.2%)**。

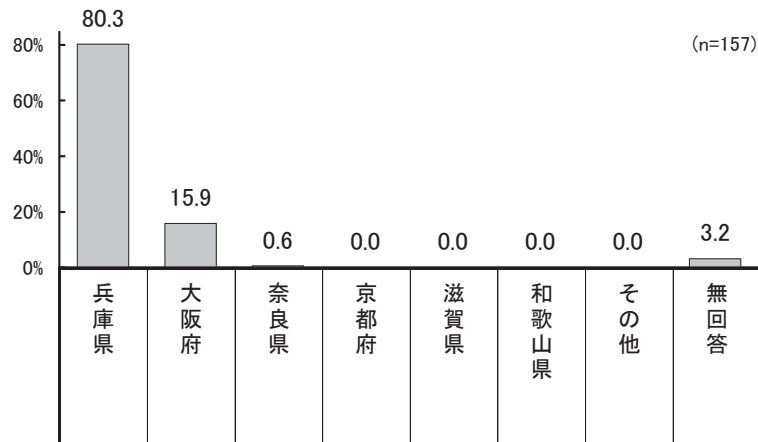
### 「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた120人のうち、「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科に入学したい」と入学意向を示した人は**9人(7.5%)**。

## <附属中学校3年>

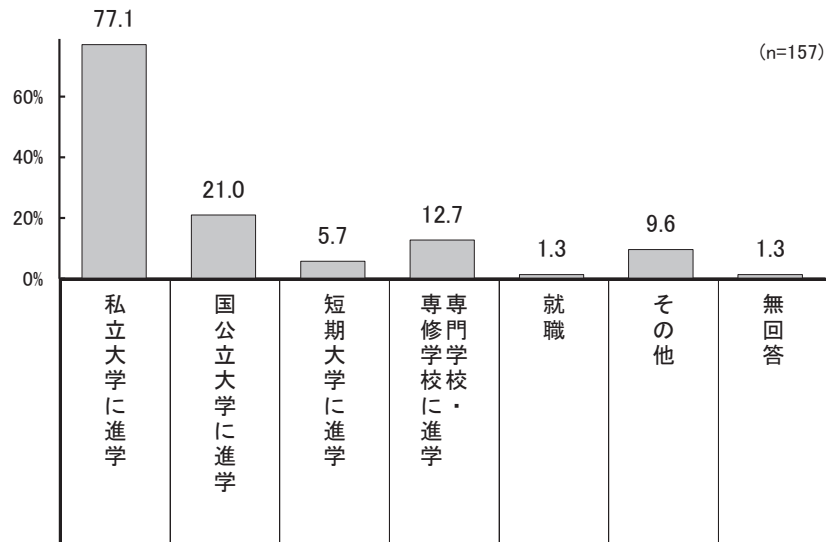
### 回答者の属性(居住地) 高校卒業後の希望進路

#### ■居住地



#### ■高校卒業後の希望進路

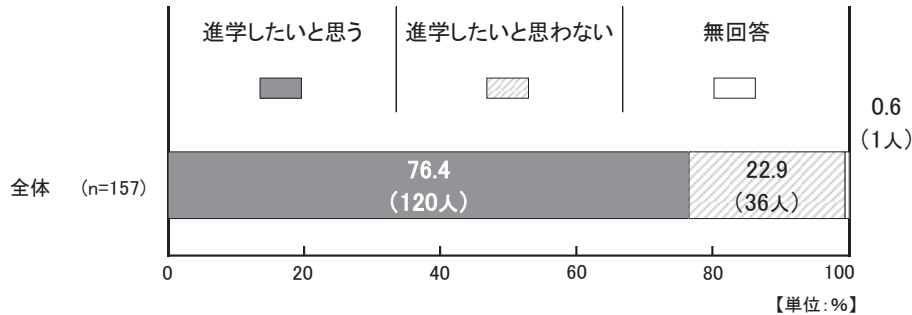
Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。  
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



# <附属中学校3年> 武庫川女子大学への進学意向／入学意向

## ■武庫川女子大学への進学意向

Q2. あなたは、新しい学部・学科・専攻を備えた武庫川女子大学に進学したいと思いますか。  
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

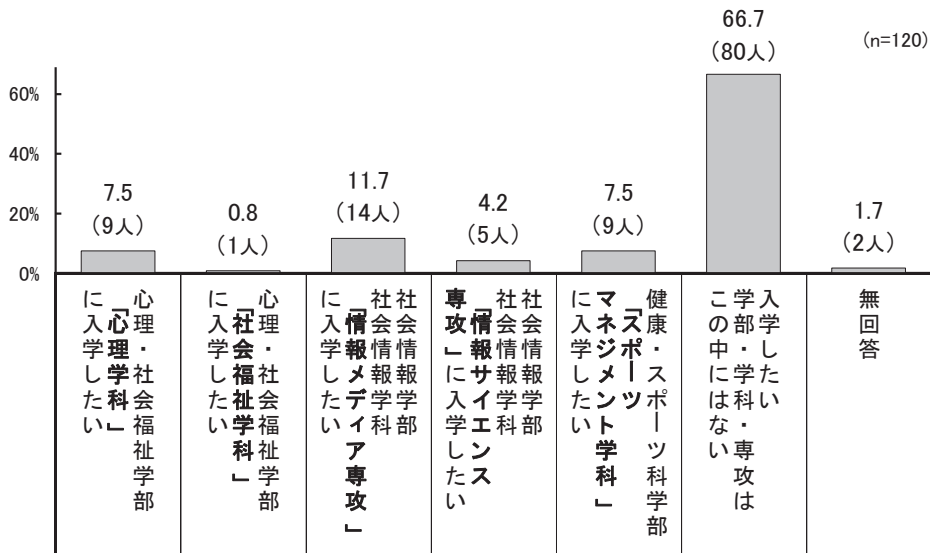


「進学したいと思う」と答えた120人のみ抽出

## ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への入学意向

Q3. あなたは、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称、設置構想中)のうち、どの学部・学科・専攻に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

※Q2の「進学したいと思う」と答えた120人の回答



## <附属中学校2年> 調査結果まとめ

---

### 回答者の属性

※本調査は、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」に対する需要を確認するための調査として設計。附属中学2年生(128人)に調査を実施した。

- 本調査の有効回答数は128人。
- 回答者の居住地は「兵庫県」が84.4%、「大阪府」が14.8%である。

### 高校卒業後の希望進路

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「私立大学に進学」を希望する人の割合が86.7%で最も高い。次いで「国公立大学に進学」が16.4%、「短期大学に進学」が15.6%と続く。私立大学進学志望者が多いことから、武庫川女子大学の受験を検討しうる中学生の意見を聴取できていると考えられる。

## <附属中学校2年> 調査結果まとめ

### 武庫川女子大学への進学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた人は、**101人(78.9%)**である。

### 「心理・社会福祉学部 心理学科」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた101人のうち、「心理・社会福祉学部 心理学科に入学したい」と入学意向を示した人は**14人(13.9%)**。

### 「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた101人のうち、「心理・社会福祉学部 社会福祉学科に入学したい」と入学意向を示した人は**1人(1.0%)**。

### 「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた101人のうち、「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻に入学したい」と入学意向を示した人は**10人(9.9%)**。

### 「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた101人のうち、「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻に入学したい」と入学意向を示した人は**6人(5.9%)**。

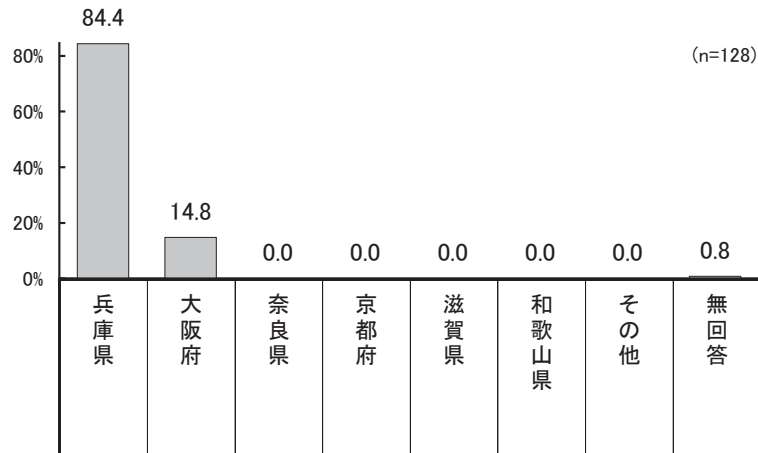
### 「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた101人のうち、「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科に入学したい」と入学意向を示した人は**6人(5.9%)**。

## <附属中学校2年>

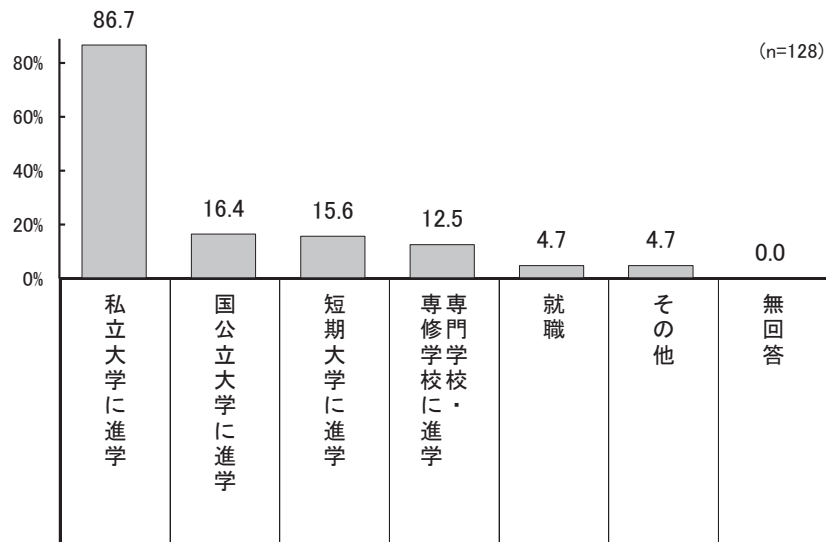
### 回答者の属性(居住地) 高校卒業後の希望進路

#### ■居住地



#### ■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。  
以下の項目から、あてはまる番号すべてにQをつけてください。(いくつでも)

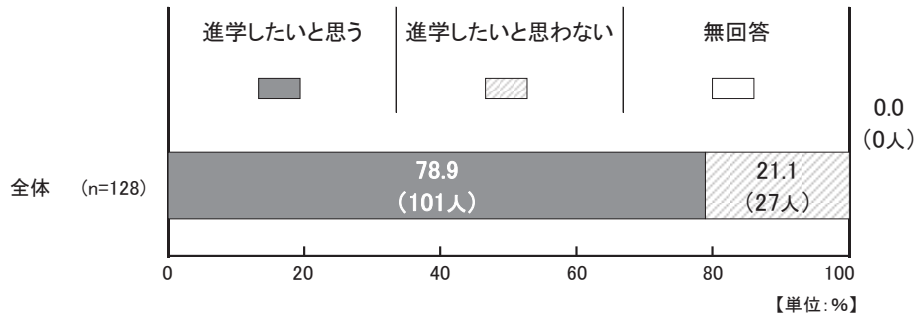




# <附属中学校2年> 武庫川女子大学への進学意向／入学意向

## ■武庫川女子大学への進学意向

Q2. あなたは、新しい学部・学科・専攻を備えた武庫川女子大学に進学したいと思いますか。  
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

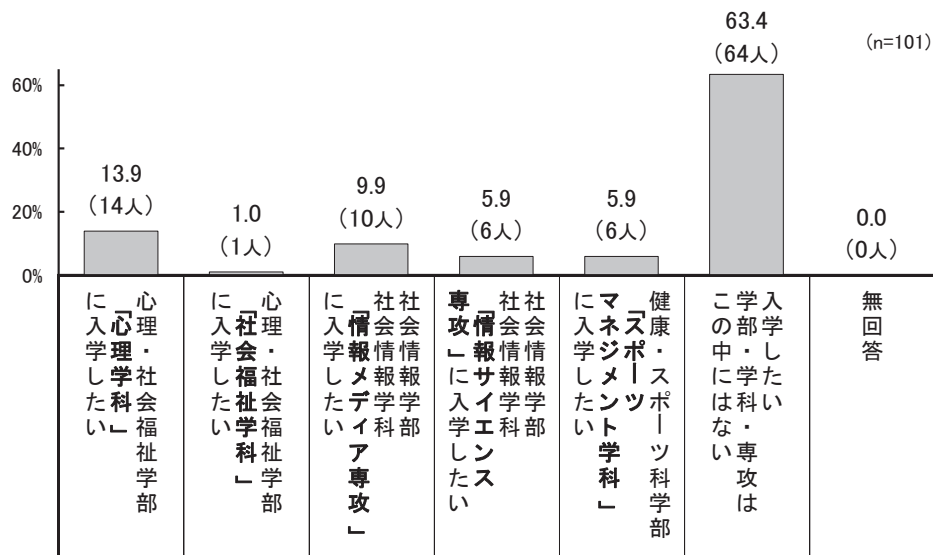


「進学したいと思う」と答えた101人のみ抽出

## ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への入学意向

Q3. あなたは、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称、設置構想中)のうち、どの学部・学科・専攻に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

※Q2の「進学したいと思う」と答えた101人の回答



## <附属中学校1年> 調査結果まとめ

---

### 回答者の属性

※本調査は、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」に対する需要を確認するための調査として設計。附属中学1年生(156人)に調査を実施した。

- 本調査の有効回答数は156人。
- 回答者の居住地は「兵庫県」が77.6%、「大阪府」が21.2%、「奈良県」が1.3%である。

### 高校卒業後の希望進路

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「私立大学に進学」を希望する人の割合が84.0%で最も高い。次いで「専門学校・専修学校に進学」が19.2%、「国公立大学に進学」「その他」が13.5%と続く。私立大学進学志望者が多いことから、武庫川女子大学の受験を検討しうる中学生の意見を聴取できていると考えられる。

## ＜附属中学校1年＞調査結果まとめ

### 武庫川女子大学への進学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた人は、**124人(79.5%)**である。

### 「心理・社会福祉学部 心理学科」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた124人のうち、「心理・社会福祉学部 心理学科に入学したい」と入学意向を示した人は**14人(11.3%)**。

### 「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた124人のうち、「心理・社会福祉学部 社会福祉学科に入学したい」と入学意向を示した人は**3人(2.4%)**。

### 「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた124人のうち、「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻に入学したい」と入学意向を示した人は**7人(5.6%)**。

### 「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた124人のうち、「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻に入学したい」と入学意向を示した人は**8人(6.5%)**。

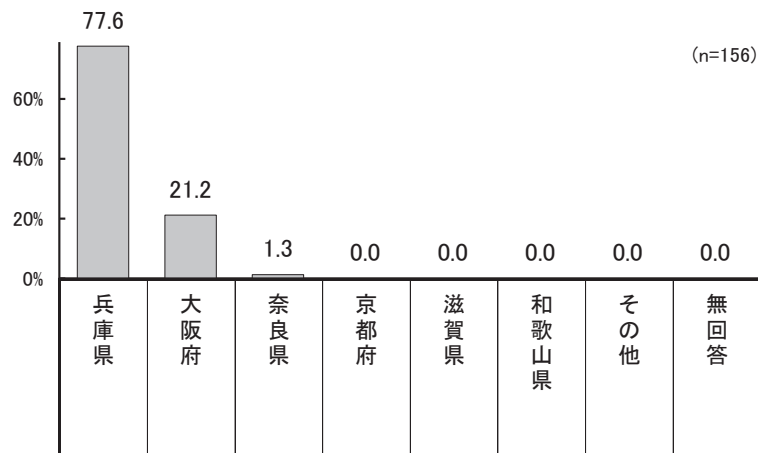
### 「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」への入学意向

- 武庫川女子大学に「進学したいと思う」と答えた124人のうち、「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科に入学したい」と入学意向を示した人は**15人(12.1%)**。

## <附属中学校1年>

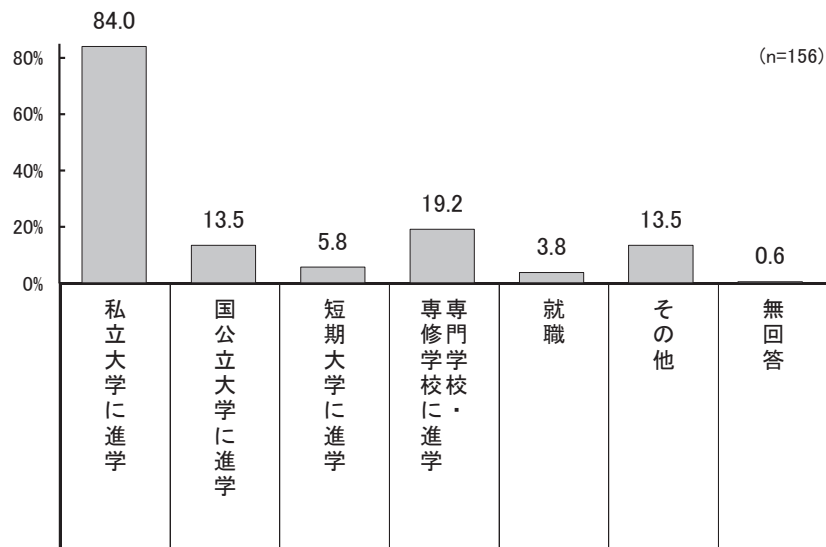
### 回答者の属性(居住地) 高校卒業後の希望進路

#### ■居住地



#### ■高校卒業後の希望進路

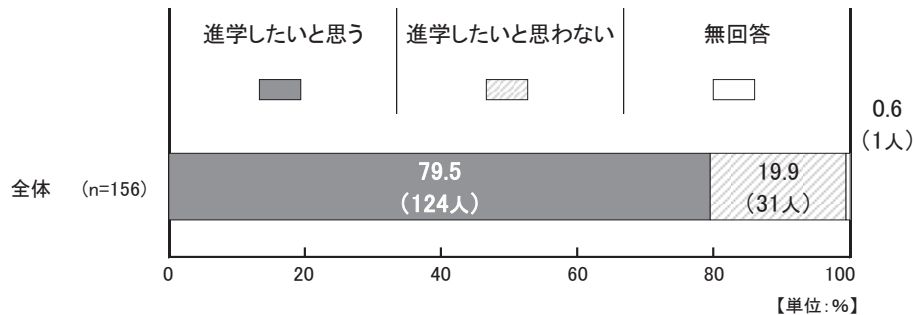
Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。  
以下の項目から、あてはまる番号すべてにQをつけてください。(いくつでも)



# <附属中学校1年> 武庫川女子大学への進学意向／入学意向

## ■武庫川女子大学への進学意向

Q2. あなたは、新しい学部・学科・専攻を備えた武庫川女子大学に進学したいと思いますか。  
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

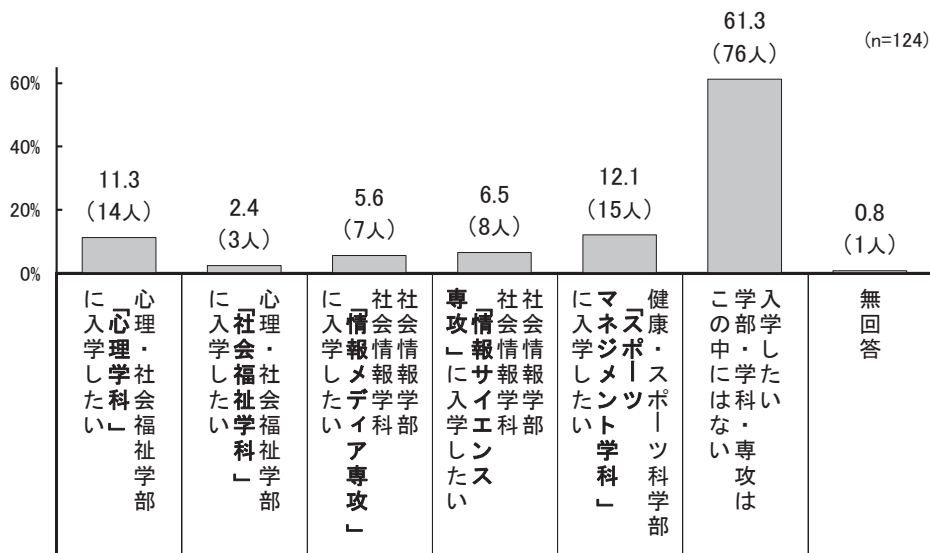


「進学したいと思う」と答えた124人のみ抽出

## ■武庫川女子大学 各学部・学科・専攻への入学意向

Q3. あなたは、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称、設置構想中)のうち、どの学部・学科・専攻に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

※Q2の「進学したいと思う」と答えた124人の回答



## 卷末資料 調查票



# 高校生対象 アンケート調査票

<対象:2021年度現在、高校2年生の女子生徒の皆さん>

武庫川女子大学  
「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」  
「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」  
(すべて仮称、設置構想中)に関するアンケート

武庫川女子大学では2023年4月に、「心理・社会福祉学部 心理学科/社会福祉学科」「社会情報学部 社会情報学科」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称)を設置することを構想しています。

このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、武庫川女子大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。  
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※下記の記入要領をお読みいただき、次ページからの質問にご回答ください。

記入要領	1. 回答は、 <b>あてはまる番号</b> に「○」印をつけてください。	ここに○印をつけてください 心理学	20	
	2. この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。			
	3. 記入は、必ず <b>鉛筆</b> 又は <b>シャープペンシル</b> で濃く書いてください。			
	4. 下記の【 <b>良い記入例</b> 】にしたがって記入してください。 特に、「○」印は、 <b>番号丸枠からはみ出さないよう</b> につけてください。			
<b>良い記入例</b>	<input type="radio"/> 心理学	<b>良い記入例</b>	<input type="radio"/> 心理学	<input type="radio"/> 心理学
	<input type="radio"/> 社会福祉学		<input type="radio"/> 社会福祉学	<input type="radio"/> 社会福祉学

このアンケートや同封した資料に記載されている事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。





# 高校生対象 アンケート調査票

「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」  
「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称、設置構想中)の特色

心理・社会福祉学部	心理学科	カウンセリングなどを学ぶ「臨床系」、心理学研究のための「研究系」、企業・社会で役立つ「実用系」の科目が学べます。 実社会の課題に取り組むフィールドワークなど実践的な授業を通して課題を発見し、解決策を生み出す力を身につけることができます。また、公認心理師受験資格や社会調査士の資格取得も可能です。
	社会福祉学科	社会福祉士を目指す「ソーシャルワーク基礎コース」、精神保健福祉士を目指す「ソーシャルワーク・アドバンスコース」、地域貢献や国際協力の現場での活躍を目指す「ソーシャルビジネスコース」から学びを選択できます。 フィールドワークなどを通して、地域での孤立、子どもの貧困、多文化共生などの課題に挑む実践力を身につけることができます。
社会情報学部	情報メディア専攻	メディアとコミュニケーションをキーワードに、生活・経済における情報デザインについて学びます。 データ分析から広告企画、WEBページ制作まで、さまざまな実践プログラムを通して、情報技術活用力と問題解決・提案力を育みます。 情報(広告・通信・マスコミ)業界をはじめICT社会で幅広く活躍できる力を身につけることができます。
	情報サイエンス専攻	システムエンジニアはもちろんコンピュータを使うすべての業種・職種で活躍できる実践的な情報処理技術を身につけることができます。 また、4年間にわたって体系的に学ぶデータサイエンス・AI教育により、データを分析する技能を磨き、銀行・保険・観光・エンターテインメントなどの業界でもデータに強い女性として活躍することを目指します。
健康・スポーツ科学部	スポーツマネジメント学科	多様なスポーツビジネス業界で活躍するために必要となる「マネジメント」「マーケティング」「実務」「生活・健康」「先端ビジネス」の5つの領域を学ぶことができます。 スポーツイベントの企画・運営などを通して、スポーツマネジメント力、スポーツビジネス力、スポーツ指導・教育力を身につけることができます。

※記載の内容は、構想中のものであり、変更される可能性があります。

# 附属高校・中学校対象 アンケート調査票

---

<対象:2021年度現在、附属高校1・2年生、附属中学校1・2・3年生の皆さん>

武庫川女子大学  
「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」  
「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」  
(すべて仮称、設置構想中)に関するアンケート

武庫川女子大学では2023年4月に、「心理・社会福祉学部 心理学科／社会福祉学科」  
「社会情報学部 社会情報学科」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて  
仮称)を設置することを構想しています。

このアンケートは、本学附属中学・高等学校で学ぶみなさんの進路選択に対する考え方や、  
大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、武庫川女子大学の教育をより充実したものにす  
るための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用  
し、個人を特定することは一切ありません。  
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

このアンケートや同封した資料に記載されている事項は、すべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

# 附属高校・中学校対象 アンケート調査票

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

学年 (1つに○)	1. 中学1年生    2. 中学2年生    3. 中学3年生    4. 高校1年生    5. 高校2年生
お住まいの 府県 (1つに○)	1. 兵庫県    2. 大阪府    3. 奈良県    4. 京都府    5. 滋賀県    6. 和歌山県    7. その他

◆高校卒業後の進路などについてお聞きします。

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。  
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

- |             |                 |        |
|-------------|-----------------|--------|
| 1. 私立大学に進学  | 3. 短期大学に進学      | 5. 就職  |
| 2. 国公立大学に進学 | 4. 専門学校・専修学校に進学 | 6. その他 |

武庫川女子大学では、2023年4月に、  
新しく「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部  
スポーツマネジメント学科」(すべて仮称)を設置することを構想しています。

※右に記載の各学部・学科・専攻の特色とアンケートに同封している資料をご覧の上、  
以下の質問にお答えください。

Q2. あなたは、新しい学部・学科・専攻を備えた武庫川女子大学に進学したいと思いますか。  
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1. 進学したいと思う | 2. 進学したいと思わない |
|-------------|---------------|

Q3. あなたは、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」  
(すべて仮称、設置構想中)のうち、どの学部・学科・専攻に入学したいと思いますか。  
あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

1. 心理・社会福祉学部 「心理学科」に入学したい
2. 心理・社会福祉学部 「社会福祉学科」に入学したい
3. 社会情報学部 社会情報学科 「情報メディア専攻」に入学したい
4. 社会情報学部 社会情報学科 「情報サイエンス専攻」に入学したい
5. 健康・スポーツ科学部 「スポーツマネジメント学科」に入学したい
6. 入学したい学部・学科・専攻はこの中にはない

\*\*\* 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。\*\*\*

# 附属高校・中学校対象 アンケート調査票

「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」  
「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称、設置構想中)の特色

心理・社会福祉学部	心理学科	カウンセリングなどを学ぶ「臨床系」、心理学研究のための「研究系」、企業・社会で役立つ「実用系」の科目が学べます。 実社会の課題に取り組むフィールドワークなど実践的な授業を通して課題を発見し、解決策を生み出す力を身につけることができます。また、公認心理師受験資格や社会調査士の資格取得も可能です。
	社会福祉学科	社会福祉士を目指す「ソーシャルワーク基礎コース」、精神保健福祉士を目指す「ソーシャルワーク・アドバンスコース」、地域貢献や国際協力の現場での活躍を目指す「ソーシャルビジネスコース」から学びを選択できます。 フィールドワークなどを通して、地域での孤立、子どもの貧困、多文化共生などの課題に挑む実践力を身につけることができます。
社会情報学部	情報メディア専攻	メディアとコミュニケーションをキーワードに、生活・経済における情報デザインについて学びます。 データ分析から広告企画、WEBページ制作まで、さまざまな実践プログラムを通して、情報技術活用力と問題解決・提案力を育みます。 情報(広告・通信・マスコミ)業界をはじめICT社会で幅広く活躍できる力を身につけることができます。
	情報サイエンス専攻	システムエンジニアはもちろんコンピュータを使うすべての業種・職種で活躍できる実践的な情報処理技術を身につけることができます。 また、4年間にわたって体系的に学ぶデータサイエンス・AI教育により、データを分析する技能を磨き、銀行・保険・観光・エンターテインメントなどの業界でもデータに強い女性として活躍することを目指します。
健康・スポーツ科学部	マネジメスポーツ学科	多様なスポーツビジネス業界で活躍するために必要となる「マネジメント」「マーケティング」「実務」「生活・健康」「先端ビジネス」の5つの領域を学ぶことができます。 スポーツイベントの企画・運営などを通して、スポーツマネジメント力、スポーツビジネス力、スポーツ指導・教育力を身につけることができます。

※記載の内容は、構想中のものであり、変更される可能性があります。

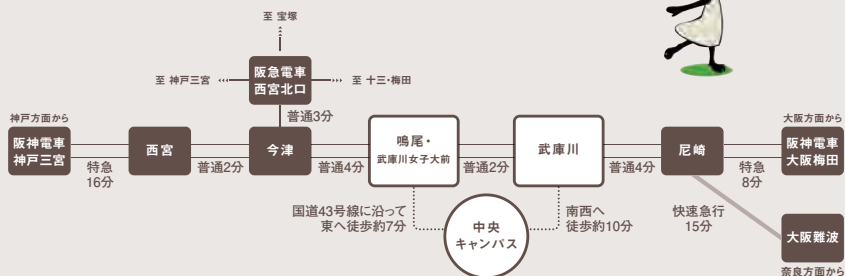
## 心理・社会福祉学部(仮称) 設置概要

心理学科(仮称)	学科名	社会福祉学科(仮称)
心理学の確かな知識をもとに、多様な人びとや社会と積極的に向き合い、創造力と柔軟性を持ってさまざまな課題の解決に取り組める人材の養成	理念	社会のあらゆる問題に関心を持ち続け、多様な人びとと協力しながら解決へと導ける、グローバルな視点と思考力・知力・行動力を備えた人材の養成
150名	入学定員	70名
4年	修業年限	4年
2023年4月 予定	開設時期	2023年4月 予定
学士(心理学)	学位	学士(社会福祉学)
中央キャンパス(兵庫県西宮市)	開設場所	中央キャンパス(兵庫県西宮市)
1,439,700円	初年度納付金※	1,439,700円
<ul style="list-style-type: none"> <li>■関西学院大学 文学部 総合心理科学科 心理学専修</li> <li>■甲南大学 文学部 人間科学科</li> <li>■神戸学院大学 心理学部 心理学</li> <li>■近畿大学 総合社会学部 総合社会学科 心理学専攻</li> <li>■奈良女子大学 文学部 人間科学科 心理学コース</li> </ul> 初年度納付金<参考> 817,800円~1,469,300円 <small>※出典:2021年4月各大学HPより 詳しくは各大学にお問い合わせください。</small>	類似学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>■関西学院大学 人間福祉学部 社会福祉学科</li> <li>■関西大学 人間健康学部 福祉と健康コース</li> <li>■大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉学類</li> <li>■同志社大学 社会学部 社会福祉学科</li> <li>■京都女子大学 発達教育学部 教育学科 養護・福祉教育学専攻</li> </ul> 初年度納付金<参考> 817,800円~1,352,000円 <small>※出典:2021年4月各大学HPより 詳しくは各大学にお問い合わせください。</small>

※初年度納付金には、入学金、授業料、教育充実費を含みます。(2023年度入学者対象)  
 ※2021年4月時点での学費を参考にした金額であり、変更となる可能性があります。

## 交通アクセス

武庫川女子大学中央キャンパスへは、阪神電車のご利用が便利です。  
 阪神電車ご利用の場合は、阪急西宮北口にて今津線にお乗り換えのうえ今津駅より阪神電車をご利用ください。  
 ※下記のアクセス方法・時間は一例です。曜日や時間帯によって異なりますので、十分注意してください。



中央キャンパス	文学部、教育学部、健康・スポーツ科学部、生活環境学部、食物栄養科学部、音楽学部、看護学部、経営学部、短期大学部、大学院、専攻科
浜甲子園キャンパス	薬学部、大学院
上甲子園キャンパス	建築学部、大学院

### ●お問い合わせ

入試センター 〒663-8558 兵庫県西宮市池間町6-46 TEL. 0798-45-3500 FAX. 0798-45-3563  
 テレフォンサービス(24時間) 入試情報 TEL. 0798-45-8888 <https://www.mukogawa-u.ac.jp/>

## 資料 3

# 心理学科

(仮称)

人の心に  
寄り添いたい

心や気持ちを  
理解したい

人を知り  
ビジネスに活かしたい

# 社会福祉学科

(仮称)

よりよく過ごせる  
社会を作りたい

誰もが生きやすい  
世の中に

地域貢献・  
国際協力に  
携わりたい

## 心理・社会福祉学部(仮称) 誕生

### 2023年4月 設置構想中

複雑化する現代社会の問題に、心理と福祉の両面からアプローチ!



武庫川女子大学  
Mukogawa Women's University

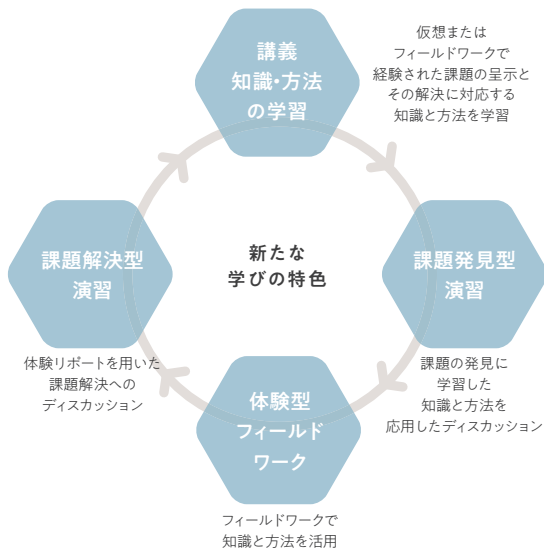


# より良い社会づくりに 貢献できる人材を養成。 心理・社会福祉学部

さまざまな社会の変化により、ライフスタイルが多様化している現代。人びとが抱える心の悩みや生活の問題も、より複雑になっています。武庫川女子大学では歴史ある文学部のフィールドで培われた、心理・福祉分野の教育実績を新たな学びへと発展させ、現代社会の声に応える「心理・社会福祉学部(仮称)」を2023年4月に開設(※)。高度な心理学の知識と社会福祉の専門的な視点を発揮し、より良い社会づくりに貢献できる人材の養成をめざします。(※設置構想中)

文学部 心理・社会福祉学科

## 心理・社会福祉学部



※記載の内容は、構想中のものであり、変更される可能性があります。

## 心理学科

人の心理や行動への理解を自己実現や社会貢献に活かす人材を育成

### 学びのPoint

- あらゆる課題へ対応できるよう、**研究、実用、臨床など幅広い側面から心理学を学習**
- 身近なケースを題材に、**学生自らが課題を発見し、解決方法を生み出す討議型授業**
- 日常の幅広い課題に取り組み、**解決に向けた自分の考えを発信する実社会でのフィールドワーク**

臨床現場で心の健康を支える!

### 臨床系 臨床現場での活躍を想定したスキル

対人援助の手法やカウンセリングに関する知識を学びます。さらに、臨床現場での実務に役立つスキルを身につけます。

【臨床系科目】心理実習、心理的アセスメント(実習)、心理療法・カウンセリング論など

【想定される進路】

公務員心理専門職、医療機関心理専門職、カウンセラー、心理セラピストなど

心の謎を解き明かす!

### 研究系 心理学の研究をするためのスキル

心理学実験やデータ分析など、心理学における研究活動に必要なスキルを磨きます。自ら問題を設定し、情報を集め、答えを考える力を身につけます。

【研究系科目】心理学実験、社会調査実習、データ解析法、心理学研究方法など

【想定される進路】

一般企業、(データ分析部門・開発部門)、大学院進学など

心理学をビジネスに活かす!

### 実用系 企業・社会で役立つスキル

人と社会を多角的に理解するための知識を学びます。さらに他者と協働するためのスキルを磨き、社会で活躍するための力を身につけます。

【実用系科目】コミュニケーション論、消費者心理学、プロジェクトマネジメントの実践、社会実践実習など

【想定される進路】

一般企業(顧客対応部門、人事研修部門、マーケティング部門)、営業・販売職、総合職など

取得できる資格

公認心理師受験資格(30名定員)

※ただし、学部卒業後「特定の施設」で2年以上の実務経験、または大学院で必要科目を習得することが必要。

社会調査士

養成される人材像

- ①どのような困難に直面しても、問題を発見し、問題の原因を特定することができる。
- ②その解決に向けて、多様な人びとや環境を尊重した解決策を立案し、責任をもって実行できる。
- ③たとえ直面した困難にうまく対処できなかったとしても、自分の行動を修正し、その経験を別の場面に活かすことができる。

## 社会福祉学科

グローバルな視点をもって実社会で活躍するリーダーを育成

### 学びのPoint

- 初年度からのフィールドワークと、**アクティブラーニングで地域の課題解決に挑む実学教育**
- 国内外の社会問題を理解し、**学生同士のディスカッションから解決策を探る、少人数授業**
- 学生主体でとりくむ**豊富なグループ学習を通じた実践力の獲得**

より良い社会の仕組みを作るなら→社会福祉士をめざす

### Core ソーシャルワーク基礎コース

国内外の社会問題に迫り、具体的な解決策を探るためのスキルを習得。社会福祉士国家試験への対策も進め、全員合格をめざします。

【科目名】ソーシャルワーク概論、心理学概論、地域福祉論、社会調査法など

【想定される進路】福祉専門職公務員(裁判所調査官、児童相談所、福祉事務所等)社会福祉協議会、地域包括支援センター、総合病院ソーシャルワーカー、一般企業など

人に寄り添う福祉のプロになるなら→精神保健福祉士をめざす

### Advance1 ソーシャルワーク・アドバンスコース

精神保健福祉士の資格取得に対応した実践的なプログラムを設置。社会福祉士とのダブル取得をめざすコースです。

【科目名】精神保健福祉援助技術総論、精神保健学、精神障害者の生活支援システム、精神科リハビリテーションなど

【想定される進路】精神科系医療ソーシャルワーカー、福祉専門職公務員(裁判所調査官、児童相談所、福祉事務所等)社会福祉協議会、地域包括支援センター、総合病院ソーシャルワーカー、一般企業など

海外の人びとの幸せを守るなら→国際貢献や国際協力の現場をめざす

### Advance2 ソーシャルビジネスコース

国内外の社会問題を支援するための知識を習得。海外研修で国際貢献の現場に参加できるほか、NPOを運営する手法も学べます。

【科目名】多文化社会実践論、社会貢献とボランティア、NGO・NPO概論、ソーシャルビジネス・マネジメントなど

【想定される進路】NGO、JICA、NPO、赤十字、福祉専門職公務員(裁判所調査官、児童相談所、福祉事務所等)社会福祉協議会、地域包括支援センター、総合病院ソーシャルワーカー、一般企業など

養成される人材像

- ①ソーシャルワークの知識を備え、リーダーシップを持って、社会的な支援が必要な人々の自立を促進し、コミュニティの発展に寄与する人材
- ②国家資格を取得し、現代社会で生じているさまざまな問題(孤立、虐待、人権侵害等)を理解し、支援策を考え、解決に向けた熱意と実践力を備えた人材
- ③多文化共生、国際貢献の視野を持ち、NPO・NGOと協働しながらコミュニティで活動し、社会問題を解決する力を備えた人材

所属するコースは進路に合わせて変更可能

国家試験合格率は  
**全国トップレベル!**  
《希望者全員受験》

	社会福祉士	精神保健福祉士 (40名定員)
2018年度	93.9% (29.9%)	100% (62.7%)
2019年度	90.7% (29.3%)	86.4% (62.1%)
2020年度	82.5% (29.3%)	95.5% (64.2%)

※( )内は全国平均

## 設置概要

学 部：社会情報学部(仮称)  
 学 科：社会情報学科(仮称)  
 学 位：学士(社会情報学)  
 入 学 定 員：180名(募集予定人数:情報メディア専攻140名、情報サイエンス専攻40名)  
 修 業 年 限：4年  
 開 設 時 期：2023年4月予定  
 開 設 場 所：中央キャンパス(兵庫県西宮市)

◎初年度納付金※ 1,384,700円

※初年度納付金には、入学金、授業料、教育充実費を含みます。(2023年度入学者対象)  
 ※2021年4月時点での学費を参考にした金額であり、変更となる可能性があります。

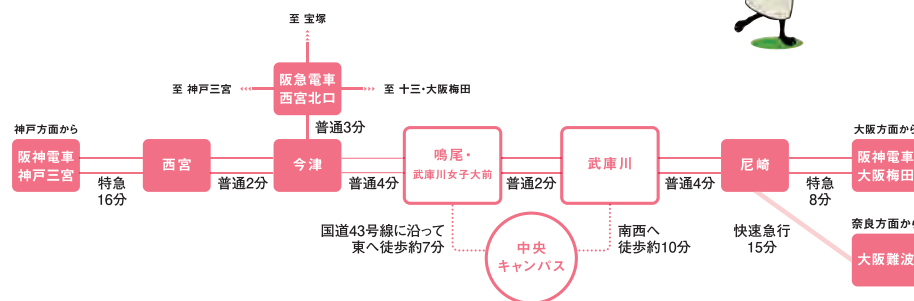
## ◎類似学部

関 西 大 学 / 総合情報学部  
 同志社女子大学 / 学芸学部 メディア創造学科  
 京 都 女 子 大 学 / 現代社会学部 現代社会学科 情報システム専攻  
 兵 庫 県 立 大 学 / 社会情報科学部 社会情報科学科

※初年度納付金(参考) 817,800円~1,589,000円  
 ※出典：2021年4月各大学HPより  
 詳しくは各大学にお問い合わせください。

## Access

武庫川女子大学中央キャンパスへは、阪神電車のご利用が便利です。  
 阪急電車ご利用の場合は、阪急西宮北口にて今津線にお乗り換えのうえ今津駅より阪神電車をご利用ください。  
 ※下記のアクセス方法・時間は一例です。曜日や時間帯によって異なりますので、十分注意してください。



情報技術で、  
 暮らしも  
 わたしも  
 もっと豊かに。

 **武庫川女子大学**  
 Mukogawa Women's University

中央キャンパス 文学部、教育学部、健康・スポーツ科学部、生活環境学部、食物栄養科学部、音楽学部、看護学部、経営学部、短期大学部、大学院、専攻科  
 浜甲子園キャンパス 薬学部、大学院  
 上甲子園キャンパス 建築学部、大学院

## ●お問い合わせ

入試センター 〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46 TEL. 0798-45-3500 FAX. 0798-45-3563  
 テレフォンサービス(24時間) 入試情報 TEL. 0798-45-8888 <https://www.mukogawa-u.ac.jp/>

文理融合学部 社会情報学部 社会情報学科(仮称) 誕生  
 (2023年4月 設置構想中)

 **武庫川女子大学**  
 Mukogawa Women's University

# 2023年4月、社会情報学部 社会情報学科〈仮称〉誕生

## 情報技術を生かして

### もっと豊かに

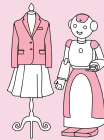
### 暮らしと社会を変えていく女性へ。

生活×文化

AIが私に似合う洋服を  
コーディネートしてくれるって本当？

「本当です！」

洋服を買う時、いつも迷いませんか？そんな時、AI(人工知能)が役立ちます。クローゼットやネット購入の履歴からあなたの趣味はもちろん、年齢や体型、最新のトレンドまで分析してあなたに似合う服をコーディネートしてくれます。AIを活用すればそんな未来も夢ではありません。



生活×経済

女子に人気のスイーツ！  
ヒット商品のヒントは、  
あなたのポイントカードにある？

「あります！」

ビジネスで、今注目されているのがビッグデータの活用です。例えば、みんながよく利用するコンビニのポイントカードを分析すると、誰が、いつ、どこで、どんな商品を購入したかがわかります。女子をターゲットにしたヒット商品の開発など、売れる商品や販売のヒントがいっぱい詰まっているのです。



社会×IT

スマホゲームも  
もはや操作するのではなく、  
あなたが主人公になる？

「なります！」

いよいよ次世代モバイル通信方式5Gの時代へ突入。高速・大容量によりARやVR\*を存分に活用できるようになります。これまでゲームを操作する感覚だったのが、まさに自分自身がゲームの世界の登場人物となって、舞台となる街を探検したり、敵と闘ったり、今までにない迫力や臨場感を味わえます。



\*AR(拡張現実)とVR(仮想現実)

情報化社会を  
生き抜くための  
実践力を養う。

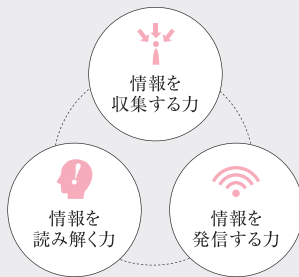
2023年、武庫川女子大学に社会情報学部が誕生します(※)。ICT社会の生活を、「社会・経済」と「情報」という文理融合の幅広い視点から学びます。専門科目ではメディアやコミュニケーションなどをテーマに暮らしと社会を考える講義とともに、情報技術に関する演習を履修します。さらに、データを扱う実践的演習科目を履修し、実社会の問題解決に役立つ、生きたスキルの修得をめざします。  
(※設置構想中)

#### 設置の背景

AI(人工知能)やIoT(Internet of Things)、ロボットなどに代表されるデジタル技術が急速に進化する今、社会や暮らしのあり方が急速に変化しつつあります。そんな時代の変革期に、情報やマルチメディアの知識・技能を生かし、社会で活躍し、豊かに生き抜くことができる人材の育成が本学部の目標です。

#### 養成する人物像

ICT社会における社会・経済・情報に関わる幅広い知識や技能を身に付けます。多角的な視点をもつ個人としての強みを発揮し、情報を扱う実践力を持ち、社会の課題に主体的に取り組み、新たな価値を創出できる人材を育てています。

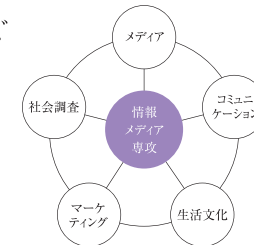


文系

## 情報メディア専攻〈仮称〉

情報化社会と人びとの暮らしをつなぐ  
「情報のコミュニケーター」を育成

“人間の生活”と“情報化社会”の関わりを理解し、ICTを活用したこれからの豊かな暮らしを編集・設計・演出するスキルの修得をめざします。また、文化や経済をさまざまなデータから分析するコミュニケーションやマーケティングなどの基礎科目や演習科目も履修。身に付けたスキルを実際に社会で生かせるよう、社会の課題を発見し、その解決に向けた対応力を養う科目も受講していきます。



【開設科目】  
コミュニケーション論、メディア論、文化社会学、経営情報論、マーケティング演習、統計学、社会調査 等

専攻の特色

実社会の課題に取り組む「プロジェクト演習」

1年次からスタートする「プロジェクト演習」ではチームで課題解決に取り組むプロセスを体験し、2年次には実際に企業の課題解決にも取り組みます。企業のWeb戦略を分析したり、消費者の行動をさまざまなデータから読み解いたり、広告制作に取り組んだり、ヒアリング調査を行ったり、プロジェクトのテーマは多岐。実践的な授業を通して、課題発見・解決スキルの向上はもちろん、主体性や社会性も養っていきます。

Future

想定される  
将来のステージ

- ・IT業界の企画・営業職
- ・Webデザイナー
- ・システムエンジニア
- ・データアナリスト
- ・メディア産業のプロデューサー
- ・旅行業界の企画・営業職
- ・金融機関のデジタル職
- ・eコマース関連の企画・営業職
- ・教員(高校情報科)
- ・公務員

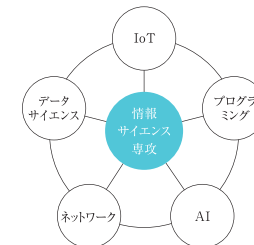


理系

## 情報サイエンス専攻〈仮称〉

情報技術から豊かな社会をつくる  
「情報のスペシャリスト」を育成

スマートフォンをはじめ、AIやIoT、ロボットなどの最先端技術が社会を変革する時代に、ICT機器を操作して、情報を活用する能力の向上をめざします。コンピュータ、プログラミング、ネットワーク、セキュリティなどの高度な情報技術を修得。さらに、人工知能やビッグデータを、社会や企業の課題解決に役立てるため、データサイエンスや統計学の科目も充実しています。



【開設科目】  
データサイエンス論、AI概論、プログラミング演習、コンピュータネットワーク応用、システム設計 等

専攻の特色

反転授業\*1、ハッカソン\*2、  
徹底した少人数による充実したデータサイエンス教育

学生の主体的な反転授業によりプログラミングの基礎を学び、「ハッカソン(ハッキング+マラソン)」を通して確かなプログラミング技能を養います。データサイエンスとAIについては最重要教科として1年次から4年次まで一貫した授業科目を配置し、この中でビッグデータや金融系の情報技術についても学びます。徹底した少人数のゼミでは、指導教員の専門性に応じて、VR・AR、IoT技術なども学びます。

\*1 自宅学習で知識を修得し、授業では詳しい解説や発展問題を扱う、従来の教育方法の順番を反転させた新しい学習方法。  
\*2 ハック(hack)とマラソン(marathon)を組み合わせた造語。短期間で集中的に意見やアイデアを出し合う共同の開発作業。

Future

想定される  
将来のステージ

- ・システムエンジニア
- ・システム管理者
- ・システムデザイナー
- ・アプリケーションエンジニア
- ・Webエンジニア
- ・データサイエンティスト
- ・データアナリスト
- ・教員(高校情報科)
- ・公務員





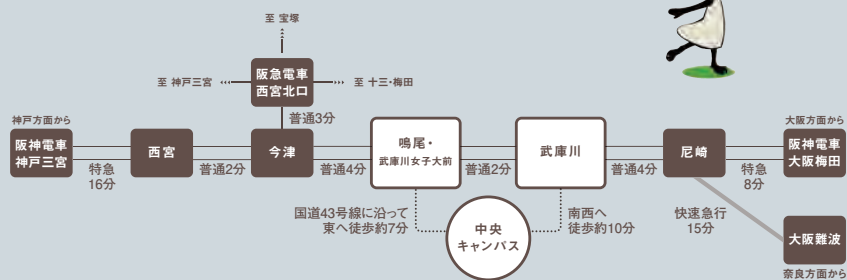
## 健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科(仮称) 設置概要

学科名	スポーツマネジメント学科(仮称)
理念	スポーツをビジネス的視点から学び、スポーツマネジメントに関わる基礎的な知識・技能の習得・実践を通して、スポーツ関連の企業や団体の経営、スポーツイベントの企画・運営などのスポーツビジネス分野に進出する人材の養成
入学定員	100名
修業年限	4年
開設時期	2023年4月 予定
学位	学士(スポーツマネジメント学)
開設場所	中央キャンパス(兵庫県西宮市)
初年度納付金※	1,459,700円
類似学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>■立命館大学 スポーツ健康科学部</li> <li>■関西大学 人間健康学部</li> <li>■大阪経済大学 人間科学部</li> <li>■大阪体育大学 体育学部 健康・スポーツマネジメント学科</li> </ul> 初年度納付金<参考> 1,173,000円~1,506,000円 <small>※出典:2021年4月各大学HPより 詳しくは各大学にお問い合わせください。</small>

※初年度納付金には、入学金、授業料、教育充実費を含みます。(2023年度入学者対象)  
 ※2021年4月時点での学費を参考にした金額であり、変更となる可能性があります。

## 交通アクセス

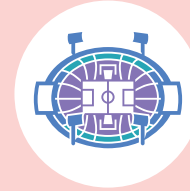
武庫川女子大学中央キャンパスへは、阪神電車のご利用が便利です。  
 阪急電車ご利用の場合は、阪急西宮北口にて今津線にお乗り換えのうえ今津駅より阪神電車をご利用ください。  
 ※下記のアクセス方法・時間は一例です。曜日や時間帯によって異なりますので、十分注意してください。



中央キャンパス	文学部、教育学部、健康・スポーツ科学部、生活環境学部、食物栄養科学部、音楽学部、看護学部、経営学部、短期大学部、大学院、専攻科
浜甲子園キャンパス	薬学部、大学院
上甲子園キャンパス	建築学部、大学院

## ●お問い合わせ

〒663-8558 兵庫県西宮市池間町6-46 TEL. 0798-45-3500 FAX. 0798-45-3563  
 入試センター  
 テレフォンサービス(24時間) 入試情報 TEL. 0798-45-8888 <https://www.mukogawa-u.ac.jp/>



SPORTS BUSINESS

健康・スポーツ科学部

# スポーツ マネジメント学科

(仮称)  
誕生 (2023年4月 設置構想中)

SPORTS COACHING

SPORTS



SPORTS MANAGEMENT

GYM



# スポーツの発展を通して より豊かな社会づくりをめざす 女子大で最先端をいく専門学科

## 【社会背景】

成長を続けるスポーツビジネスの現場で女性のニーズが拡大中！

人々の健康志向の高まりや趣味・レクリエーションの多様化などを背景に、需要が高まる現代のスポーツビジネス。さらにその中身も、スポーツチームの運営から用品・用具の開発、身近な健康づくりの支援まで、多岐にわたります。人々にとってスポーツが身近になった今、現場で求められるのは幅広い課題にもきめ細かく対応できる女性の視点。スポーツへの情熱とスポーツマネジメントの実践力を兼ね備えた女性の登壇に、期待が集まっています。

## 【設置の目的】

スポーツの理解や競技経験を社会に活かせる実践力に！

スポーツビジネスを支援できる女性の需要増加に伴い、武庫川女子大学では2023年4月、健康・スポーツ科学部にスポーツマネジメント学科を新設<sup>(※)</sup>。専門的な学びと実技をバランスよく配置した文武両道のプログラムを設け、スポーツへの理解を通して豊かなスポーツライフをマネジメントできる女性の育成をめざします。多様な活躍の場でスポーツ経験を発揮できるため、部活動や競技に打ち込んできた人にも最適な学度です。

(※設置構想中)

## スポーツマネジメント学科ならではの実践的な学び

### 基礎科目

#### スポーツビジネス最前線

スポーツビジネスの最前線で活躍するトップリーダーを講師に招き、オムニバス形式で豊かな経験に基づいたマネジメントの実践を学びます。



### 専門科目

#### スポーツイベントの企画・運営

スポーツイベントに係る実践的な知識、およびマネジメント手法を身につけます。



### 演習科目

#### スポーツマネジメント学内演習

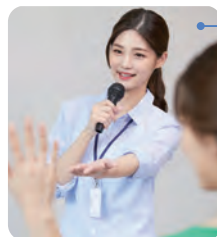
スポーツに関連するオリジナルウェアやグッズを学生たちで企画。マーケティングからプロモーション提案、お客様への販売、本学独自イベントの開催まで、一連のスポーツビジネスの手法を実際の体験を通して学びます。



### 実習科目

#### スポーツマネジメント学外実習

スポーツ関連企業やスポーツ団体と連携して実務を体験します。自分に合った活躍の場を発見できるチャンスです。



## スポーツマネジメント学科で

### 身につく 3つの力



#### スポーツマネジメント力

さまざまな課題・目的に応じてスポーツ組織を円滑に動かし、プロスポーツチームやスポーツイベントなどの運営を支える力。財務や経営の専門知識、組織の管理能力、豊かな発想力もここに含まれます。

#### 【将来のステージ】

- ◎プロスポーツチームのマネージャー
- ◎スポーツイベントの企画・運営者
- ◎スポーツメディアの実務者
- ◎競技組織のコミッショナー
- ◎地域スポーツ団体のマネージャー ほか

#### スポーツビジネス力

スポーツの魅力を生かしてスポーツビジネス業界内や、他産業にも広く発信し、さまざまな企業や地域社会を豊かにできる力。アスリートとコラボした商品企画やスポーツコスメの開発など、あらゆる舞台での活躍が可能になります。

#### 【将来のステージ】

- ◎スポーツ関連企業での企画・開発者
- ◎観光産業での企画・広報担当
- ◎美容系企業の企画・開発者
- ◎ヘルスケア産業での企画・運営者
- ◎メディア企業での企画・運営者 ほか

#### スポーツ指導・教育力

競技経験や専門的な知識を活かし、アスリートの成長や人々の美容・健康づくりを支援できる力。指導者・教育者にとって不可欠となる、人間力やコミュニケーション力も育みます。

#### 【将来のステージ】

- ◎保健体育科教員
- ◎地方自治体の行政職員
- ◎トップスポーツチームのコーチ
- ◎フィットネスクラブのマネージャー
- ◎ヘルスケア産業における指導者 ほか

## 5つの学びのフィールド

### 1 マネジメント領域

「組織／管理／会計／財務」に関する科目を学び、スポーツチームやスポーツイベントのマネジメントに関する理論と技法を習得。クラブチーム、スポーツ施設の運営、地域スポーツ振興の場で活躍できる人材をめざします。

### 2 マーケティング領域

「企画／開発／マーケティング」に関する科目を学び、スポーツ組織の戦略、製品・サービスの企画・開発、マーケティングに関する戦略を習得。顧客目線に立った企画・開発力を発揮し、地域社会やビジネスなどの発展に貢献できる人材をめざします。

### 3 実務領域

「実務／マネー／接客・接遇」に関する科目を学び、ビジネス実務の基礎と対人コミュニケーションの技法を習得。知性・情操・徳性を養い、洗練されたコミュニケーション能力を有する人材をめざします。

### 4 生活・健康領域

「ヘルスケア／ホスピタリティ／ツーリズム」に関する科目を学び、地域社会やビジネスの場で発揮できるホスピタリティマインドを養成。生活の豊かさや健康の向上に貢献できる人材をめざします。

### 5 先端ビジネス領域

「イノベーション／メディア／トップスポーツ」に関する科目を学び、日々進化するマネジメントやビジネスへの高い感度と情報リテラシーを養成。スポーツ産業の発展に貢献できる人材をめざします。

## 取得できる資格(予定)

- 中学校教諭一種免許状(保健体育)
- 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

- 初級障がい者スポーツ指導員
- 中級障がい者スポーツ指導員
- レクリエーション・インストラクター
- スポーツ・レクリエーション指導者

※卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが資格取得は卒業の必須条件ではない。

※卒業要件単位に含まれる科目のみで資格取得可能だが、資格取得は卒業の必須条件ではない。

## 取得できる受験資格(予定)

- 健康運動指導士
- 健康運動実践指導者

※卒業要件単位に含まれる科目のみで受験資格取得可能だが、資格取得は卒業の必須条件ではない。

## 講習及び試験科目一部免除(予定)

- スポーツリーダー
- ジュニアスポーツ指導員
- スポーツプログラマー
- アシスタントマネージャー

※卒業要件単位に含まれる科目のみで講習及び一部科目免除だが、資格取得は卒業の必須条件ではない。

## めざせる資格・検定

- 日商簿記検定3級
- ファイナンシャル・プランニング技能検定3級
- イベント検定
- スポーツイベント検定
- 販売士
- スポーツ施設管理士
- マナー検定3級

※卒業要件単位に含まれる科目のみで受験可能だが、資格取得は卒業の必須条件ではない。

## 心理・社会福祉学部 想定競合校の学納金

(単位：円)

大 学 名	入学金	授業料	教育充実費等	諸会費等	初年度納付金	適用年度
武庫川女子大学 心理・社会福祉学部	200,000	995,000	230,000	14,700	1,439,700	R5年 度
立命館大学 総合心理学部	200,000	1,206,600	—	23,000	1,429,600	R4年度
神戸学院大学 心理学部心理学科	300,000	810,000	310,000	49,300	1,469,300	R4年度
神戸女子大学 心理学部心理学科	250,000	850,000	270,000	35,000	1,405,000	R4年度
関西学院大学 人間福祉学部社会福祉学科	200,000	1,152,000	—	—	1,352,000	R4年度
京都女子大学 現代社会学部	250,000	840,000	250,000	10,000	1,350,000	R4年度
神戸医療福祉大学 人間社会学部社会福祉学科	200,000	700,000	300,000	30,000	1,230,000	R4年度

※各大学 Web サイト、河合塾大学入試情報サイト「Kei-Net」より

## 社会情報学部 想定競合校の学納金

(単位：円)

大 学 名	入学金	授業料	教育充実費等	諸会費等	初年度納入金	適用入学 年度
武庫川女子大学 社会情報学部	200,000	990,000	180,000	14,700	1,384,700	R5 年度
近畿大学 情報学部	250,000	1,442,000	20,000	6,500	1,718,500	R4 年度
関西大学 総合情報学部	260,000	1,302,000	0	27,000	1,589,000	R4 年度
同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科	260,000	916,000	370,000	17,000	1,563,000	R4 年度
甲南女子大学 文学部メディア表現学科	250,000	760,000	350,000	45,700	1,405,700	R4 年度
同志社女子大学 現代社会学部情報システム学科	260,000	802,000	240,000	17,000	1,319,000	R4 年度
京都女子大学 現代社会学部	250,000	800,000	250,000	10,000	1,310,000	R4 年度

## 近畿圏以外の“社会情報”を掲げる学部を擁する大学の学納金

大 学 名	入学金	授業料	教育充実費等	諸会費等	初年度納入金	適用入学 年度
青山学院大学 社会情報学部	200,000	1,007,000	401,000	52,000	1,660,000	R4 年度
大妻女子大学 社会情報学部	250,000	755,000	420,000	39,350	1,464,350	R4 年度
十文字学園女子大学 社会情報デザイン学部	250,000	750,000	330,000	64,660	1,394,660	R4 年度

※各大学 Web サイト、河合塾大学入試情報サイト「Kei-Net」より

## スポーツマネジメント学科 想定競合校の学納金

(単位：円)

大 学 名	入学金	授業料	教育充実費等	諸会費等	初年度納付金	適用年度
武庫川女子大学 健康・スポーツ学部スポーツ マネジメント学科	200,000	995,000	256,000	14,700	1,465,700	R5 年度
大阪体育大学 体育学部 健康・スポーツマネジメント学科	300,000	910,000	252,000	44,000	1,506,000	R4 年度
立命館大学 スポーツ健康科学部	200,000	1,219,000	0	31,000	1,450,000	R4 年度
関西大学 人間健康学部	260,000	970,000	0	27,000	1,257,000	R4 年度
大阪経済大学 人間科学部	270,000	710,000	180,000	13,000	1,173,000	R4 年度
大阪成蹊大学 経営学部 スポーツマネジメント学科	250,000	795,000	197,000	42,160	1,284,160	R4 年度

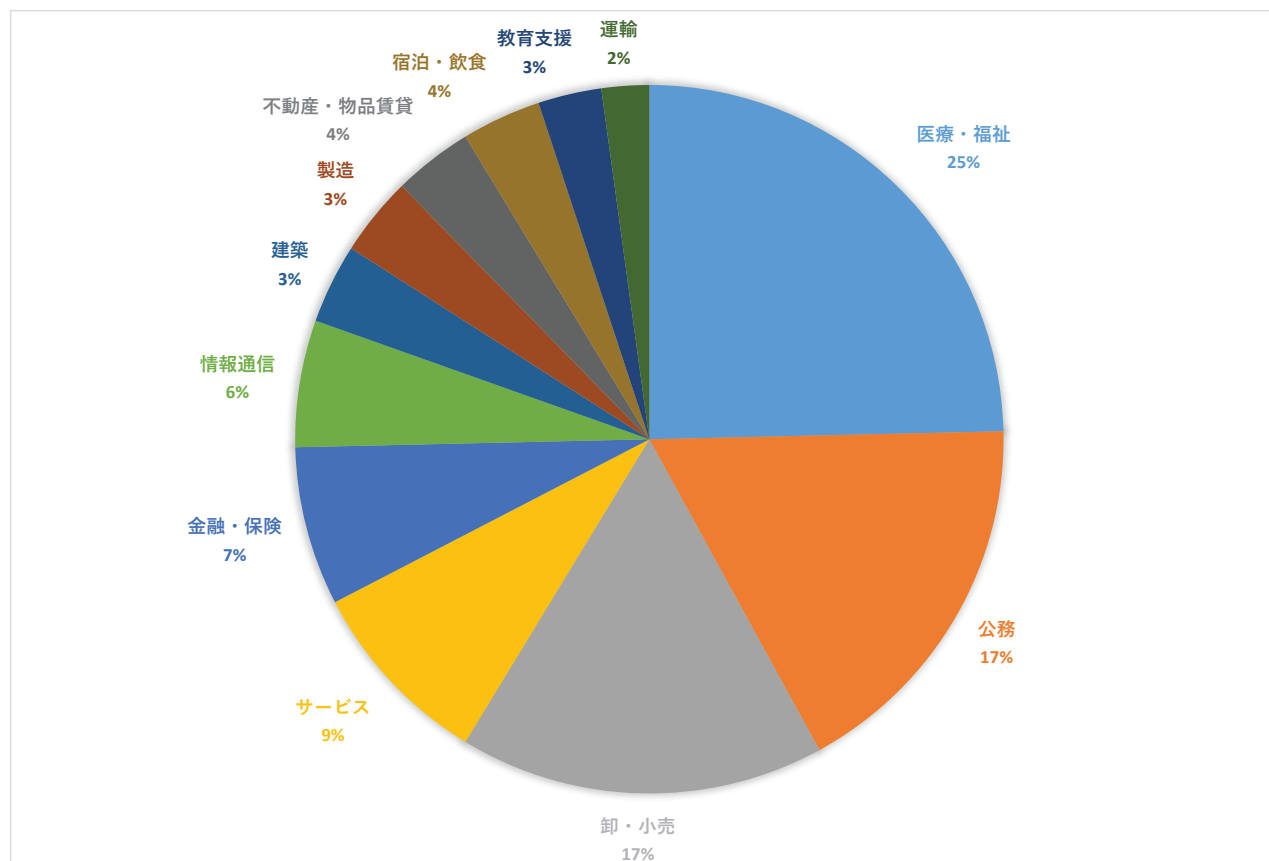
## 近畿圏以外の“スポーツマネジメント”を掲げる学部学科を擁する主要大学の学納金

大 学 名	入学金	授業料	教育充実費等	諸会費等	初年度納付金	適用年度
順天堂大学 スポーツ健 康科学部スポーツマネジ メント学科	200,000	700,000	450,000	123,660	1,473,660	R4 年度
日本体育大学 スポーツ マネジメント学部	300,000	800,000	460,000	38,000	1,598,000	R4 年度
中京大学 スポーツ科学 部スポーツマネジメント 学科	200,000	890,000	415,000	50,000	1,555,000	R4 年度
東海大学 体育学部 スポーツ・レジャーマネ ジメント学科	200,000	1,269,000	0	59,200	1,528,200	R4 年度

※各大学 Web サイト、河合塾大学入試情報サイト「Kei-Net」より

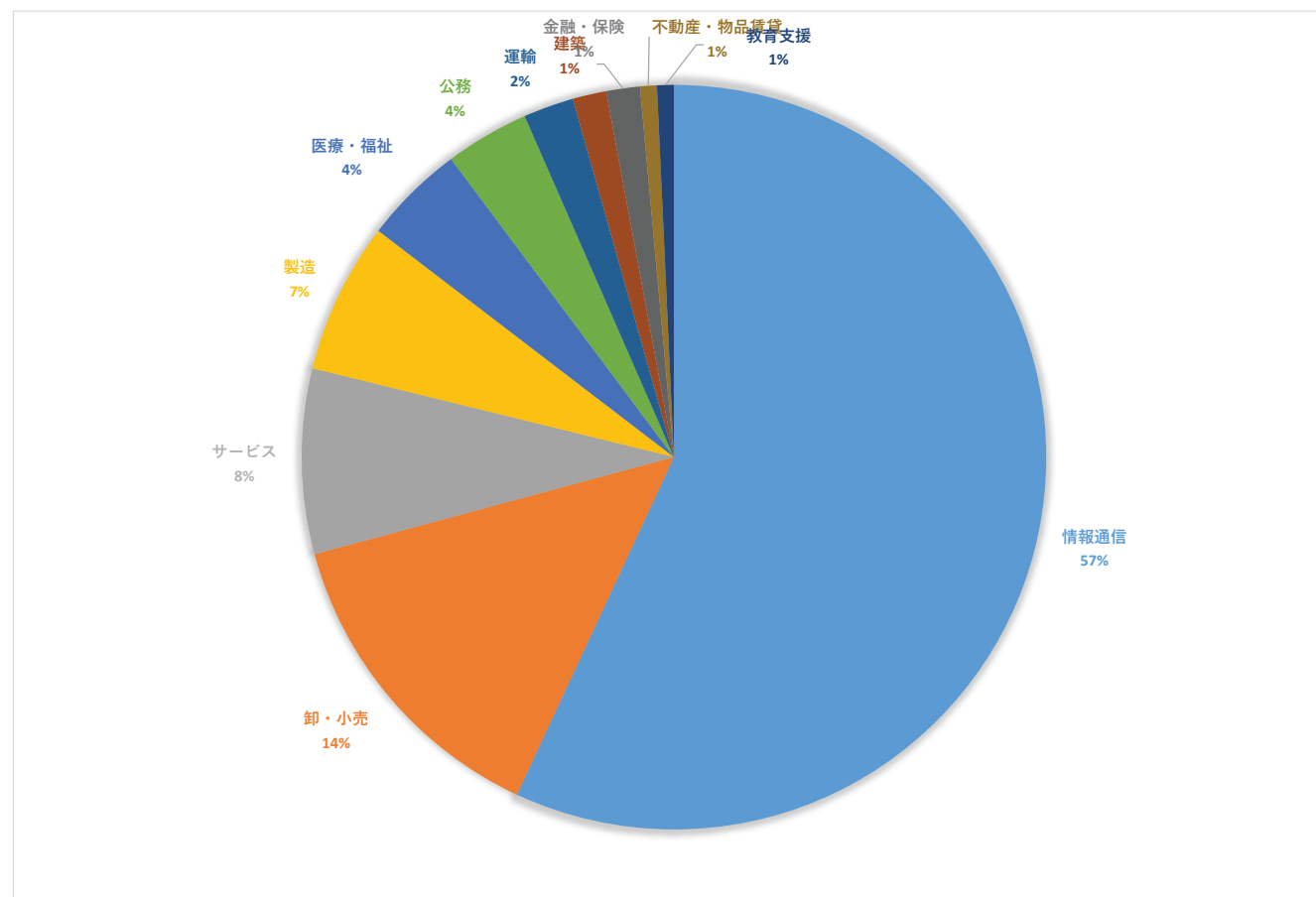
## 文学部心理・社会福祉学科の進路状況（令和2年度卒業生）

卒業生数		173
就職希望者数		145
就職者数		138
就職率		95.2
就職以外の 進路	進学者	11
	専修学校等進学者	1
	留学・渡航	0
	その他	16
	就職者の 業 種 別 内 訳	
	医療・福祉	34
	公務	24
	卸・小売	23
	サービス	12
	金融・保険	10
	情報通信	8
	建築	5
	製造	5
	不動産・物品賃貸	5
	宿泊・飲食	5
	教育支援	4
	運輸	3
	電気・ガス・熱供給・水道	0



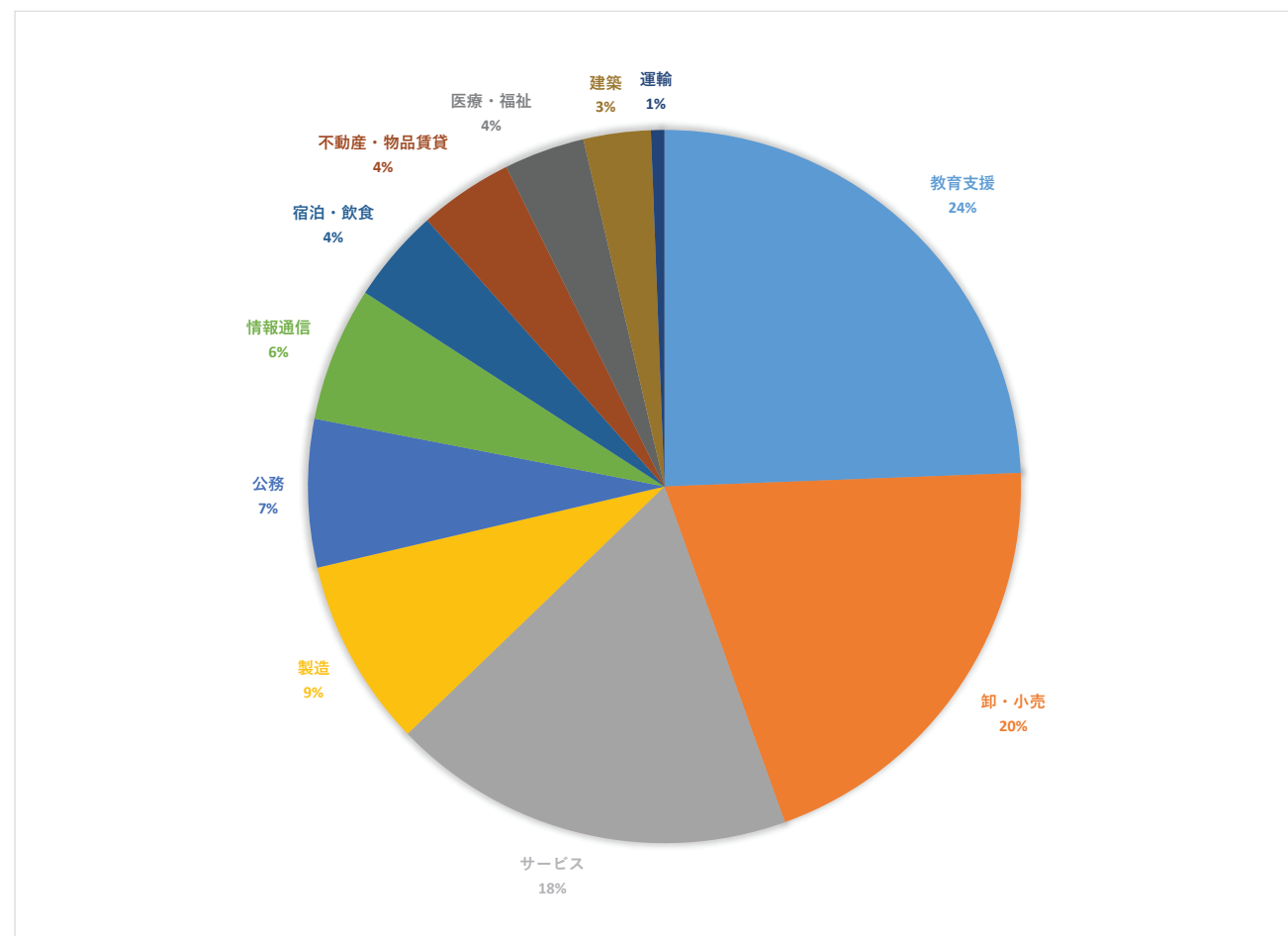
## 生活環境学部情報メディア学科の進路状況（令和2年度卒業生）

卒業生数		155
就職希望者数		137
就職者数		137
就職率（%）		100
就職 以外 の 進 路	進学者	1
	専修学校等進学者	1
	留学・渡航	0
	その他	16
就職 者の 業 種 別 内 訳	情報通信	78
	卸・小売	19
	サービス	11
	製造	9
	医療・福祉	6
	公務	5
	運輸	3
	建築	2
	金融・保険	2
	不動産・物品賃貸	1
	教育支援	1
	電気・ガス・熱供給・水道	0
	宿泊・飲食	0



## 健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科の進路状況（令和2年度卒業生）

卒業生数		181
就職希望者数		163
就職者数		163
就職率（%）		100
就職 進路 以外 の	進学者	4
	専修学校等進学者	1
	留学・渡航	1
	その他	12
就職者 の業 種別 内訳	教育支援	40
	卸・小売	33
	サービス	30
	製造	14
	公務	11
	情報通信	10
	宿泊・飲食	7
	不動産・物品賃貸	7
	医療・福祉	6
	建築	5
	運輸	1
	金融・保険	0
	電気・ガス・熱供給・水道	0





情報で、10年後の暮らしは変わる。

設置概要

学 部：社会情報学部(仮称)
学 科：社会情報学科(仮称)
学 位：学士(社会情報学)
入学定員：180名(募集予定人数:情報メディア専攻140名、情報サイエンス専攻40名)
修業年限：4年
開設時期：2023年4月予定
開設場所：中央キャンパス(兵庫県西宮市)

◎初年度納付金※ 1,384,700円

※初年度納付金には、入学金、授業料、教育充実費を含みます。(2023年度入学者対象)
※2021年4月時点での学費を参考にした金額であり、変更となる可能性があります。

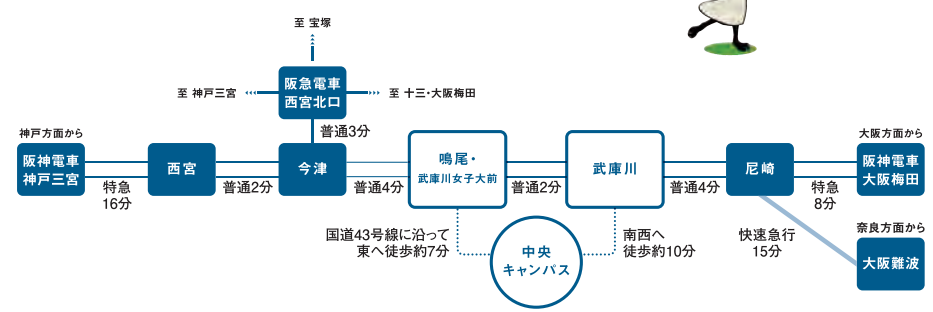
◎類似学部

- 関西大学/総合情報学部
同志社女子大学/学芸学部 メディア創造学科
京都女子大学/現代社会学部 現代社会学科 情報システム専攻
兵庫県立大学/社会情報科学部 社会情報科学科

※初年度納付金(参考) 817,800円~1,589,000円
※出典：2021年4月各大学HPより
詳しくは各大学にお問い合わせください。

Access

武庫川女子大学中央キャンパスへは、阪神電車のご利用が便利です。
阪急電車ご利用の場合は、阪急西宮北口にて今津線にお乗り換えのうえ今津駅より阪神電車をご利用ください。
※下記のアクセス方法・時間は一例です。曜日や時間帯によって異なりますので、十分注意してください。



Mukogawa Women's University logo and name in Japanese and English.

Table listing campus locations and associated departments: 中央キャンパス (文学部, 教育学部, etc.), 浜甲子園キャンパス (薬学部, 大学院), 上甲子園キャンパス (建築学部, 大学院).

お問い合わせ
入試センター 〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46 TEL. 0798-45-3500 FAX. 0798-45-3563
テレフォンサービス(24時間) 入試情報 TEL. 0798-45-8888 https://www.mukogawa-u.ac.jp/

Large graphic advertisement for the new department. Text includes: 'ビッグデータで暮らしが豊かになる?', 'AIが、これからの企業を変えていく?', '情報技術で、人々の娯楽も変化する?'. It features a cityscape background with data points and labels for '社会 X IT', '生活 X 文化', and '生活 X 経済'.

文理融合学部 社会情報学部 社会情報学科(仮称) 誕生
(2023年4月 設置構想中)

Mukogawa Women's University logo and name in Japanese and English.

※記載の内容は、構想中のものであり、変更される可能性があります。

# 2023年4月、社会情報学部 社会情報学科〈仮称〉誕生

## 社会×IT

### これからの社会に不可欠な データ活用の担い手

SNSやウェブサイト、ICカードをはじめ、社会のさまざまなシーンで集積されたビッグデータを活用することは、ビジネスはもちろん、私たちの暮らしをより豊かにする可能性を秘めています。医療、防災・減災対策、街づくりなどにも生かすことができ、あらゆる分野でビッグデータの活用に注目が集まる中、データ活用の担い手が必要とされています。

## 生活×文化

### 情報技術で新たな価値をつくる 創造力豊かな人材が必要に

VRで世界中の観光地を体験できたり、スポーツができた、今後ますますバーチャリアリティの世界は進化していきます。また、仕事では煩雑な作業をAIに任せることで効率が上がったり、AIを駆使して家事も簡略化される、未来の私たちの生活。情報技術によって、趣味に費やせる時間も増え、これからの余暇の楽しみ方も大きく変化していくでしょう。

## 生活×経済

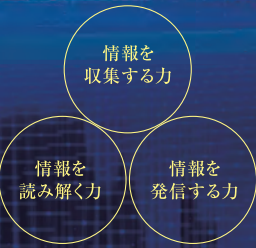
### 今後求められるのは AIを賢く利用する企業人

大量のデータによるディープラーニングを通じて、さまざまな能力を向上させるAI。AIを活用すれば、個々の消費者のニーズに合わせた商品情報やサービスの提供が可能。また、人びとの働き方も大きく変化します。これからの企業では、人間がAIを賢く活用し、消費者や労働者にいかに豊かな価値を提供できるかが重要になるのです。

## Society5.0時代の豊かな暮らしと社会を 創造する女性を育成。

2023年、武庫川女子大学に社会情報学部が誕生します(※)。ICT社会の生活を、「社会・経済」と「情報」という文理融合の幅広い視点から学びます。専門科目ではメディアやコミュニケーションなどをテーマに暮らしと社会を考える講義とともに、情報技術に関する演習を履修します。さらに、データを扱う実践的演習科目を履修し、実社会の問題解決に役立つ、生きたスキルの修得をめざします。

(※設置構想中)



### 設置の背景

AI(人工知能)やIoT(Internet of Things)、ロボットなどに代表されるデジタル技術が急速に進化する今、社会や暮らしのあり方が急速に変化しつつあります。そんな時代の変革期に、情報やマルチメディアの知識・技能を生かし、社会で活躍し、豊かに生き抜くことができる人材の育成が本学部の目標です。

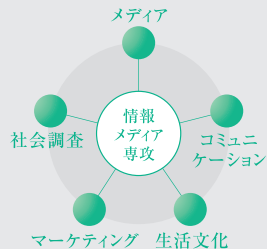
### 養成する人物像

ICT社会における社会・経済・情報に関わる幅広い知識や技能を身に付けます。多元的な視点を有する個人としての強みを発揮し、情報を扱う実践力を持ち、社会の課題に主体的に取り組み、新たな価値を創出できる人材を育てています。

## 文系 情報メディア専攻〈仮称〉

### 情報化社会と人びとの暮らしをつなぐ 「情報のコミュニケーター」を育成

“人間の生活”と“情報化社会”の関わりを理解し、ICTを活用したこれからの豊かな暮らしを編集・設計・演出するスキルの修得をめざします。また、文化や経済をさまざまなデータから分析するコミュニケーションやマーケティングなどの基礎科目や演習科目も履修。身に付けたスキルを実際に社会で生かせるよう、社会の課題を発見し、その解決に向けた対応力を養う科目も受講していきます。



【開設科目】  
コミュニケーション論、メディア論、文化社会学、経営情報論、マーケットデザイン演習、統計学、社会調査 等

### 専攻の特色 実社会の課題に取り組む「プロジェクト演習」

1年次からスタートする「プロジェクト演習」ではチームで課題解決に取り組むプロセスを体験し、2年次には実際に企業の課題解決にも取り組みます。企業のWeb戦略を分析したり、消費者の行動をさまざまなデータから読み解いたり、広告制作に取り組んだり、ヒアリング調査を行ったり、プロジェクトのテーマは多岐。実践的な授業を通して、課題発見・解決スキルの向上はもちろん、主体性や社会性も養っていきます。

### 想定される 将来のステージ

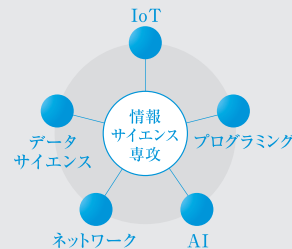
- ◎IT業界の企画・営業職
- ◎Webデザイナー
- ◎システムエンジニア
- ◎データアナリスト
- ◎メディア産業のプロデューサー
- ◎旅行業界の企画・営業職
- ◎金融機関のデジタル職
- ◎eコマース関連の企画・営業職
- ◎教員(高校情報科)
- ◎公務員



## 理系 情報サイエンス専攻〈仮称〉

### 情報技術から豊かな暮らしをつくる 「情報のスペシャリスト」を育成

スマートフォンをはじめ、AIやIoT、ロボットなどの最先端技術が社会を変革する時代に、ICT機器を操作して、情報を活用する能力の向上をめざします。コンピュータ、プログラミング、ネットワーク、セキュリティなどの高度な情報技術を修得。さらに、人工知能やビッグデータを、社会や企業の課題解決に役立てるため、データサイエンスや統計学の科目も充実させています。



【開設科目】  
データサイエンス論、AI概論、プログラミング演習、コンピュータネットワーク応用、システム設計 等

### 専攻の特色 反転授業\*1、ハッカソン\*2、徹底した少人数による充実したデータサイエンス教育

学生の主体的な反転授業によりプログラミングの基礎を学び、「ハッカソン(ハッキング+マラソン)」を通して確かなプログラミング技能を養います。データサイエンスとAIについては最重要教科として1年次から4年次まで一貫した授業科目を配置し、この中でビッグデータや金融系の情報技術についても学びます。徹底した少人数のゼミでは、指導教員の専門性に応じて、VR・AR、IoT技術なども学びます。

\*1 自宅学習で知識を修得し、授業では詳しい解説や発展問題を扱う、従来の教育方法の順番を反転させた新しい学習方法。  
\*2 ハック(hack)とマラソン(marathon)を組み合わせた造語。短期間で集中的に意見やアイデアを出し合う共同開発作業。





---

---

武庫川女子大学  
「心理・社会福祉学部」  
「社会情報学部」  
「健康・スポーツ科学部  
スポーツマネジメント学科」(すべて仮称)  
設置に関するニーズ調査  
結果報告書  
【企業・団体対象調査】

---

---

令和3年10月  
株式会社 進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 企業対象 調査概要

## 1. 調査目的

2023年4月開設予定の武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」新設構想に関して、企業・団体のニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		企業・団体対象調査
調査対象		企業・団体の採用担当者
調査エリア		北海道、青森県、宮城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	1,413企業
	回収数(回収率)	380企業・団体(26.9%)
調査時期		2021年6月21日(月)～2021年8月10日(火)
調査実施機関		株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

企業・団体対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・人事採用への関与度</li><li>・本社所在地</li><li>・業種</li><li>・従業員数</li><li>・正規社員の平均採用人数</li><li>・各学部・学科・専攻の社会的必要性</li><li>・各学部・学科・専攻卒業生に対する採用意向</li><li>・各学部・学科・専攻卒業生の毎年の採用想定人数</li></ul>

## 企業対象 調査結果まとめ



## 企業対象 調査結果まとめ

### 回答企業(回答者)の属性

※本調査は、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」に対する需要を確認するための調査として設計したため、武庫川女子大学卒業生への採用実績のある企業・団体(以降、企業と表記)380企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施した。

- 本調査の回答企業は380企業(回収率26.9%)。
- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人が26.8%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人は63.9%であり、採用や選考にかかわっている人は合わせて90.7%である。
- 回答企業の本社所在地は、「大阪府」が36.6%と最も多い。次いで「東京都」が23.9%、武庫川女子大学の所在地である「兵庫県」が20.8%と続く。
- 回答企業の業種としては、「卸売・小売業」が22.6%で最も多く、次いで「情報通信業」が13.4%、「その他サービス業」が12.6%と続く。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「100名～500名未満」が35.3%で最も多い。次いで「1,000名～5,000名未満」が22.4%、「500名～1,000名未満」が17.6%と続く。

### 回答企業の採用状況

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は、「1名～5名未満」が17.9%で最も多く、次いで「10名～20名未満」が17.1%、「50名～100名未満」が16.6%と続く。採用人数の規模は様々であるが、毎年正規社員を採用している企業がほとんどである。

## 企業対象 調査結果まとめ

### <心理・社会福祉学部 心理学科>

#### 「心理・社会福祉学部 心理学科」の社会的必要性

- 武庫川女子大学「心理・社会福祉学部 心理学科」の社会的必要性については、94.5% (359企業) が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

#### 「心理・社会福祉学部 心理学科」卒業生に対する採用意向／毎年の採用想定人数

- 武庫川女子大学「心理・社会福祉学部 心理学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、73.9% (281企業) である。
- 「採用したいと思う」と答えた281企業へ武庫川女子大学「心理・社会福祉学部 心理学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数は合計385名程度で、予定している入学定員150名を大きく上回っている。

#### 想定される就職先からの採用意向

◇想定される就職先の業種別

- 上記281企業のうち、「心理・社会福祉学部 心理学科」卒業生の想定される就職先と関連の深い業種について、採用意向を抽出すると、「福祉施設・福祉関連業」では83.9% (31企業中、26企業)、「医療機関・病院」では58.8% (17企業中、10企業)、「公務」では76.2% (21企業中、16企業) である。加えて、「金融・保険業・不動産」では84.6% (39企業中、33企業)、「卸売・小売業」では82.6% (86企業中、71企業) と、多様な業種からの採用意向がみられる。以上を合わせると、156企業が採用意向を示している。
- 前述の156企業へ、「心理・社会福祉学部 心理学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数は合計217名程度である。このことから、「心理・社会福祉学部 心理学科」卒業生の想定される就職先の業種においても安定した人材需要があることがうかがえる。

※詳細はP13～P14参照。

## 企業対象 調査結果まとめ

### <心理・社会福祉学部 社会福祉学科>

#### 「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」の社会的必要性

- 武庫川女子大学「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」の社会的必要性については、96.3% (366企業) が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

#### 「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」卒業生に対する採用意向／ 毎年の採用想定人数

- 武庫川女子大学「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、69.7% (265企業) である。
- 「採用したいと思う」と答えた265企業へ武庫川女子大学「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数は合計393名程度で、予定している入学定員70名を大きく上回っている。

#### 想定される就職先からの採用意向

##### ◇想定される就職先の業種別

- 上記265企業のうち、「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」卒業生の想定される就職先と関連の深い業種について、採用意向を抽出すると、「福祉施設・福祉関連業」では96.8% (31企業中、30企業)、「医療機関・病院」では76.5% (17企業中、13企業)、「公務」では90.5% (21企業中、19企業) である。以上を合わせると、62企業が採用意向を示している。
- 前述の62企業へ、「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数は合計131名程度である。このことから、「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」卒業生の想定される就職先の業種においても安定した人材需要があることがうかがえる。  
※詳細はP15～P16参照。



## 企業対象 調査結果まとめ

### <社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻>

#### 「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」の社会的必要性

- 武庫川女子大学「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」の社会的必要性については、97.6% (371企業)が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科・専攻であると評価されていることがうかがえる。

#### 「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」卒業生に対する採用意向／毎年の採用想定人数

- 武庫川女子大学「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、81.8% (311企業)である。
- 「採用したいと思う」と答えた311企業へ武庫川女子大学「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数は合計421名程度で、予定している入学定員140名を大きく上回っている。

#### 想定される就職先からの採用意向

◇想定される就職先の業種別

- 上記311企業のうち、「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」卒業生の想定される就職先と関連の深い業種について、採用意向を抽出すると、「情報通信業」では96.1% (51企業中、49企業)、「製造業」では80.6% (31企業中、25企業)、「金融・保険業・不動産」では82.1% (39企業中、32企業)、「卸売・小売業」では90.7% (86企業中、78企業)である。以上を合わせると、184企業が採用意向を示している。
- 前述の184企業へ、「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数は合計235名程度である。このことから、「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」卒業生の想定される就職先の業種においても安定した人材需要があることがうかがえる。

※詳細はP17～P18参照。

## 企業対象 調査結果まとめ

### <社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻>

#### 「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」の社会的必要性

- 武庫川女子大学「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」の社会的必要性については、96.3% (366企業) が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科・専攻であると評価されていることがうかがえる。

#### 「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」卒業生に対する採用意向／毎年の採用想定人数

- 武庫川女子大学「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、82.6% (314企業) である。
- 「採用したいと思う」と答えた314企業へ武庫川女子大学「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数は合計427名程度で、予定している入学定員40名を大きく上回っている。

#### 想定される就職先からの採用意向

##### ◇想定される就職先の業種別

- 上記314企業のうち、「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」卒業生の想定される就職先と関連の深い業種について、採用意向を抽出すると、「情報通信業」では100.0% (51企業中、51企業)、「製造業」では90.3% (31企業中、28企業)、「金融・保険業・不動産」では84.6% (39企業中、33企業) である。以上を合わせると、112企業が採用意向を示している。
- 前述の112企業へ、「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数は合計151名程度である。このことから、「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」卒業生の想定される就職先の業種においても安定した人材需要があることがうかがえる。

※詳細はP19～P20参照。

## 企業対象 調査結果まとめ

### <健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科>

#### 「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の社会的必要性

- 武庫川女子大学「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の社会的必要性については、88.7% (337企業)が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

#### 「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」卒業生に対する採用意向／毎年の採用想定人数

- 武庫川女子大学「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、65.8% (250企業)である。
- 「採用したいと思う」と答えた250企業へ武庫川女子大学「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数は合計354名程度で、予定している入学定員100名を大きく上回っている。

#### 想定される就職先からの採用意向

◇想定される就職先の業種別

- 上記250企業のうち、「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」卒業生の想定される就職先と関連の深い業種について、採用意向を抽出すると、「福祉施設・福祉関連業」では64.5% (31企業中、20企業)、「製造業」では77.4% (31企業中、24企業)、「スポーツ・フィットネス・ヘルス関連業」では92.9% (14企業中、13企業)である。以上を合わせると、57企業が採用意向を示している。
- 前述の57企業へ、「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数は合計106名程度である。このことから、「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」卒業生の想定される就職先の業種においても安定した人材需要があることがうかがえる。

※詳細はP21～P22参照。

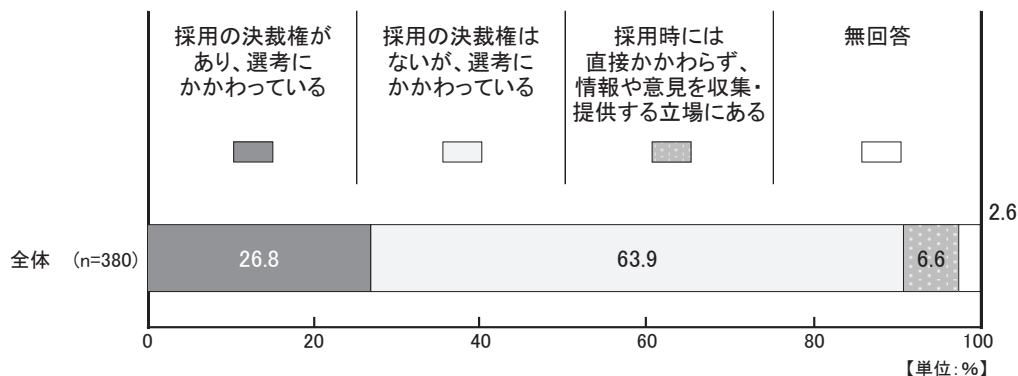
## 企業対象 調査結果



## 回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

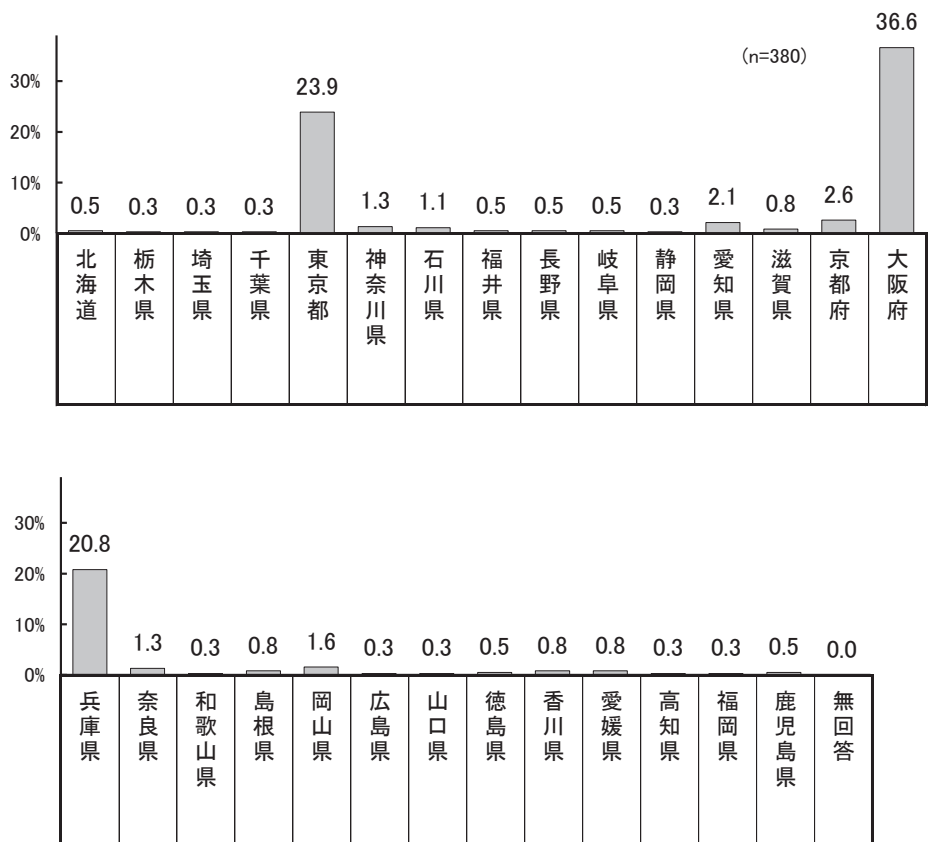
### ■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



### ■本社所在地

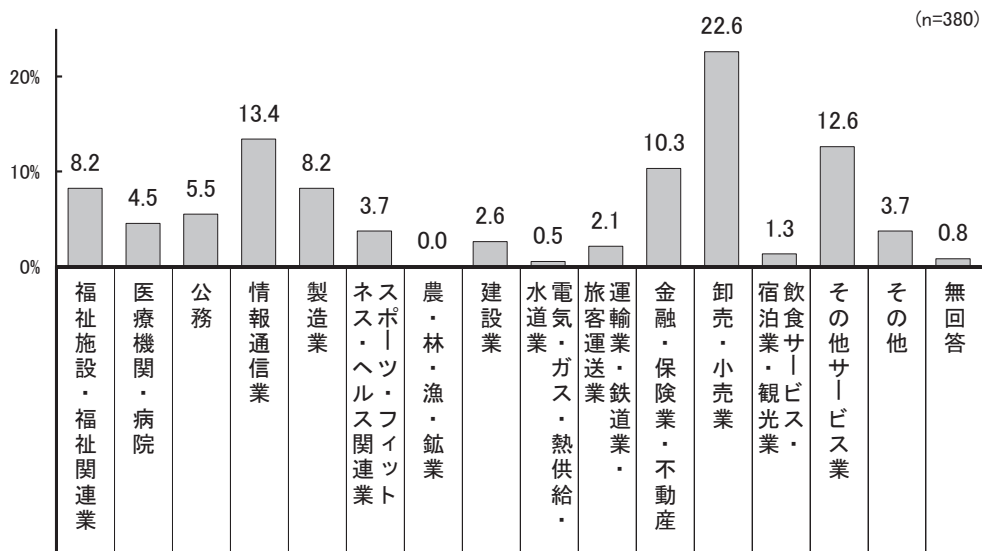
Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。



## 回答企業(回答者)の属性(業種/従業員数)

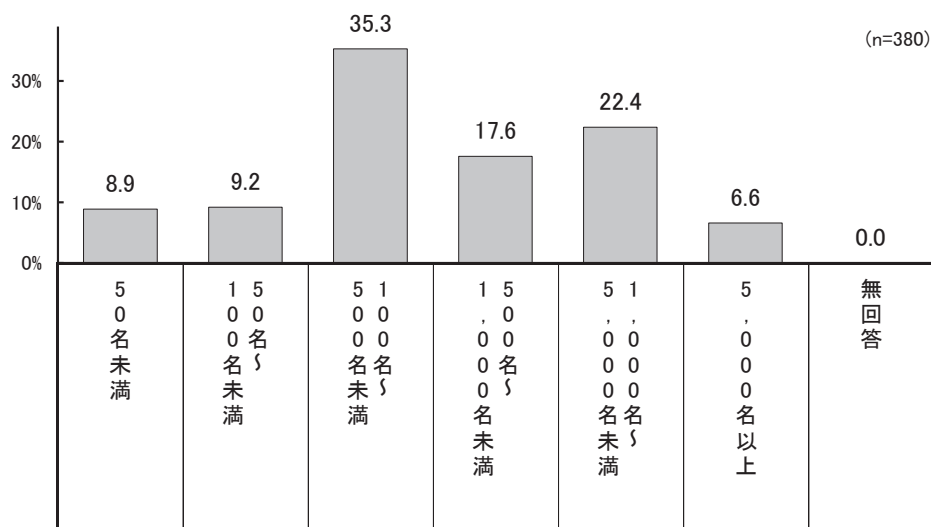
### ■業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



### ■従業員数

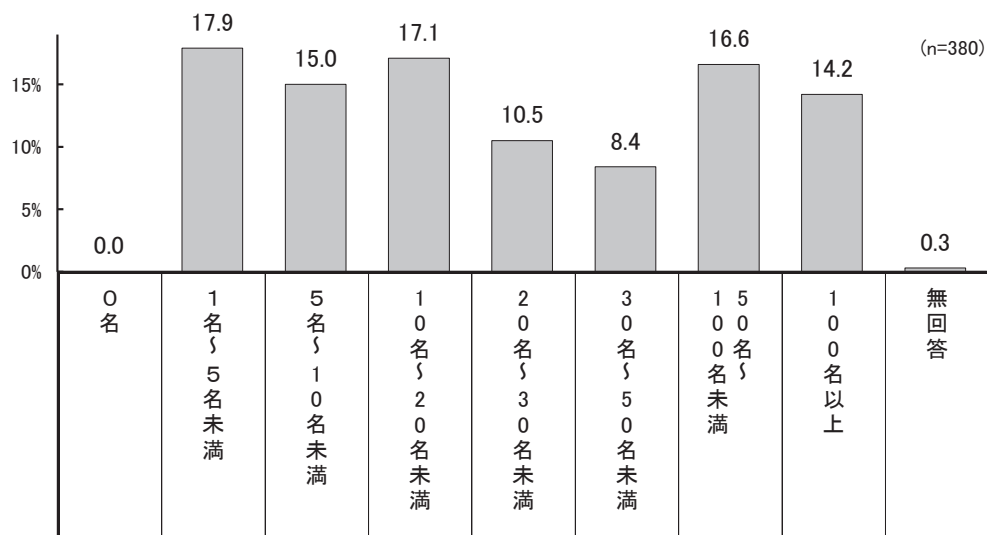
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



# 正規社員の平均採用人数

## ■正規社員の平均採用人数

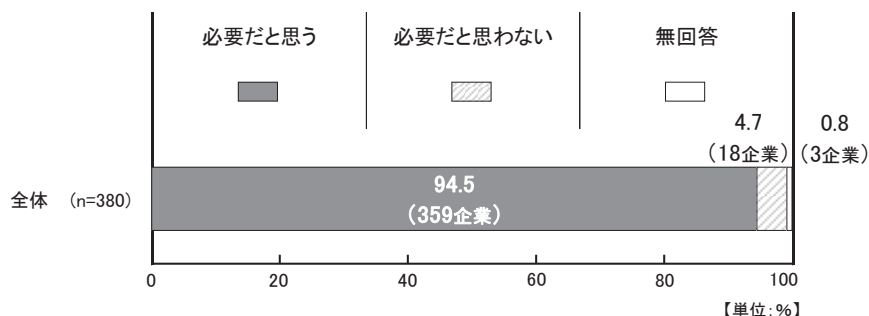
Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。(あてはまる番号1つに○)



## 「心理・社会福祉学部 心理学科」の社会的必要性／ 卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

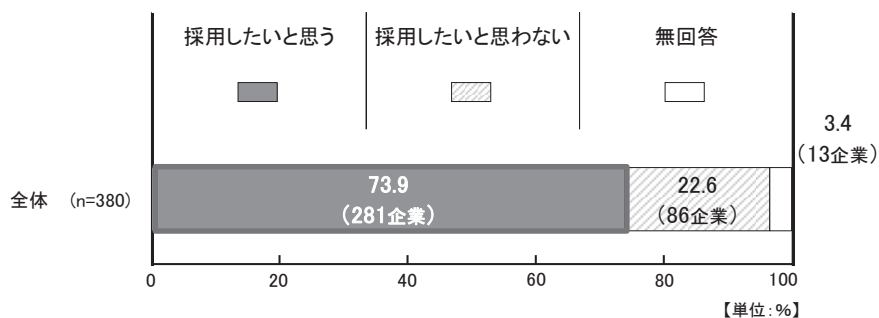
### ■「心理・社会福祉学部 心理学科」の社会的必要性

Q6. 貴社・貴団体(ご回答者)は、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部  
スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だ  
と思われますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



### ■「心理・社会福祉学部 心理学科」卒業生に対する採用意向

Q7. 貴社・貴団体(ご回答者)では、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部  
スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと  
思われますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



↓ 「採用したいと思う」と答えた281企業のみ抽出

### ■「心理・社会福祉学部 心理学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q8. Q.7でいずれかの学部・学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。武庫川女子  
大学の「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻  
(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。  
現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	計 (※よしの びたの採 用企業採 用想定人 数・計人 数・を )
		%	企業数	名				
全体	281	70.5%	12.5%	4.6%	0.7%	2.1%	1.4%	⇒ 258 385
		198	35	13	2	6	4	
		198	70	39	8	30	40	

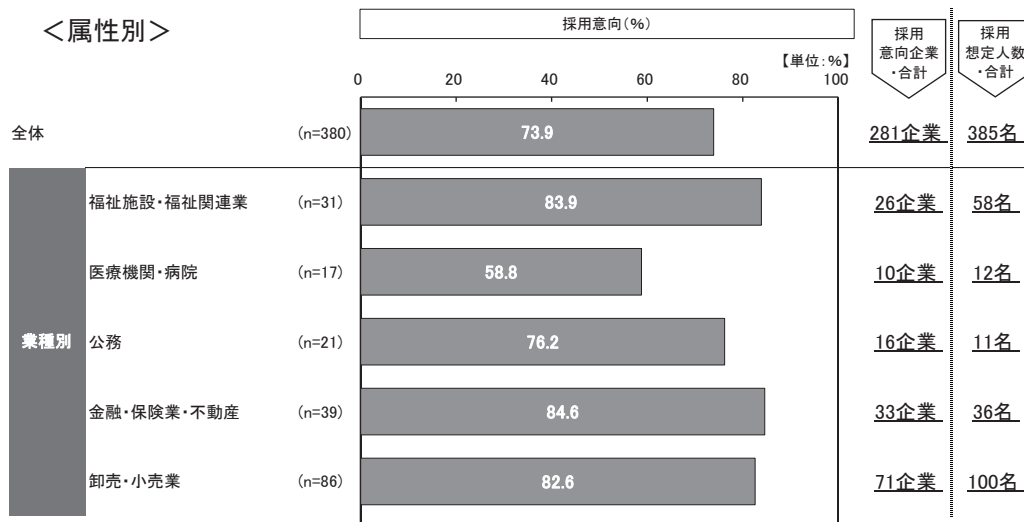
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出



## 「心理・社会福祉学部 心理学科」卒業生に対する 採用意向／採用想定人数＜属性別＞

### ■「心理・社会福祉学部 心理学科」卒業生に対する採用意向／ 採用想定人数＜属性別＞

※「心理・社会福祉学部 心理学科」に対して、Q7で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q8で具体的な人数を回答した企業の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。

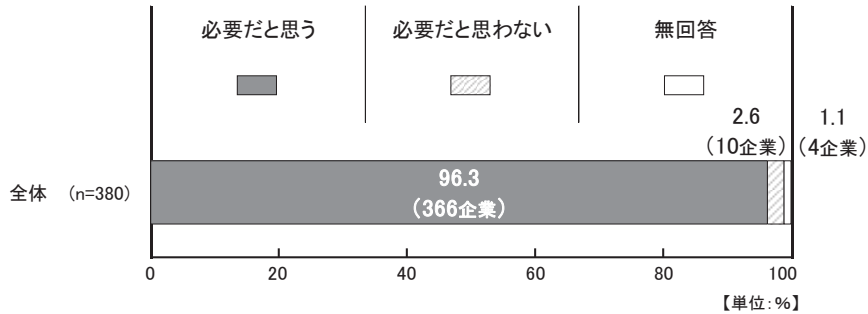


※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

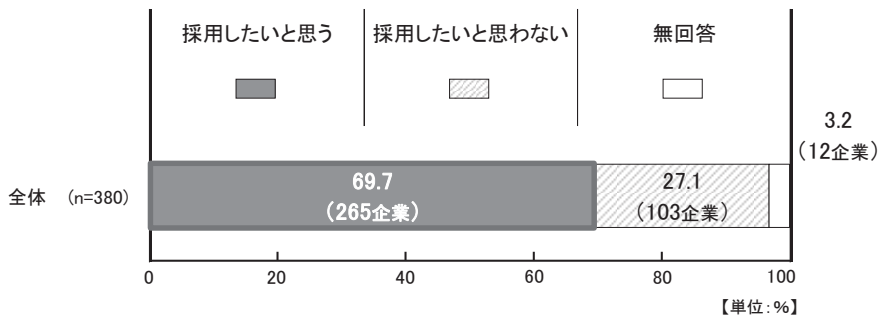
### ■「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」の社会的必要性

Q6. 貴社・貴団体(ご回答者)は、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



### ■「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」卒業生に対する採用意向

Q7. 貴社・貴団体(ご回答者)では、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



↓ 「採用したいと思う」と答えた265企業のみ抽出

### ■「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q8. Q.7でいずれかの学部・学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。武庫川女子大学の「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

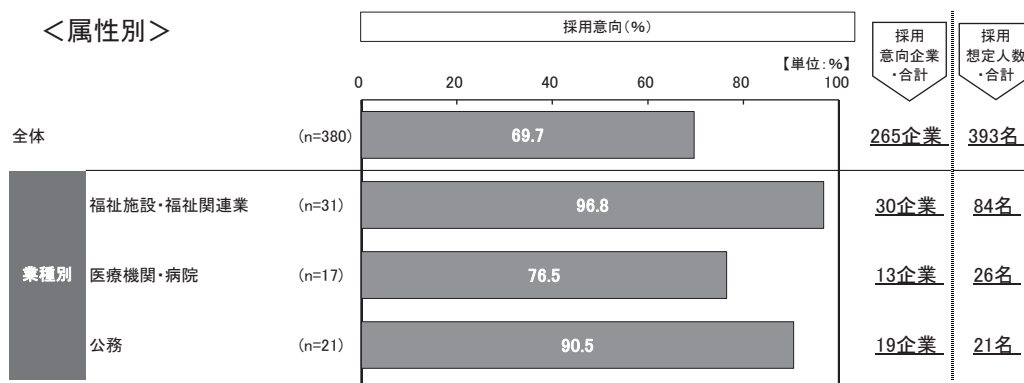
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	計 (※) 示 よしの びたの 採用 企業 採用 想定 人数 ・ 計 人数 を
		%	企業数	名	%	企業数	名	
全体	265	%	70.2%	10.6%	5.3%	0.4%	2.6%	⇒ 243 393
		企業数	186	28	14	1	7	
		名	186	56	42	4	35	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」卒業生に対する 採用意向／採用想定人数＜属性別＞

### ■「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」卒業生に対する採用意向／ 採用想定人数＜属性別＞

※「心理・社会福祉学部 社会福祉学科」に対して、Q7で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q8で具体的な人数を回答した企業の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。

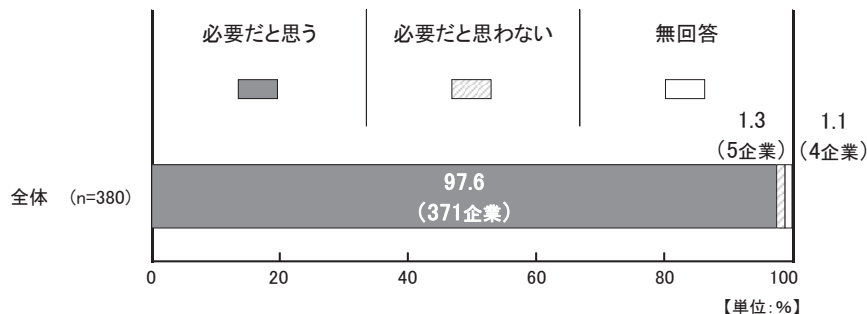


※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

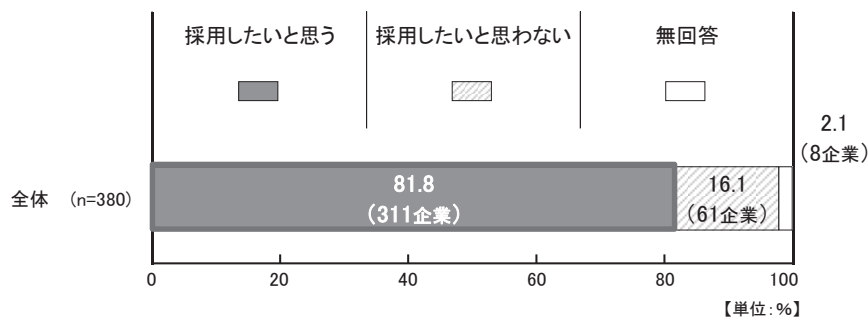
### ■「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」の社会的必要性

Q6. 貴社・貴団体(ご回答者)は、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



### ■「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」卒業生に対する採用意向

Q7. 貴社・貴団体(ご回答者)では、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思いますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



↓ 「採用したいと思う」と答えた311企業のみ抽出

### ■「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」卒業生の毎年の採用想定人数

Q8. Q.7でいずれかの学部・学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。武庫川女子大学の「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

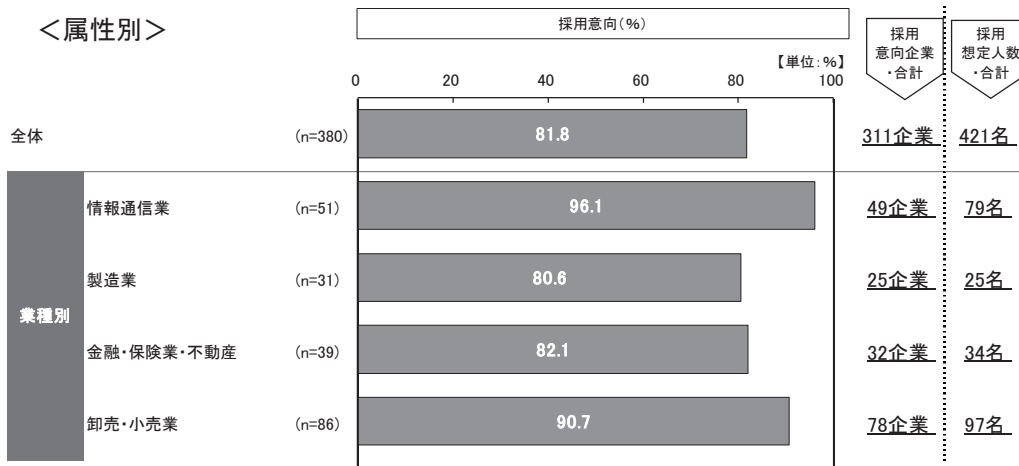
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 5名 9名	10名 以上	計 お示 (※び ( ) 採 用 企 業 採 用 想 定 人 数 計 人 数 ・ 人 数 を
		%	企業数	名	%	企業数	名	
全体	311	%	69.8%	14.5%	5.8%	0.0%	2.6%	⇒ 290 421
		企業数	217	45	18	0	8	
		名	217	90	54	0	40	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

### ■「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

※「社会情報学部 社会情報学科 情報メディア専攻」に対して、Q7で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q8で具体的な人数を回答した企業の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。

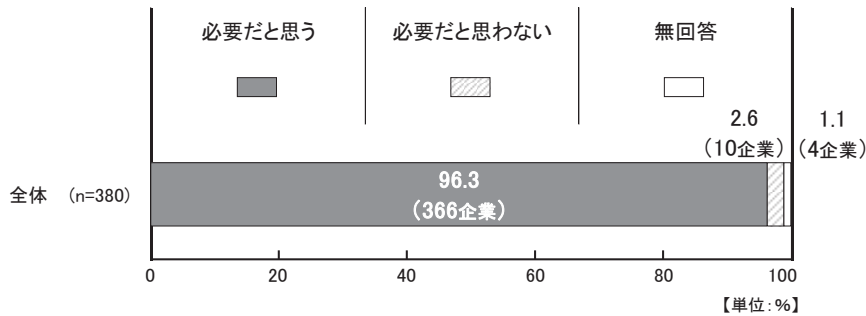


※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

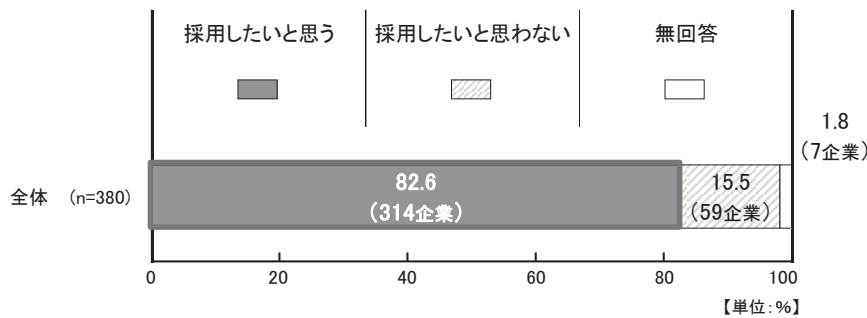
### ■「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」の社会的必要性

Q6. 貴社・貴団体(ご回答者)は、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



### ■「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」卒業生に対する採用意向

Q7. 貴社・貴団体(ご回答者)では、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた314企業のみ抽出

### ■「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」卒業生の毎年の採用想定人数

Q8. Q.7でいずれかの学部・学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。武庫川女子大学の「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

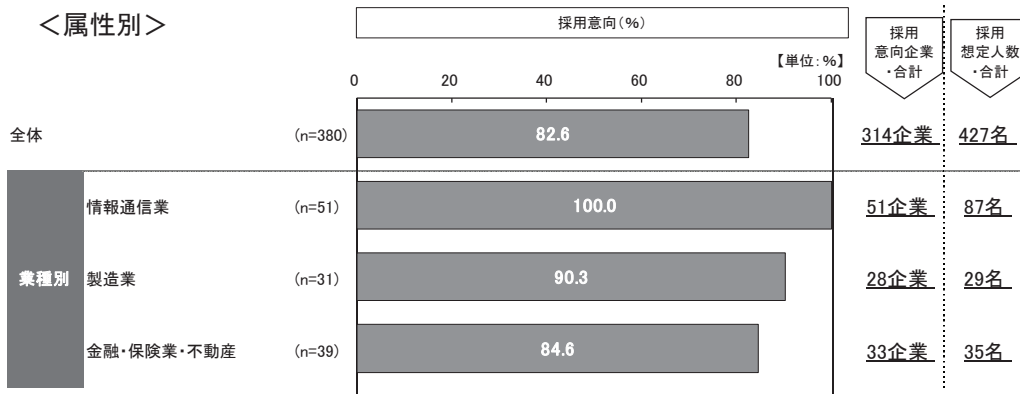
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 5 9名	10名 以上	計
		%	%	%	%	%	%	
全体	314	69.1%	14.6%	5.7%	0.3%	2.5%	0.6%	⇒ 292 427
	企業数	217	46	18	1	8	2	
	名	217	92	54	4	40	20	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

### ■「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

※「社会情報学部 社会情報学科 情報サイエンス専攻」に対して、Q7で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q8で具体的な人数を回答した企業の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。

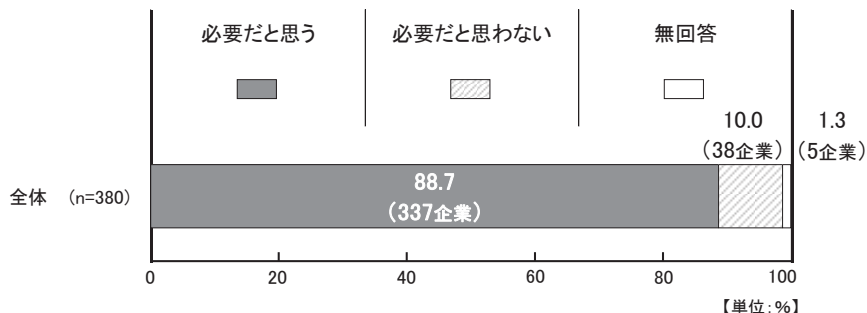


※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

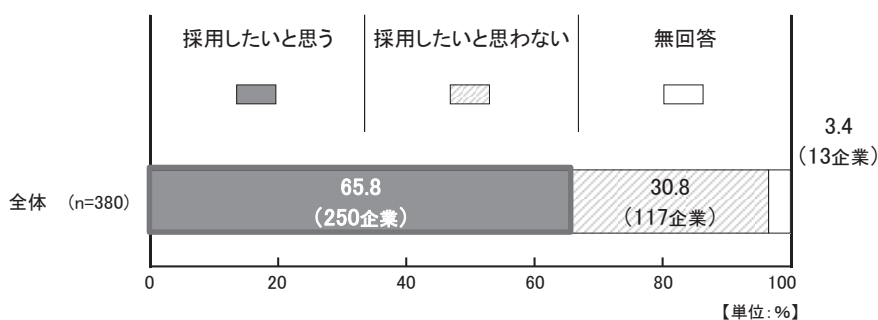
### ■「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の社会的必要性

Q6. 貴社・貴団体(ご回答者)は、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



### ■「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」卒業生に対する採用意向

Q7. 貴社・貴団体(ご回答者)では、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思えますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



↓ 「採用したいと思う」と答えた250企業のみ抽出

### ■「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q8. Q.7でいずれかの学部・学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。武庫川女子大学の「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 5 9名	10名 以上	計		
		%	企業数	名	%	企業数	名		%	
全体	250	%	70.4%	10.8%	6.8%	0.8%	2.8%	1.2%	⇒	
		企業数	176	27	17	2	7	3		232
		名	176	54	51	8	35	30		354

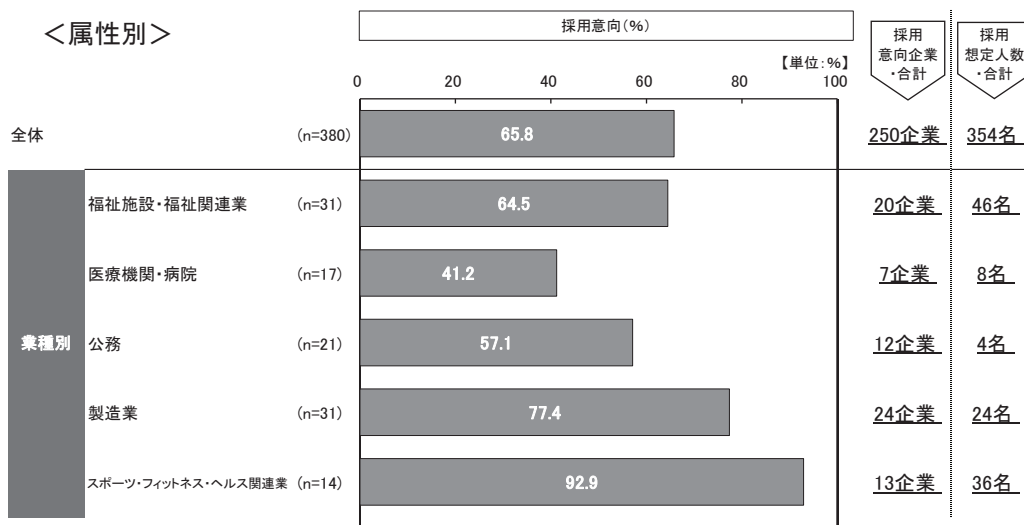
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出



## 「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

### ■「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

※「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」に対して、Q7で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q8で具体的な人数を回答した企業の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。



※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 卷末資料 調査票



# 調査票

<対象:人事・採用ご担当者様>

## 武庫川女子大学 「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」 「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」 (すべて仮称、設置構想中)に関するアンケート

武庫川女子大学では2023年4月に、「心理・社会福祉学部 心理学科/社会福祉学科」「社会情報学部 社会情報学科」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称)を設置することを構想しています。  
このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。  
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。  
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |               |                       |                    |
|---------------|-----------------------|--------------------|
| 1. 福祉施設・福祉関連業 | 6. スポーツ・フィットネス・ヘルス関連業 | 11. 金融・保険業・不動産     |
| 2. 医療機関・病院    | 7. 農・林・漁・鉱業           | 12. 卸売・小売業         |
| 3. 公務         | 8. 建設業                | 13. 飲食サービス・宿泊業・観光業 |
| 4. 情報通信業      | 9. 電気・ガス・熱供給・水道業      | 14. その他サービス業       |
| 5. 製造業        | 10. 運輸業・鉄道業・旅客運送業     | 15. その他            |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |               |                  |                    |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満      | 3. 100名～500名未満   | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上        |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

- |             |              |               |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 0名       | 4. 10名～20名未満 | 7. 50名～100名未満 |
| 2. 1名～5名未満  | 5. 20名～30名未満 | 8. 100名以上     |
| 3. 5名～10名未満 | 6. 30名～50名未満 |               |

次ページへ続く→

# 調査票

武庫川女子大学では、2023年4月に、「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称)を設置することを構想しています。

※ここからは、右に記載の各学部・学科・専攻の特色とアンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

Q6. 貴社・貴団体(ご回答者)は、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

			1.必要だと思う	2.必要だと思わない
心理・社会福祉学部	心理学科	→	1	2
	社会福祉学科	→	1	2
社会情報学部	社会情報学科 情報メディア専攻	→	1	2
	社会情報学科 情報サイエンス専攻	→	1	2
健康・スポーツ科学部	スポーツマネジメント学科	→	1	2

Q7. 貴社・貴団体(ご回答者)では、武庫川女子大学「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

			1.採用したいと思う	2.採用したいと思わない
心理・社会福祉学部	心理学科	→	1	2
	社会福祉学科	→	1	2
社会情報学部	社会情報学科 情報メディア専攻	→	1	2
	社会情報学科 情報サイエンス専攻	→	1	2
健康・スポーツ科学部	スポーツマネジメント学科	→	1	2

Q8. Q7でいずれかの学部・学科・専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。武庫川女子大学の「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」の各学部・学科・専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

			1名	2名	3名	4名	5名 ～9名	10名 以上
心理・社会福祉学部	心理学科	→	1	2	3	4	5	6
	社会福祉学科	→	1	2	3	4	5	6
社会情報学部	社会情報学科 情報メディア専攻	→	1	2	3	4	5	6
	社会情報学科 情報サイエンス専攻	→	1	2	3	4	5	6
健康・スポーツ科学部	スポーツマネジメント学科	→	1	2	3	4	5	6

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

# 調査票

## 「心理・社会福祉学部」「社会情報学部」 「健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科」(すべて仮称、設置構想中)の特色

学科・専攻の特色	
心理・社会福祉学部	心理学科 カウンセリングなどを学ぶ「臨床系」、心理学研究のための「研究系」、企業・社会で役立つ「実用系」の科目が学べます。 実社会の課題に取り組むフィールドワークなど実践的な授業を通して課題を発見し、解決策を生み出す力を身につけることができます。また、公認心理師受験資格や社会調査士の資格取得も可能です。
	社会福祉学科 社会福祉士を目指す「ソーシャルワーク基礎コース」、精神保健福祉士を目指す「ソーシャルワーク・アドバンスコース」、地域貢献や国際協力の現場での活躍を目指す「ソーシャルビジネスコース」から学びを選択できます。 フィールドワークなどを通して、地域での孤立、子どもの貧困、多文化共生などの課題に挑む実践力を身につけることができます。
社会情報学部	情報メディア専攻 メディアとコミュニケーションをキーワードに、生活・経済における情報デザインについて学びます。 データ分析から広告企画、WEBページ制作まで、さまざまな実践プログラムを通して、情報技術活用力と問題解決・提案力を育みます。 情報(広告・通信・マスコミ)業界をはじめICT社会で幅広く活躍できる力を身につけることができます。
	情報サイエンス専攻 システムエンジニアはもちろんコンピュータを使うすべての業種・職種で活躍できる実践的な情報処理技術を身につけることができます。 また、4年間にわたって体系的に学ぶデータサイエンス・AI教育により、データを分析する技能を磨き、銀行・保険・観光・エンターテインメントなどの業界でもデータに強い女性として活躍することを目指します。
健康・スポーツ科学部	スポーツマネジメント学科 多様なスポーツビジネス業界で活躍するために必要となる「マネジメント」「マーケティング」「実務」「生活・健康」「先端ビジネス」の5つの領域を学ぶことができます。 スポーツイベントの企画・運営などを通して、スポーツマネジメント力、スポーツビジネス力、スポーツ指導・教育力を身につけることができます。

※記載の内容は、構想中のものであり、変更される可能性があります。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学 長	セガチ カズヨシ 瀬口 和義 <平成31年4月>		理学博士		武庫川女子大学学長 (平31.4~令5.3)